

平成30年度 観光地域づくり総合推進事業

「福島県観光地実態調査」

報告書

平成31年3月
福島県観光交流課

目次

1章 福島県観光客満足度調査（アンケート調査）

I. 調査目的と概要	4
II. 結果のまとめ	5
III. 結果の詳細	8
1. 対象者属性	9
2. 福島県への来訪回数	14
3. 旅行プラン・宿泊日数（旅行全体）	20
4. 旅行プラン・宿泊日数（福島県内）	23
5. 福島県内の滞在時間（日帰りの場合）	28
6. 同行者人数と同行者	30
7. 旅行の目的	34
8. 来訪エリア	37
9. 利用交通機関	40
10. 旅行先に福島県を選んだきっかけ	48
11. 旅行前に参考にした情報源	51
12. 旅行中の消費額	54
13. 自治体による助成や民間によるサービスの利用状況	65
14. 項目別満足度	68
15. 観光地としての総合満足度	77
16. 福島県への再来訪意向	78
17. 福島県の紹介意向	80
18. 観光客増加のために力を入れるべき観光振興策	82

2章 福島県の観光に関するアンケート（インターネット調査）

I. 調査目的と概要	86
II. 結果のまとめ	87
III. 結果の詳細	97
1. 直近の日本国内旅行の時期	98
2. 日本国内旅行の行き先	100
3. 東北地方、北関東地方、北陸地方の旅行経験	102
4. 福島県への旅行経験	104
5. 福島県旅行に行った時期	106
6. 福島県で知っているエリア	108
7. 福島県で行ったことがあるエリア	110
8. 国内旅行で重視すること	112
9. 初めて福島県を旅行した時期	114
10. 福島県旅行に行くキッカケ	116

11. 福島県旅行の目的	118
12. 福島県旅行で利用した交通手段	120
13. 福島県旅行に利用した交通手段の選択理由	122
14. 福島県旅行の同行者	124
15. 福島県旅行に行った季節	126
16. 福島県旅行の1人当たりの利用金額	128
17. 福島県旅行時の福島県外への訪問有無	130
18. 福島県旅行の宿泊日数	132
19. 福島県旅行の訪問エリア	134
20. 福島県旅行で楽しかったエリア	136
21. 福島県旅行で満足した内容	138
22. 福島県旅行で不満だった内容	140
23. 福島県旅行で不便に感じたこと	142
24. 福島県旅行の全体満足度	144
25. 福島県旅行時に役立つ情報源	146
26. 福島県旅行の非検討理由	148
27. 福島県旅行が検討のみで終わった理由	150
28. 福島県に関する最近の出来事の認知度	152
29. 福島県に関する最近の出来事の効果	154
30. 「ダイヤモンドルートジャパン」の認知度	156
31. 今後の福島県旅行の意向	159
32. 今後、福島県旅行をする場合の利用交通機関	162
33. 今後、福島県旅行をする場合に期待すること	164
34. 職業	166
35. 個人年収	168
36. 世帯年収	170

3章 福島県内旅行者の消費による経済波及効果推計

I. 経済波及効果推計の概要	173
II. 推計結果	174

1章

観光客満足度調査 (アンケート)

I. 調査目的と概要

調査目的

- 本県の観光については、一定の回復を見せつつあるものの、観光客の入込数が震災前の9割程度にとどまり、依然として厳しい状況が続いている。本県が観光復興を成し遂げるためには、中長期的な視点による施策や変化していく観光・旅行市場のニーズに対応していくことが必要である。
- 本業務においては、本県の観光復興の現状を把握し、本格的な観光復興に向けた課題等を提示することを目的とする。

調査概要

- 調査対象 調査地点を訪れた観光客（ビジネス客も含む）で、福島県およびその周辺に立ち寄った方（福島県内居住者を含む）
- 調査方法 観光施設：対象者による自記入式（調査員が配布）
宿泊施設：アンケート用紙の留置による調査
- 調査地点

	全体	会津地方	中通り地方	浜通り地方
観光施設	8	3	2	3
宿泊施設	33	9	20	4
合計	41	12	22	7

- 調査実施期間・回収数

時期	観光施設		宿泊施設		合計
	期間	回収数	期間	回収数	
春期	H30.4～6月	610 部	H30.4～6月	182 部	792 部
夏期	H30.7～9月	671 部	H30.7～9月	291 部	962 部
秋期	H30.10～11月	468 部	H30.10～11月	469 部	937 部
冬期	H30.12～H31.3月	312 部	H30.12～H31.1月	508 部	820 部
年間	合計	2,061 部	合計	1,450 部	3,511 部

Ⅱ. 結果のまとめ

観光地満足度調査の結果

【属性】

～年代は「30～50代」中心の中、会津地方は「20歳未満」が最多～

- 対象者を年代別にみると、全体で「30代」の割合が18.3%と最も高かった。次いで「40代」が18.2%、「50代」が16.3%と続き、ミドル層が中心の構成となっている。
- 調査地点別にみると、会津地方は「20歳未満」が最も高く、教育旅行などで多くの若者が来訪していることがわかる。中通り地方は「20歳未満」の割合が最も低く、「40代～60代」の割合が年間を通して高めであり、ビジネス目的の来訪者が多いことが窺える。

～居住地域別では「福島県」と「隣接県」で全体の5割を占める～

- 対象者を居住地域別※にみると、全体で「福島県」+「隣接県」が5割を超え、「関東」（隣接県を除く）も3割を超えるなど、自家用車で来訪が可能な地域からの旅行者が目立つ結果となった。
- 「関東」からの旅行者は、会津地方・中通り地方は春期と夏期で多く、浜通り地方は秋期と冬期が多かった。

【来訪回数】

～20歳未満は4割が「初めて」、40代・50代は「10回以上」が3割超～

- 福島県への来訪回数（今回を含む）を性別にみると、女性は「初めて」が30.4%で男性を上回り、一方、男性は「10回以上」が29.7%で女性を大きく上回った。
- 年代別にみると、「初めて」の割合は年代が若いほど高くなり、20歳未満では4割を超えている。一方、60代や70代でも2～3割が「初めて」と回答しており、高齢者層においても福島県に訪れる機会が生まれていることがわかる。「10回以上」は40代～50代で高く、ビジネスなどでの来訪者が多く含まれているものとみられる。

【福島県県内の宿泊日数】

～「2泊以上」の割合は会津地方が最も高い～

- 福島県内で「宿泊」と回答した人の宿泊日数をみると、全体で「1泊」が64.7%、「2泊」が24.8%、「3泊以上」が10.5%であった。
- 調査地点別にみると、3地方すべてで「1泊」が6割を超えているが、会津地方は「2泊」の割合がやや高く、比較的ゆっくり観光を楽しみたい人が多いことが窺える。

Ⅱ. 結果のまとめ

観光地満足度調査の結果

【来訪エリア】

～集客力の高い施設がある「会津若松」「いわき」エリアが突出～

- 今回の来訪エリアについて、それぞれの調査地点が含まれるエリアの来訪割合は当然高めとなるが、会津地方と浜通り地方は集客力の高い観光施設が含まれていることもあり、全体で「会津若松エリア」が32.2%、「いわきエリア」が31.0%と、2つのエリアで3割を超えた。

～「会津若松エリア」は遠隔地、「いわきエリア」は近隣からの訪問率が高い～

- 今回の来訪エリアを居住地域別にみると、「会津若松エリア」は関東以西、遠隔地域の居住者ほど割合が高い。「南会津エリア」についても同様の傾向がみられる。対照的に「いわきエリア」は福島県内居住者の訪問割合が最も高い。隣接県や関東の割合も高く、比較的近い場所からの家族旅行先として選ばれていることが窺える。

【きっかけ】

～男性や若い年代は「なんとなく」決めている傾向が比較的強い～

- 旅行先に福島県を選んだきっかけを性別でみると、「なんとなく」は男性がやや高く、「友人・知人」は女性がやや高い結果となった。
- 居住地域別にみると、「過去の経験」は福島県や隣接県のみならず、北海道・東北や関東と広範囲に及んでいる。
- 「なんとなく」は福島県や隣接県で特に高めである他、関東でも1割を超えている。「その他」について、中部・近畿ではビジネスや帰省の回答が目立ち、観光目的以外の来訪も多くみられた。

【総合満足度】

～総合満足度は9割以上が「満足」に回答～

- 福島県の観光地としての「総合満足度」は、全体で「大変満足」「満足」「やや満足」の合計が9割を超え、「大変満足」は2割であった。
- 調査地点別にみると、会津地方・浜通り地方では「大変満足」が2割を超え、特に夏期で高かった。

Ⅱ. 結果のまとめ

観光地満足度調査の結果

【1年以内の再来訪意向】

～再来訪意向は浜通り地方で「大変そう思う」が3割を超える～

- 「1年以内の福島県への再来訪意向」については、全体で「大変そう思う」「そう思う」「やや思う」の合計が約9割となり、「大変そう思う」は27.6%であった。
- 調査地点別にみると、「大変そう思う」は浜通り地方が32.4%で最も高く、冬期では4割を超えた。

【家族や友人への紹介意向】

～紹介意向は20歳未満で「大変そう思う」が約5割に上る～

- 「福島県の家族や友人への紹介意向」を性別でみると、「大変そう思う」は女性が男性を5.3ポイント上回り、女性からの積極的な回答が目立った。
- 年代別にみると、「大変そう思う」は20歳未満が48.0%と最も高かった。また、20代も約4割で若い世代で積極的な回答が目立ったが、70歳以上も34.4%と高い評価であった。

【力を入れるべき観光振興策】

～情報不足を感じる割合は広い地域で高め～

- 観光客を増やすために力を入れるべき「観光振興策」を居住地域別にみると、「情報提供・誘客プロモーション」は関東と中部・近畿で4割を超えた他、隣接県でも4割近くに上り、情報やプロモーション不足を感じている割合が高かった。

【今後に向けて】

- 実際に福島県を訪れた人を対象にしており、満足度など、アンケートの結果は概ね良好な内容が目立った。
- 調査期により調査地点が変わり、サンプリング数が一定でないことなどもあり、この調査で調査地点や調査期による明確な違いを見つけることは難しい面もある。
- 但し、地域ごとの来訪者の年代や居住地域などには一定の特徴もみられ、PR方法に多様性を持たせることが必要であると考えられる。

Ⅲ. 結果の詳細

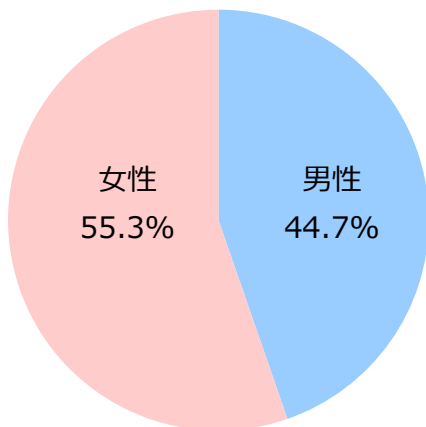
対象者属性（単純集計）

Q1 あなたのお住まい(都道府県・市町村)、性別、年齢をご記入ください。

- 性別は女性が55.3%で、男性を10.6ポイント上回った。
- 年代は、30代が18.3%、40代が18.2%など、ミドル層の割合が高めとなった。
- 都道府県別では福島県内が18.2%、だった。
- 県外からの観光客のうち、関東地域（首都圏＋北関東）が60%を超えている。

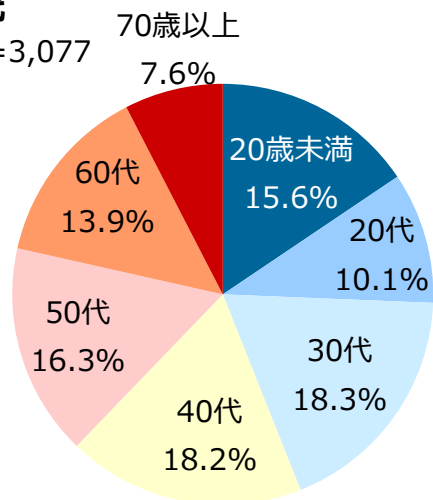
性別

n=3,086



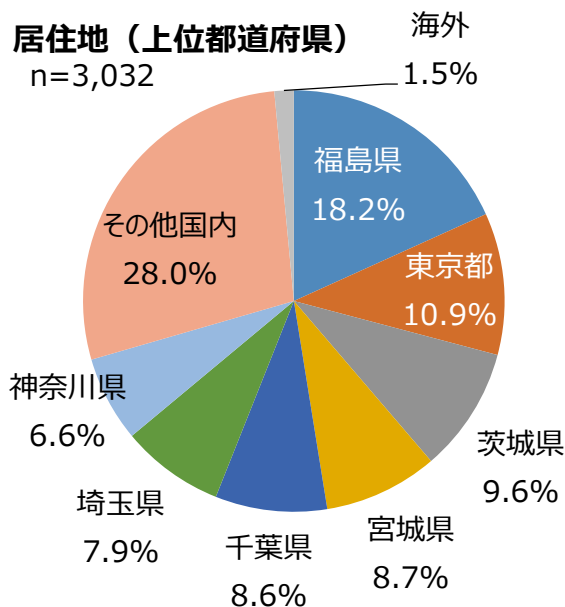
年代

n=3,077



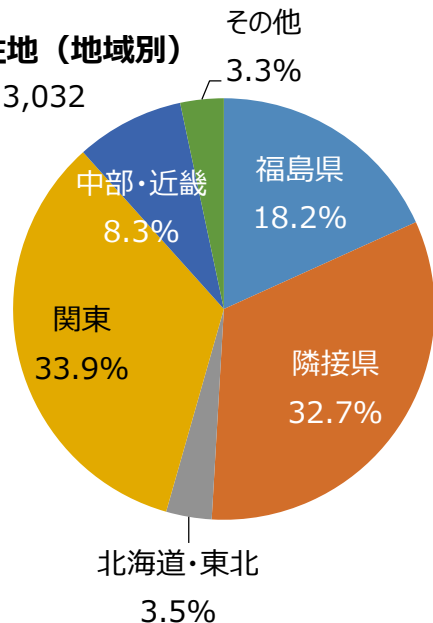
居住地（上位都道府県）

n=3,032



居住地（地域別）

n=3,032



対象者属性（性別）

Q1 あなたのお住まい(都道府県・市町村)、性別、年齢をご記入ください。

- 対象者の性別を調査地点別にみると、中通り地方は男女が半々であったが、会津地方・浜通り地方では女性が上回り、浜通り地方では女性が59.0%と約6割を占めた。
- 調査期別にみると、会津地方・浜通り地方はすべての調査期で女性の割合が男性を上回った。特に、浜通り地方の夏期・秋期では女性が6割を超えている。中通り地方は秋期・冬期で男性の割合が女性を上回った。
- 浜通り地方には「スパリゾートハワイアンズ」や「アクアマリンふくしま」など、家族旅行先として選ばれる調査地点がある。そのため、子ども連れの家族旅行者が多くみられることが特徴であり、他の地方より女性の割合が高くなったものと考えられる。

調査地点×調査期

			男性	女性	
全体		n=(3,086)	44.7	55.3	
調査地点×調査期	会津地方	小計	(1,444)	45.2	54.8
		春期	(372)	43.8	56.2
		夏期	(419)	42.5	57.5
		秋期	(370)	48.1	51.9
		冬期	(283)	47.0	53.0
	中通り地方	小計	(598)	50.0	50.0
		春期	(119)	47.9	52.1
		夏期	(105)	49.5	50.5
		秋期	(115)	52.2	47.8
		冬期	(259)	50.2	49.8
	浜通り地方	小計	(1,044)	41.0	59.0
		春期	(241)	41.9	58.1
		夏期	(420)	39.3	60.7
		秋期	(243)	38.7	61.3
		冬期	(140)	48.6	51.4

(%)

対象者属性（年代）

Q1 あなたのお住まい(都道府県・市町村)、性別、年齢をご記入ください。

～「30～50代」のミドル層中心の中、会津地方は「20歳未満」が最多～

- 対象者を年代別にみると、全体で「30代」の割合が18.3%と最も高かった。次いで「40代」が18.2%、「50代」が16.3%と続き、ミドル層が中心の構成となっている。
- 調査地点別にみると、会津地方は「20歳未満」が最も高く、教育旅行などで多くの若者が来訪していることがわかる。中通り地方は「20歳未満」の割合が最も低く、「40代～60代」の割合が年間を通して高めであり、ビジネス目的の来訪者が多いことが窺える。
- 一方、浜通り地方は「30代」が最も多く、「アクアマリンふくしま」など、子供連れの家族旅行で訪れる観光スポットの存在が背景にあるものとみられる。
- 調査期別にみると、会津地方の冬期はスキー場利用の教育旅行などから「20歳未満」が33.7%と3分の1を占めている。一方、浜通り地方の夏期は「20歳未満」が21.2%と他の地方より高いが、「30代」も「28.8%」と他の地方より圧倒的に高く、夏休み時期の子ども連れの家族旅行が大きな要因であることが窺える。春期は教育旅行が少ないことに加え、桜の開花時期でもあることから「50代」以上の割合が高めになっているものとみられる。

調査地点×調査期

		n=	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	
調査地点×調査期	全体	(3,077)	15.6	10.1	18.3	18.2	16.3	13.9	7.6	
	小計	(1,461)	18.3	10.1	13.3	17.0	18.1	14.9	8.2	
	会津地方	春期	(365)	5.8	9.9	14.5	17.8	25.5	19.2	7.4
		夏期	(417)	18.5	9.8	10.6	21.6	17.3	12.7	9.6
		秋期	(397)	18.9	13.6	18.1	11.1	14.6	16.9	6.8
		冬期	(282)	33.7	6.0	8.9	17.7	14.9	9.6	9.2
	中通り地方	小計	(590)	9.8	11.5	15.6	18.5	18.0	18.3	8.3
		春期	(117)	2.6	14.5	14.5	23.9	24.8	19.7	
		夏期	(102)	8.8	13.7	14.7	16.7	20.6	12.7	12.7
		秋期	(114)	14.0	13.2	15.8	14.0	14.0	22.8	6.1
		冬期	(257)	11.7	8.6	16.3	18.7	15.6	17.9	11.3
	浜通り地方	小計	(1,026)	14.9	9.2	27.1	19.8	12.8	10.0	6.2
		春期	(239)	4.2	15.5	27.6	15.5	16.7	14.6	5.9
		夏期	(416)	21.2	6.7	28.8	19.0	11.1	7.2	6.0
		秋期	(236)	17.8	6.8	24.6	19.9	11.9	11.9	7.2
		冬期	(135)	9.6	9.6	25.2	29.6	12.6	7.4	5.9

(%)

対象者属性（居住地域）

Q1 あなたのお住まい(都道府県・市町村)、性別、年齢をご記入ください。

～「福島県」と「隣接県」で全体の5割を占める～

- 対象者を居住地域別※にみると、全体で「福島県」+「隣接県」が5割を超え、「関東」（隣接県を除く）も3割を超えるなど、自家用車で訪来可能な地域からの旅行者が目立つ結果となった。
- 「関東」からの旅行者は、会津地方・中通り地方は春期と夏期で多く、浜通り地方は秋期と冬期が多かった。
- 浜通り地方は「福島県内居住者」が全体で4分の1を占めた。また、「福島県～関東」までの地域で9割を占め、遠隔地からの旅行者の割合は最も低かった。
- 自家用車で訪来可能である関東地域は、福島県の観光誘客においては年間を通じて重要なターゲット地域と位置づけられる。

※居住地域区分

隣接県・・・宮城県、山形県、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県
東北、関東、中部・・・隣接県を除く
その他・・・中国、四国、九州・沖縄、海外

調査地点×調査期

		n=	福島県	隣接県	北海道・東北	関東	中部・近畿	その他	
全体		(3,032)	18.2	32.7	3.5	33.9	8.3	3.3	
調査地点×調査期	小計	(1,425)	13.6	33.2	3.1	34.3	10.3	5.5	
	会津地方	春期	(360)	10.8	31.4	5.6	39.4	9.7	3.1
		夏期	(419)	9.5	28.6	2.6	43.9	12.4	2.9
		秋期	(362)	21.0	31.2	3.0	19.9	13.8	11.0
		冬期	(284)	13.7	44.7	0.7	32.0	3.5	5.3
	中通り地方	小計	(579)	16.6	28.2	7.4	34.5	11.2	2.1
		春期	(118)	14.4	24.6	8.5	40.7	6.8	5.1
		夏期	(96)	11.5	26.0	7.3	44.8	9.4	1.0
		秋期	(111)	22.5	25.2	8.1	32.4	9.9	1.8
	浜通り地方	冬期	(254)	16.9	31.9	6.7	28.7	14.6	1.2
		小計	(1,028)	25.6	34.5	1.8	33.1	3.9	1.1
		春期	(241)	36.1	30.7	4.1	25.3	2.5	1.2
		夏期	(422)	24.4	40.5	1.4	29.1	3.8	
	秋期	(225)	24.0	26.7	0.4	44.4	3.1	1.3	
	冬期	(140)	13.6	35.7	1.4	40.0	7.9	1.4	

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

対象者属性（年代）

Q1 あなたのお住まい(都道府県・市町村)、性別、年齢をご記入ください。

～隣接県は教育旅行や学校行事、家族旅行などで「20歳未満」が最多～

- 対象者の年代を居住地別※・性別にみると、福島県の年代別割合は全体にほぼ近い平均的となっている。「20歳未満」で男性、「20代」で女性の割合がやや高い以外は、性別による差は小さかった。
- 隣接県は「20歳未満」の割合が全体で21.4%と最も高く、教育旅行や学校行事のほか、家族旅行で気軽に訪れる機会が多いものとみられる。
- 関東や中部・近畿は「20代」以下の割合が低い傾向がみられた。特に中部・近畿では「40代」以上の割合が7割近くに上っている。

※居住地区分

隣接県・・・宮城県、山形県、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県
東北、関東、中部・・・隣接県を除く
その他・・・中国、四国、九州・沖縄、海外

居住地×年代

			n=							
			20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	
居住地 × 性別	全体	(2,993)	15.1	9.9	18.3	18.3	16.5	14.2	7.7	
	福島県	小計	(547)	14.4	11.9	22.7	13.9	14.6	15.4	7.1
		男性	(222)	17.1	9.5	21.2	15.8	14.4	14.4	7.7
		女性	(325)	12.6	13.5	23.7	12.6	14.8	16.0	6.8
	隣接県	小計	(974)	21.4	9.3	19.7	18.4	16.0	9.5	5.6
		男性	(444)	19.1	7.7	18.5	18.9	17.3	11.7	6.8
		女性	(530)	23.2	10.8	20.8	17.9	14.9	7.7	4.7
	北海道・東北	小計	(105)	13.3	12.4	17.1	16.2	12.4	19.0	9.5
		男性	(46)	4.3	10.9	21.7	21.7	13.0	21.7	6.5
		女性	(59)	20.3	13.6	13.6	11.9	11.9	16.9	11.9
	関東	小計	(1,020)	11.2	9.8	15.2	22.3	18.0	15.0	8.5
		男性	(461)	11.7	9.1	12.8	23.2	18.9	15.6	8.7
		女性	(559)	10.7	10.4	17.2	21.5	17.4	14.5	8.4
	中部・近畿	小計	(249)	10.0	6.4	15.3	15.3	19.7	21.3	12.0
		男性	(113)	6.2	5.3	16.8	17.7	21.2	23.9	8.8
		女性	(136)	13.2	7.4	14.0	13.2	18.4	19.1	14.7
	その他	小計	(98)	13.3	11.2	20.4	11.2	13.3	21.4	9.2
男性		(51)	15.7	5.9	13.7	13.7	17.6	25.5	7.8	
女性		(47)	10.6	17.0	27.7	8.5	8.5	17.0	10.6	

(%)

福島県への来訪回数（今回を含めた累計、福島県外居住者）

Q2 福島県へは今回が何回目のご来訪ですか。お仕事での来訪も含めお答えください。

～全体の3割が今回初めて福島県に来訪～

- 福島県への来訪回数（今回を含む）は、全体で「2～5回目」が39.9%と最も高かったが、「初めて」が30.0%に上ったことが今回の調査の特徴である。
- 調査地点別にみると、「初めて」の割合は会津地方が最も高く、福島県への最初の旅行先として多くの人に選択されているものとみられる。
- 中通り地方は「10回以上」の割合が最も高く、観光のみならず「ビジネス・研修（合宿）」で来訪する人が多いことが窺える。
- 浜通り地方の冬期は「10回以上」の割合が高く、全体的に観光入込客数が減少する冬期には、比較的温暖な浜通り地方に継続的に来訪する人が多いものとみられる。

調査地点×調査期

		n=	初めて	2～5回目	6～9回目	10回以上	
調査地点×調査期	全体	(2,714)	30.0	39.9	7.3	22.8	
	会津地方	小計	(1,270)	33.2	42.6	6.5	17.6
		春期	(375)	33.3	44.8	4.8	17.1
		夏期	(378)	34.4	46.8	6.1	12.7
		秋期	(291)	35.4	38.8	7.6	18.2
		冬期	(226)	28.3	36.7	8.8	26.1
	中通り地方	小計	(665)	25.7	36.5	9.5	28.3
		春期	(100)	11.0	36.0	12.0	41.0
		夏期	(111)	21.6	42.3	1.8	34.2
		秋期	(137)	38.0	39.4	4.4	18.2
		冬期	(317)	26.5	33.4	13.6	26.5
	浜通り地方	小計	(779)	28.2	38.5	6.5	26.7
		春期	(147)	25.9	33.3	3.4	37.4
		夏期	(314)	28.0	43.6	8.3	20.1
		秋期	(201)	34.3	39.3	5.5	20.9
		冬期	(117)	21.4	29.9	7.7	41.0

(%)

福島県への来訪回数（今回を含めた累計、福島県外居住者）

Q2 福島県へは今回が何度目のご来訪ですか。お仕事での来訪も含めお答えください。

～20歳未満は4割が「初めて」、40代・50代は「10回以上」が3割超～

- 福島県への来訪回数（今回を含む）を性別にみると、女性は「初めて」が30.4%で男性を上回り、一方、男性は「10回以上」が29.7%で女性を大きく上回った。
- 年代別にみると、「初めて」の割合は年代が若いほど高くなり、20歳未満では4割を超えている。一方、60代や70代でも2～3割が「初めて」と回答しており、高齢者層においても福島県に訪れる機会が生まれていることがわかる。「10回以上」は40代～50代で高く、ビジネスなどでの来訪者が多く含まれているものとみられる。
- 居住地域別にみると、遠隔地域になるほど「初めて」の割合が高くなる傾向がみられ、「中部・近畿」「その他」では5割を超えている。一方、「10回以上」は隣接県で32.7%で約3分の1、「関東」でも24.1%と約4分の1に上っている。

性別、年代別、居住地域別

		n=	初めて	2～5回目	6～9回目	10回以上
全体		(2,461)	28.6	39.1	7.4	24.9
性別	男性	(1,116)	26.3	36.3	7.7	29.7
	女性	(1,345)	30.4	41.4	7.1	21.0

全体		(2,438)	28.7	38.9	7.4	25.0
年代	20歳未満	(365)	42.7	40.5	5.5	11.2
	20代	(237)	32.1	38.0	6.8	23.2
	30代	(423)	27.9	38.8	9.2	24.1
	40代	(473)	22.8	34.7	8.2	34.2
	50代	(418)	22.7	38.5	7.4	31.3
	60代	(336)	30.1	38.7	6.3	25.0
	70歳以上	(186)	24.2	49.5	7.5	18.8

全体		(2,413)	28.6	38.7	7.5	25.3
居住地域	隣接県	(952)	21.1	36.9	9.3	32.7
	北海道・東北	(104)	39.4	41.3	5.8	13.5
	関東	(1,012)	25.5	43.8	6.6	24.1
	中部・近畿	(247)	50.2	31.2	4.9	13.8
	その他	(98)	66.3	20.4	6.1	7.1

(%)

福島県への来訪回数（東日本大震災後、福島県外居住者）

Q2 福島県へは今回が何回目のご来訪ですか。お仕事での来訪も含めお答えください。

～福島県旅行経験者の7割は震災後に2回以上来訪～

- 過去に福島県旅行の経験がある人のうち、東日本大震災後の来訪が2回目以上の割合は全体で7割を超え、このうち10回以上が約2割に上っており、震災後も以前と同様に福島県を旅行する割合は既に一定程度回復していることがわかる。
- 調査地点別にみると、会津地方は「初めて」の割合が最も高く、中通り地方は「10回以上」の割合が最も高かった。
- 「初めて」の割合は、会津地方の夏期が42.5%、浜通り地方の夏期が39.4%と高い。震災以前に福島県旅行を経験した人がリピーターとして戻るとは、復興について理解が進んでいる証だと考えられる。
- 「10回以上」の割合は、冬期の浜通り地方が最も高く、冬期には比較的温暖な浜通り地方が選択される機会が多いものとみられる。

調査地点×調査期（今回の来訪が2回目以上の人が回答）

		n=	初めて	2～5回目	6～9回目	10回以上	
全体		(1,864)	28.2	45.2	7.6	19.0	
調査地点×調査期	会津地方	小計	(826)	32.8	50.6	5.4	11.1
		春期	(243)	32.9	54.7	4.1	8.2
		夏期	(240)	42.5	47.1	4.2	6.3
		秋期	(187)	30.5	46.5	5.3	17.6
		冬期	(156)	20.5	54.5	9.6	15.4
	中通り地方	小計	(491)	18.7	41.8	10.8	28.7
		春期	(89)	22.5	33.7	14.6	29.2
		夏期	(87)	23.0	41.4	4.6	31.0
		秋期	(84)	17.9	52.4	7.1	22.6
		冬期	(231)	16.0	41.1	13.0	29.9
	浜通り地方	小計	(547)	29.8	40.0	8.0	22.1
		春期	(109)	23.9	41.3	5.5	29.4
		夏期	(221)	39.4	38.0	9.0	13.6
		秋期	(124)	25.8	45.2	7.3	21.8
		冬期	(93)	19.4	36.6	9.7	34.4

(%)

福島県への来訪回数（東日本大震災後、福島県外居住者）

Q2 福島県へは今回が何度目のご来訪ですか。お仕事での来訪も含めお答えください。

～隣接県居住者の約4分の1は震災後に「10回以上」来訪～

- 過去に福島県旅行の経験がある人の、震災後の来訪回数を性別にみると、男性は4分の3が2回目以上で、うち約4分の1が「10回以上」であった。女性は「初めて」が3割に達するなど、男性との比較では来訪回数がやや少なめであった。
- 年代別にみると、30代～60代は「10回以上」が2割を超え、ビジネスなどを含め何度も来訪している。70歳以上では「初めて」の割合が4割に達するなど、久しぶりに福島県に戻っている様子が見てとれる。
- 居住地域別にみると、隣接県は「10回以上」の割合が最も高い。一方、遠隔地域では「初めて」の割合が高く、福島県旅行経験者の戻りはやや遅れ気味であることが窺える。

性別、年代別、居住地域別（今回の来訪が2回目以上の人が回答）

		n=	初めて	2～5回目	6～9回目	10回以上
全体		(1,721)	27.9	43.8	7.8	20.4
性別	男性	(814)	24.1	43.0	8.2	24.7
	女性	(907)	31.4	44.5	7.5	16.5

		n=	初めて	2～5回目	6～9回目	10回以上
全体		(1,702)	27.9	43.6	8.0	20.5
年代	20歳未満	(202)	19.3	59.4	7.9	13.4
	20代	(155)	30.3	47.7	3.9	18.1
	30代	(302)	27.8	43.0	8.6	20.5
	40代	(361)	27.4	36.0	10.8	25.8
	50代	(315)	28.9	41.3	7.0	22.9
	60代	(233)	26.2	43.3	8.6	21.9
	70歳以上	(134)	40.3	42.5	5.2	11.9

		n=	初めて	2～5回目	6～9回目	10回以上
全体		(1,687)	28.0	43.4	8.1	20.6
居住地域	隣接県	(738)	25.6	40.5	9.8	24.1
	北海道・東北	(64)	23.4	59.4		17.2
	関東	(730)	30.3	44.5	7.3	17.9
	中部・近畿	(123)	27.6	47.2	6.5	18.7
	その他	(32)	40.6	37.5	9.4	12.5

(%)

旅行プラン（旅行全体）

Q3 今回のご旅行についてお答えください。

～旅行全体では3分の2が「宿泊」と回答～

- 今回の旅行プランについて、全体では「宿泊」が66.4%、「日帰り」が33.6%であった。観光施設に加え、宿泊施設で調査を実施していることもあり、「宿泊」の割合が圧倒的となった。
- 調査地点・調査期別にみると、会津地方は「宿泊」割合が冬期で89.0%、夏期で78.7%となり、全体でも7割を超えた。中通り地方は「宿泊」が全体で67.0%、春期は89.3%に上った。浜通り地方は「宿泊」が全体で59.2%、冬期は92.7%に上った。
- なお、調査地点・調査期で観光施設・宿泊施設のサンプリング数に偏りがあるため、今回の調査結果が各調査地点・調査期の傾向を必ずしも表しているとは言えない点に留意を要する。

調査地点×調査期

			n=		
			日帰り	宿泊	
調査地点×調査期	全体	(3,200)	33.6	66.4	
	会津地方	小計	(1,511)	29.3	70.7
		春期	(406)	39.2	60.8
		夏期	(408)	21.3	78.7
		秋期	(407)	40.5	59.5
		冬期	(290)	11.0	89.0
	中通り地方	小計	(710)	33.0	67.0
		春期	(112)	10.7	89.3
		夏期	(120)	31.7	68.3
		秋期	(152)	49.3	50.7
		冬期	(326)	33.4	66.6
	浜通り地方	小計	(979)	40.8	59.2
		春期	(221)	46.6	53.4
		夏期	(384)	46.1	53.9
		秋期	(250)	44.0	56.0
		冬期	(124)	7.3	92.7

(%)

旅行プラン（旅行全体）

Q3 今回のご旅行についてお答えください。

～福島県内居住者の7割、隣接県居住者の約4割は日帰り～

- 旅行プランを性別で見ると、男女ともに「宿泊」が7割前後となり、性別による大きな違いはみられなかった。
- 年代別にみると、「日帰り」が20代で38.9%、30代で36.7%とやや高かった。30代までと比較し、40代以上の「宿泊」割合の高さが目立った。
- 居住地域別にみると、福島県は「日帰り」が71.2%と圧倒的に高かった。隣接県も「日帰り」が38.7%と約4割に上った。

性別、年代別、居住地域別

		n=	日帰り	宿泊
全体		(2,840)	29.9	70.1
性別	男性	(1,274)	29.0	71.0
	女性	(1,566)	30.6	69.4

		n=	日帰り	宿泊
全体		(2,831)	29.9	70.1
年代	20歳未満	(434)	30.0	70.0
	20代	(296)	38.9	61.1
	30代	(523)	36.7	63.3
	40代	(538)	25.3	74.7
	50代	(470)	26.2	73.8
	60代	(380)	27.9	72.1
	70歳以上	(190)	23.7	76.3

		n=	日帰り	宿泊
全体		(2,785)	29.5	70.5
居住地域	福島県	(452)	71.2	28.8
	隣接県	(934)	38.7	61.3
	北海道・東北	(100)	20.0	80.0
	関東	(980)	10.2	89.8
	中部・近畿	(234)	6.0	94.0
	その他	(85)	5.9	94.1

(%)

宿泊日数（旅行全体）

Q3 今回のご旅行についてお答えください。

～宿泊日数は会津地方を中心に5割が「2泊以上」と回答～

- 旅行プランで「宿泊」と回答した人の宿泊日数をみると、全体で「1泊」が49.4%と約半数を占めた。「2泊」が31.8%で、「3泊以上」は18.7%であった。
- 調査地点別にみると、会津地方は「2泊」の割合が比較的高く、ゆっくり観光を楽しみたい人が多いものとみられる。

調査地点×調査期

		n=	1泊	2泊	3泊以上	
全体		(1,772)	49.4	31.8	18.7	
調査地点×調査期	会津地方	小計	(890)	42.9	38.5	18.5
		春期	(191)	46.6	26.7	26.7
		夏期	(302)	38.7	44.4	16.9
		秋期	(165)	46.7	27.3	26.1
		冬期	(232)	42.7	48.7	8.6
	中通り地方	小計	(371)	51.8	25.6	22.6
		春期	(98)	48.0	29.6	22.4
		夏期	(75)	54.7	25.3	20.0
		秋期	(35)	74.3	14.3	11.4
		冬期	(163)	47.9	25.8	26.4
	浜通り地方	小計	(511)	59.1	24.7	16.2
		春期	(108)	33.3	33.3	33.3
		夏期	(194)	56.2	30.4	13.4
		秋期	(104)	78.8	13.5	7.7
		冬期	(105)	71.4	16.2	12.4

(%)

宿泊日数（旅行全体）

Q3 今回のご旅行についてお答えください。

～遠隔地域からの旅行者は「2泊以上」の旅行プランが多い～

- 宿泊日数を性別にみると、「1泊」は男性が46.8%に対し女性が51.7%で過半数を占めた。
- 年代別にみると、比較的時間の取れやすい60代から70歳以上で「2泊以上」の割合が高くなっている。また、20歳未満も「2泊以上」の割合が高いが、こちらは本人の意思によるものというよりは、学校行事等で宿泊日数が決まっていたケースが多いものと考えられる。
- 居住地域別にみると、福島県は「1泊」が75.5%、隣接県も「1泊」が65.2%と、ともに宿泊日数は短めとなっている。一方、北海道・東北や中部・近畿では「2泊」が4割を超え、「3泊以上」も3割を超えている。

性別、年代別、居住地域別

		n=	1泊	2泊	3泊以上
全体		(1,767)	49.5	31.8	18.7
性別	男性	(803)	46.8	32.6	20.5
	女性	(964)	51.7	31.1	17.2

		n=	1泊	2泊	3泊以上
全体		(1,753)	49.4	31.8	18.8
年代	20歳未満	(245)	39.2	45.7	15.1
	20代	(162)	53.7	29.0	17.3
	30代	(292)	56.5	25.0	18.5
	40代	(382)	52.4	28.3	19.4
	50代	(306)	52.6	31.7	15.7
	60代	(242)	43.4	30.2	26.4
	70歳以上	(124)	41.9	38.7	19.4

		n=	1泊	2泊	3泊以上
全体		(1,770)	49.4	31.9	18.7
居住地域	福島県	(110)	75.5	10.9	13.6
	隣接県	(515)	65.2	25.6	9.1
	北海道・東北	(76)	18.4	47.4	34.2
	関東	(804)	47.9	36.3	15.8
	中部・近畿	(199)	27.1	41.2	31.7
	その他	(66)	4.5	15.2	80.3

(%)

宿泊日数（旅行全体）

Q3 今回のご旅行についてお答えください。

～会津地方の20歳未満は教育旅行等で「2泊以上」が約7割～

- 宿泊日数を調査地点・年代別にみると、会津地方の20歳未満は「2泊」の割合が56.1%と5割を超え、「2泊以上」は約7割であった。スキーなどの教育旅行によるものであると考えられる。
- 会津地方は60代以上でも「2泊以上」の割合が高めとなった。時間を相応にかけて旅行を楽しむ傾向がみられた。浜通り地方の20代で「2泊」の割合が高めなのは、実家への帰省が多く含まれているためとみられる。

調査地点×年代

		n=	1泊	2泊	3泊以上
調査地点×年代	全体	(1,753)	49.4	31.8	18.8
	小計	(886)	42.9	38.6	18.5
	会津地方				
	20歳未満	(157)	31.8	56.1	12.1
	20代	(83)	55.4	31.3	13.3
	30代	(104)	56.7	26.9	16.3
	40代	(170)	47.6	35.9	16.5
	50代	(168)	48.8	33.9	17.3
	60代	(132)	29.5	37.1	33.3
	70歳以上	(72)	31.9	45.8	22.2
	中通り地方				
	小計	(367)	52.0	25.1	22.9
	20歳未満	(21)	42.9	33.3	23.8
	20代	(38)	57.9	15.8	26.3
	30代	(45)	46.7	24.4	28.9
	40代	(88)	50.0	21.6	28.4
	50代	(75)	53.3	34.7	12.0
	60代	(72)	58.3	18.1	23.6
	70歳以上	(28)	46.4	35.7	17.9
	浜通り地方				
	小計	(500)	59.0	24.8	16.2
	20歳未満	(67)	55.2	25.4	19.4
	20代	(41)	46.3	36.6	17.1
	30代	(143)	59.4	23.8	16.8
40代	(124)	60.5	22.6	16.9	
50代	(63)	61.9	22.2	15.9	
60代	(38)	63.2	28.9	7.9	
70歳以上	(24)	66.7	20.8	12.5	

(%)

旅行プラン（福島県内での滞在）

Q3 今回のご旅行についてお答えください。

～旅行全体で「宿泊」した人の9割以上が福島県内で「宿泊」～

- 今回の旅行全体で「宿泊」した人について、福島県内での滞在をみると、全体で「宿泊」が92.0%、「日帰り」が8.0%となった。9割以上が福島県内での宿泊をプランに組み込んでおり、「他県に宿泊し福島県内は日帰り」は少数であった。
- 調査地点別にみると、浜通り地方は「日帰り」の割合がやや高い。福島県内居住者の来訪割合が高いことに加え、常磐自動車道で宮城県や茨城県に向かう際の休憩地として一時滞在する旅行者も一定程度いることが窺える。

調査地点×調査期

			日帰り	宿泊	
		n=			
全体		(1,987)	8.0	92.0	
調査地点×調査期	会津地方	小計	(1,017)	8.8	91.2
		春期	(236)	10.6	89.4
		夏期	(295)	11.5	88.5
		秋期	(240)	11.3	88.8
		冬期	(246)		98.8
	中通り地方	小計	(454)	3.7	96.3
		春期	(99)		100.0
		夏期	(77)		98.7
		秋期	(71)		98.6
		冬期	(207)	7.2	92.8
	浜通り地方	小計	(516)	10.1	89.9
		春期	(105)	21.0	79.0
		夏期	(168)	12.5	87.5
		秋期	(133)	5.3	94.7
		冬期	(110)		98.2

2%未満のデータレベルは非表示 (%)

旅行プラン（福島県内での滞在）

Q3 今回のご旅行についてお答えください。

～隣接県からの宿泊旅行者の95%は福島県内に宿泊～

- 今回の旅行全体で「宿泊」した人について、福島県内での滞在を男女別にみると、ともに9割以上が「宿泊」しているが、割合は女性が男性をやや上回った。
- 年代別にみると、年代が上がるにつれ「日帰り」の割合がやや高まり、「宿泊」は他県を選ぶ傾向がみられた。
- 居住地域別にみると、宿泊日数で「1泊」の割合が高い隣接県は福島県内が主たる目的地となるケースが多いとみられ、県内での「宿泊」が95.0%と最も高かった。
- 一方、北海道・東北や海外を含むその他地域では「日帰り」の割合が1割を超えている。

性別、年代別、居住地域別

		n=	日帰り	宿泊
全体		(1,865)	8.2	91.8
性別	男性	(855)	9.0	91.0
	女性	(1,010)	7.4	92.6

		n=	日帰り	宿泊
全体		(1,859)	8.0	92.0
年代	20歳未満	(283)	4.2	95.8
	20代	(172)	7.6	92.4
	30代	(303)	6.6	93.4
	40代	(388)	7.7	92.3
	50代	(324)	9.3	90.7
	60代	(260)	11.2	88.8
	70歳以上	(129)	10.9	89.1

		n=	日帰り	宿泊
全体		(1,837)	8.2	91.8
居住地域	福島県	(115)	8.7	91.3
	隣接県	(538)	5.0	95.0
	北海道・東北	(73)	11.0	89.0
	関東	(823)	8.9	91.1
	中部・近畿	(212)	9.4	90.6
	その他	(76)	15.8	84.2

(%)

宿泊日数（福島県内での滞在）

Q3 今回のご旅行についてお答えください。

～「2泊以上」の割合は会津地方が最も高い～

- 福島県内で「宿泊」と回答した人の宿泊日数をみると、全体で「1泊」が64.7%、「2泊」が24.8%、「3泊以上」が10.5%であった。
- 調査地点別にみると、3地方すべてで「1泊」が6割を超えているが、会津地方は「2泊」の割合がやや高く、比較的ゆっくり観光を楽しみたい人が多いことが窺える。
- 「3泊以上」の割合が高い調査地点・調査期をみると、中通りの冬期はスポーツイベント・大会への参加やビジネス目的での宿泊が多かったものとみられる。一方、浜通りの春期は実家への帰省や親戚・知人と会う目的で来訪した回答者が多かったためとみられる。

調査地点×調査期

		n=	1泊	2泊	3泊以上	
全体		(1,514)	64.7	24.8	10.5	
調査地点×調査期	会津地方	小計	(768)	63.0	28.6	8.3
		春期	(178)	65.2	26.4	8.4
		夏期	(225)	63.6	29.3	7.1
		秋期	(145)	76.6	11.7	11.7
		冬期	(220)	51.8	40.9	7.3
	中通り地方	小計	(356)	64.3	21.1	14.6
		春期	(98)	56.1	29.6	14.3
		夏期	(69)	73.9	15.9	10.1
		秋期	(38)	86.8	7.9	5.3
		冬期	(151)	59.6	21.2	19.2
	浜通り地方	小計	(390)	68.5	20.5	11.0
		春期	(74)	51.4	27.0	21.6
		夏期	(121)	62.0	26.4	11.6
		秋期	(94)	78.7	13.8	7.4
		冬期	(101)	79.2	14.9	5.9

(%)

宿泊日数（福島県内での滞在）

Q3 今回のご旅行についてお答えください。

～県内の宿泊日数は県内居住者の8割、隣接県の7割が「1泊」と回答～

- 福島県内での宿泊日数は、「1泊」が全体で6割を超えたが、性別で見ると女性が男性を6.3ポイント上回った。
- 年代別にみると、20歳未満の約半分は「2泊以上」であった。また、20代～40代では「3泊以上」の割合が1割を超えている。
- 居住地域別にみると、福島県内居住者の8割、隣接県居住者の7割が「1泊」と回答し、関東居住者も「1泊」が6割を超えた。

性別、年代別、居住地域別

		n=	1泊	2泊	3泊以上
全体		(1,510)	64.8	24.8	10.5
性別	男性	(688)	61.3	26.9	11.8
	女性	(822)	67.6	23.0	9.4

		n=	1泊	2泊	3泊以上
全体		(1,500)	64.7	24.8	10.5
年代	20歳未満	(221)	50.7	38.0	11.3
	20代	(138)	69.6	20.3	10.1
	30代	(245)	69.4	18.4	12.2
	40代	(335)	66.0	21.5	12.5
	50代	(260)	65.8	25.0	9.2
	60代	(196)	70.4	22.4	7.1
	70歳以上	(105)	60.0	32.4	7.6

		n=	1泊	2泊	3泊以上
全体		(1,512)	64.7	24.8	10.4
居住地域	福島県	(93)	81.7	5.4	12.9
	隣接県	(462)	70.1	22.7	7.1
	北海道・東北	(60)	51.7	38.3	10.0
	関東	(676)	64.2	25.7	10.1
	中部・近畿	(171)	57.9	33.3	8.8
	その他	(50)	30.0	22.0	48.0

(%)

宿泊日数（福島県内での滞在）

Q3 今回のご旅行についてお答えください。

～会津・中通り地方の20歳未満は教育旅行で複数日宿泊の傾向～

- 福島県内での宿泊日数について、会津地方の20歳未満は「2泊」の割合が46.6%と調査地点・年代別で最も高く、スキーなどの教育旅行による効果であると考えられる。中通り地方で20歳未満の「2泊」「3泊以上」の割合が高いのも同様の理由とみられる。
- 会津地方は70歳以上も「2泊」の割合が高めで、時間を相応にかけて旅行を楽しむ傾向がみられた。浜通り地方の20代で「2泊」の割合が高めなのは、実家への帰省が多く含まれているためとみられる。

調査地点×年代

			1泊	2泊	3泊以上	
調査地点×年代	全体	(1,500)	64.7	24.8	10.5	
	小計	(764)	63.1	28.7	8.2	
	会津地方	20歳未満	(146)	47.3	46.6	6.2
		20代	(66)	77.3	15.2	7.6
		30代	(88)	73.9	19.3	6.8
		40代	(144)	63.2	25.7	11.1
		50代	(152)	69.1	21.7	9.2
		60代	(103)	65.0	28.2	6.8
		70歳以上	(65)	52.3	38.5	9.2
		小計	(352)	64.2	21.0	14.8
	中通り地方	20歳未満	(22)	50.0	27.3	22.7
		20代	(36)	66.7	11.1	22.2
		30代	(45)	64.4	15.6	20.0
		40代	(86)	60.5	20.9	18.6
		50代	(68)	54.4	35.3	10.3
		60代	(66)	80.3	10.6	9.1
		70歳以上	(29)	69.0	27.6	3.4
		小計	(384)	68.5	20.6	10.9
	浜通り地方	20歳未満	(53)	60.4	18.9	20.8
		20代	(36)	58.3	38.9	2.8
		30代	(112)	67.9	18.8	13.4
		40代	(105)	74.3	16.2	9.5
		50代	(40)	72.5	20.0	7.5
		60代	(27)	66.7	29.6	3.7
70歳以上		(11)	81.8	9.1	9.1	
小計		(384)	68.5	20.6	10.9	

(%)

福島県内の滞在時間（県内日帰りの場合）

Q3 今回のご旅行についてお答えください。

～県内日帰りの滞在時間は「3時間以上6時間未満」が約4割～

- 「今回の旅行全体では宿泊したものの福島県内の滞在は日帰り」と回答した人は少数にとどまるが、県内滞在時間をみると、全体で「3時間以上6時間未満」が約4割で、「6時間未満」が5割を超えている。
- サンプル数は限られるが、浜通り地方は「3時間未満」が3割を占めており、常磐自動車道のサービスエリアでの休憩など、限定的な利用者が多かったものとみられる。

調査地点×調査期

		n=	3時間未満	3時間以上 6時間未満	6時間以上 9時間未満	9時間以上 12時間未満	12時間以上
調査 地点 × 調査 期	全体	(212)	14.6	38.2	30.7	6.1	10.4
	小計	(110)	5.5	40.0	38.2	8.2	8.2
	会津地方						
	春期	(60)	5.0	45.0	35.0	5.0	10.0
	夏期	(22)	13.6	40.9	45.5		
	秋期	(27)	29.6	40.7	22.2	7.4	
	冬期	(1)		100.0			
	中通り地方						
	小計	(20)	45.0	25.0	5.0	25.0	
	春期	(4)	25.0	25.0	50.0		
	夏期	(1)		100.0			
	秋期	(1)		100.0			
	冬期	(14)	57.1	28.6	14.3		
	浜通り地方						
	小計	(82)	30.5	34.1	22.0	3.7	9.8
	春期	(50)	38.0	40.0	12.0	2.0	8.0
	夏期	(15)	13.3	26.7	46.7	13.3	
	秋期	(14)	14.3	28.6	35.7	14.3	7.1
	冬期	(3)	66.7	33.3			

2%未満のデータレベルは非表示（%）

福島県内の滞在時間（県内日帰りの場合）

Q3 今回のご旅行についてお答えください。

～日帰りでは女性の滞在時間が男性よりやや短めの結果に～

- 福島県内の滞在が日帰りの場合の県内滞在時間を性別にみると、男性は「6時間以上」の割合が5割を超え、女性を9ポイントほど上回った。
- 年代別にみると、20歳未満は対象者が少なく、「3時間未満」の回答がなかった。また、年代が上がるほど「3時間未満」の割合が高めとなり、短時間の休憩としての施設利用が相応にみられた。
- 居住地域別にみると、最も多い隣接県からの来訪者については、約4分の3が「3時間～9時間」の範囲であり、「3時間未満」は1割程度となっている。

性別、年代別、居住地域別

		n=	3時間未満	3時間以上 6時間未満	6時間以上 9時間未満	9時間以上 12時間未満	12時間以上
全体		(211)	14.7	37.9	30.8	6.2	10.4
性別	男性	(108)	11.1	37.0	32.4	7.4	12.0
	女性	(103)	18.4	38.8	29.1	4.9	8.7

		n=	3時間未満	3時間以上 6時間未満	6時間以上 9時間未満	9時間以上 12時間未満	12時間以上
全体		(211)	14.7	38.4	30.8	6.2	10.0
年代	20歳未満	(9)		44.4	44.4		11.1
	20代	(28)	7.1	46.4	32.1		14.3
	30代	(38)	13.2	34.2	34.2	5.3	13.2
	40代	(50)	18.0	26.0	36.0	14.0	6.0
	50代	(42)	19.0	45.2	23.8	2.4	9.5
	60代	(33)	15.2	48.5	27.3	6.1	3.0
	70歳以上	(11)	18.2	27.3	18.2	9.1	27.3

		n=	3時間未満	3時間以上 6時間未満	6時間以上 9時間未満	9時間以上 12時間未満	12時間以上
全体		(211)	14.7	38.4	30.3	6.2	10.4
居住地域	福島県	(30)	26.7	33.3	16.7		23.3
	隣接県	(99)	11.1	41.4	33.3	8.1	6.1
	北海道・東北	(9)	11.1	44.4	44.4		
	関東	(58)	19.0	36.2	22.4	6.9	15.5
	中部・近畿	(10)		30.0	70.0		
	その他	(5)		40.0	40.0		20.0

2%未満のデータラベルは非表示 (%)

同行者人数

Q4 今回の旅行の同行人数と同行者についてお答えください。

～旅行人数は「2人」が3割で最多、「5人以上」も約3割に上る～

- 全体の同行者人数（対象者自身を含む）は「2人」が31.1%と最も高く、個人旅行が中心の結果となった。次いで「4人」が19.8%、「5～9人」が18.8%と続き、「10人以上」は10.4%であった。
- 調査地点別にみると、中通り地方は宿泊施設としてビジネスホテルが多く含まれることもあり「1～2人」が5割を超え、ビジネス目的の旅行者が比較的多かったものとみられる。一方、浜通り地方は「4人」が25.5%で最も多く、子供連れの家族旅行が多かったことが窺える。
- 会津地方は、秋期・冬期で「10人」が3割近くに上っており、教育旅行や学校行事、団体旅行の割合が高かったとみられる。

調査地点×調査期

		n=	1人	2人	3人	4人	5～9人	10人以上	
調査地点×調査期	全体	(2,611)	5.5	31.1	14.4	19.8	18.8	10.4	
	会津地方	小計	(1,246)	3.2	32.4	12.8	19.3	17.3	14.9
		春期	(324)	2.8	44.8		21.3	19.8	6.5 4.9
		夏期	(361)	2.8	28.0	10.5	25.8	30.2	2.8
		秋期	(318)	4.4	28.9	10.7	13.5	14.8	27.7
		冬期	(243)	2.9	27.2	7.8	16.9	15.6	29.6
	中通り地方	小計	(491)	12.6	38.9		13.8	10.6	15.1 9.0
		春期	(98)	17.3	54.1		12.2	7.1	7.1 2.6
		夏期	(96)	20.8	31.3	16.7	9.4	16.7	5.2
		秋期	(78)	5.1	42.3	17.9	15.4	16.7	2.6
		冬期	(219)	9.6	34.2	11.9	11.0	17.4	16.0
	浜通り地方	小計	(874)	4.8	24.7	17.0	25.5	23.2	4.7
		春期	(211)	6.6	45.5		16.1	19.4	11.4
		夏期	(364)	13.2	17.0	31.9		29.4	7.1
		秋期	(179)	4.5	20.7	20.7	23.5	26.8	3.9
		冬期	(120)	12.5	29.2	13.3	20.0	20.0	5.0

2%未満のデータレベルは非表示 (%)

同行者人数

Q4 今回の旅行の同行人数と同行者についてお答えください。

～20歳未満の約3割が「10人以上」、遠隔地域では「1人」が1割～

- 全体の同行者人数（対象者自身を含む）を性別にみると、「1人」が男性でやや高めとなったほかは大きな違いはみられなかった。
- 年代別にみると、20歳未満では「10人以上」が約3割に上っており、教育旅行での来訪によるものとみられる。また、「4人以上」では8割を超えている。60代・70代も「10人以上」が1割を超え、団体旅行の割合が高かった。「2人」は50代・60代で4割を超え、夫婦旅行が多いことが窺える。
- 居住地域別にみると、海外からの来訪が含まれるその他地域では「10人以上」が45.9%と圧倒的に高かったことを除けば、それほど大きな地域差はみられなかった。

性別、年代別、居住地域別

		n=	1人	2人	3人	4人	5～9人	10人以上
全体		(2,564)	5.5	30.3	14.5	20.1	19.1	10.4
性別	男性	(1,151)	8.1	30.1	14.4	18.2	18.2	10.9
	女性	(1,413)	3.4	30.6	14.6	21.7	19.7	10.0

		n=	1人	2人	3人	4人	5～9人	10人以上
全体		(2,545)	5.6	30.3	14.5	20.0	19.2	10.4
年代	20歳未満	(370)	5.4	11.6	26.5	26.8	29.5	
	20代	(264)	7.2	37.1	17.4	18.2	12.5	7.6
	30代	(475)	4.2	21.3	19.2	25.9	23.8	5.7
	40代	(505)	7.7	28.5	14.9	22.6	20.6	5.7
	50代	(418)	8.4	47.4	15.1	14.4	10.5	4.3
	60代	(346)	6.4	44.8	9.8	11.0	17.1	11.0
	70歳以上	(167)	3.6	32.9	9.6	17.4	22.2	14.4

		n=	1人	2人	3人	4人	5～9人	10人以上
全体		(2,553)	5.4	30.2	14.6	20.2	19.1	10.5
居住地域	福島県	(420)	6.2	31.2	17.6	16.7	24.0	4.3
	隣接県	(849)	3.8	29.9	13.4	21.9	16.1	14.8
	北海道・東北	(89)	7.9	36.0	15.7	18.0	12.4	10.1
	関東	(911)	4.9	30.6	15.0	23.1	20.7	5.6
	中部・近畿	(210)	10.0	30.0	14.3	13.8	17.6	14.3
	その他	(74)	10.8	14.9	6.8	5.4	16.2	45.9

2%未満のデータは非表示 (%)

同行者

Q4 今回の旅行の同行人数と同行者についてお答えください。

～「子ども連れの家族旅行」は浜通り地方で約6割と圧倒的～

- 今回の旅行の同行者を見ると、全体で「子ども連れの家族旅行」が36.7%で最も高く、「夫婦旅行」の16.1%などを大きく引き離している。
- 調査地点・調査期別にみると、浜通り地方は「子ども連れの家族旅行」が約6割となり、夏休みが重なる夏期には68.8%となった。夏期に「子ども連れの家族旅行」が増加する傾向は会津地方でもみられるが、「スパリゾートハワイアンズ」「アクアマリンふくしま」など、子どもが楽しめる観光施設の存在が浜通り地方の特徴となっている。
- 現在は個人旅行が主流となり、以前に比べ「団体旅行」は減少しているが、会津地方の秋期・冬期は「団体旅行」の割合が3割を超えており、会津地方は「団体旅行」の行先として定着していることが窺える。
- 中通り地方は「一人旅」の割合がやや高く、夏期には14.7%に上っているが、ビジネスや研修などによる来訪者の多さが一つの要因とみられる。

調査地点×調査期

		n=	子ども連れの 家族旅行	大人の 家族旅行	夫婦旅行	カップル旅行	友人との旅行	団体旅行	一人旅	その他			
調査 地点 × 調査 期	全体	(3,151)	36.7		10.1	16.1	4.0	12.3	13.2	3.7	4.1		
	会津地方	小計	(1,481)	28.4		13.2	16.5	4.1	14.6	18.4	2.4	2.5	
		春期	(404)	22.3		18.3		27.0	3.5	17.3	6.9	2.2	
		夏期	(400)	50.3				17.3	13.5	4.8	6.3	5.3	
		秋期	(394)	14.5	6.9	12.2	4.6	22.8		32.0	3.3	3.8	
		冬期	(283)	25.4		9.2	11.7	3.5	11.0	34.3	2.1	2.8	
	中通り地方	小計	(695)	22.9	6.9		21.2	3.9	16.4	14.0	6.3	8.5	
		春期	(113)	15.0	12.4		36.3		7.1	2.7	7.1	8.8	10.6
		夏期	(116)	23.3		9.5	19.8	4.3	15.5	5.2	14.7	7.8	
		秋期	(148)	34.5		4.7	21.6	3.4	23.0		8.1	3.4	
		冬期	(318)	20.1	5.0	16.0	2.8	18.6		22.3	4.7	10.4	
	浜通り地方	小計	(975)	59.3				7.5	11.8	3.8	5.7	4.8	3.8
		春期	(225)	42.7		12.0		20.9		7.1	5.8	5.3	5.8
		夏期	(378)	68.8				6.3	7.9	2.9	2.4	9.3	
		秋期	(252)	66.3				4.8	7.1	2.0	9.9	3.2	3.6
		冬期	(120)	45.8		8.3		16.7	4.2	7.5	2.5	10.8	4.2

2%未満のデータは非表示 (%)

同行者

Q4 今回の旅行の同行人数と同行者についてお答えください。

～30代・40代を親とする「子ども連れの家族旅行」が圧倒的に多い～

- 今回の旅行の同行者を性別にみると、「子ども連れの家族旅行」「大人の家族旅行」「友人との旅行」は女性が高く、「一人旅」は男性が高くなる傾向がみられた。
- 年代別にみると、「子ども連れの家族旅行」は20歳未満と30代が5割を超え、40代も5割近くに上っている。30代・40代を親とする「子ども連れの家族旅行」が多いものとみられる。「夫婦旅行」は50代・60代で高く、子どもが独立した後に個人旅行を楽しむ様子が窺える。
- 居住地域別にみると、福島県、隣接県、関東など、自家用車で来訪可能な地域で「子ども連れの家族旅行」が高い。一方、海外を含む遠隔地域では「団体旅行」の割合が高めである。

性別、年代別、居住地域別

		n=	子ども連れの 家族旅行	大人の 家族旅行	夫婦旅行	カップル旅行	友人との旅行	団体旅行	一人旅	その他
全体		(2,796)	37.8		11.1	16.5	4.1	9.9	12.0	4.0
性別	男性	(1,244)	35.4	8.4	18.2	4.0	8.8	13.2	5.8	6.3
	女性	(1,552)	39.7	13.3	15.1	4.1	10.8	11.0	2.6	3.2

		n=	子ども連れの 家族旅行	大人の 家族旅行	夫婦旅行	カップル旅行	友人との旅行	団体旅行	一人旅	その他
全体		(2,788)	37.4	11.0	16.4	4.1	10.1	12.2	4.1	4.6
年代	20歳未満	(424)	54.2	5.0	5.2	30.9	3.8			
	20代	(290)	20.7	19.7	5.9	14.1	18.6	10.3	5.5	5.2
	30代	(519)	57.0	6.9	7.1	4.2	11.2	6.2	3.5	3.9
	40代	(530)	47.2	7.9	16.6	4.5	4.9	7.7	5.3	5.8
	50代	(460)	20.4	16.7	32.8	4.3	8.7	5.0	6.1	5.9
	60代	(379)	20.3	11.6	32.7	13.2	12.9	5.0	3.2	
	70歳以上	(186)	19.9	16.7	20.4	17.2	18.8	2.2	3.8	

		n=	子ども連れの 家族旅行	大人の 家族旅行	夫婦旅行	カップル旅行	友人との旅行	団体旅行	一人旅	その他
全体		(2,741)	37.4	11.3	16.7	4.1	9.6	12.1	4.1	4.7
居住地域	福島県	(444)	42.6	14.4	12.2	3.2	12.8	5.2	4.3	5.4
	隣接県	(915)	39.3	7.1	17.2	5.0	8.2	17.0	2.7	3.4
	北海道・東北	(104)	22.1	9.6	23.1	3.8	18.3	7.7	5.8	9.6
	関東	(969)	40.8	14.1	18.1	4.3	7.4	7.4	4.1	3.7
	中部・近畿	(229)	22.3	11.8	17.5	12.7	17.0	7.0	10.0	
	その他	(80)	7.5	10.0	8.8	2.5	15.0	43.8	7.5	5.0

2%未満のデータは非表示 (%)

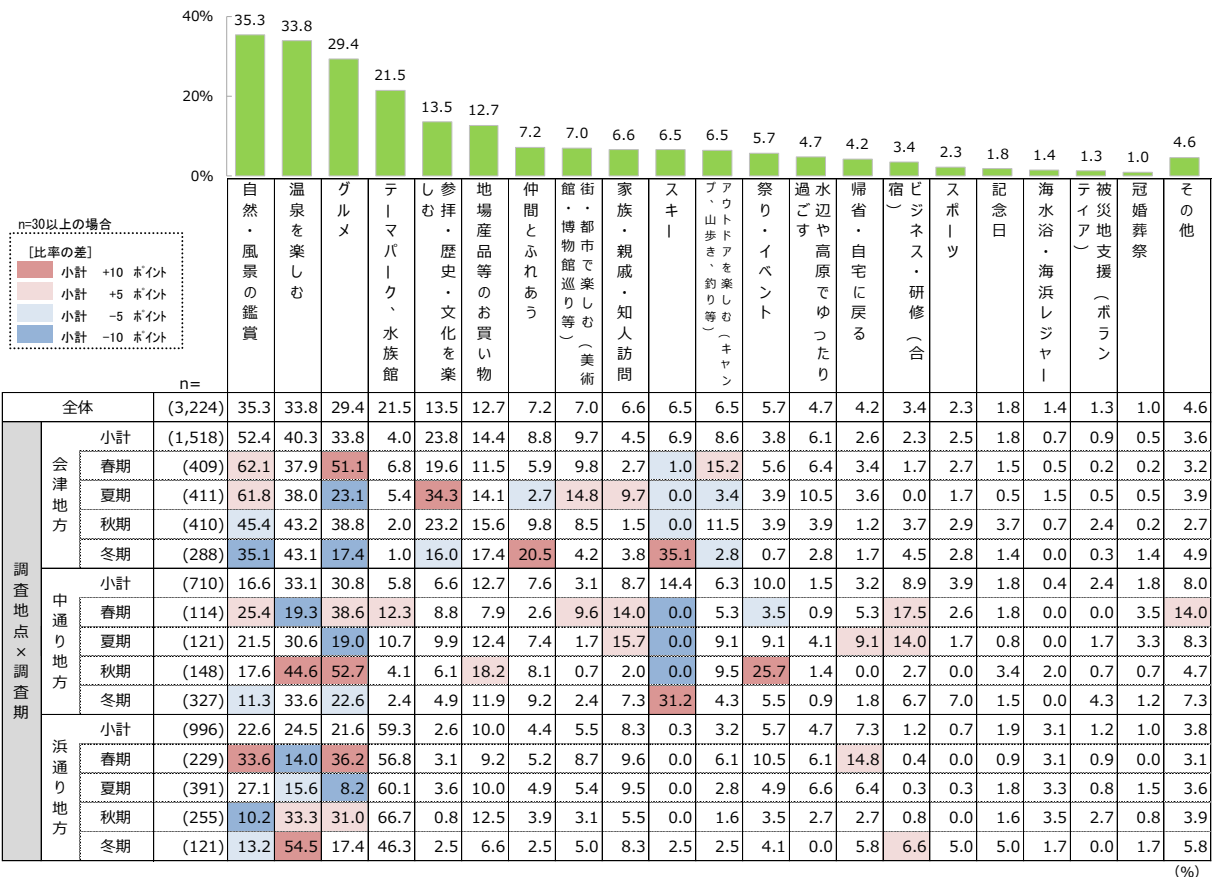
旅行の目的（調査地点・調査期別）

Q5 今回の旅行の目的についてお答えください。(複数回答可)

～「自然・風景の鑑賞」「温泉を楽しむ」は会津地方で高い回答率～

- 今回の旅行の目的については、全体で「自然・風景の鑑賞」が35.3%と最も多く、次いで「温泉を楽しむ」が33.8%、「グルメ」が29.4%と続いた。
- 調査地点別にみると、会津地方は「自然・風景の鑑賞」が他の地方よりも圧倒的に高く、特に夏期・秋期は6割を超えている。また「温泉を楽しむ」は年間を通し平均的に高く、「県内の観光地＝会津」のイメージが広く浸透していることが窺える。
- 「温泉を楽しむ」は、冬期では浜通りが最も高く、寒い時期には比較的温暖な場所の温泉が選ばれていることも窺える。また「テーマパーク、水族館」が年間を通して浜通り地方で圧倒的に高いのは当然の結果と言える。
- 調査期別の傾向をみると、「自然・風景の鑑賞」は新緑や桜の開花時期が重なる春期が最も高く、その後次第に低下している。一方、「温泉」は秋期から冬期にかけて、「グルメ」は春期と秋期が高くなっている。「スキー」は会津地方・中通り地方の冬期で3割を超えた。

調査地点×調査期



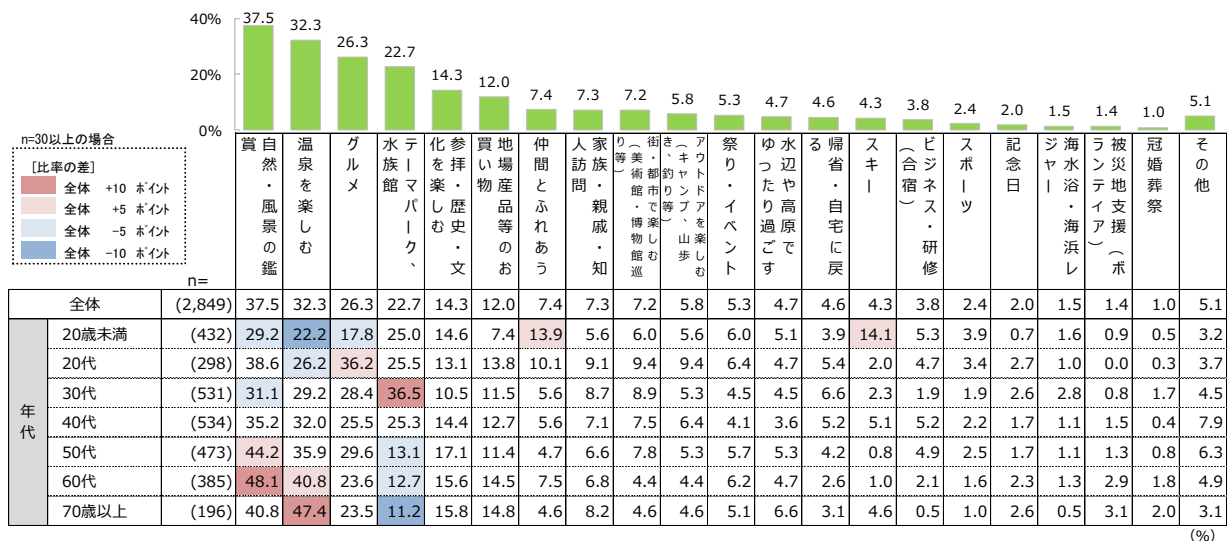
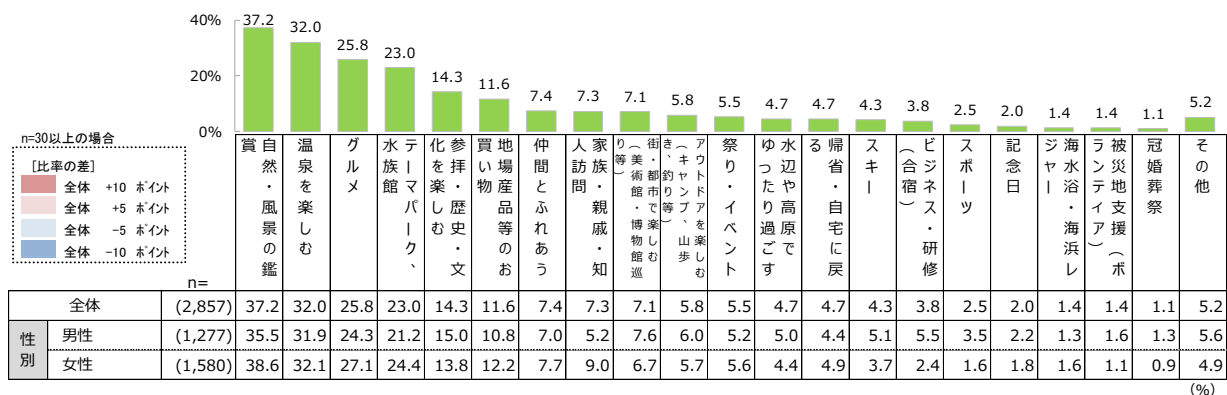
旅行の目的（性別・年代別）

Q5 今回の旅行の目的についてお答えください。(複数回答可)

～「自然・風景の鑑賞」「温泉を楽しむ」は50代以上から高い支持～

- 上位項目では、年代による回答率の違いがみられる。
- 旅行の目的を年代別にみると、「自然・風景の鑑賞」「温泉を楽しむ」については、特に50代以上からの回答が多く、若い世代との差がみられる。
- 「テーマパーク、水族館」は「子ども連れの家族旅行」に重なる30代からの回答が多く、50代以上と大きな開きがある。
- 「スキー」は20歳未満が14.1%と他の世代に比べ圧倒的に高く、教育旅行や学校行事によるものとみられる。

性別、年代別



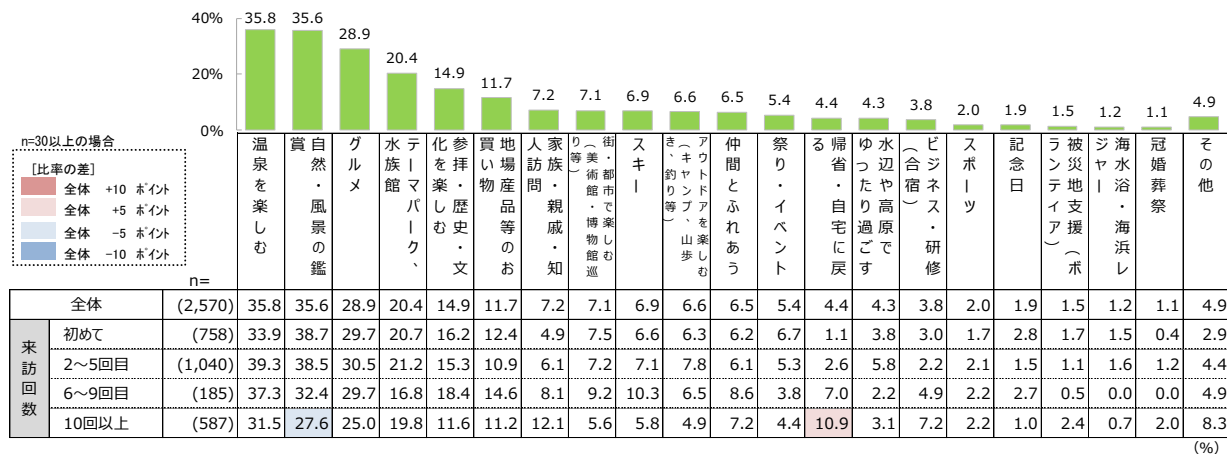
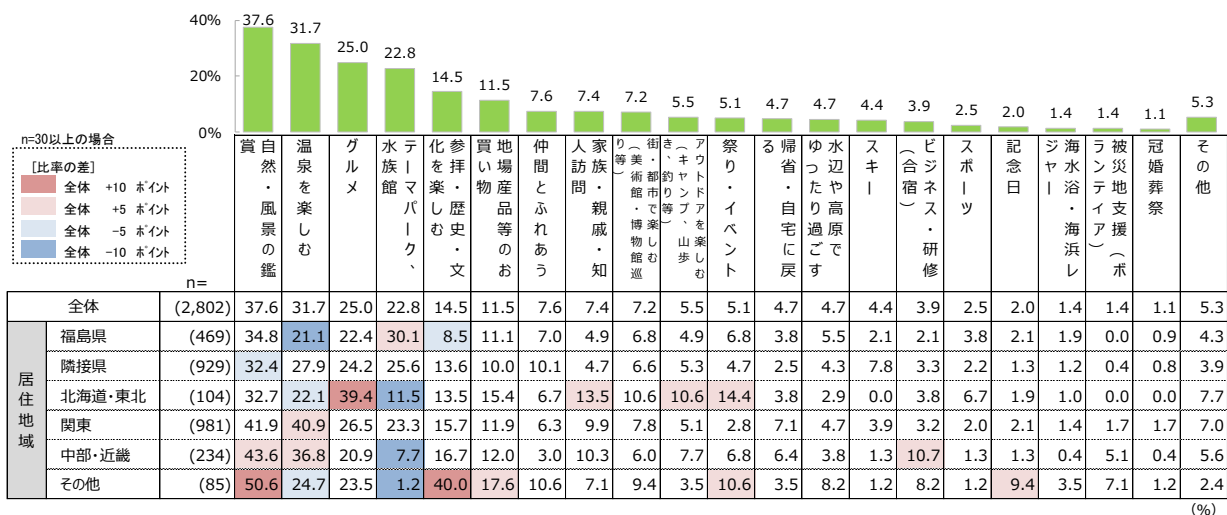
旅行の目的（居住地域・来訪回数別）

Q5 今回の旅行の目的についてお答えください。(複数回答可)

～「自然・風景」「温泉」は遠隔地域、「テーマパーク、水族館」は近隣から～

- 今回の旅行の目的を居住地域別にみると、「自然・風景の鑑賞」「温泉を楽しむ」は関東や中部・近畿などからの回答が多い。特に「温泉を楽しむ」については、福島県居住者の回答割合が他の地域より低かった。
- 「テーマパーク、水族館」は福島県と隣接県で回答が多く、手軽さがポイントになっている。
- 北海道・東北は「グルメ」への回答が高かった他、「祭り・イベント」など他の項目についても突出しているものはないが一定の回答が寄せられているのが特徴である。
- 10回以上の来訪者は、観光目的ではない「帰省・自宅に戻る」への回答が高く、上位項目への回答が低めである要因となっている。

居住地域別、来訪回数別



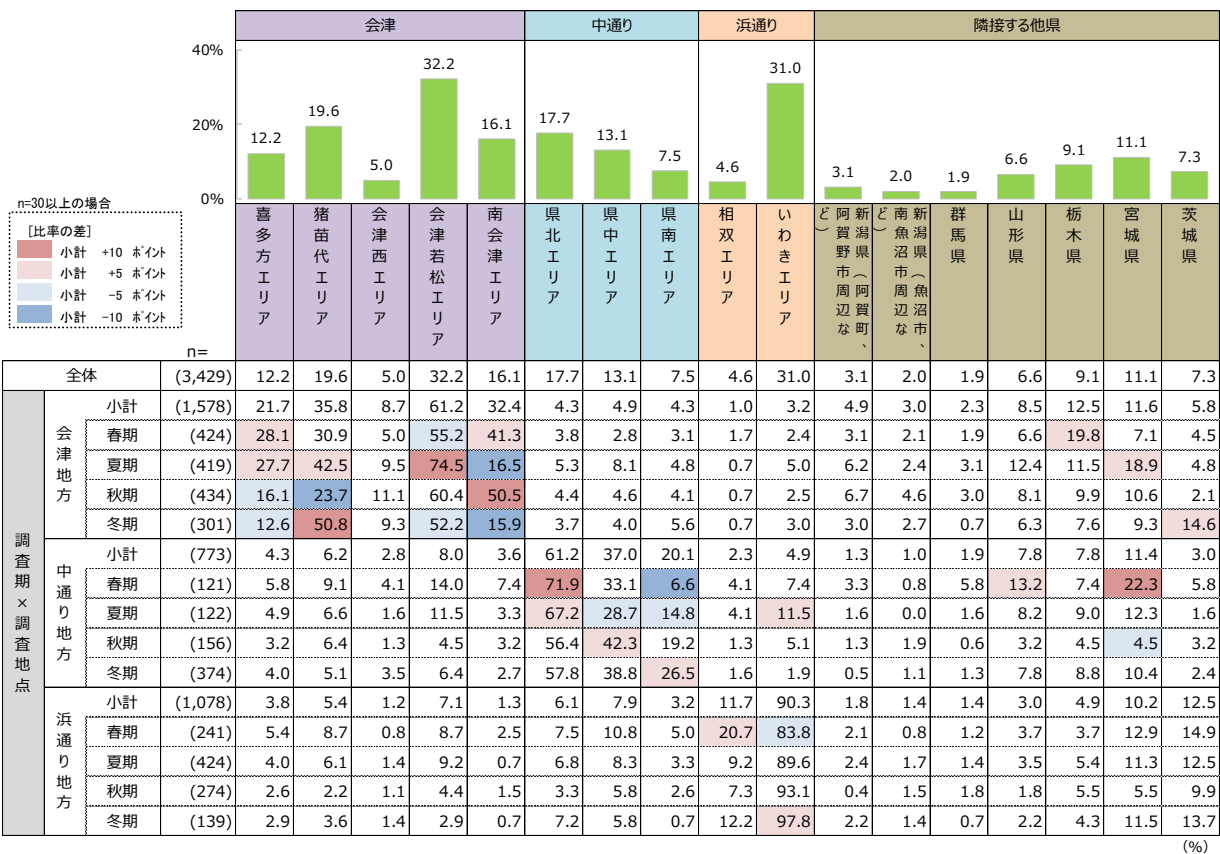
来訪エリア

Q6 今回、福島県および隣接地域で立ち寄った(または立ち寄る予定の)エリアをお答えください。(あてはまるもの全て)

～集客力の高い施設がある「会津若松」「いわき」エリアが突出～

- 今回の来訪エリアについて、それぞれの調査地点が含まれるエリアの来訪割合は当然高めとなるが、会津地方と浜通り地方は集客力の高い観光施設が含まれていることもあり、全体で「会津若松エリア」が32.2%、「いわきエリア」が31.0%と、2つのエリアで3割を超えた。
- 調査期別にみると、来訪割合が高い「会津若松エリア」「いわきエリア」は夏期に集中がみられ、夏休みを利用した子ども連れの家族旅行先として積極的に選ばれていることが窺える。
- 「県北エリア」「県中エリア」は、スキー目的の旅行者からの回答が目立ち、冬期の宿泊地として選ばれているものとみられる。

調査地点×調査期



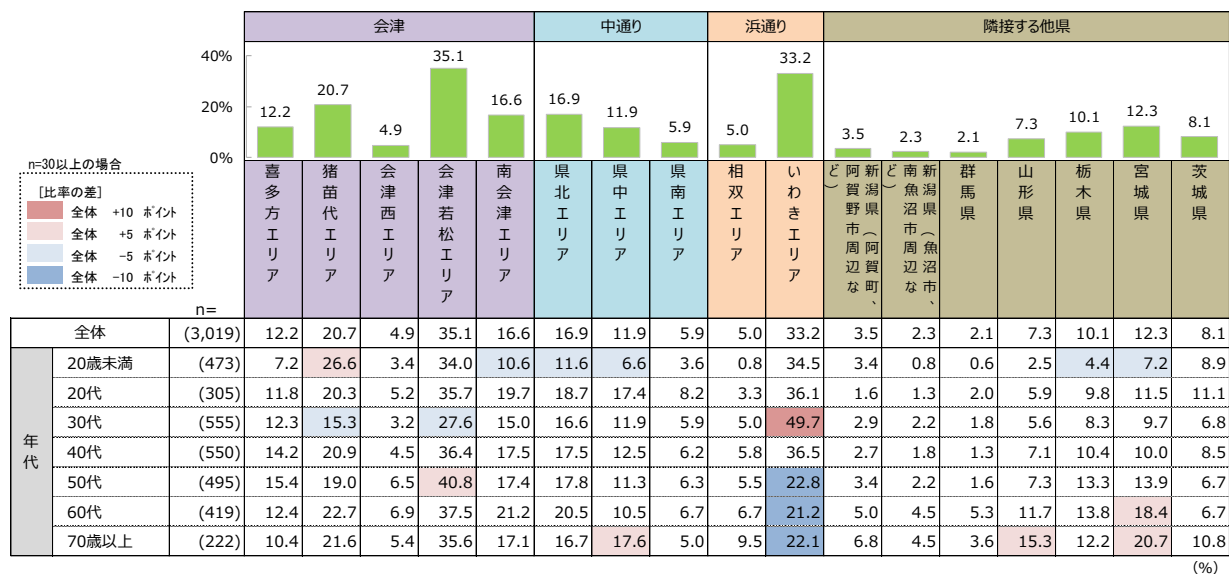
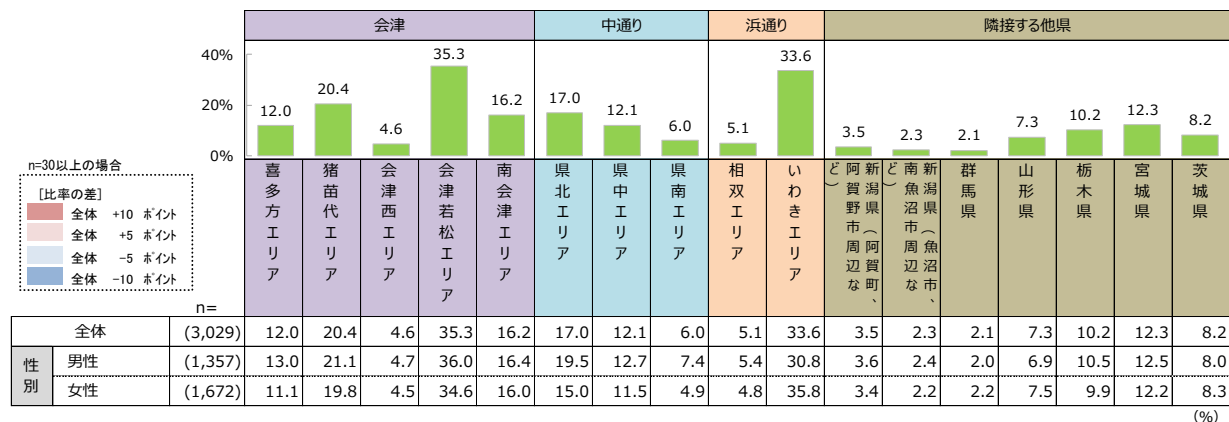
来訪エリア (性別・年代別)

Q6 今回、福島県および隣接地域で立ち寄った(または立ち寄る予定の)エリアをお答えください。(あてはまるもの全て)

～「猪苗代エリア」は20歳未満、「いわきエリア」は30代から高い回答～

- 今回の来訪エリアを性別でみると、会津地方・中通り地方のエリアはいずれも男性が上回り、「いわきエリア」は女性が上回った。
- 調査期別にみると、来訪割合が高い「会津若松エリア」「いわきエリア」は夏期に集中がみられ、夏休みを利用した子ども連れの家族旅行先として積極的に選ばれていることが窺える。
- 「県北エリア」「県中エリア」は、スキー目的の旅行者からの回答が目立ち、冬期の宿泊地として選ばれているものとみられる。

性別、年代別



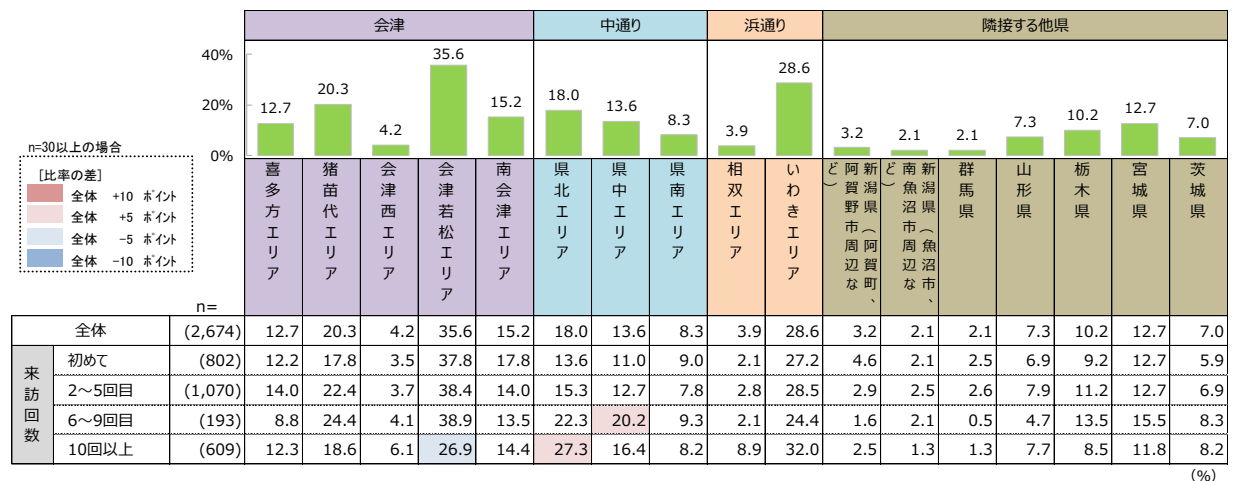
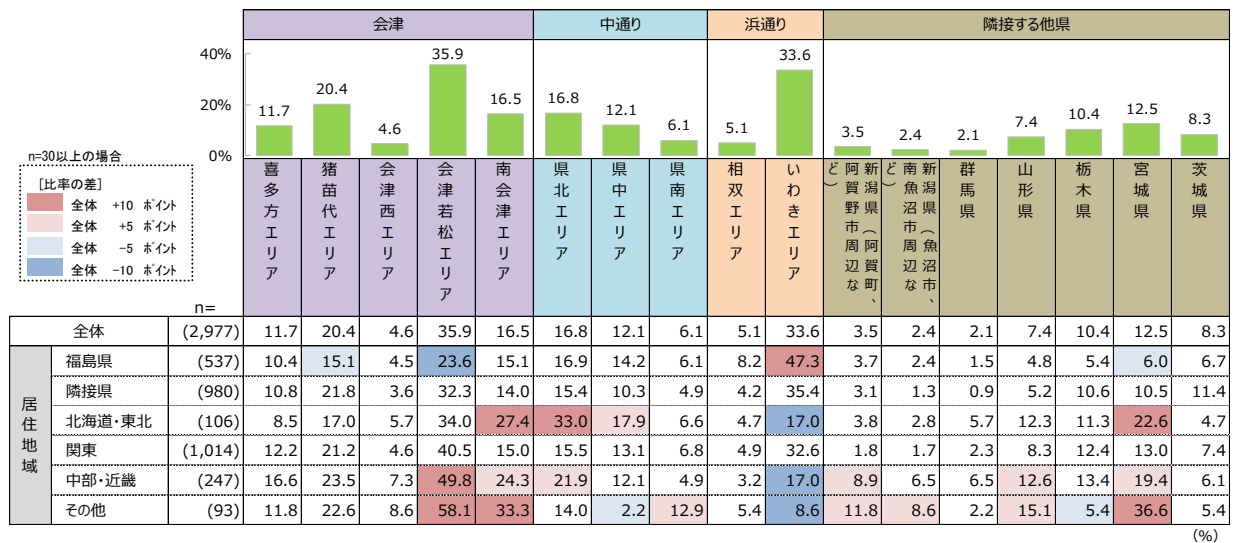
来訪エリア（居住地域・来訪回数別）

Q6 今回、福島県および隣接地域で立ち寄った(または立ち寄る予定の)エリアをお答えください。(あてはまるもの全て)

～「会津若松エリア」は遠隔地、「いわきエリア」は近隣からの訪問率が高い～

- 今回の来訪エリアを居住地域別にみると、「会津若松エリア」は関東以西、遠隔地域の居住者ほど割合が高い。「南会津エリア」についても同様の傾向がみられる。対照的に「いわきエリア」は福島県内居住者の訪問割合が最も高い。隣接県や関東の割合も高く、比較的近い場所からの家族旅行先として選ばれていることが窺える。
- 来訪回数別にみると、「会津若松エリア」「いわきエリア」は来訪回数に拘わらず訪問率が高い。初めて来訪した人では「南会津エリア」への訪問率が全体よりやや高かった。

居住地域別、来訪回数別



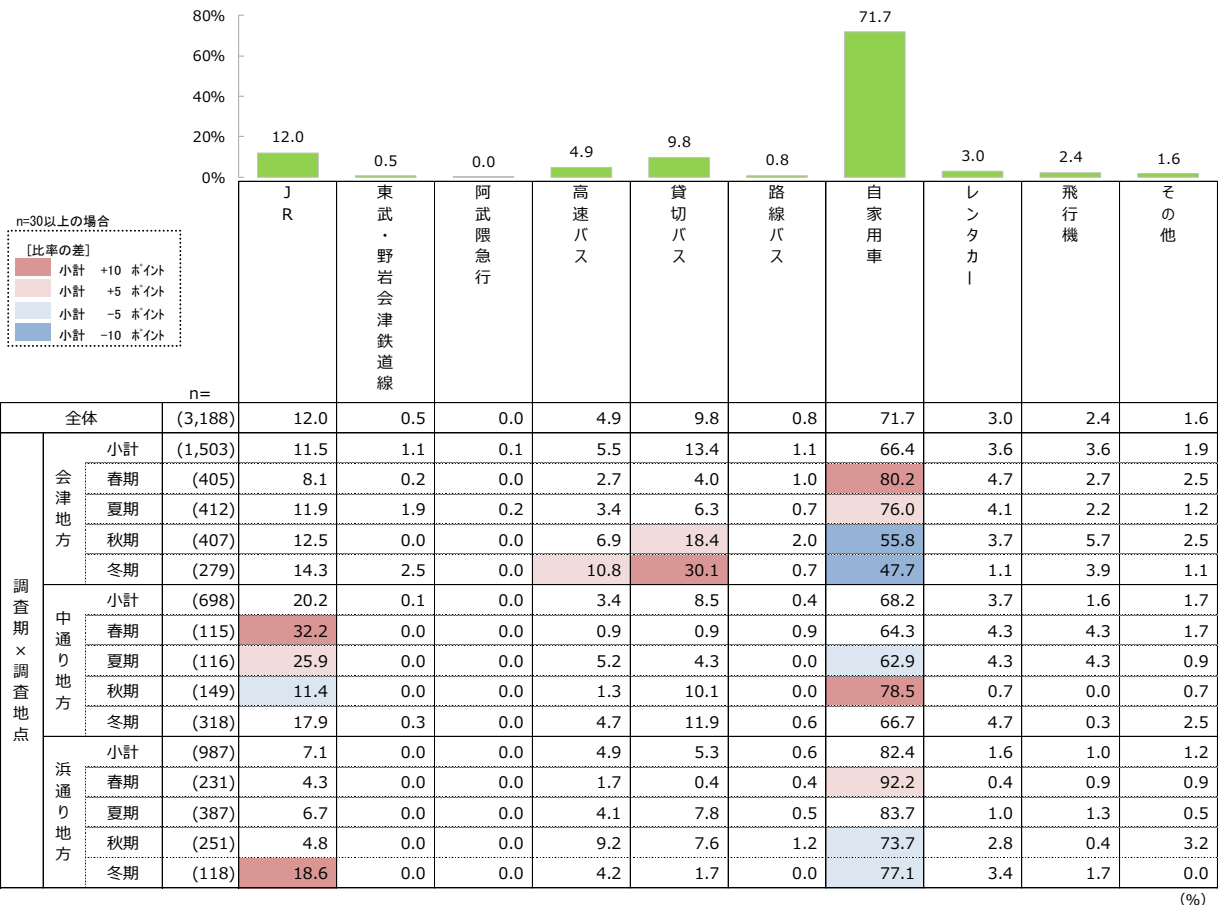
利用交通機関（福島県外の移動）

Q7 ご利用の交通機関についてお答えください。(予定も含む)(複数回答可)

～県外移動の利用交通機関は「自家用車」が圧倒的～

- 福島県外の移動における利用交通機関は、全体で「自家用車」が69.5%と圧倒的に高かった。福島県内の他、関東地方や東北地方など、隣接地域からの旅行者が多く、自家用車が最も便利な交通手段となっており、特に浜通り地方では約8割に上った。
- 調査期別にみると、「自家用車」は春期が最も高く、積雪のある冬期では「貸切バス」「JR」「高速バス」の割合が上昇している。会津地方の冬期では「自家用車」が5割を下回り、「貸切バス」が3割を占めている。

調査地点×調査期



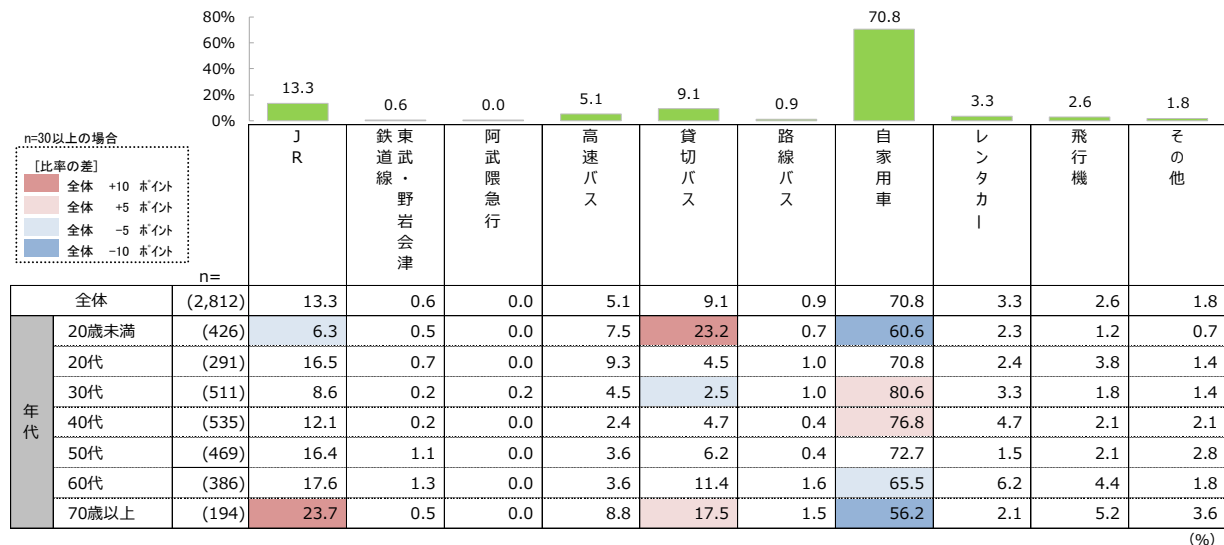
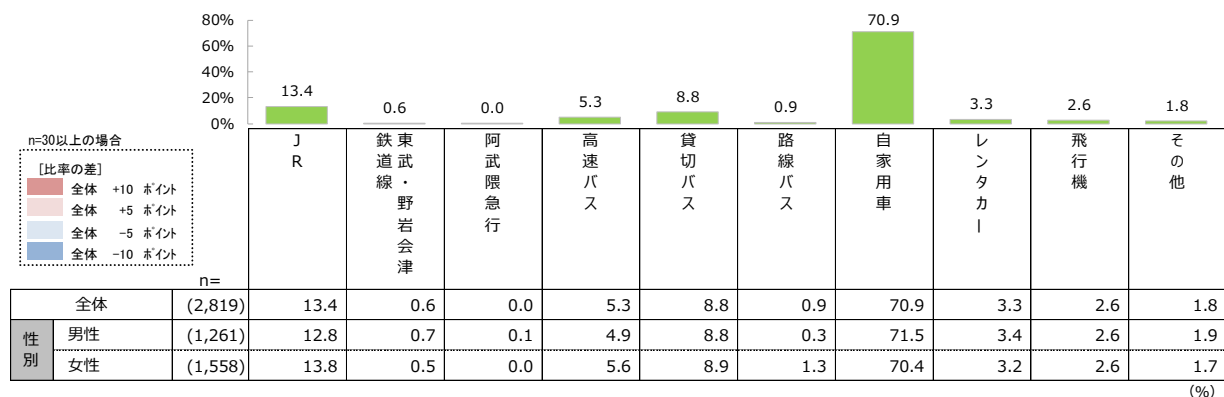
利用交通機関（福島県外の移動）（性別・年代別）

Q7 ご利用の交通機関についてお答えください。(予定も含む)(複数回答可)

～20歳未満は「貸切バス」、70歳以上は「JR」の利用率が高め～

- 福島県外の移動における利用交通機関を性別にみると、ともに「自家用車」が7割を超えるなど、男女による違いはみられなかった。
- 年代別にみると、団体旅行が多い20歳未満は「貸切バス」の割合が高かった。また、70歳以上は「JR」の割合が最も高く、「貸切バス」も20歳未満に次いで高かった。

性別、年代別



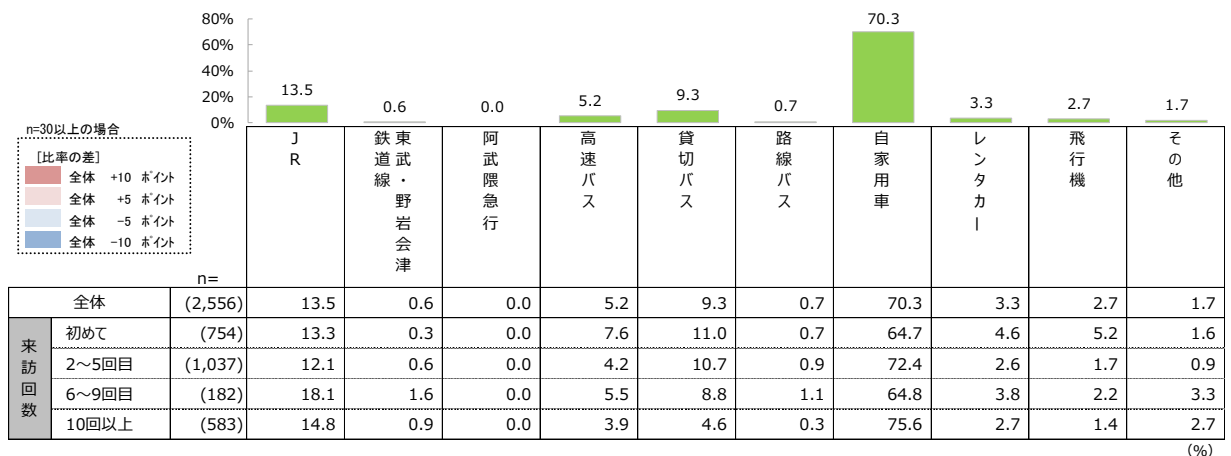
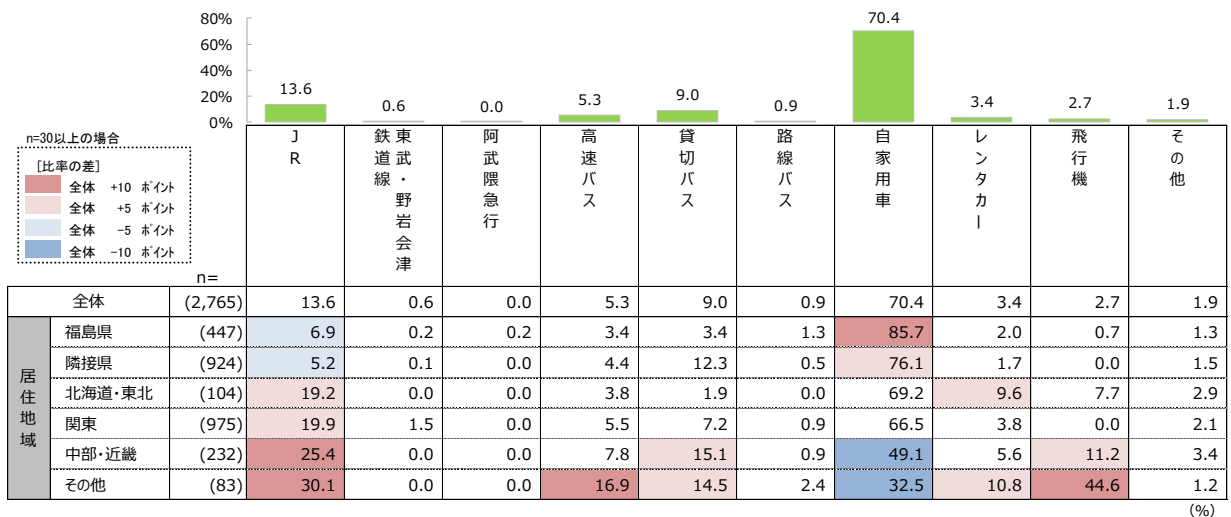
利用交通機関（福島県外の移動）（居住地・来訪回数別）

Q7 ご利用の交通機関についてお答えください。(予定も含む)(複数回答可)

～福島県から離れるほど「JR」「バス」「飛行機」の利用率が上昇～

- 福島県外の移動における利用交通機関を居住地別にみると、「自家用車」は特に福島県や隣接県で高く、遠隔地域では低い。
- 「JR」は福島県や隣接県では1割に満たず、遠隔地域になるほど利用率は高くなっている。遠隔地域では「高速バス」「貸切バス」の利用率も高い。「飛行機」はその他地域で利用率が4割を超えた。
- 来訪回数別にみると、「自家用車」は来訪回数10回以上の利用率が最も高かった。一方、「貸切バス」は来訪経験が浅いほど利用率が高かった。

居住地別、来訪回数別



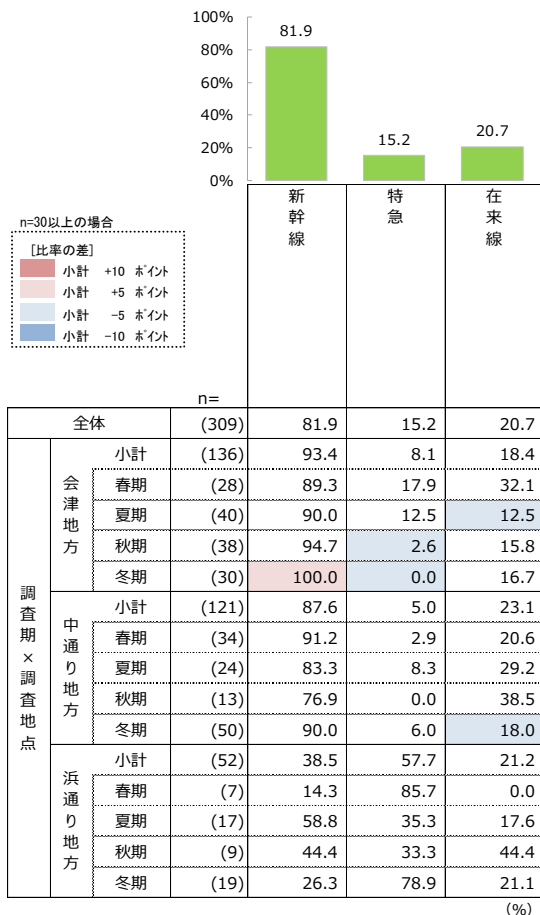
利用交通機関（福島県外の移動）（JR利用の詳細）

Q7 ご利用の交通機関についてお答えください。(予定も含む)(複数回答可)

～JR利用の内訳は「新幹線」が8割、「在来線」が2割～

- 福島県外の移動における交通手段として「JR」と回答した対象者では、「新幹線」の利用が8割を超えた。
- 浜通り地方への旅行については、「新幹線」の利用は不向きだと考える人が多く、「特急」の利用者が6割を超え最も多かった。
- 調査期別でみると、秋期は「在来線」の割合がやや高くなった。紅葉の時期に観光列車の利用者が増えたことが窺えるが、サンプリング数による偏りの可能性も考えられる。

調査地点×調査期



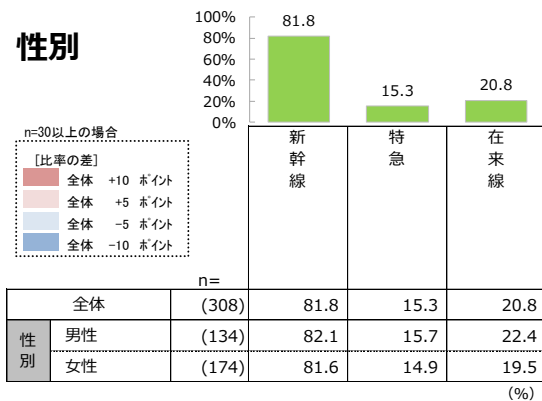
利用交通機関（福島県外の移動）（JR利用の詳細）

Q7 ご利用の交通機関についてお答えください。(予定も含む)(複数回答可)

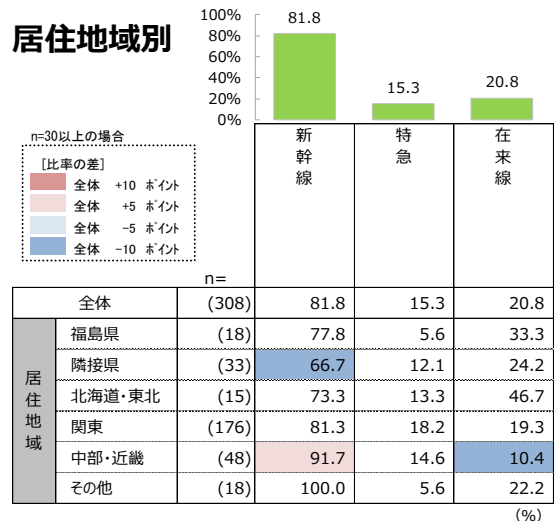
～JRは年代や来訪回数に拘わらず「新幹線」利用が圧倒的～

- JR利用の詳細を性別でみると、「新幹線」「特急」「在来線」のいずれも男性が女性を上回った。
- 年代別にみると、「新幹線」は70歳以上で9割を超え、20代・50代・60代でも8割を超えている。70歳以上は「在来線」でも利用率が最も高かった。
- 居住地域別では、関東居住者の利用が圧倒的に多く、「新幹線」に集中している。
- 来訪回数別では、初めて来訪した人で「在来線」の割合が高めとなった。

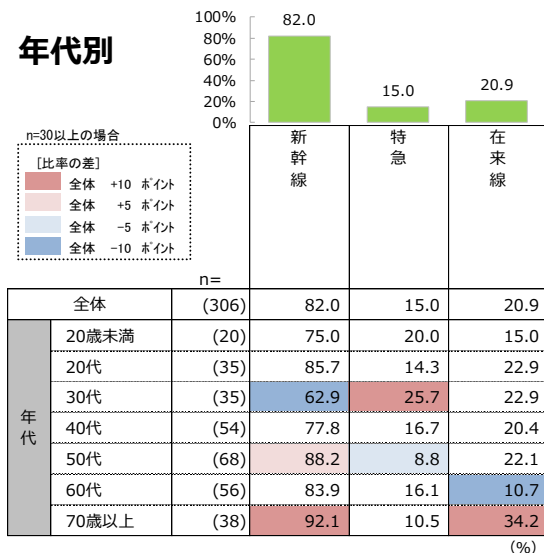
性別



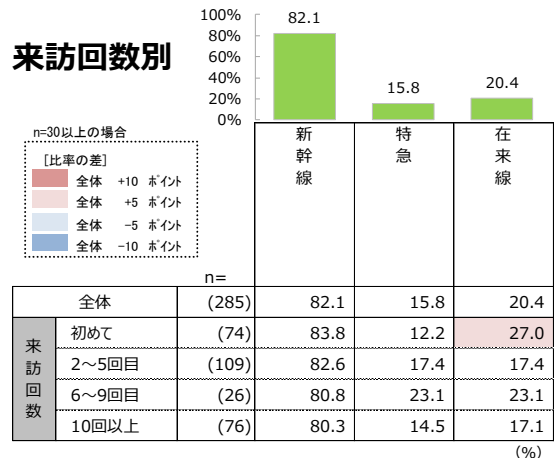
居住地域別



年代別



来訪回数別



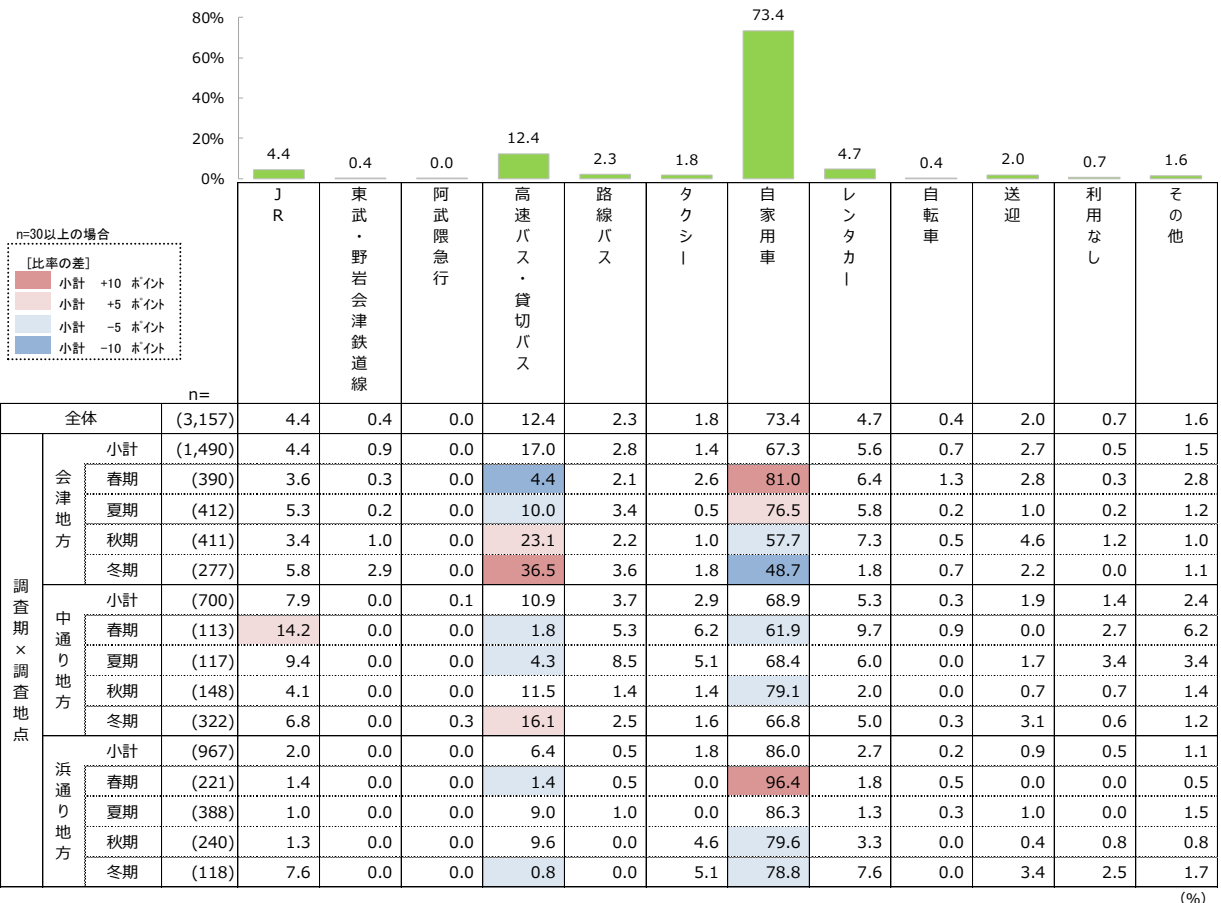
利用交通機関（福島県内の移動）

Q7 ご利用の交通機関についてお答えください。(予定も含む)(複数回答可)

～県内移動も「自家用車」の利用が圧倒的～

- 福島県内の移動における利用交通機関は、全体で「自家用車」が73.4%となり、福島県外の移動と同様、圧倒的に高かった。
- 電車やバスの運行本数など、福島県における交通環境の現状を考えると、広い県内を効率的に回るためには「自家用車」が最適である、もしくは「自家用車」を利用せざるを得ないと考える人が多いものとみられる。
- 県外移動と比較すると、「レンタカー」「路線バス」の利用が高く、「JR」が低い。
- 会津地方では、調査時期によって「自家用車」と「バス」の利用に大きな差がみられた。「東武・野岩会津鉄道線」の利用率は冬期で2.9%であった。

調査地点×調査期



(%)

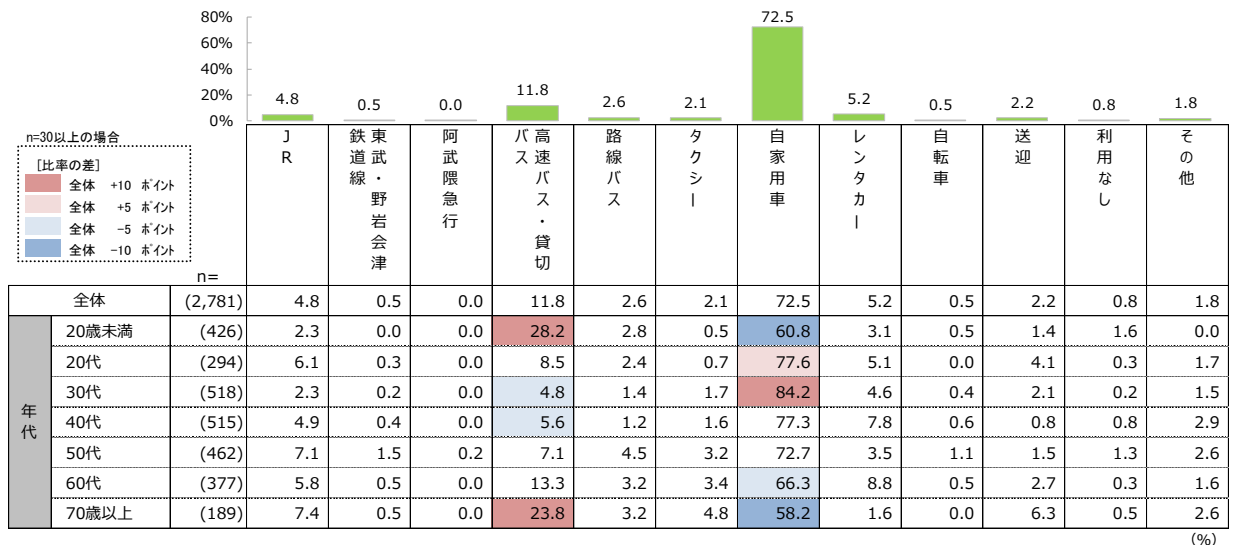
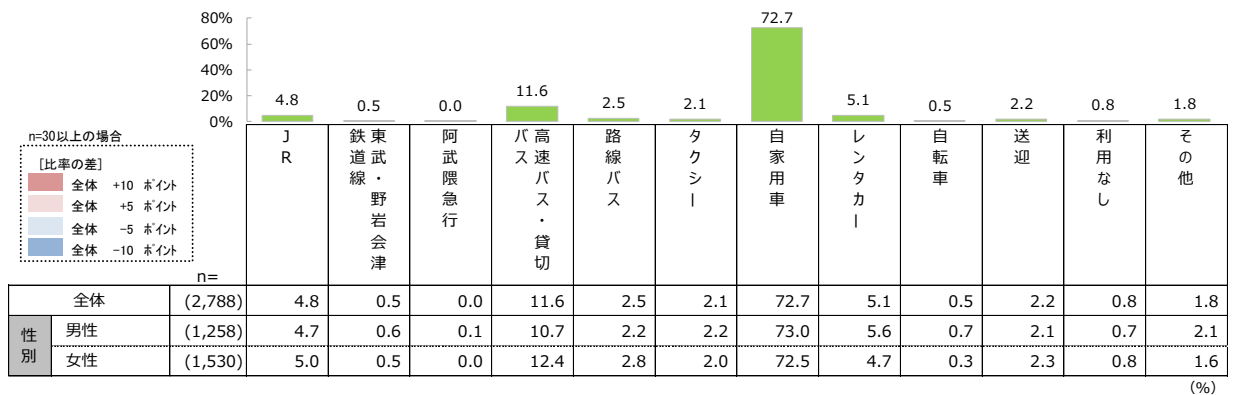
利用交通機関（福島県内の移動）（性別・年代別）

Q7 ご利用の交通機関についてお答えください。(予定も含む)(複数回答可)

～20歳未満と70歳以上は「高速バス・貸切バス」利用が目立つ～

- 福島県内の移動における利用交通機関を性別で見ると、女性が「バス」の利用でやや上回った以外は、大きな差はみられなかった。
- 年代別にみると、いずれの年代においても「自家用車」が最も高かった。20歳未満と70歳以上で「高速バス・貸切バス」が高いのは県外移動と同様である。
- 「レンタカー」は40代と60代でやや高く、「タクシー」は年代が上がるほど高い傾向がみられた。

性別、年代別



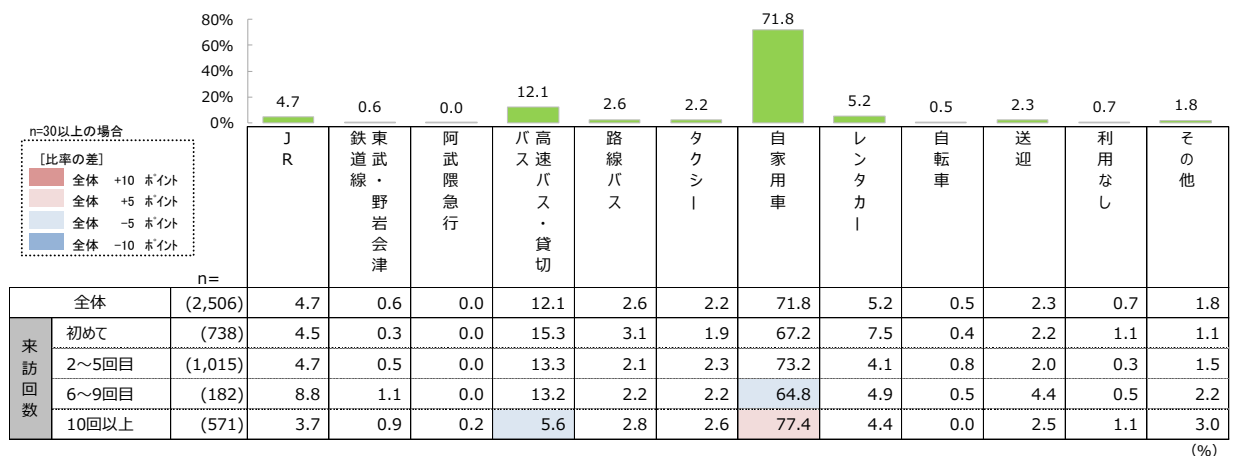
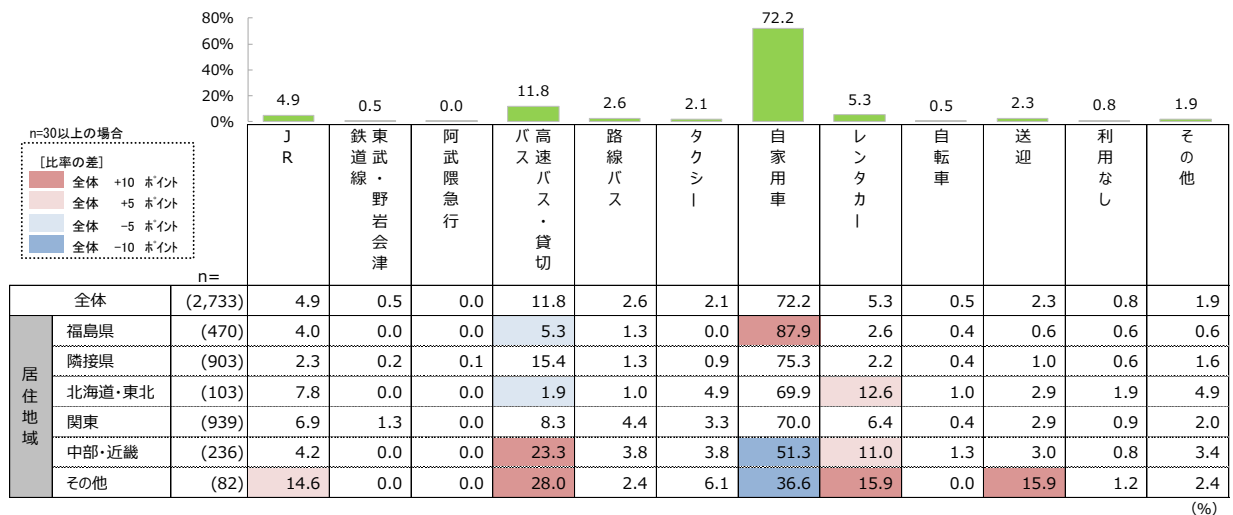
利用交通機関（福島県内の移動）（居住地・来訪回数別）

Q7 ご利用の交通機関についてお答えください。(予定も含む)(複数回答可)

～県内居住者の9割近くが県内移動で「自家用車」を利用～

- 福島県内の移動における利用交通機関を居住地別にみると、県内居住者は「自家用車」が9割近くに上る。
- 北海道・東北や中部・近畿、その他地域では「レンタカー」が1割を超えている。
- 来訪回数別にみると、10回以上では「自家用車」が最も高く、「高速バス・貸切バス」が最も低い。

居住地別、来訪回数別



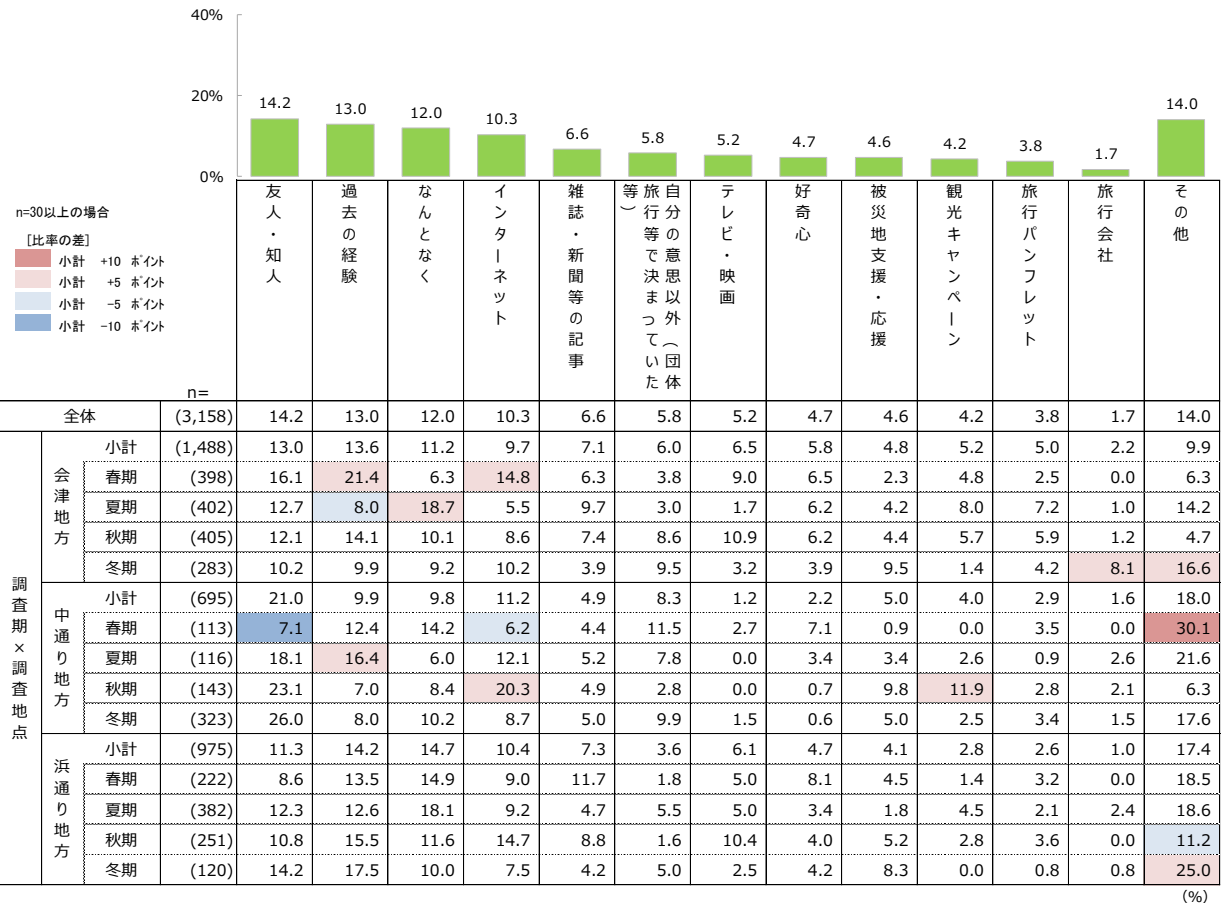
旅行先に福島県を選んだきっかけ

Q8 今回の旅行先に福島県を選んだ最も大きな「きっかけ」をお答えください。(最もあてはまるもの1つだけ)

～「友人・知人」からの勧めが最多、「なんとなく」も1割を超える～

- 旅行先に福島県を選んだきっかけとしては、全体で「友人・知人」が14.2%と最も高く、次いで「過去の経験」が13.0%、「なんとなく」が12.0%となった。
- 「インターネット」は全体で10.3%にとどまるが、中通り地方の秋期など、季節によって高い時期もあり、インターネット検索への対応は重視すべきポイントと考えられる。
- 浜通り地方は、すべての調査期で「なんとなく」が10%を超えており、近隣地域を中心に子ども連れの家族旅行先として、事前の計画なしに選ばれるケースが多いとみられる。
- その他では、仕事や学校行事（大会への参加等）、スパリゾートハワイアンズ等の特定施設への訪問、イベント参加、帰省などが挙げられた。

調査地点×調査期



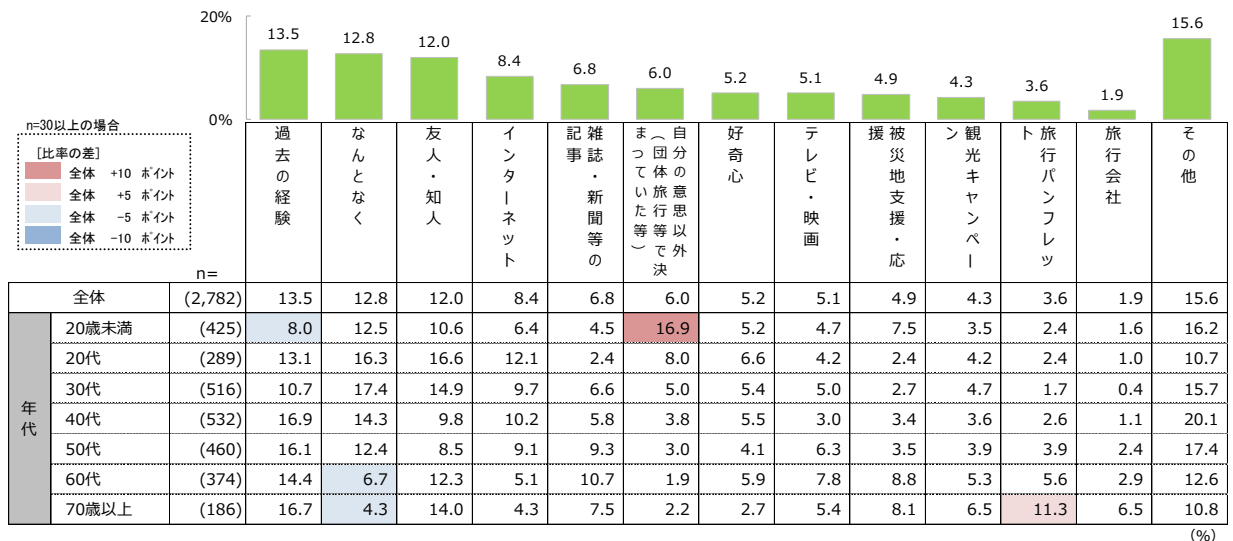
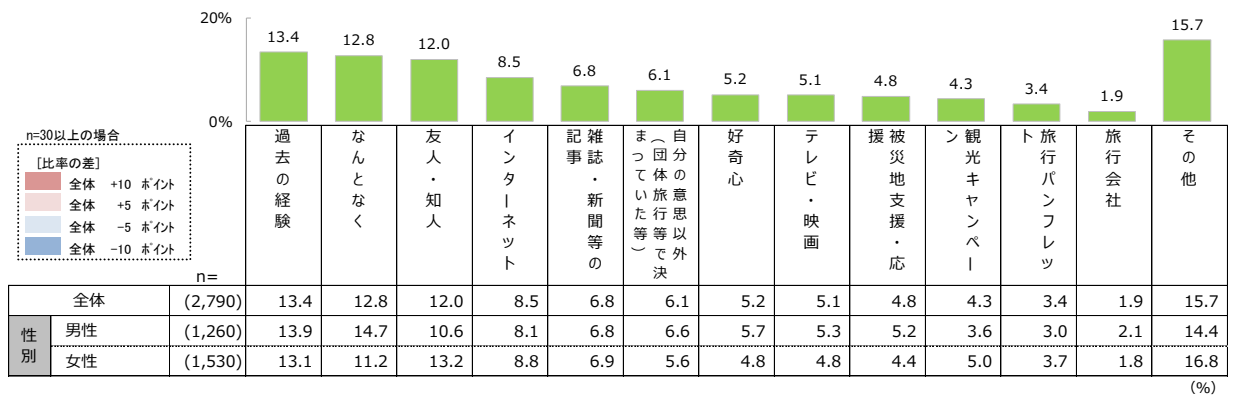
旅行先に福島県を選んだきっかけ（性別・年代別）

Q8 今回の旅行先に福島県を選んだ最も大きな「きっかけ」をお答えください。（最もあてはまるもの1つだけ）

～男性や若い年代は「なんとなく」決めている傾向が比較的強い～

- 旅行先に福島県を選んだきっかけを性別でみると、「なんとなく」は男性がやや高く、「友人・知人」は女性がやや高い結果となった。
- 年代別にみると、20歳未満は教育旅行や学校行事などの「自分の意思以外」が高かった。
- 「なんとなく」は60代・70代以上が低く、年代が上がるほど明確な目的で来訪する割合が高い傾向がみられた。
- 「その他」では、40代・50代でビジネス、20歳未満で学校行事といった回答が多く見られた。

性別、年代別



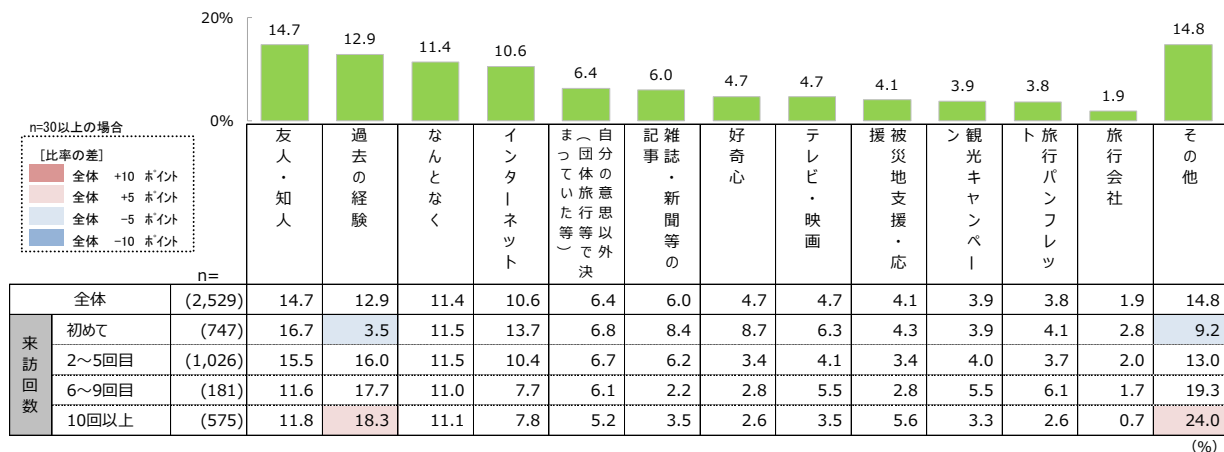
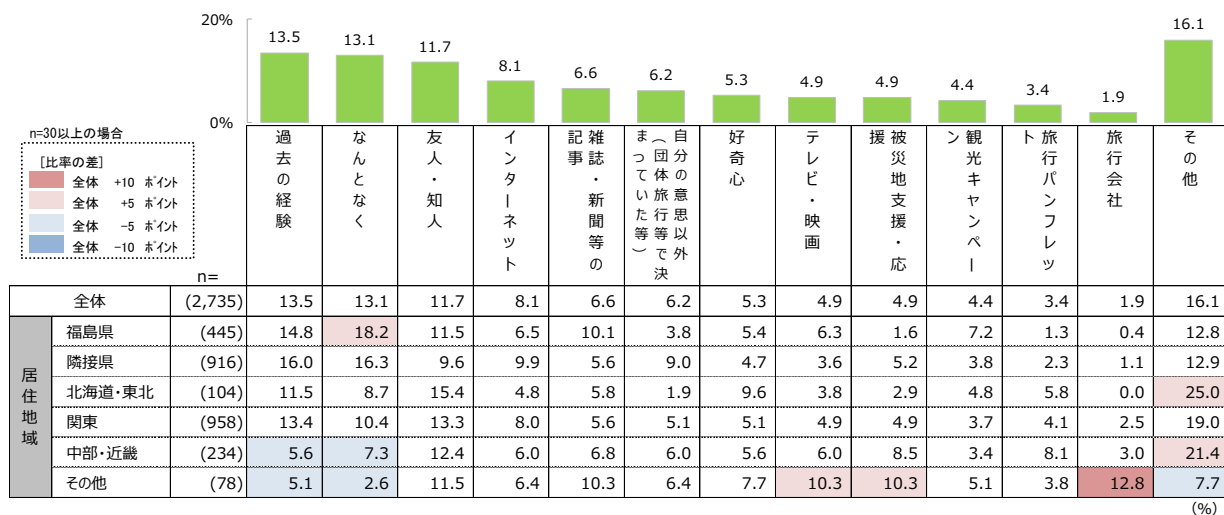
旅行先に福島県を選んだきっかけ（居住地・来訪回数別）

Q8 今回の旅行先に福島県を選んだ最も大きな「きっかけ」をお答えください。（最もあてはまるもの1つだけ）

～初めて来訪した人は「友人・知人」「インターネット」の情報を参考～

- 旅行先に福島県を選んだきっかけを居住地別にみると、「過去の経験」は福島県や隣接県のみならず、北海道・東北や関東と広範囲に及んでいる。
- 「なんとなく」は福島県や隣接県で特に高めである他、関東でも1割を超えている。「その他」について、中部・近畿ではビジネスや帰省の回答が目立ち、観光目的以外の来訪も多くみられた。
- 来訪回数別にみると、「友人・知人」「インターネット」は初めて来訪した人が最も高い。「その他」は実家への帰省も含まれることから、来訪回数が多いほど高くなっている。

居住地別、来訪回数別



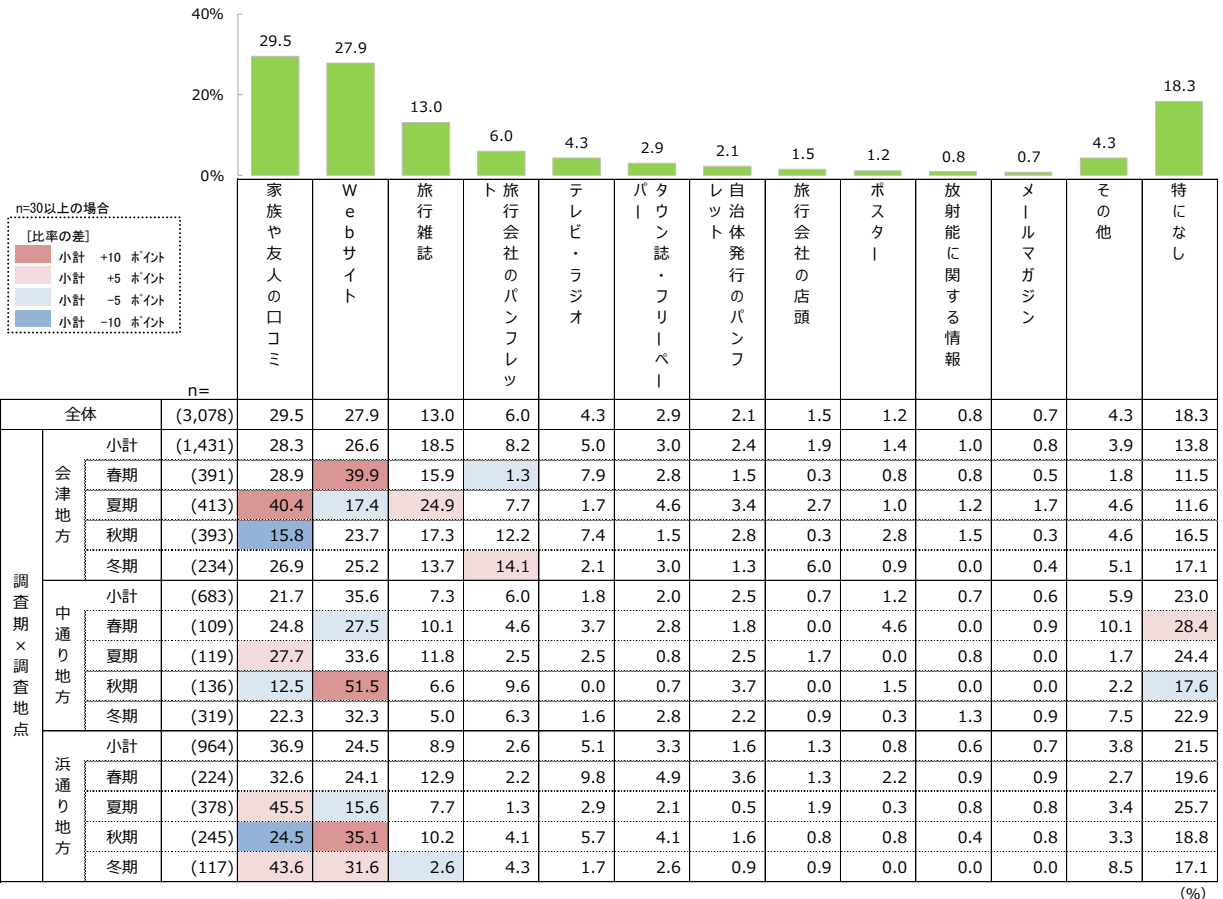
旅行前に参考にした情報源

Q9 今回の旅行前のスケジュール等で参考にした「情報源」をお答えください。(複数回答可)

～「家族や友人の口コミ」「Webサイト」を情報源として多く利用～

- 旅行前のスケジュール等で参考にした「情報源」としては、「家族や友人の口コミ」が29.5%で最も高く、次いで「Webサイト」が27.9%、「旅行雑誌」が13.0%と続いた。「放射能に関する情報」は全体で1%に満たず、来訪者の大半は気にしていない結果となった。
- 調査地点別にみると、浜通り地方は「家族や友人の口コミ」が圧倒的に高い。中通り地方は「Webサイト」が35.6%で最も高く、秋期には5割を超えるなど多くの人が参考としている。逆に「家族や友人の口コミ」は最も低い。
- 「Webサイト」は、会津地方では春期、中通り地方と浜通り地方では秋期が高かった。一方、「特になし」は中通り地方・浜通り地方で高いが、中通り地方はビジネス、浜通り地方は帰省の目的が多かったことが関連しているものとみられる。

調査地点×調査期



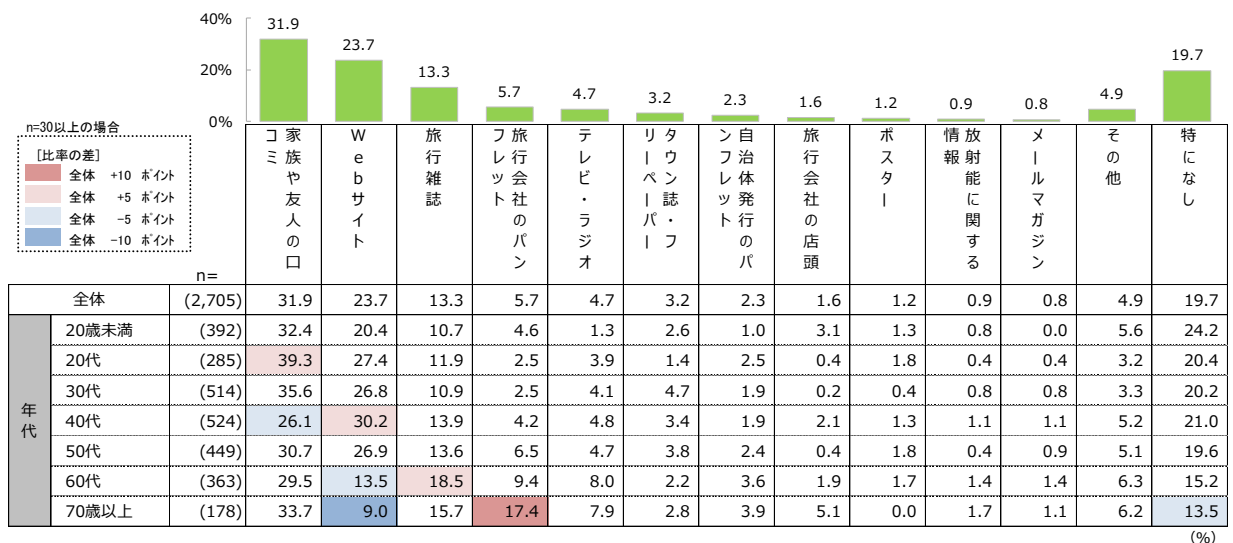
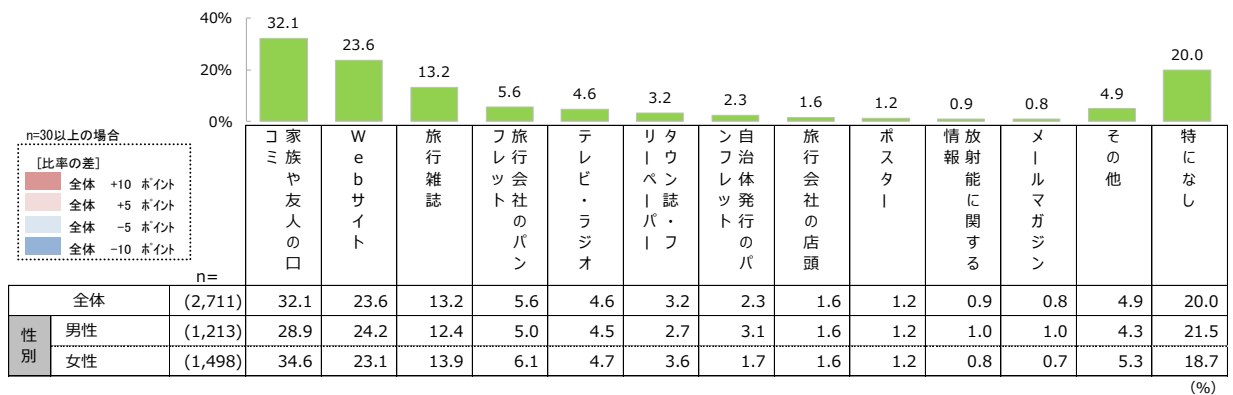
旅行前に参考にした情報源（性別・年代別）

Q9 今回の旅行前のスケジュールリング等で参考にした「情報源」をお答えください。（複数回答可）

～「口コミ」は女性が多く、高齢層は紙媒体を重視する傾向～

- 参考にした「情報源」を性別でみると、「家族や友人の口コミ」は女性が高めとなっている。
- 年代別にみると、40代は唯一「Webサイト」が「家族や友人の口コミ」を上回った。
- 「旅行雑誌」「旅行会社のパンフレット」は60代～70歳以上が他の年代より高く、年代が上がるほど紙媒体での情報を重視する傾向がみられた。

性別、年代別



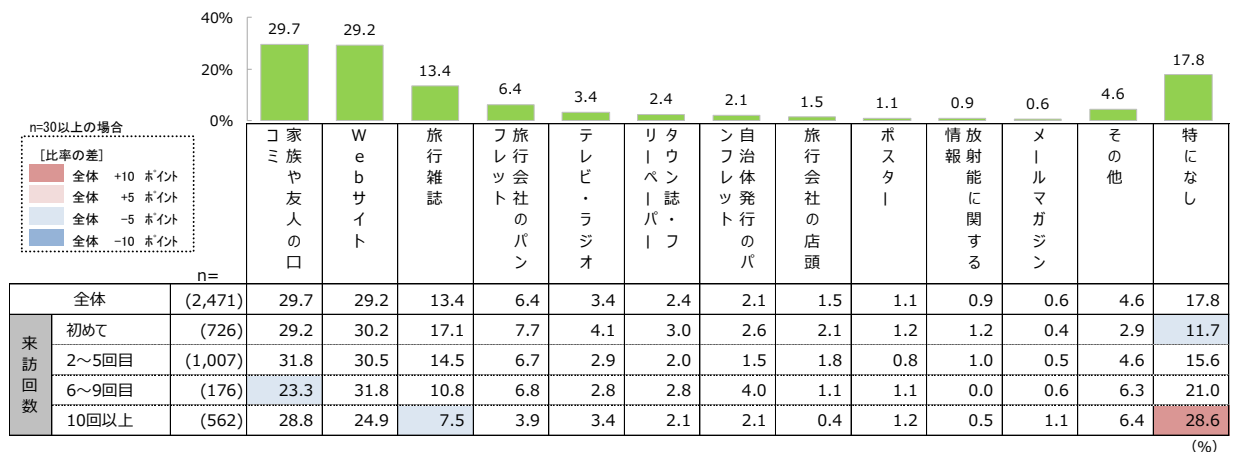
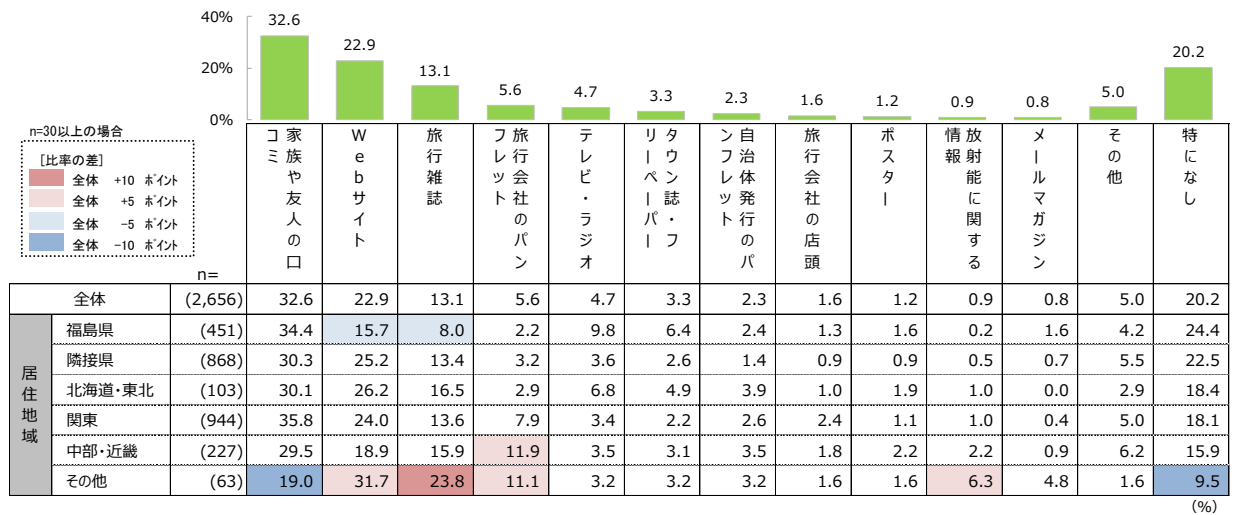
旅行前に参考にした情報源（居住地・来訪回数別）

Q9 今回の旅行前のスケジュールリング等で参考にした「情報源」をお答えください。（複数回答可）

～遠隔地域では「Webサイト」等の情報が重要～

- 参考にした「情報源」を居住地別にみると、福島県では不要の割合が高いとみられ、「Webサイト」「旅行雑誌」が低く「特になし」が高かった。
- 海外を含むその他地域では、福島県について知っている人が周りに少ないとみられ、「家族や友人の口コミ」が低く、「Webサイト」等の重要性が高い。また、「放射能に関する情報」が最も高かった。
- 来訪回数別にみると、回数が多いほど「特になし」が高くなる傾向がみられたが、それほど大きな違いはみられなかった。

居住地別、来訪回数別



旅行中の消費額（交通費）（ツアー以外）

Q10 今回の滞在中の福島県内でのご使用金額(1人あたり)をお答えください。(予定も含む)

～交通費は「2万円未満」が全体の約9割に上る～

- 旅行中の交通費については、福島県外・県内ともに自家用車の利用が7割を超えていることから、全体で「5千円未満」が42.3%と4割を超えた。次いで「5千円以上1万円未満」が25.7%、「1万円以上2万円未満」が20.2%と続き、2万円未満が約9割を占めた。
- 調査地点別にみると、近隣地域からの手軽な家族旅行が多いとみられる浜通り地方は「5千円未満」が最も高かった。

交通費

		n=	5千円未満	5千円以上 1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 3万円未満	3万円以上 4万円未満	4万円以上 5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上	
調査地点×調査期	全体	(1,309)	42.3		25.7		20.2		7.8	2.2	
	会津地方	小計	(610)	40.8		24.4		20.0		9.8	2.8
		春期	(188)	42.0		24.5		17.6		11.2	2.1
		夏期	(189)	39.7		22.8		23.3		10.1	3.2
		秋期	(127)	37.8		29.1		17.3		8.7	3.1
		冬期	(106)	44.3		21.7		21.7		8.5	2.8
	中通り地方	小計	(268)	38.1		30.6		18.7		9.0	
		春期	(87)	31.0		35.6		17.2		14.9	
		夏期	(51)	43.1		31.4		17.6		5.9	2.0
		秋期	(38)	55.3		23.7		13.2		5.3	2.6
		冬期	(92)	34.8		28.3		22.8		6.5	3.3
	浜通り地方	小計	(431)	47.1		24.6		21.6		4.2	
		春期	(141)	48.2		24.1		22.7		4.3	
		夏期	(136)	45.6		27.2		19.1		5.1	
		秋期	(88)	54.5		18.2		20.5		4.5	
		冬期	(66)	37.9		28.8		25.8		4.5	

2%未満のデータレベルは非表示 (%)

旅行中の消費額（宿泊費）（ツアー以外）

Q10 今回の滞在中の福島県内でのご使用金額(1人あたり)をお答えください。(予定も含む)

～宿泊費は「2万円未満」が全体の7割、中通り地方は抑える傾向～

- 旅行中の宿泊費については、全体で「1万円以上2万円未満」が40.5%で最も高く、「2万円未満」が全体の7割を占めた。
- 調査地点別にみると、ビジネス目的での来訪が多い中通り地方は「5千円以上1万円未満」が最も高く、「5千円未満」も会津地方・浜通り地方より高めとなり、宿泊費を抑える傾向がみられた。
- 会津地方は「2万円以上」が中通り地方・浜通り地方より高く、宿泊費は、「1万円以上2万円未満」が全体の44.0%であり、「購入していない」を合わせると全体の65.6%が2万円未満であった。

宿泊費

		n=	5千円未満	5千円以上 1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 3万円未満	3万円以上 4万円未満	4万円以上 5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上	
全体		(1,036)	6.6	23.4	40.5			17.7	7.3	2.8	
調査地点 × 調査期	会津地方	小計	3.2	16.3	45.6			20.4	9.7	2.2	
		春期		17.2	41.0			25.4	8.2	3.3	
		夏期	5.4	15.0	42.9			21.1	10.9	3.4	
		秋期	3.4	19.5	47.1			18.4	6.9	2.3	
		冬期	2.8	14.7	53.2			15.6	11.9		
	中通り地方	小計	(289)	13.8		37.4		26.0	13.8	5.2	3.1
		春期	(86)	11.6		43.0		26.7	10.5	5.8	3.3
		夏期	(61)	18.0		47.5		23.0	9.8		
		秋期	(28)	3.6	28.6	32.1		32.1		3.6	
		冬期	(114)	15.8		29.8		25.4	14.0	7.9	5.3
	浜通り地方	小計	(282)	4.6	20.6	47.2			17.0	5.7	3.5
		春期	(59)	3.4	25.4	44.1			20.3	3.4	3.4
		夏期	(80)	11.3	11.3	48.8			16.3	8.8	2.5
		秋期	(67)	3.0	16.4	52.2			19.4	6.0	
		冬期	(76)		30.3	43.4			13.2	6.6	6.6

2%未満のデータレベルは非表示 (%)

旅行中の消費額（飲食費）（ツアー以外）

Q10 今回の滞在中の福島県内でのご使用金額(1人あたり)をお答えください。(予定も含む)

～飲食費は「5千円未満」が全体の約5割、「1万円以上」は2割～

- 旅行中の飲食費については、全体で「5千円未満」が48.9%で最も高く、次いで「5千円以上1万円未満」が28.8%、「1万円以上2万円未満」が18.4%と続き、「2万円以上」は僅かであった。
- 調査地点別にみると、浜通り地方は福島県内居住者の割合が高いこともあり、「5千円未満」が5割を超え最も高い。

飲食費

			5千円未満	5千円以上 1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 3万円未満	3万円以上 4万円未満	4万円以上 5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上
全体			n=							
	小計	(1,388)	48.9			28.8			18.4	2.1
調査地点 × 調査期	会津地方	小計	(622)	46.9			30.7		19.3	2.1
		春期	(179)	52.5			20.1		22.9	2.8
		夏期	(210)	38.6			35.2		23.8	
		秋期	(128)	50.0			32.8		14.1	
		冬期	(105)	50.5			37.1		10.5	
	中通り地方	小計	(310)	43.2			31.6		20.0	2.9
		春期	(87)	39.1			35.6		23.0	2.3
		夏期	(67)	40.3			35.8		17.9	3.0
		秋期	(43)	48.8			34.9		16.3	
		冬期	(113)	46.0			24.8		20.4	4.4
浜通り地方	小計	(456)	55.5			24.3		16.0		
	春期	(151)	63.6			15.9		19.2		
	夏期	(141)	50.4			28.4		16.3	2.8	
	秋期	(89)	58.4			28.1		10.1		
	冬期	(75)	45.3			29.3		16.0	4.0	

2%未満のデータは非表示 (%)

旅行中の消費額（買物代）（ツアー以外）

Q10 今回の滞在中の福島県内でのご使用金額(1人当たり)をお答えください。(予定も含む)

～買物代は「1万円未満」が全体の8割～

- 旅行中の買物代については、全体で「5千円未満」が54.1%と5割を超え、次いで「5千円以上1万円未満」が26.1%、「1万円以上2万円未満」が15.9%と続いた。
- 調査地点別にみると、飲食費と同様、浜通り地方は「5千円未満」が最も高かった。
- 会津地方では「1万円以上2万円未満」、中通り地方では「5千円以上1万円未満」が他の地方より高めとなった。

買物代

			5千円未満	5千円以上 1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 3万円未満	3万円以上 4万円未満	4万円以上 5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上
全体			n=							
	全体	(1,294)	54.1	26.1	15.9	2.7				
調査地点 × 調査期	会津地方	小計	(591)	53.1	25.2	17.3	3.0			
		春期	(166)	52.4	22.9	19.9	3.6			
		夏期	(200)	56.0	27.5	13.0	3.0			
		秋期	(121)	40.5	24.0	28.1	4.1	3.3		
		冬期	(104)	63.5	26.0	8.7				
	中通り地方	小計	(279)	49.5	31.5	15.1	2.2			
		春期	(79)	49.4	38.0	10.1				
		夏期	(57)	54.4	24.6	12.3	5.3			
		秋期	(38)	55.3	31.6	10.5	2.6			
		冬期	(105)	44.8	30.5	21.9				
	浜通り地方	小計	(424)	58.5	23.8	14.6	2.6			
		春期	(124)	60.5	24.2	11.3	4.0			
		夏期	(145)	61.4	19.3	15.2	3.4			
		秋期	(85)	54.1	31.8	14.1				
		冬期	(70)	54.3	22.9	20.0				

2%未満のデータレベルは非表示 (%)

旅行中の消費額（その他）（ツアー以外）

Q10 今回の滞在中の福島県内でのご使用金額(1人当たり)をお答えください。(予定も含む)

～その他の出費は「1万円未満」が約9割と節約傾向～

- 旅行中のその他消費額（施設入場料等）については、全体で「5千円未満」が67.3%、「5千円以上1万円未満」が20.2%と、「1万円未満」が9割近くを占めた。
- 調査地点別でみた差はそれほど大きくなく、全体的に目的以外の出費は節約する傾向が窺える。

その他（施設入場料等）

		n=	5千円未満	5千円以上 1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 3万円未満	3万円以上 4万円未満	4万円以上 5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上	
調査地点×調査期	全体	(697)	67.3	20.2	10.2						
	会津地方	小計	(292)	67.1	21.6	10.6					
		春期	(53)	73.6	17.0	7.5					
		夏期	(120)	65.8	23.3	10.8					
		秋期	(58)	70.7	20.7	8.6					
		冬期	(61)	60.7	23.0	14.8					
	中通り地方	小計	(121)	64.5	18.2	12.4	4.1				
		春期	(35)	77.1	20.0	2.9					
		夏期	(33)	66.7	15.2	9.1	6.1	3.0			
		秋期	(14)	57.1	28.6	7.1	7.1				
		冬期	(39)	53.8	15.4	28.2	2.6				
	浜通り地方	小計	(284)	68.7	19.7	8.8					
		春期	(94)	70.2	18.1	10.6					
		夏期	(104)	67.3	24.0	6.7					
		秋期	(45)	75.6	20.0	4.4					
		冬期	(41)	61.0	12.2	14.6	4.9	4.9	2.4		

2%未満のデータレベルは非表示 (%)

旅行中の消費額（使用総額）（ツアー以外）

Q10 今回の滞在中の福島県内でのご使用金額(1人あたり)をお答えください。(予定も含む)

～県内での使用総額は「3万円未満」が全体の約7割～

- 旅行中における福島県内での使用総額については、全体で「1万円以上2万円未満」が24.2%で最も高く、「2万円以上3万円未満」が20.3%、「3万円以上4万円未満」が13.7%と続き、「3万円未満」が約7割を占めた。
- 調査地点別にみると、中通り地方・浜通り地方で「1万円以上2万円未満」が最も高かったのに対し、会津地方は「2万円以上3万円未満」が最も高かった。
- いずれの地方においても、自家用車の利用割合が低下する冬期は使用総額が高めの傾向がみられる。

福島県内での使用総額

		n=	5千円未満	5千円以上 1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 3万円未満	3万円以上 4万円未満	4万円以上 5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上	
全体		(1,692)	10.0	12.5	24.2	20.3	13.7	5.8	11.9		
調査地点×調査期	会津地方	小計	(756)	7.7	14.9	18.7	22.0	15.2	6.2	13.9	
		春期	(247)	12.1	19.4	17.4	20.2	11.3	5.3	12.6	
		夏期	(240)	7.5	16.3	17.5	20.8	13.8	6.3	17.1	
		秋期	(146)	6.8	15.1	19.2	21.2	16.4	6.8	11.6	2.7
		冬期	(123)	3.3	22.8		28.5	24.4	7.3	13.0	
	中通り地方	小計	(350)	3.1	15.4	34.9	19.7	15.4	7.1	12.6	
		春期	(102)	2.9	22.9	39.2	16.7	13.7	9.8	14.7	
		夏期	(68)			50.0	13.2	13.2	7.4	13.2	
		秋期	(53)	11.3	11.3	26.4	24.5		20.8	3.8	
		冬期	(127)	7.1	26.8		23.6	15.7	7.1	14.2	4.7
	浜通り地方	小計	(586)	17.2	13.7	25.1	18.6	10.8	4.4	8.9	
		春期	(188)	23.9	18.6		26.6	10.6	7.4	3.2	9.0
		夏期	(195)	19.0	16.4	20.5	21.0	9.7	3.6	9.2	
		秋期	(121)	13.2	9.9	31.4	21.5	14.0	4.1	5.0	
		冬期	(82)	3.7	23.2		26.8	15.9	9.8	13.4	6.1

2%未満のデータレベルは非表示 (%)

旅行中の消費額（交通費・宿泊費）（ツアー参加者）

Q10 今回の滞在中の福島県内でのご使用金額(1人あたり)をお答えください。(予定も含む)

～ツアー参加者の交通費・宿泊費は「2万円未満」が約5割～

- ツアー参加者の交通費・宿泊費については、全体で「2万円以上3万円未満」が21.2%で最も高く、次いで「1万円以上2万円未満」が19.2%、「5千円未満」が15.7%と続いた。
- 調査地点別で最も高かったのは、会津地方が「2万円以上3万円未満」、中通り地方が「3万円以上4万円未満」、浜通り地方が「1万円以上2万円未満」と、3地方全てで異なる結果となった。

交通費・宿泊費（ツアー参加者）

		n=	5千円未満	5千円以上 1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 3万円未満	3万円以上 4万円未満	4万円以上 5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上	
調査地点×調査期	全体	(198)	15.7	12.6	19.2	21.2	8.6	5.6	13.1	4.0	
	会津地方	小計	(125)	14.4	9.6	17.6	24.0	5.6	4.8	17.6	6.4
		春期	(6)	16.7		33.3		16.7		16.7	16.7
		夏期	(48)	10.4	8.3	14.6	25.0	10.4	2.1	22.9	6.3
		秋期	(36)	16.7	11.1	19.4	13.9	5.6		19.4	13.9
		冬期	(35)	20.0	8.6	17.1		37.1		2.9	5.7
	中通り地方	小計	(31)	9.7	16.1	16.1	12.9	19.4		12.9	12.9
		春期	(2)					100.0			
		夏期	(5)	20.0		20.0		40.0			20.0
		秋期	(3)				66.7			33.3	
		冬期	(21)	9.5	19.0	14.3	19.0	9.5		14.3	14.3
	浜通り地方	小計	(42)	23.8		19.0	26.2		19.0	9.5	2.4
		春期	(0)								
		夏期	(27)	37.0		14.8	25.9		11.1		11.1
		秋期	(7)	28.6			57.1				14.3
		冬期	(8)	50.0			25.0		12.5		12.5

2%未満のデータレベルは非表示 (%)

旅行中の消費額（飲食費）（ツアー参加者）

Q10 今回の滞在中の福島県内でのご使用金額(1人当たり)をお答えください。(予定も含む)

～ツアー参加者の飲食費は「1万円未満」が約8割～

- ツアー参加者の飲食費については、全体で「5千円未満」が42.5%で最も高く、次いで「1万円以上2万円未満」が26.0%、「5千円以上1万円未満」が25.3%と続いた。
- 個人旅行と比較すると「5千円未満」が低く、「1万円以上2万円未満」が高めとなった。

飲食費（ツアー参加者）

		n=	5千円未満	5千円以上 1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 3万円未満	3万円以上 4万円未満	4万円以上 5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上	
全体		(146)	42.5	25.3	26.0	3.4					
調査地点×調査期	小計	(79)	36.7	26.6	29.1	3.8	2.5				
	会津地方		66.7		33.3						
	夏期	(31)	32.3	29.0	35.5	3.2					
	秋期	(24)	33.3	20.8	33.3	4.2	8.3				
	冬期	(21)	42.9	28.6	19.0	9.5					
	中通り地方		46.4	25.0	25.0	3.6					
	春期	(2)	100.0								
	夏期	(4)	25.0	50.0	25.0						
	秋期	(2)	100.0								
	冬期	(20)	60.0	25.0	10.0	5.0					
	浜通り地方		51.3	23.1	20.5	2.6	2.6				
	春期	(0)									
夏期	(26)	61.5	11.5	19.2	3.8	3.8					
秋期	(6)	33.3	16.7	50.0							
冬期	(7)	28.6	71.4								

2%未満のデータレベルは非表示 (%)

旅行中の消費額（買物代）（ツアー参加者）

Q10 今回の滞在中の福島県内でのご使用金額(1人当たり)をお答えください。(予定も含む)

～ツアー参加者の買物代は「1万円以上」が約4割～

- ツアー参加者の買物代については、全体で「5千円未満」が33.3%で最も高く、次いで「1万円以上2万円未満」が32.0%、「5千円以上1万円未満」が28.0%と続き、「1万円以上」は約4割となった。
- 個人旅行との比較では、「5千円未満」が低く、「5千円以上1万円未満」「1万円以上2万円未満」が高めとなった。

買物代（ツアー参加者）

		n=	5千円未満	5千円以上 1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 3万円未満	3万円以上 4万円未満	4万円以上 5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上
調査地点×調査期	全体	(150)	33.3	28.0	32.0	3.3	2.0			
	会津地方	小計	(86)	32.6	30.2	29.1	3.5	2.3	2.3	
		春期	(2)	50.0	50.0					
		夏期	(38)	18.4	47.4	31.6	2.6			
		秋期	(27)	25.9	18.5	37.0	3.7	7.4	7.4	
		冬期	(19)	68.4	10.5	15.8	5.3			
	中通り地方	小計	(28)	28.6	25.0	39.3	3.6	3.6		
		春期	(2)	100.0						
		夏期	(5)	20.0	40.0	40.0				
		秋期	(3)	66.7	33.3					
		冬期	(18)	38.9	16.7	38.9	5.6			
	浜通り地方	小計	(36)	38.9	25.0	33.3	2.8			
		春期	(0)							
		夏期	(24)	41.7	25.0	29.2	4.2			
		秋期	(6)	50.0	50.0					
		冬期	(6)	66.7	33.3					

2%未満のデータは非表示 (%)

旅行中の消費額（その他）（ツアー参加者）

Q10 今回の滞在中の福島県内でのご使用金額(1人当たり)をお答えください。(予定も含む)

～ツアー参加者のその他の出費は「1万円未満」が約4分の3～

- ツアー参加者のその他消費額（施設入場料等）については、全体で「5千円未満」が56.7%と最も高く、次いで「1万円以上2万円未満」が20.9%、「5千円以上1万円未満」が17.9%と続いた。
- 個人旅行との比較では、「1万円以上2万円未満」が高めとなった。

その他（施設入場料等）（ツアー参加者）

		n=	5千円未満	5千円以上 1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 3万円未満	3万円以上 4万円未満	4万円以上 5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上	
調査 地点 × 調査 期	全体	(67)	56.7	17.9	20.9	3.0					
	会津地方	小計	(34)	55.9	11.8	26.5	5.9				
		春期	(1)	100.0							
		夏期	(19)	52.6	21.1	26.3					
		秋期	(8)	62.5	37.5						
		冬期	(6)	66.7	16.7	16.7					
	中通り地方	小計	(12)	58.3	8.3	25.0	8.3				
		春期	(2)	100.0							
		夏期	(3)	66.7	33.3						
		秋期	(0)								
		冬期	(7)	42.9	14.3	28.6	14.3				
	浜通り地方	小計	(21)	57.1	33.3	9.5					
		春期	(0)								
		夏期	(16)	50.0	43.8	6.3					
		秋期	(2)	50.0	50.0						
冬期		(3)	100.0								

2%未満のデータレベルは非表示 (%)

旅行中の消費額（使用総額）（ツアー参加者）

Q10 今回の滞在中の福島県内でのご使用金額(1人あたり)をお答えください。(予定も含む)

～ツアー参加者の使用総額は「3万円以上」が約6割～

- ツアー参加者の旅行中における福島県内での使用総額については、「3万円以上4万円未満」が19.5%で最も高く、次いで「5万円以上10万円未満」が16.9%、「10万円以上」が16.3%と続いた。
- 「3万円以上」が約6割となり、個人旅行と比較し使用総額は高めとなった。

福島県内での使用総額

		n=	5千円未満	5千円以上 1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 3万円未満	3万円以上 4万円未満	4万円以上 5万円未満	5万円以上 10万円未満	10万円以上	
全体		(307)	9.8	3.9	15.0	13.0	19.5	5.5	16.9	16.3	
調査地点 × 調査期	小計	(186)	5.4	2.7	12.9	10.2	20.4	3.8	21.0	23.7	
	会津地方										
	春期	(11)	9.1		18.2	9.1	9.1	18.2		36.4	
	夏期	(60)	3.3	3.3	13.3	13.3	21.7	8.3	25.0	11.7	
	秋期	(70)	8.6	2.9	8.6	5.7	15.7	25.7		31.4	
	冬期	(45)	4.4	2.2	20.0	11.1	28.9	8.9		24.4	
	中通り地方										
	小計	(48)	8.3	2.1	10.4	12.5	22.9	14.6	20.8	8.3	
	春期	(2)	100.0								
	夏期	(6)	33.3			50.0				16.7	
	秋期	(4)	25.0		25.0			50.0			
	冬期	(36)	11.1	13.9	11.1	22.2	11.1	22.2	8.3		
	浜通り地方										
小計	(73)	21.9	8.2	23.3	20.5	15.1	4.1	2.7			
春期	(0)										
夏期	(44)	34.1		9.1	18.2	18.2	6.8	2.3	6.8	4.5	
秋期	(18)	5.6	5.6	33.3	27.8	16.7	11.1				
冬期	(11)	9.1	27.3	18.2	45.5						

2%未満のデータレベルは非表示 (%)

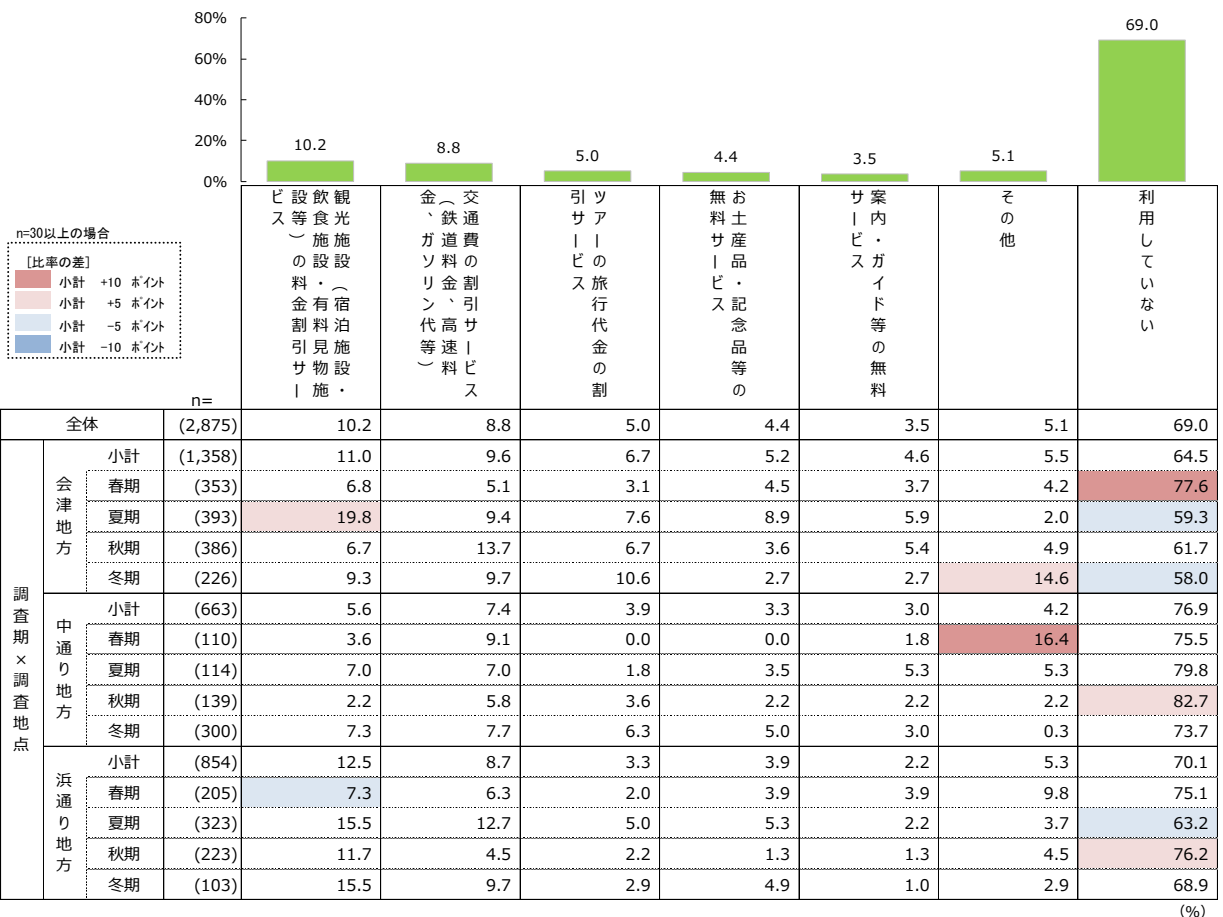
自治体の助成や民間サービスの利用状況

Q11 今回の旅行にあたり、自治体による助成や民間による割引サービス等のご利用についてお答えください。(複数回答可)

～今回の旅行における助成やサービスは「利用していない」が約7割～

- 自治体による助成や民間による割引サービス等については、全体で「利用していない」が69.0%と圧倒的に多かった。
- 利用したものでは、「観光施設（宿泊施設・飲食施設・有料見物施設等）の料金割引サービス」が10.2%と唯一10%を超えた。
- 調査地点別でみると、ビジネス目的での来訪者が多い中通り地方は全般的に利用が少ない結果となった。

調査地点×調査期



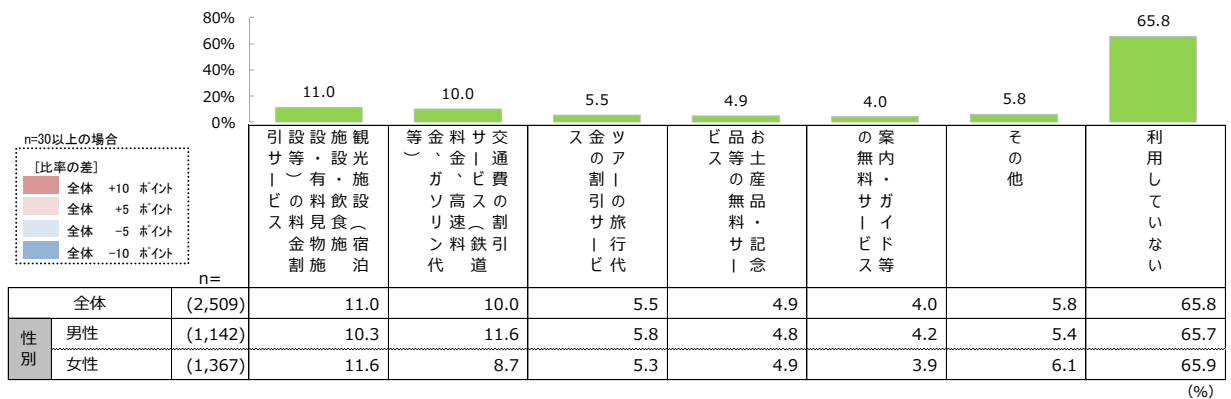
自治体の助成や民間サービスの利用状況（性別・年代別）

Q11 今回の旅行にあたり、自治体による助成や民間による割引サービス等のご利用についてお答えください。（複数回答可）

～70歳以上はサービスの利用割合が比較的高い～

- 自治体による助成や民間による割引サービス等の利用を性別でみると、「交通費の割引サービス（鉄道料金、高速料金、ガソリン代等）」で男性がやや高かった以外に大きな差はみられなかった。
- 年代別にみると、70歳以上は「利用していない」が最も低く、「交通費の割引サービス（鉄道料金、高速料金、ガソリン代等）」を除いて利用割合が全体を上回った。

性別、年代別



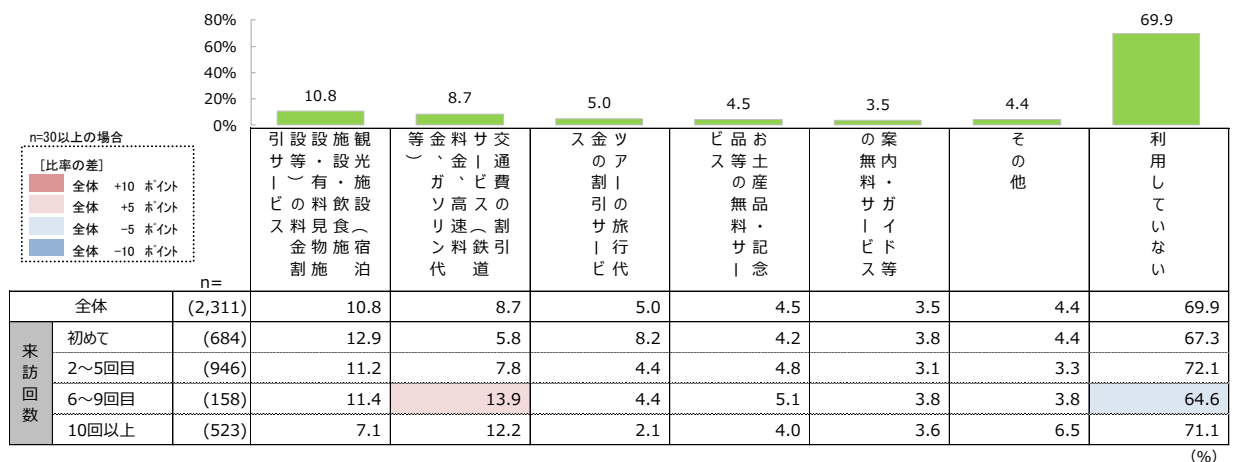
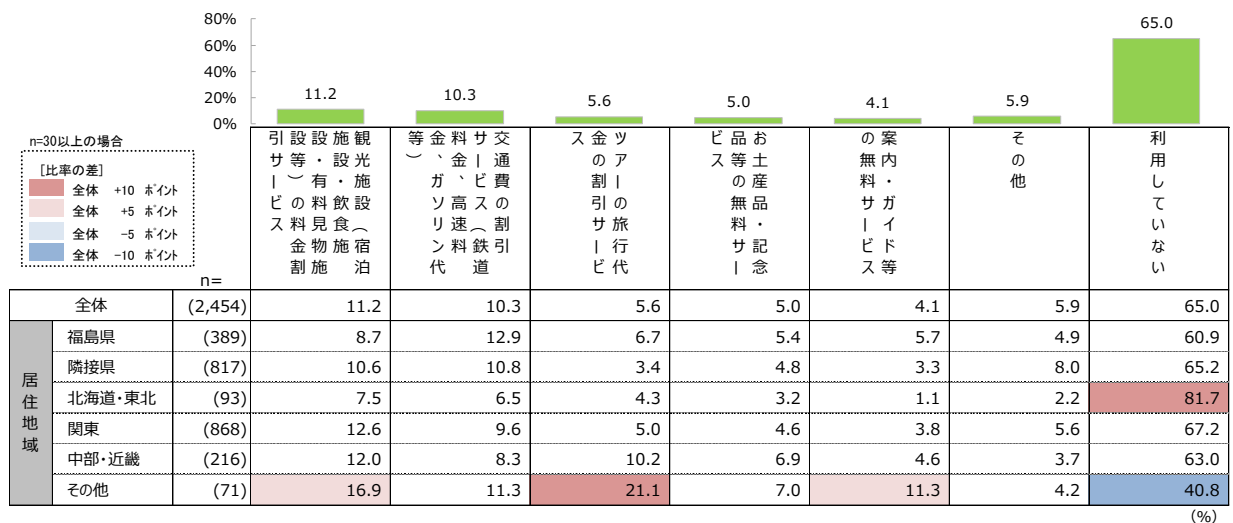
自治体の助成や民間サービスの利用状況（居住地域・来訪回数別）

Q11 今回の旅行にあたり、自治体による助成や民間による割引サービス等のご利用についてお答えください。（複数回答可）

～遠隔地域からの来訪者ほどサービス利用が高い傾向～

- 自治体による助成や民間による割引サービス等の利用を居住地域別にみると、遠隔地域ほどツアー利用が多いとみられ、海外を含めたその他地域では「ツアーの旅行代金の割引サービス」が2割を超え、「観光施設（宿泊施設・飲食施設・有料見物施設等）の料金割引サービス」も高かった。
- 利用したサービスを来訪回数別にみると、初めて～5回目までは「観光施設（宿泊施設・飲食施設・有料見物施設等）の料金割引サービス」が最も高く、6回目以上では「交通費の割引サービス（鉄道料金、高速料金、ガソリン代等）」が最も高かった。

居住地域別、来訪回数別



項目別満足度（景観・雰囲気）

Q12 福島県での以下の項目の満足度についてお答えください。(それぞれ1つだけ選択)

～景観・雰囲気は会津地方で「大変満足」が3割を超える～

- 福島県内での満足度をみると、多くの項目で高い満足度を得られている。「景観・雰囲気」は全体で「大変満足」「満足」「やや満足」の合計が94.7%と、大半の来訪者が満足と回答している。
- 調査地点別にみると、いずれの地方においても「大変満足」「満足」「やや満足」の合計が9割を超えている。特に、会津地方は「大変満足」の割合が唯一3割に達し、冬期では4割を超えるなど、年間を通し他の地方より満足度が高かった。
- なお、会津地方の冬期の来訪者は、教育旅行や学校行事を含む「20歳未満」の割合が最も高いため、旅行に慣れた一般観光客が多い他の地点・時期に比べ「大変満足」が高めになったものとみられ、この傾向は他の項目でも表れている。

景観・雰囲気

		n=	大変満足	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	大変不満
調査地点×調査期	全体	(3,231)	26.2	47.0	21.5	4.8			
	会津地方	小計	(1,487)	32.2	48.2	16.1	2.9		
		春期	(375)	23.5	55.7	18.1	2.4		
		夏期	(394)	32.7	52.0	12.7	2.0		
		秋期	(442)	32.6	43.4	17.9	4.8		
		冬期	(276)	42.8	39.9	15.6			
	中通り地方	小計	(730)	17.5	45.1	28.2	8.8		
		春期	(108)	22.2	43.5	21.3	13.0		
		夏期	(118)	18.6	53.4	22.0	5.9		
		秋期	(162)	12.3	48.1	34.0	5.6		
		冬期	(342)	18.1	41.2	29.8	9.9		
	浜通り地方	小計	(1,014)	23.6	46.6	24.5	4.7		
		春期	(226)	21.2	42.9	29.2	6.2		
		夏期	(392)	29.6	50.5	15.3	4.1		
		秋期	(266)	19.5	44.4	31.6	4.1		
		冬期	(130)	17.7	46.2	29.2	5.4		

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

項目別満足度（宿泊施設）

Q12 福島県での以下の項目の満足度についてお答えください。(それぞれ1つだけ選択)

～宿泊施設でも会津地方で「大変満足」が3割を超える～

- 「宿泊施設」の満足度は、全体で「大変満足」「満足」「やや満足」の合計が約9割となった。
- 調査地点別にみると、会津地方は「大変満足」が唯一3割を超え、冬期には4割に達した。
- 中通り地方は「大変満足」「満足」「やや満足」の合計が91.6%と最も高かった。
- 浜通り地方は「大変満足」「満足」「やや満足」の合計が84.0%と、唯一9割を下回った。

宿泊施設

			大変満足	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	大変不満
全体			n=						
	全体	(2,425)	28.6	41.3	19.2	9.2			
調査地点×調査期	会津地方	小計	(1,140)	31.5	41.3	18.6	7.2		
		春期	(247)	22.7	44.1	21.1	9.3		
		夏期	(309)	28.8	44.3	17.2	9.1		
		秋期	(326)	33.4	38.3	19.6	6.7		
		冬期	(258)	40.7	38.8	16.7	3.5		
	中通り地方	小計	(526)	28.7	44.5	18.4	7.0		
		春期	(104)	26.9	43.3	20.2	8.7		
		夏期	(89)	25.8	38.2	21.3	13.5		
		秋期	(105)	23.8	52.4	18.1	5.7		
		冬期	(228)	32.9	43.9	16.7	4.4		
	浜通り地方	小計	(759)	24.2	39.1	20.7	13.6		
		春期	(168)	16.7	37.5	22.0	22.0		
		夏期	(273)	27.8	37.0	15.4	16.5	2.9	
		秋期	(188)	21.8	38.8	28.2	9.6		
		冬期	(130)	30.0	46.2	19.2	2.3	2.3	

1%未満のデータラベルは非表示 (%)

項目別満足度（観光施設）

Q12 福島県での以下の項目の満足度についてお答えください。(それぞれ1つだけ選択)

～観光施設が少ない中通り地方は満足度がやや低い結果に～

- 「観光施設」の満足度は、全体で「大変満足」「満足」「やや満足」の合計が約9割となった。
- 調査地点別にみると、会津地方・浜通り地方は「大変満足」が25%前後となったが、中通り地方は観光施設が少ないことや、ビジネス目的での来訪が多いこともあり、13.4%にとどまった。
- 一方、「やや不満」「不満」「大変不満」の合計で5%を超える調査地点・調査時期はなく、大きなストレスを感じるケースは少なかったものとみられる。

観光施設

		n=	大変満足	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	大変不満
調査地点×調査期	全体	(3,049)	22.2	42.2	25.2	9.1	1.1		
	小計	(1,412)	25.1	43.6	23.0	7.3			
	会津地方	春期	(351)	17.1	45.9	28.2	8.3		
		夏期	(380)	25.3	54.7	15.5	4.2		
		秋期	(420)	26.2	38.1	24.3	9.3	1.9	
		冬期	(261)	34.1	33.3	24.9	7.3		
	中通り地方	小計	(674)	13.4	39.9	30.6	14.2	1.5	
		春期	(102)	17.6	38.2	23.5	20.6		
		夏期	(112)	12.5	45.5	25.9	15.2		
		秋期	(152)	11.2	48.0	29.6	10.5		
		冬期	(308)	13.3	34.4	35.1	13.6	2.9	
	浜通り地方	小計	(963)	24.2	41.7	24.7	8.0	1.1	
		春期	(214)	18.2	39.7	27.1	13.6		
		夏期	(373)	29.2	47.2	17.7	5.4		
		秋期	(252)	21.8	37.3	32.9	7.1		
		冬期	(124)	24.2	37.9	25.0	8.1	4.0	

1%未満のデータラベルは非表示 (%)

項目別満足度（食事）

Q12 福島県での以下の項目の満足度についてお答えください。(それぞれ1つだけ選択)

～食事は会津地方で「大変満足」が3割を超える～

- 「食事」の満足度は、全体で「大変満足」「満足」「やや満足」の合計が約9割となった。
- 調査地点別にみると、会津地方では「大変満足」が唯一3割を超え、中通り地方の23.3%、浜通り地方の24.1%と差が開いた。
- 既述の今回の旅行の目的で、4分の1が「グルメ」と回答するなど、「食事」に対する期待度は高い。その意味で、満足の合計が約9割となったのは一定の評価を得られている証と考えられる。一方、「大変満足」は調査地点・時期によりやや低い結果もみられ、県内の「食」を活かした観光誘客を行う余地はまだ十分にあるものとみられる。

食事

			大変満足	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	大変不満
n=									
全体	(3,111)		27.2	40.0	22.7	8.7	1.1		
調査地点×調査期	会津地方	小計	(1,418)	31.4	40.1	20.2	7.3		
		春期	(366)	25.7	46.2	22.1	5.2		
		夏期	(374)	27.0	45.2	19.3	8.3		
		秋期	(409)	31.3	35.7	21.5	9.3	1.7	
		冬期	(269)	45.4	31.2	17.1	5.6		
	中通り地方	小計	(731)	23.3	38.0	27.6	9.3	1.6	
		春期	(109)	22.0	34.9	24.8	13.8	4.6	
		夏期	(116)	24.1	43.1	25.9	5.2	1.7	
		秋期	(162)	27.8	38.3	25.3	8.0		
		冬期	(344)	21.2	37.2	30.2	9.9	1.2	
	浜通り地方	小計	(962)	24.1	41.4	22.7	10.4	1.0	
		春期	(211)	19.4	41.2	23.7	14.7		
夏期		(358)	28.2	45.3	17.3	7.8			
秋期		(262)	20.2	35.5	31.7	10.7	1.9		
冬期		(131)	28.2	42.7	17.6	9.9	1.5		

1%未満のデータラベルは非表示 (%)

項目別満足度

Q12 福島県での以下の項目の満足度についてお答えください。(それぞれ1つだけ選択)

～買物は全体で「大変満足」が2割を下回る～

- 「買物」の満足度は、全体で「大変満足」「満足」「やや満足」の合計が8割となった。
- 調査地点別にみると、観光施設の少ない中通り地方は「大変満足」が最も低く、「どちらでもない」がやや高めとなった。
- 福島県内での「買物」は、伝統工芸品や銘菓など、地元ならではの品物が多いものと考えられるが、全体的に「不満」の回答割合は低いものの、「大変満足」もやや低めである。
- 地元でしか手に入らないものや強烈なインパクトを与える話題性など、知名度の向上が課題とみられる。

買物

			大変満足	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	大変不満
n=									
全体		(3,046)	17.4	33.2	29.5	17.3	2.0		
調査地点×調査期	小計	(1,384)	20.1	33.2	29.5	14.7	2.2		
	会津地方	春期	(353)	13.3	33.4	38.5	13.0	1.4	
		夏期	(361)	21.1	40.2	23.3	14.4	1.1	
		秋期	(414)	23.2	31.2	27.5	14.3	2.9	
		冬期	(256)	23.0	26.2	28.9	18.0	3.9	
	中通り地方	小計	(711)	12.5	31.5	33.1	20.5	1.4	
		春期	(105)	15.2	25.7	33.3	21.9	2.9	
		夏期	(115)	10.4	33.9	33.0	20.9	1.7	
		秋期	(158)	10.8	39.2	32.3	15.8	1.3	
		冬期	(333)	13.2	28.8	33.3	22.2	1.5	
	浜通り地方	小計	(951)	17.0	34.5	27.0	18.6	2.2	
		春期	(206)	11.2	32.5	27.7	22.8	5.3	
		夏期	(363)	21.2	41.6	23.1	12.7		
		秋期	(260)	13.1	28.8	33.8	22.7	1.2	
冬期		(122)	23.0	28.7	23.0	20.5	3.3		

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

項目別満足度

Q12 福島県での以下の項目の満足度についてお答えください。(それぞれ1つだけ選択)

～コストパフォーマンスは全体で「大変満足」が14.8%にとどまる～

- 「コストパフォーマンス」の満足度は、全体で「大変満足」「満足」「やや満足」の合計が約75%で、「大変満足」は14.8%にとどまった。
- 調査地点別にみると、「大変満足」は会津地方が17.2%、浜通り地方が14.2%に対し、中通り地方は10.8%と最も低かった。
- 「大変満足」「満足」と積極的に評価する割合は、最も高い会津地方においても5割を下回った。
- 福島県への来訪に求める付加価値について、個人旅行主体である現在は多様化している。富裕層向けの料金設定など、旅行プランの選択肢を増やすことも必要と考えられる。

コストパフォーマンス

		n=	大変満足	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	大変不満	
調査地点×調査期	全体	(2,980)	14.8	29.9	30.0	22.4	2.6			
	会津地方	小計	(1,345)	17.2	30.9	29.2	20.0	2.3		
		春期	(344)	12.2	26.5	38.7	21.2	1.2		
		夏期	(354)	15.3	42.1	23.2	18.4	1.1		
		秋期	(393)	19.6	26.2	27.7	21.1	4.6		
		冬期	(254)	23.2	28.7	27.2	18.9	2.0		
	中通り地方	小計	(704)	10.8	30.1	33.4	23.0	2.6		
		春期	(103)	13.6	24.3	27.2	31.1	3.9		
		夏期	(110)	10.9	33.6	29.1	25.5			
		秋期	(157)	7.0	39.5	34.4	16.6	2.5		
		冬期	(334)	11.7	26.3	36.2	22.8	2.7		
	浜通り地方	小計	(931)	14.2	28.1	28.6	25.3	3.1		
		春期	(199)	9.5	25.6	25.1	35.2	4.0		
		夏期	(352)	17.9	33.2	28.1	17.0	3.1		
		秋期	(251)	11.6	22.3	30.3	32.3	3.6		
		冬期	(129)	16.3	29.5	31.8	19.4	1.6		

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

項目別満足度

Q12 福島県での以下の項目の満足度についてお答えください。(それぞれ1つだけ選択)

～サービス・接客は「大変満足」が約4分の1に上る～

- 「サービス・接客」の満足度は、全体で「大変満足」「満足」「やや満足」の合計が約9割となり、「大変満足」は23.8%と約4分の1であった。
- 調査地点別にみると、会津地方・浜通り地方では「大変満足」「満足」「やや満足」の合計が約9割となった。一方、中通り地方はやや下回ったが、「どちらでもない」が高く、「不満」への回答で大きな差はみられなかった。
- 中通り地方で「どちらでもない」が高いのは、ビジネス目的での来訪で「サービス・接客」にあまり注視していない人が多いことも要因の一つと考えられる。

サービス・接客

			大変満足	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	大変不満	
n=										
調査地点×調査期	全体	(3,141)	23.8	38.2	25.5	10.8	1.4			
	小計	(1,425)	25.8	38.7	24.6	9.3	1.3			
	会津地方	春期	(354)	18.6	40.4	30.8	8.8	1.4		
		夏期	(380)	25.0	44.2	21.6	8.9			
		秋期	(421)	24.2	34.7	25.2	11.9	2.6		
		冬期	(270)	38.5	34.8	19.6	6.3			
	中通り地方	小計	(732)	18.9	38.1	26.2	14.8	1.9		
		春期	(110)	24.5	40.0	19.1	13.6	2.7		
		夏期	(117)	17.1	45.3	24.8	12.0			
		秋期	(161)	13.7	44.1	27.3	14.3			
		冬期	(344)	20.1	32.3	28.5	16.3	2.9		
	浜通り地方	小計	(984)	24.7	37.5	26.2	10.0	1.2		
		春期	(220)	24.1	35.0	27.3	11.4	2.3		
		夏期	(371)	24.8	43.4	22.9	7.5			
		秋期	(262)	22.1	32.8	32.1	11.1	1.5		
		冬期	(131)	30.5	34.4	22.1	12.2			

1%未満のデータラベルは非表示 (%)

項目別満足度

Q12 福島県での以下の項目の満足度についてお答えください。(それぞれ1つだけ選択)

～地元の人との交流は会津地方で「大変満足」が2割を超える～

- 「地元の方との交流」の満足度は、全体で「大変満足」「満足」「やや満足」の合計が7割強となり、「大変満足」は約2割であった。
- 調査地点別にみると、会津地方は「大変満足」が唯一2割を超え、「大変満足」「満足」「やや満足」の合計が約8割となった。
- 浜通り地方は「どちらでもない」が3割と最も高かったが、福島県内からの来訪者が多く、そもそも交流が不要と考える人が多いことが考えられる。

地元の方との交流

		n=	大変満足	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	大変不満
調査地点×調査期	全体	(2,741)	19.7	30.1	22.9	25.2	1.6		
	会津地方	小計	(1,243)	23.3	31.7	23.3	20.6		
		春期	(327)	16.8	32.7	27.5	22.0		
		夏期	(336)	19.9	36.0	17.6	25.3		
		秋期	(354)	25.1	30.5	25.4	16.7	1.7	
		冬期	(226)	34.5	25.7	22.1	17.7		
	中通り地方	小計	(641)	15.4	29.0	25.4	26.7	2.7	
		春期	(89)	24.7	27.0	15.7	29.2	2.2	
		夏期	(108)	13.9	32.4	24.1	27.8		
		秋期	(137)	13.9	38.7	26.3	19.7	1.5	
		冬期	(307)	14.0	24.1	28.3	28.7	3.9	
	浜通り地方	小計	(857)	17.9	28.5	20.7	30.7	1.6	
		春期	(181)	13.3	28.2	22.7	32.6	2.8	
		夏期	(324)	20.7	36.1	19.8	21.9		
		秋期	(237)	16.9	19.4	22.4	39.2	1.7	
		冬期	(115)	19.1	26.1	16.5	34.8	2.6	

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

項目別満足度

Q12 福島県での以下の項目の満足度についてお答えください。(それぞれ1つだけ選択)

～情報・案内は会津地方で「大変満足」が2割を超える～

- 「情報・案内」の満足度は、全体で「大変満足」「満足」「やや満足」の合計が約75%となり、「大変満足」は17.8%であった。
- 調査地点別にみると、会津地方は「大変満足」が唯一2割を超えている。
- 「不満」への回答は、中通り地方では全般的に高く、会津地方の秋期も高くなっている。その理由として、中通り地方は観光情報そのものが少ないことへの不満が多いものとみられるが、会津地方の秋期は観光客が多く、混雑などに対する不満が多いことが考えられる。

情報・案内

		n=	大変満足	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	大変不満
全体		(2,894)	17.8	31.1	26.0	21.6	2.5		
調査地点×調査期	小計	(1,291)	20.4	31.8	25.9	18.7	2.1		
	会津地方								
	春期	(337)	13.6	29.4	36.8	18.7	1.2		
	夏期	(350)	20.3	36.0	22.6	18.6	2.0		
	秋期	(384)	24.5	27.9	21.4	19.5	3.6	2.1	
	冬期	(220)	23.6	35.9	22.3	17.3			
	中通り地方								
	小計	(674)	13.2	28.8	27.4	25.7	3.6	1.2	
	春期	(99)	20.2	26.3	23.2	23.2	5.1	12.0	
	夏期	(105)	10.5	34.3	20.0	28.6	5.7		
	秋期	(147)	6.8	36.1	33.3	22.4			
	冬期	(323)	14.9	24.5	28.5	26.9	3.7	1.5	
	浜通り地方								
	小計	(929)	17.5	31.8	25.2	22.8	2.2		
	春期	(203)	14.3	33.0	25.1	23.2	3.4		
	夏期	(351)	20.5	38.5	24.8	14.0	1.7		
秋期	(252)	16.3	24.2	23.4	35.3				
冬期	(123)	17.1	26.0	30.1	22.0	4.1			

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

観光地としての総合的満足度

Q13 観光地としての福島県の総合的な満足度についてお答えください。(1つだけ選択)

～総合満足度は9割以上が「満足」に回答～

- 福島県の観光地としての「総合満足度」は、全体で「大変満足」「満足」「やや満足」の合計が9割を超え、「大変満足」は2割であった。
- 調査地点別にみると、会津地方・浜通り地方では「大変満足」が2割を超え、特に夏期で高かった。

総合満足度

		n=	大変満足	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	大変不満
全体		(3,077)	20.6	47.5	25.7	5.6			
調査地点×調査期	小計	(1,461)	23.5	50.1	22.5	3.2			
	会津地方								
	春期	(365)	13.8	55.6	28.0	2.1			
	夏期	(417)	27.5	49.6	19.1	3.5			
	秋期	(397)	23.4	49.2	21.8	4.1	1.4		
	冬期	(282)	31.3	45.0	20.9	2.9			
	中通り地方								
	小計	(590)	14.6	41.2	33.5	10.0			
	春期	(117)	23.0	41.6	22.1	13.3			
	夏期	(102)	13.9	44.3	33.0	7.0	1.7		
	秋期	(114)	9.8	45.7	37.8	6.7			
	冬期	(257)	14.3	37.8	35.2	11.5			
	浜通り地方								
	小計	(1,026)	20.7	48.1	24.7	5.8			
	春期	(239)	15.7	49.3	27.4	7.6			
夏期	(416)	26.8	50.5	16.7	5.3				
秋期	(236)	15.7	45.3	33.2	5.1				
冬期	(135)	21.6	44.8	26.9	6.0				

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

福島県への再来訪意向（今後1年以内）

Q14 福島県への再来訪意向・紹介意向についてお答えください。(それぞれ1つだけ選択)

～再来訪意向は浜通り地方で「大変そう思う」が3割を超える～

- 「1年以内の福島県への再来訪意向」については、全体で「大変そう思う」「そう思う」「やや思う」の合計が約9割となり、「大変そう思う」は27.6%であった。
- 調査地点別にみると、「大変そう思う」は浜通り地方が32.4%で最も高く、冬期では4割を超えた。
- 浜通り地方で再来訪意向が高かった背景には、子ども連れの家族旅行で何度も楽しめる観光施設があることその他、帰省で定期的に来訪する回答者が多かったことなどが考えられる。

調査地点×調査期

		n=	大変そう思う	そう思う	やや思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない	全く思わない
調査地点×調査期	全体	(3,165)	27.6	38.0	21.0	11.9	1.1		
	会津地方	小計	(1,451)	27.4	37.9	22.5	10.2	1.4	
		春期	(366)	22.1	38.8	27.6	10.9		
		夏期	(379)	26.1	40.9	20.8	9.0	1.8	
		秋期	(437)	27.7	35.2	23.1	11.9	1.6	
		冬期	(269)	35.7	36.8	17.1	8.2	2.2	
	中通り地方	小計	(738)	21.8	38.9	22.2	16.3		
		春期	(110)	32.7	38.2	18.2	10.0		
		夏期	(116)	26.7	40.5	18.1	12.1	1.7	
		秋期	(164)	20.1	42.1	21.3	15.9		
		冬期	(348)	17.5	37.1	25.3	19.8		
	浜通り地方	小計	(976)	32.4	37.4	17.7	11.3	1.1	
		春期	(214)	30.8	44.4	16.8	7.5		
		夏期	(374)	33.7	40.6	15.0	9.1	1.3	
		秋期	(260)	26.2	30.0	24.2	18.8		
		冬期	(128)	43.8	31.3	14.1	8.6	2.3	

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

福島県への再来訪意向（今後1年以内）

Q14 福島県への再来訪意向・紹介意向についてお答えください。(それぞれ1つだけ選択)

～再来訪意向は20歳未満で「大変そう思う」が4割を超える～

- 「1年以内の福島県への再来訪意向」を性別でみると、女性のほうが肯定的な回答がやや多かったが、それほど大きな差はなかった。
- 年代別にみると、20歳未満は「大変そう思う」が4割を超え最も高かった。いずれの世代も「大変そう思う」「そう思う」「やや思う」が9割前後と、幅広く支持を得ている。
- 居住地域別にみると、福島県と隣接県では「大変そう思う」「そう思う」「やや思う」の合計が9割を超えている。また、遠隔地域においても8割以上が肯定的な回答であった。

性別、年代別、居住地域別

		n=	大変そう思う	そう思う	やや思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない	全く思わない
全体		(2,765)	30.8	39.6	18.8	9.3			
性別	男性	(1,258)	30.0	39.9	18.4	10.0			
	女性	(1,507)	31.5	39.4	19.2	8.7			

		n=	大変そう思う	そう思う	やや思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない	全く思わない
全体		(2,759)	30.6	39.7	19.0	9.2			
年代	20歳未満	(420)	40.7	31.0	17.1	10.2			
	20代	(293)	30.4	41.0	18.8	7.2	2.0		
	30代	(524)	30.7	36.8	20.8	9.7			
	40代	(518)	31.7	39.2	19.5	7.7			
	50代	(450)	26.9	46.7	16.2	9.1			
	60代	(366)	21.9	44.5	22.1	10.7			
	70歳以上	(188)	30.3	41.0	18.1	10.1			

		n=	大変そう思う	そう思う	やや思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない	全く思わない
全体		(2,711)	31.2	39.9	18.2	9.1			
居住地域	福島県	(419)	37.2	38.2	15.0	8.6			
	隣接県	(909)	30.9	41.8	18.9	7.4			
	北海道・東北	(101)	28.7	33.7	20.8	15.8			
	関東	(957)	31.3	39.6	17.8	9.3			
	中部・近畿	(230)	21.7	41.3	23.0	11.3			
	その他	(95)	31.6	34.7	15.8	14.7	2.1		

2%未満のデータは非表示 (%)

福島県の紹介意向（家族や友人）

Q14 福島県への再来訪意向・紹介意向についてお答えください。(それぞれ1つだけ選択)

～紹介意向は浜通り地方・会津地方で「大変そう思う」が3割を超える～

- 「福島県の家族や友人への紹介意向」については、全体で「大変そう思う」「そう思う」「やや思う」の合計が約9割となり、「大変そう思う」は3割であった。
- 調査地点別にみると、「大変そう思う」は浜通り地方が33.1%で最も高かった。一方、会津地方も「大変そう思う」が3割を超え、すべての調査期で「大変そう思う」「そう思う」「やや思う」の合計が9割を超えた。
- 中通り地方は、「大変そう思う」「そう思う」「やや思う」の合計が最も低かったが、それでも肯定的な回答が8割を超えるなど、全体的に高い評価を得ていることがわかる。

調査地点×調査期

		n=	大変そう思う	そう思う	やや思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない	全く思わない
調査地点×調査期	全体	(3,138)	30.8	38.5	20.1	9.7			
	小計	(1,433)	32.2	39.5	20.4	7.3			
	会津地方	春期	(363)	23.7	43.5	24.5	8.3		
		夏期	(375)	31.7	41.6	18.9	6.4		
		秋期	(433)	35.8	35.3	19.6	8.3		
		冬期	(262)	38.5	37.8	17.9	5.7		
	中通り地方	小計	(729)	25.2	37.9	21.8	14.4		
		春期	(107)	29.9	34.6	24.3	11.2		
		夏期	(115)	24.3	45.2	18.3	10.4	1.7	
		秋期	(160)	21.3	45.0	22.5	11.3		
		冬期	(347)	25.9	33.1	21.9	18.2		
	浜通り地方	小計	(976)	33.1	37.4	18.3	9.6	1.2	
		春期	(216)	29.6	42.6	19.4	7.4		
		夏期	(373)	36.2	40.8	14.2	7.5		
		秋期	(258)	27.1	31.8	23.6	15.9	1.2	
		冬期	(129)	41.9	30.2	17.8	7.0	3.1	

1%未満のデータレベルは非表示 (%)

福島県の紹介意向（家族や友人）

Q14 福島県への再来訪意向・紹介意向についてお答えください。(それぞれ1つだけ選択)

～紹介意向は20歳未満で「大変そう思う」が約5割に上る～

- 「福島県の家族や友人への紹介意向」を性別でみると、「大変そう思う」は女性が男性を5.3ポイント上回り、女性からの積極的な回答が目立った。
- 年代別にみると、「大変そう思う」は20歳未満が48.0%と最も高かった。また、20代も約4割で若い世代で積極的な回答が目立ったが、70歳以上も34.4%と高い評価であった。
- 居住地域別にみると、「大変そう思う」は福島県が4割を超えた。また、サンプリング数は少ないもののその他地域が45.7%で最も高くなるなど、居住地域に拘わらず全体的に高い評価を得ている。

性別、年代別、居住地域別

		n=	大変そう思う	そう思う	やや思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない	全く思わない
全体		(2,738)	34.3	39.6			17.7	7.6	
性別	男性	(1,222)	31.3	39.9			19.2	8.6	
	女性	(1,516)	36.6	39.3			16.4	6.7	

		n=	大変そう思う	そう思う	やや思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない	全く思わない
全体		(2,731)	34.1	39.7			17.6	7.7	
年代	20歳未満	(419)	48.0	29.1			14.8	7.2	
	20代	(293)	39.9	33.4			20.5	4.4	
	30代	(521)	32.2	41.7			17.3	7.7	
	40代	(512)	31.4	41.2			18.0	9.0	
	50代	(443)	30.5	45.8			14.7	8.1	
	60代	(363)	24.0	44.9			21.8	9.1	
	70歳以上	(180)	34.4	39.4			18.9	6.1	

		n=	大変そう思う	そう思う	やや思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない	全く思わない
全体		(2,684)	34.8	39.6			17.2	7.5	
居住地域	福島県	(450)	41.3	35.3			15.1	7.1	
	隣接県	(877)	33.1	40.3			17.9	8.1	
	北海道・東北	(101)	30.7	35.6			21.8	9.9	
	関東	(937)	32.9	41.8			17.7	6.9	
	中部・近畿	(227)	33.5	41.4			16.7	6.6	
	その他	(92)	45.7	31.5			12.0	8.7	

2%未満のデータレベルは非表示 (%)

観光客増加のために力を入れるべき観光振興策

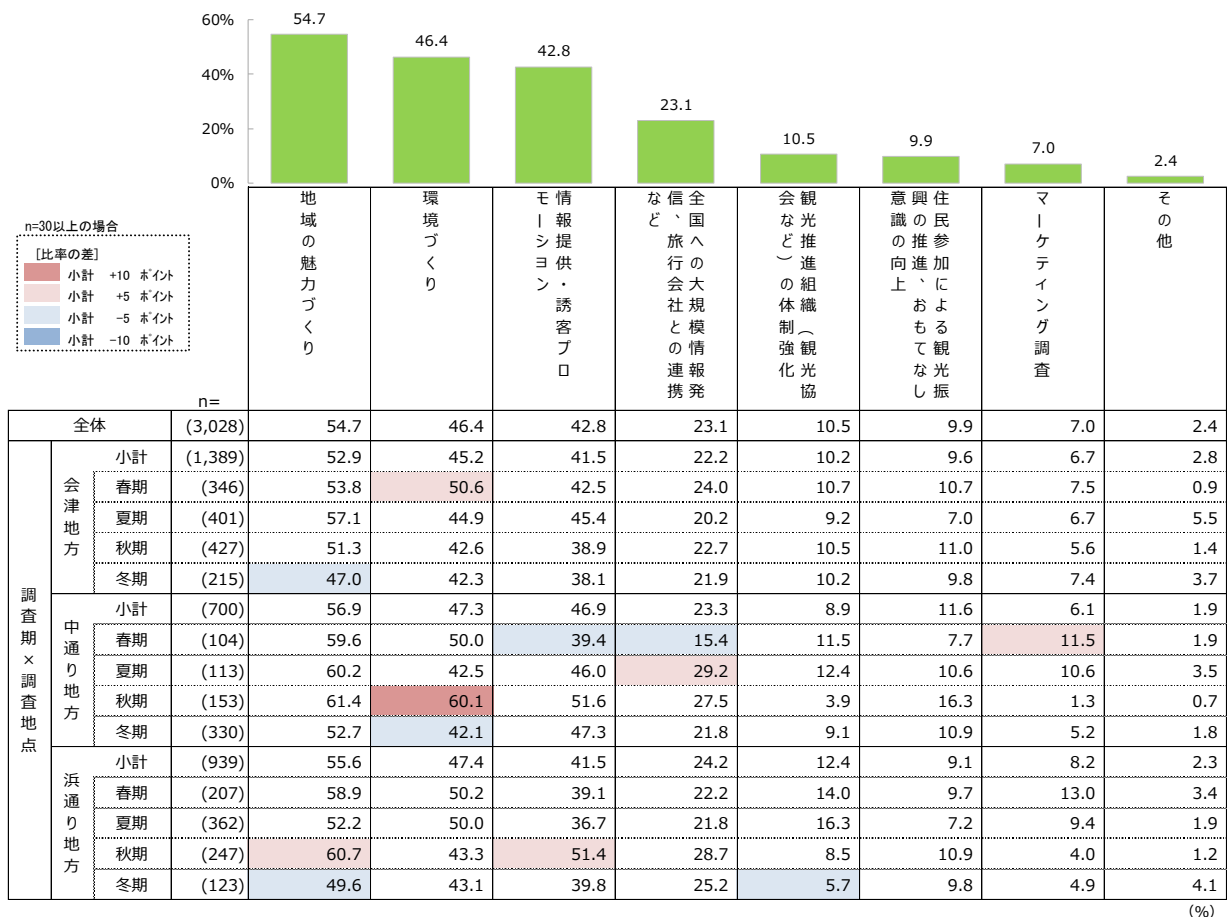
Q15 福島県の観光についてお答えください。

(1)福島県を訪れる観光客を増やすために、どのような観光振興策に力を入れていったほうが良いと思われますか。あてはまるものを選んでください。(3つまで)

～力を入れる観光振興策は「地域の魅力づくり」が5割を超える～

- 観光客を増やすために力を入れるべき「観光振興策」については、全体で「地域の魅力づくり（体験プログラム・観光コースづくり、イベントの開催、地場食材等を活かした特産品や料理の開発など）」が54.7%で最も高かった。次いで「環境づくり（自然風景・農村風景の保全、まちなみ・景観の保全、歩いて楽しめる環境の整備など）」が46.4%、「情報提供・誘客プロモーション（ホームページ・雑誌等での情報発信、観光案内所や観光マップ・ガイドの充実など）」が42.8%と続いた。
- 調査地点別にみると、上位項目は会津地方に比べ中通り地方・浜通り地方での回答割合が高く、不足を感じる人が多かったことが窺える。

調査地点×調査期



観光客増加のために力を入れるべき観光振興策（居住地域・来訪回数別）

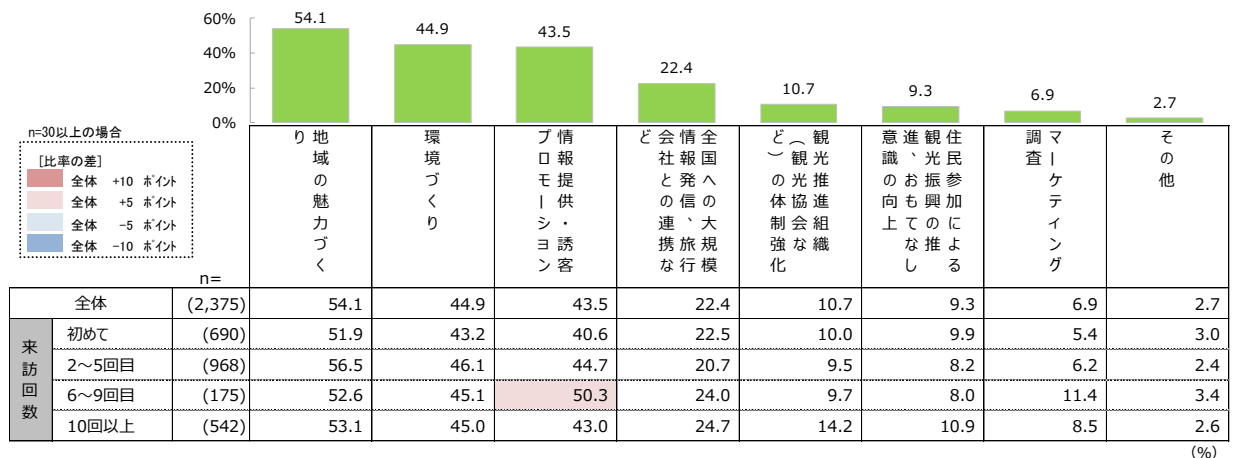
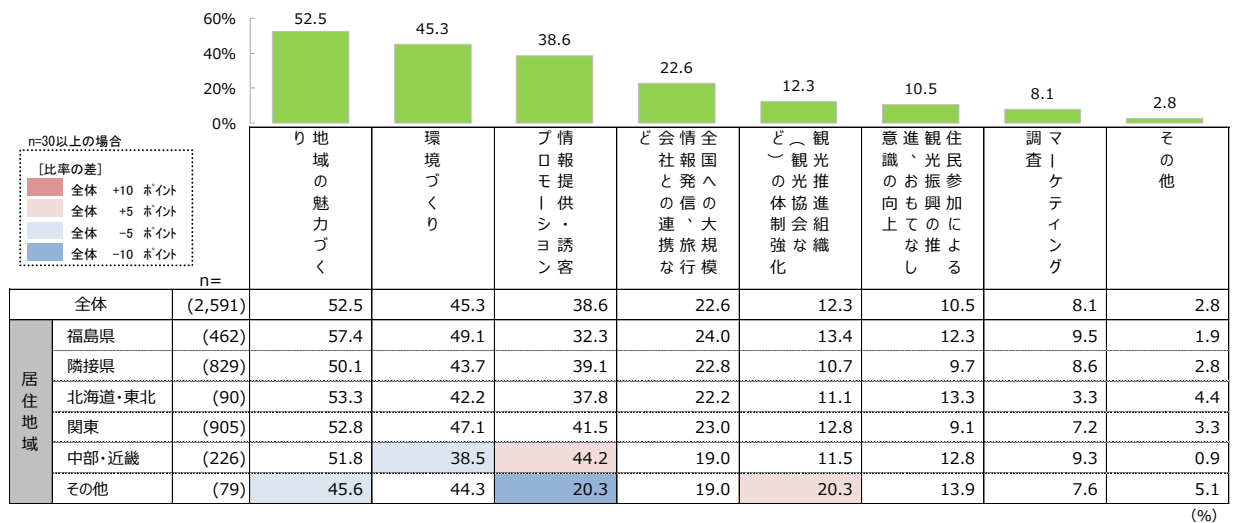
Q15 福島県の観光についてお答えください。

(1) 福島県を訪れる観光客を増やすために、どのような観光振興策に力を入れていったほうが良いと思われますか。あてはまるものを選んでください。(3つまで)

～情報不足を感じる割合は広い地域で高め～

- 観光客を増やすために力を入れるべき「観光振興策」を居住地域別にみると、「情報提供・誘客プロモーション」は関東と中部・近畿で4割を超えた他、隣接県でも4割近くに上り、情報やプロモーション不足を感じている割合が高かった。
- 来訪回数別（県外居住者のみ）にみると、「情報提供・誘客プロモーション」は来訪回数が多い層で高い傾向がみられ、何度も来訪することで情報やプロモーション不足を感じる場面も増えているものとみられる。

居住地域別、来訪回数別



2章

福島県の観光に関するアンケート (インターネット調査)

I. 調査目的と概要

1. 調査目的

- 福島県の観光については、一定の回復を見せつつあるものの、観光客の入込数が震災前の9割程度にとどまり、依然として厳しい状況が続いている。福島県が観光復興を成し遂げるためには、中長期的な視点による施策や変化していく観光・旅行市場のニーズに対応していくことが必要である。
- 本調査では福島県の観光復興の現状を把握し、本格的な観光復興に向けた課題等を提示することを目的とする。

2. 調査概要

調査対象 (1)スクリーニング調査

・20～69歳の男女

全国の性別・年代別の人口構成比率を基にアンケートを回収。
(平成27年国勢調査 全国より 福島県を除く)

(2)本調査

・過去3年以内に国内旅行をしたことがある20～69歳の男女。

・スクリーニング調査の回答結果から、下記の4条件に該当する人を対象にアンケートを実施・回収。

ア. 過去3年以内に福島県を旅行し、福島県を2回以上旅行した人

イ. 過去3年以内に福島県を初めて旅行した人

ウ. 福島県を旅行したことはないが、検討したことがある人

エ. 福島県を旅行したことも、検討したこともない人

調査地点 全国

調査期間 平成31年3月14日(木)～3月18日(月)

調査方法 インターネット調査

回収数 (1)スクリーニング調査

(人)

	合計	20代	30代	40代	50代	60代
全体	20,000	3,102	3,909	4,610	3,858	4,521
男性	9,997	1,579	1,975	2,322	1,922	2,199
女性	10,003	1,523	1,934	2,288	1,936	2,322

(2)本調査

(人)

合計	福島県旅行経験者			福島県旅行未経験者		
	小計	2回以上	1回	小計	検討あり	検討なし
2,060	1,030	721	309	1,030	515	515

Ⅱ. 結果のまとめ

Ⅱ - 1 スクリーニング調査の結果

～過去1年以内に国内旅行を経験したのは6割以上～

- 「1年以内（2018年）」が39.1%と最も多く、「今年（2019年）」が24.5%で続いており、2018年以降に国内旅行を経験している割合は6割を超えている。
- 性別・年代別に2018年以降の国内旅行経験割合をみると、女性では20代が72.9%と唯一7割を超えるなど、女性は若い年代ほど割合が高い傾向がみられる。男性では60代が68.0%で最も高くなった以外は、年代による差は小さい。

～訪問地域は「首都圏」「近畿地方」が5割を超える～

- 国内旅行者の旅行先を地方別にみると、「首都圏」が52.5%、「近畿地方」が51.7%と5割を超え、「東北地方」は30.3%となった。
- 「東北地方」への訪問率は、男性の20代で18.2%と2割を下回ったものの、全体では男性が30.2%、女性が30.4%となり、性別による大きな違いはみられなかった。

～「福島県」は東北地方で唯一、首都圏からの訪問率が5割を超える～

- 「福島県」は、東北地方では唯一、首都圏からの訪問率が5割を超えている。また、東北、北関東、首都圏からの観光が中心で、それ以外の地域との差が大きい。
- 東北地方、北関東地方、北陸地方の中で、旅行したことがある県をみると、全体で「石川県」が48.9%で最も高く、次いで「栃木県」が44.6%、「宮城県」が42.5%、「群馬県」が40.7%となり、有名な観光地や温泉のある県が上位に入っている。続いて「福島県」が38.7%となった。

～福島県に「旅行したことはないが検討したことはある」男性20代は約3割～

- 福島県への旅行回数をみると、全体で「1回」が6.6%、「2～5回」が7.9%、「6回以上」が4.3%で、本県への旅行経験がある人の割合は全体で18.8%となった。
- 「旅行したことはないが検討したことはある」と回答した人の割合は、男性がすべての世代で女性を上回り、男性20代は29.7%と約3割に達している。きっかけ次第で本県への旅行を実施する可能性は十分にあるものと考えられる。

Ⅱ. 結果のまとめ

Ⅱ - 1 スクリーニング調査の結果

～近年は男性の20～30代の訪問割合が高め～

- 性別・年代別でみると、近年は男性の20～30代の訪問割合が高い。特に男性の20代は2014年以降年々上昇しており、「1年以内（2018年）」では36.5%に上っている。
- 居住地別にみると、2014年以降では東北のほか、北関東も30%台、北陸は20%台後半、首都圏は20%台前半の訪問率でそれぞれ推移している。

～「会津若松エリア」の認知度は5割超～

- 福島県で知っているエリアについては、歴史的な背景から注目されることが多い「会津若松エリア（会津若松市街、東山温泉、芦ノ牧温泉など）」が全体で52.1%と最も高かった。但し、最も認知度が高い「会津若松エリア（会津若松市街、東山温泉、芦ノ牧温泉など）」では、北関東や東北が約7割、首都圏や北陸でも6割を超えているのに対し、西日本ではいずれも5割を下回っている。

～「いわきエリア」に行ったことがあるのは30代の割合が高い～

- 行ったことがあるエリアでは、「いわきエリア（いわき湯本温泉、小名浜など）」は男女ともに30代の割合が最も高いのが特徴で、スパリゾートハワイアンズやアクアマリンふくしまなど、小さな子供連れで訪れる旅行者が多いものとみられる。
- 「会津若松エリア」「猪苗代エリア」は、近畿や中国でも6割近くに上っており、歴史的背景から、福島県旅行においては会津地域のイメージが強く、旅行先として選択されるケースが多いものとみられる。

～「温泉がある」ことを重視する人が5割を超える～

- 国内旅行で重視することは、全体で「温泉がある」が50.3%と最も高く、次いで「そこでしか食べられないグルメがある」が41.2%、「有名な観光地」が39.0%、「交通費が安い」が24.8%と続いている。

Ⅱ. 結果のまとめ

Ⅱ - 2 本調査の結果

～「震災以前」に福島県を訪問していた割合は4割を超える～

- はじめて福島県を旅行した時期をみると、全体の45.5%が「震災以前」に既に福島県を訪れている。
- 性別・年代別にみると、「震災以前」が5割を超えたのは男性60代の55.8%、女性50代の54.7%のみで、それ以外の世代はいずれもと5割を下回った。

～女性のキッカケは「家族や友人からの誘い」がすべての年代で最も高い～

- 福島県旅行に行くキッカケをみると、全体で「家族や友人に誘われたから」が31.7%と最も高く、次いで「復興を応援しようと思ったから」が18.6%、「福島県の旅行に関する情報をインターネット上で見たから」が18.2%続いている。
- 性別・年代別でみると、「家族や友人に誘われたから」は女性のすべての年代で最も高い。一方、男性で「家族や友人に誘われたから」が最も高いのは20～30代のみであり、40代以降はインターネットの情報やパンフレット・チラシなどの活用が目立っている。

～「温泉を楽しむ」目的は年代が上がるほど高くなる傾向～

- 福島県旅行の目的をみると、全体で「温泉を楽しむ」が54.3%と最も高かった。次いで「自然や風景を楽しむ」が52.1%、「おいしいものを食べ歩く」が44.1%となり、本県の美しい景観や食文化が高い評価を得ていることがわかる。「参拝・歴史・文化観光」の31.6%は、会津地域を中心に興味を惹かれているものとみられる。
- 性別・年代別では、「温泉を楽しむ」は、男女ともに年代が上がるほど割合も高くなり、「自然や風景を楽しむ」「おいしいものを食べ歩く」も幅広い世代に支持されている。

～東北、北関東、北陸では「自家用車」の利用が圧倒的～

- 福島県旅行で利用した交通手段を居住地域別にみると、東北、北関東、北陸では「自家用車」の割合が圧倒的に高く、反対に「JR 新幹線・特急」「JR 在来線」が極端に低い結果となっている。
- 「自家用車」は首都圏と中部でも5割を超えJR利用を上回る。一方、「飛行機」は、遠隔地域ほど利用割合が高くなっている。

Ⅱ. 結果のまとめ

Ⅱ - 2 本調査の結果

～全体の4分の3が「効率よく移動できる」を重視～

- 福島県旅行で利用した交通手段を選んだ理由をみると、全体で「効率よく移動できる」が75.7%と最も高く、次いで「荷物が多くても移動の邪魔にならない」が42.2%、「費用が安い」が39.8%、「移動が早い」が36.3%と続いている。
- 性別・年代別でみると、「効率よく移動できる」は男女ともにすべての世代で最も高かった。

～東北、北関東、中部は「家族旅行」「夫婦旅行」合計で6割超～

- 福島県旅行の同行者を居住地域別にみると、東北、北関東、中部では「家族旅行」「夫婦旅行」合計で6割を超えている。
- 性別・年代別でみると、「家族旅行」は男女とも30～40代で高く、「夫婦旅行」は60代で最も高い。

～訪問した季節は「秋」が最高で年代が上がるほど高い傾向～

- 直近で福島県旅行に行った季節をみると、全体で「秋」が31.2%と最も高く、次いで「夏」が29.0%、「春」が21.9%、「冬」が17.9%となった。
- 性別・年代別でみると、最も高い「秋」は年代が上がるほど割合も高く、男性の60代、女性の50～60代が全体を引き上げる結果となっている。

～女性の60代は予算をかけた旅行が他の世代より高め～

- 福島県旅行の1人当たりの利用金額をみると、全体で「2万円～3万円未満」が22.2%と最も高く、次いで「1万円～2万円未満」が20.9%、「3万円～4万円未満」が13.5%と続いている。
- 性別・年代別でみると、男性の20～40代では約7割が3万円未満となっている。女性では40～50代の約8割りが3万円未満となっている。
- 居住地域別みると、東北や北関東、中部、北陸では「1万円～2万円未満」が最も高い。一方、飛行機の利用が伴う北海道や近畿以西では「5万円～10万円未満」が最も高く、「10万円以上」も10～20%程度となっている。

Ⅱ. 結果のまとめ

Ⅱ - 2 本調査の結果

～訪問は「福島県のみ」が4割超、「宮城県」は広い世代で高い～

- 福島県旅行時の福島県外への訪問有無をみると、全体で「福島県以外は行ってない」が43.1%で最も高かった。訪問した県では「宮城県」が30.0%と高く、次いで「山形県」が19.4%、「栃木県」が19.3%と続いている。
- 性別・年代別でみると、「福島県以外は行ってない」は男性の20代を除くすべての世代で最も高かった。訪問した県では「宮城県」が男女問わず広い世代で高くなっているが、女性の40代は「栃木県」が最も高かった。

～全体で「1泊」が5割超、「日帰り」が2割～

- 福島県旅行の宿泊日数(福島県内)をみると、全体で「1泊」が53.3%と最も高く、次いで「宿泊しない(日帰り)」が21.0%、「2泊」が19.9%と続き、「1泊以内」の旅行が全体の約4分の3を占めている。
- 居住地域別にみると、すべての地域で「1泊」が最も高かったが、北関東、北陸、東北では「宿泊しない(日帰り)」も高い。

～「会津若松エリア」への訪問が全体で4割超、「猪苗代エリア」が3割超～

- 福島県旅行の訪問エリア(複数回答)をみると、全体で「会津若松エリア」が43.1%と最も高く、次いで「猪苗代エリア」が32.7%、「県北エリア」が21.3%と続いている。
- 北陸は「会津若松エリア」が62.3%と突出し、新潟県と会津地域の観光ルートのつながりがよく表れている。

～満足度は「会津若松エリア」「猪苗代エリア」の順に高い～

- 福島県旅行で楽しかったエリア(複数回答)をみると、「会津若松エリア」が32.3%と最も高く、次いで「猪苗代エリア」が22.8%、「県北エリア」が15.8%と続いている。訪問したエリアが前提となるため、「県中エリア」と「南会津エリア」が入れ替わった以外はQ11と同様の順位となっている。
- 性別・年代別にみると、「会津若松エリア」「猪苗代エリア」は男性30代と女性60代が最も高かった。「県北エリア」は男女ともに20代、「いわきエリア」は男性30代と女性20代が最も高く、60代は「いわきエリア」が低かった。

Ⅱ. 結果のまとめ

Ⅱ - 2 本調査の結果

～満足した内容は「自然・風景」が5割超で「温泉」も約5割～

- 福島県旅行で満足した内容をみると、全体で「自然・風景」が52.8%と最も高く、次いで「温泉」が49.8%、「食・食べ歩き」が30.9%と続いている。
- 性別・年代別にみると、「自然・風景」「温泉」はすべての世代から高い支持を得ているが、特に60代は男女ともに回答が集中している。一方、20代は男性で「食・食べ歩き」、女性で「レジャー施設」の割合が高めとなっている。

～福島県旅行の不満は「特にない」が約8割～

- 福島県旅行で不満だった内容については、全体で「特にない」が78.5%を占め、不満で最も高かったのが「宿泊施設」の4.6%となった。不満が5%を超える項目はなく、実際に訪れた観光施設や景観、食などについては一定の評価を得ていることがわかる。
- 居住地別にみると、中国・四国では「宿泊施設」が13.0%、「食・食べ歩き」「レジャー施設」がともに8.7%で、九州・沖縄でも「食・食べ歩き」「街並み・景観」が10.5%と、他の地域より高めの結果となった。

～「交通の運行本数」「移動手段」の少なさは若い世代での不満が目立つ～

- 福島県旅行で不便に感じたことをみると、全体で「特にない」が45.9%と最も高かった。不便を感じた項目では「交通の運行本数が少ない」が16.0%で最も高く、次いで「移動手段が少ない」が14.4%、「観光ルートの移動に時間がかかる」が14.1%と続いている。
- 性別・年代別でみると、「交通の運行本数が少ない」「移動手段が少ない」は男女ともに20～30代の高さが目立つ。男性の20代はさらに「観光ルートの移動に時間がかかる」も高く、若い世代ほど移動に要する時間をなるべく少なくしたいとの思いが強いものとみられる。

～福島県旅行全体を通し「満足」の評価は全体で9割を超える～

- 福島県旅行全体を通した満足度をみると、全体で「満足した」が43.5%、「やや満足した」が48.0%となり、「満足」と評価したのは合わせて91.5%に上った。
- 性別・年代別でみると、「満足」の評価は男性の50代、女性の40代を除くすべての世代で90%を超えており、幅広い世代で福島県旅行について良好なイメージを持つ人が多いものとみられる。

Ⅱ. 結果のまとめ

Ⅱ - 2 本調査の結果

～情報源は「インターネット」が全体の約7割で男性が高め～

- 福島県旅行時に役立った情報源をみると、全体で「インターネット」が68.4%と最も高かった。次いで「家族や友人の勧め（口コミ）」が32.9%、「旅行ガイドブック」が27.7%と続いている。
- 性別・年代別でみると、「インターネット」はすべての世代で男性の回答割合が女性を上回り、女性全体で59.9%に対し男性全体では74.8%に上った。一方、「家族や友人の勧め（口コミ）」は、男性全体で26.2%に対し女性全体では41.9%に上るなど、男女による違いがみられた。特に50代以降でその傾向が顕著となっている。

～「福島県の観光地を知らない」が検討しない理由の4割～

- 福島県旅行について「旅行したことも検討したこともない」と回答した人に対しその理由を尋ねたところ、全体で「自宅からのアクセスが良くない」が45.2%と最も高く、次いで「どのような観光地があるのか知らない」が40.8%、「情報が少ない」が29.9%、「行きたいと思う観光地がない」が29.7%などと続いた。
- 性別・年代別にみると、女性全体では「どのような観光地があるのか知らない」が49.8%で最も高く、特に女性の20～30代では6割を超えている。

～20代は「他県のほうがより魅力的だった」が最も高い～

- 過去に福島県旅行を検討しながら、実行に至らなかった理由をみると、全体で「自宅からのアクセスが良くなかった」が34.0%と最も高くなった。次いで「他県のほうがより魅力的だった」が32.4%、「交通費・宿泊費など、予算オーバーだった」が23.3%などと続いている。また、「震災の影響が残っていそう」は14.2%であった。
- 性別・年代別でみると、20代では男女ともに「他県のほうがより魅力的だった」が最も高かった。「希望する内容の旅行ツアーがなかった」は女性の50～60代が高く、内容の選択肢を広げる必要性も感じられる。「その他」では、タイミングが合わなかったり、他県に行く必要性が生じたことなどが挙げられた。しかし、何かのきっかけがあれば今後も福島県旅行を検討する余地は十分にあると考えられるが、背中を押してくれる何かが足りないと感じている人が多いとも言える。
- 「震災の影響が残っていそう」は、「検討したこともない」層との比較では5ポイントほど下回っているが、いずれの地域においても一定割合回答があった。

Ⅱ. 結果のまとめ

Ⅱ - 2 本調査の結果

～「Jヴィレッジ再開」「オリンピック一部競技開催」の認知度が約3割～

- 福島県に関する最近の出来事をいくつか抽出した中で、知っているものを尋ねたところ、全体で「この中にはない」が48.3%となった。知っているものでは「サッカーの聖地『Jヴィレッジ』が再開」が27.9%と最も高く、「2020年東京オリンピックの一部競技が県内で開催」が27.1%、「2018年に戊辰戦争から150年を迎えた」が16.4%となった。
- 性別・年代別にみると、全般的に男性が女性を上回る傾向がみられた。「サッカーの聖地『Jヴィレッジ』が再開」は、男性全体が36.2%に対し女性全体が17.0%と、男女の差が大きく表れたが、男女ともに20～30代での認知度は低めであった。

～「全国新酒鑑評会金賞」は一定の評価～

- 福島県に関する最近の出来事で、福島県旅行を検討するキッカケになると思うものを尋ねたところ、全体で「全国新酒鑑評会で金賞受賞数が日本一」「2020年東京オリンピックの一部競技が県内で開催」がともに14.2%となった。
- 性別・年代別にみると、多くの項目で男女ともに20～30代が高くなる傾向がみられた。「全国新酒鑑評会で金賞受賞数が日本一」「県産米の『特A』評価獲得数が日本一」「『アニメ聖地88』に県内から3か所が選定」は男女すべての世代で認知度を上回った。

～ダイヤモンドルートに「興味を惹かれた」は若い世代でやや高め～

- 「ダイヤモンドルート」について国内での認知度を調べたところ、全体で「まったく知らない」が85.5%と多数を占めた。性別・年代別でみると、男性の20～30代、女性の20代では「閲覧して興味を惹かれた」が10%を超えた。一方、男性の20代は「閲覧したが特に興味は惹かれなかった」も10%に達している。

～全体の約3分の2が今後福島県への来訪意向あり～

- 今後の福島県旅行の意向をみると、全体で「行きたいと思う」が36.4%、「やや行きたいと思う」が30.1%で、行きたい意向を持つ人が約3分の2を占めた。一方、「行きたいと思わない」が6.3%、「あまり行きたいと思わない」が7.0%であった。
- 性別・年代別でみると、「行きたいと思う」は男性の60代、女性の50代で高かった。「あまり行きたいと思わない」は男性の50代で10%を超えたものの、消極的な意向では年代による差はあまりみられなかった。

Ⅱ. 結果のまとめ

Ⅱ－２ 本調査の結果

～今後の旅行の利用交通機関は「自家用車」が5割超～

- 今後、福島県旅行をする場合の利用交通機関をみると、全体で「自家用車」が53.9%と5割を超え最も高かった。次いで「JR 新幹線・特急」が47.9%、「JR 在来線」が21.0%と続いた。
- 性別・年代別でみると、20代は「JR 新幹線・特急」の高さが目立った。「自家用車」については、60代で男性が高く女性が低い結果となった。

～福島県旅行の期待は「温泉」が7割超で女性の期待度が高め～

- 今後、福島県旅行をする場合に期待することをみると、「温泉」が73.6%と最も高かった。次いで「自然・風景」が66.0%、「食・食べ歩き」が57.4%と続いた。
- 性別・年代別にみると、「温泉」はすべての世代で期待度が高い。一方、「宿泊施設」は若い世代で、「レジャー施設」は30代で高い傾向がみられた。また、上位項目は女性が男性を上回り、「温泉」は20代で20ポイント以上の差となった。

Ⅱ－３ 福島県への観光誘客の課題

～「旅行」に対する旺盛な意欲の取込～

- 直近1年間で6割以上が国内旅行を行っており、旅行に対する意欲は旺盛である。但し、その行先の多くが「首都圏」「近畿地方」中心であることから、地方へ誘客するかが長年の大きな課題となっている。
- 但し、人口が多い「首都圏」から福島県への訪問率が5割を超えているのは有利な結果である。その多くが自家用車による訪問であることから、気軽に行けるスポットとして話題性が増すことで、他の地域からの誘客も促進されるものと期待される。首都圏からの旅行者の満足度を向上することは福島県にとって重要なポイントである。

Ⅱ. 結果のまとめ

～大きな課題となる「認知度の低さ」～

- エリア別の認知度は「会津若松エリア」が唯一5割を超えたのみである。他県の人からみて、会津についてはある程度イメージするものがあるものの、その他の地域についてはよくわからないというのが正直なところだと思われる。
- 旅行のキッカケとしては「口コミ」が多いことから、まずは認知度が比較的高い東日本地域の中から、エリアを限定しPRを重点的に行うことで、訪問率向上の効果があるものと考えられ、さらに「口コミ」などにより周辺地域への広がりも期待できる。

～実際には「温泉」「日本酒」など魅力あるツールに溢れる～

- 「有名な観光地」の部分ではやや弱いものの、国内旅行で重視するポイントとして「温泉」「グルメ」が高かったように、福島県には十分なポテンシャルがあることは言うまでもない。
- これまで福島県へ旅行を検討しながら、実行に至らなかった理由について、「他県のほうがより魅力的だった」は3割を超えている。しかし、考え方を換えれば、魅力が高まれば福島県に訪問する可能性があることを示しており、魅力づくり・魅力のPRが需要となる。

～差別化・選択できるメニューを増やすことは効果的～

- これまで、金額などの旅行プランについては中間による傾向が強かったものとみられる。しかし、個人旅行が中心である現在は、他人と異なる自分だけのメニューを好む人が増えている。富裕層向けの思い切ったプランなどは話題性もあり、福島県に注目する入口にもなると考えられる。
- 福島県には他県に負けない魅力が十分にあり、他の地域では体験できないメニューを増やすなど、福島県を「際立たせる」取り組みに力を入れることが認知度向上の突破口になるものと期待される。

～福島県に興味を持った人の「背中を押す」取り組みで新たな段階へ～

- 福島県旅行について、震災の影響をそれほど気にしていない人は既に何度も来訪するなど、入込数は震災前に近づいており、リピーターとして定着している様子が感じられる。さらに、復興支援目的での来訪も一定割合あることは、勇気づけられる結果となっている。
- 一方、今後の観光誘客を一段階進んだものにするためには「興味は持ったが来訪にはつながっていない」層の取り込みがポイントであり、一度来たいと思っていた人の「背中を押す」取り組みが必要と考えられる。
- 現在は、個人旅行が中心でニーズも多様化している。広く一般的に受け入れられるメニューだけでなく、年代や分野で特化したメニューの増加などにより、新たな「ファン」の獲得につながるものと期待できる。

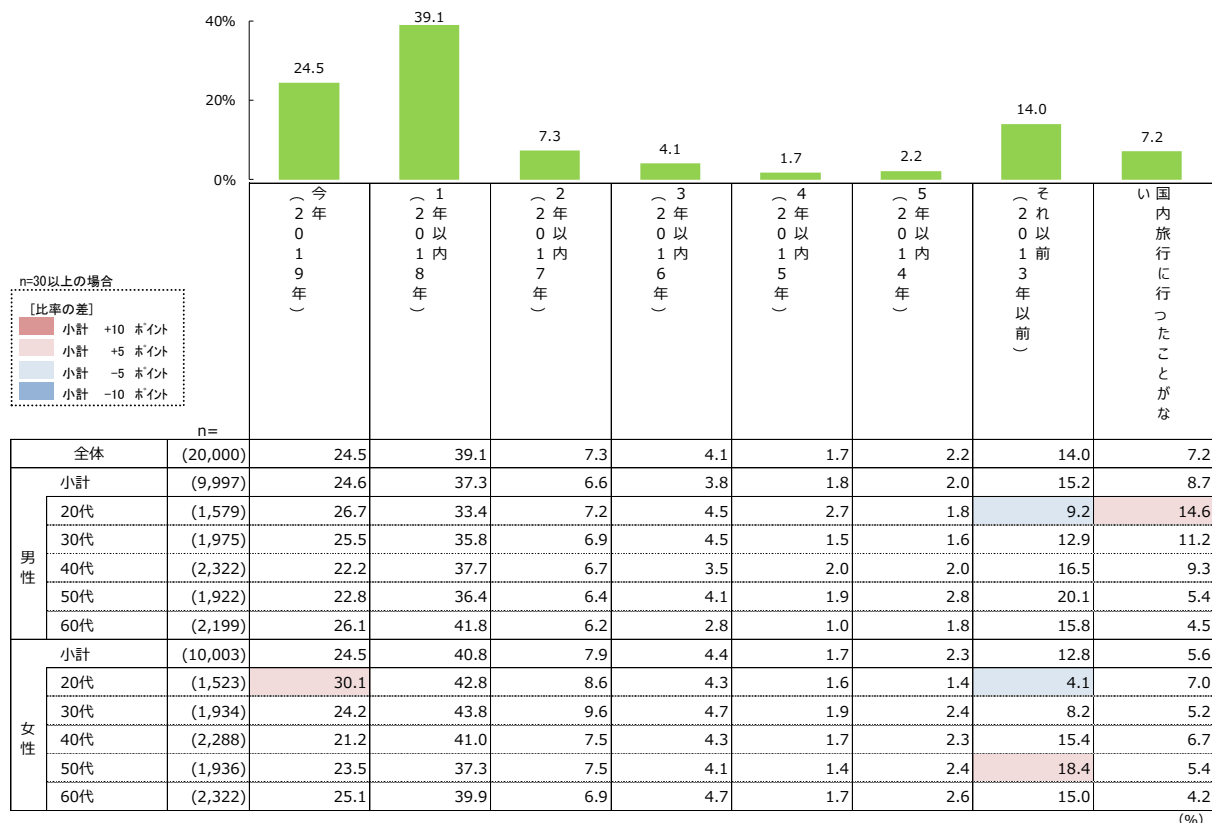
Ⅲ. 結果の詳細

直近の日本国内旅行の時期（性別・年代別）

SC1 あなたは、最近ではいつ日本国内旅行(出張・ビジネスは除く)に行きましたか。
※ 帰省は含めず、修学旅行等の学校・地域の行事を含む。

～6割以上が過去1年以内に旅行を経験～

- 福島県外に居住する20,000人に対するスクリーニング調査の結果をみると、直近で国内旅行に行った時期は、全体で「1年以内（2018年）」が39.1%と最も多く、「今年（2019年）」が24.5%で続いており、2018年以降に国内旅行を経験している割合は6割を超えている。
- 性別・年代別に2018年以降の国内旅行経験割合をみると、女性では20代が72.9%と唯一7割を超えるなど、女性は若い年代ほど割合が高い傾向がみられる。男性では60代が68.0%で最も高くなった以外は、年代による差は小さい。
- 一方、「国内旅行に行ったことがない」は、男性が20代と30代で10%を超えているほか、40代も9.3%となっている。

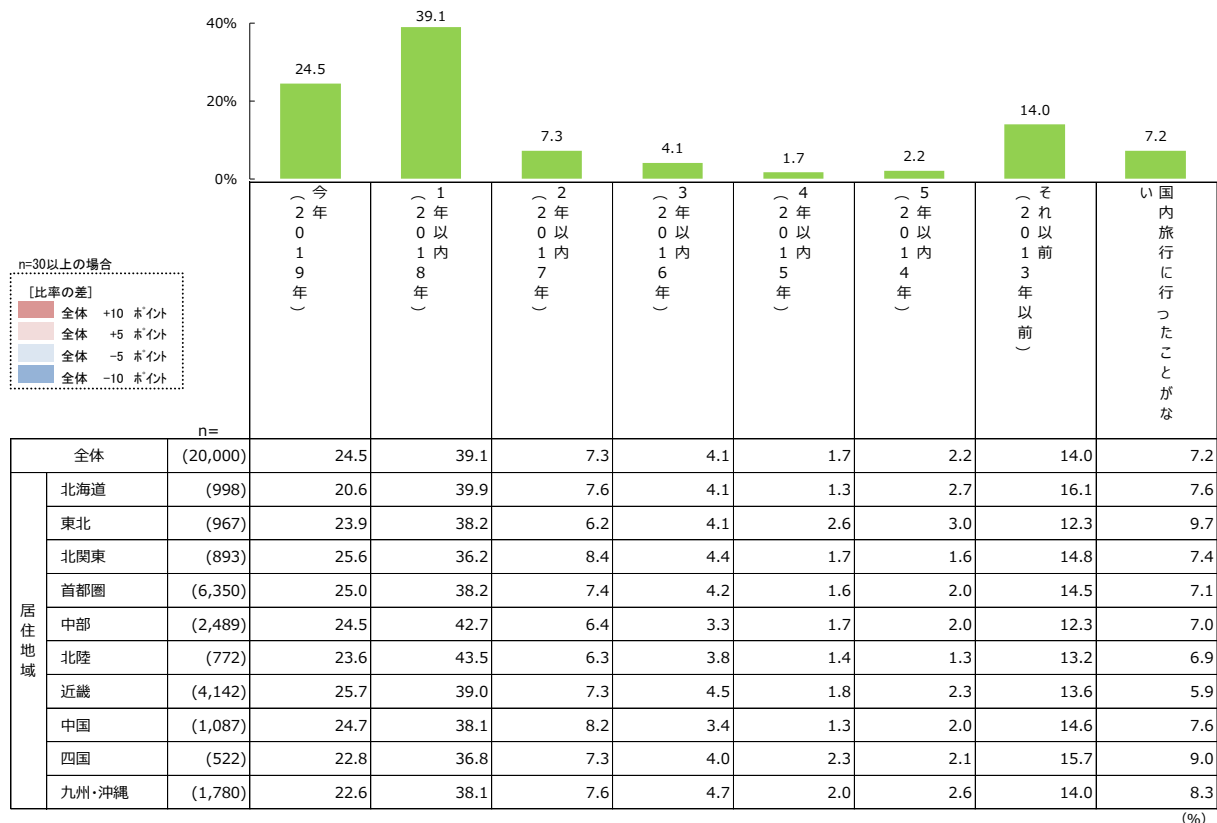


直近の日本国内旅行の時期（居住地別）

SC1 あなたは、最近ではいつ日本国内旅行（出張・ビジネスは除く）に行きましたか。
※ 帰省は含めず、修学旅行等の学校・地域の行事を含む。

～直近の旅行時期は居住地域で大きな違いはみられない～

- 直近で国内旅行に行った時期を居住地域別にみると、いずれの項目においても全体と比較し±5ポイント以上となる地域はなく、国内旅行の時期に関して居住地域による大きな差はみられなかった。
- 2018年以降の国内旅行経験割合をみても、「四国」を除きいずれも60%台となり、居住地域による大幅な違いはみられなかった。
- 一方、「国内旅行に行ったことがない」は東北が9.7%となり、地域別では最も高かった。



日本国内旅行の行き先（性別・年代別）

SC2 あなたが、日本国内旅行（出張・ビジネスは除く）で行ったことがあるエリアをすべてお選びください。

※ 帰省は含めず、修学旅行等の学校・地域の行事を含む

～訪問地域は「首都圏」「近畿地方」が5割を超える～

- 日本国内旅行で行ったことがある地域をみると、全体で「首都圏」が52.5%、「近畿地方」が51.7%と5割を超え、「東北地方」は30.3%となった。
- 性別・年代別でみると、男女ともに年代が上がるほど訪問率も高くなる傾向にあり、男性全体と女性全体を比較すると、すべての地域で女性の訪問率が上回っている。
- 男性では、20代の訪問率が全体的に低めで、60代との差が顕著に表れている。一方、女性は「首都圏」への訪問率がすべての世代で50%を超えている。
- 「東北地方」への訪問率は、男性の20代で18.2%と2割を下回ったものの、全体では男性が30.2%、女性が30.4%となり、性別による大きな違いはみられなかった。

(複数回答)



日本国内旅行の行き先（居住地地域別）

SC2 あなたが、日本国内旅行（出張・ビジネスは除く）で行ったことがあるエリアをすべてお選びください。

※ 帰省は含めず、修学旅行等の学校・地域の行事を含む

～「首都圏」への旅行経験はいずれの居住地地域でも4割を超える～

- 日本国内旅行で行ったことがある地域を居住地地域別にみると、居住地域内の訪問割合が高くなるのは当然の傾向であるが、「首都圏」への旅行経験はいずれの居住地域においても4割を超えており、各地域から「首都圏」へ旅行客が流入している状況が確認できる。
- 「東北地方」への旅行割合をみると、東北のほか北関東、首都圏の居住者が中心であり、西に行くほど割合は低くなる。
- 西日本地域の居住者は、「東北地方」「北関東地方」より遠距離である「北海道」への訪問率のほうが高く、「北海道」が旅行先の選択肢としてより上位にあることがわかる。



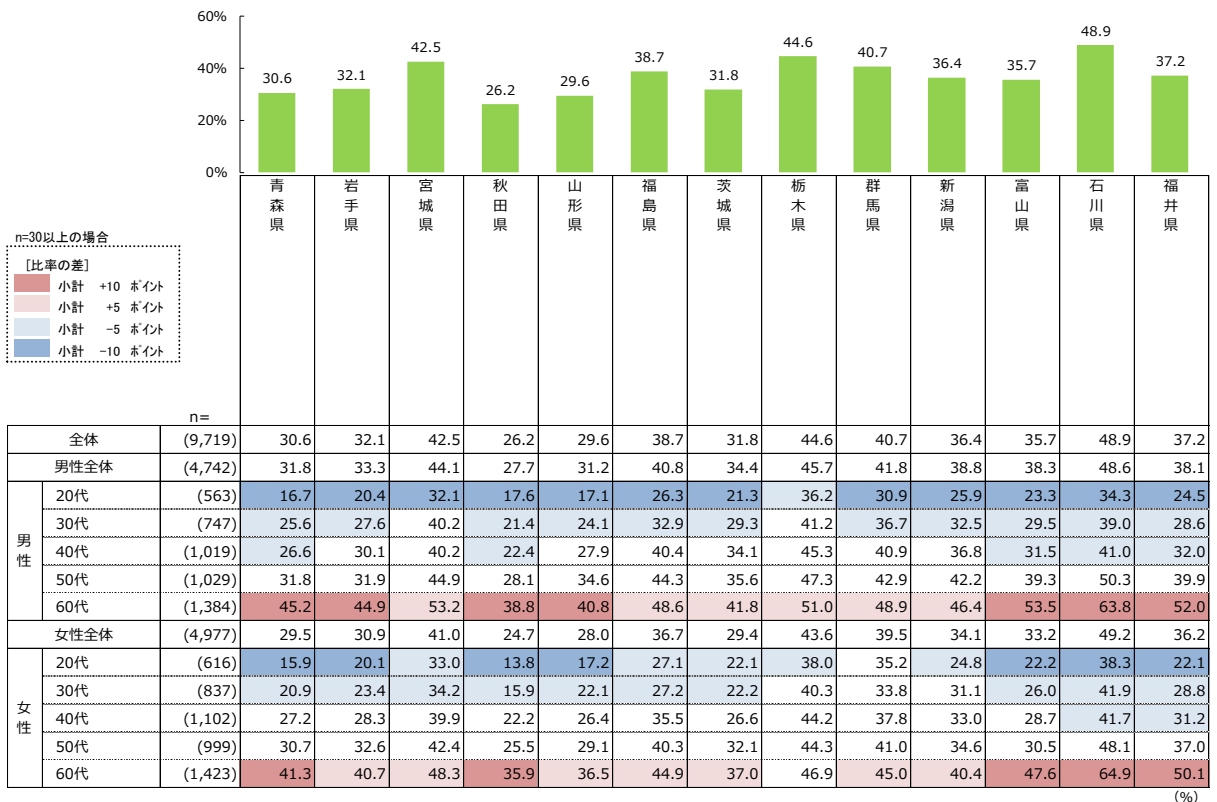
東北地方、北関東地方、北陸地方の旅行経験（性別・年代別）

SC3 東北地方、北関東地方、北陸地方の中から、旅行（出張・ビジネスは除く）したことがある県をすべてお選びください。
※ 帰省は含めず、修学旅行等の学校・地域の行事を含む

～東北・北関東・北陸では「石川県」の訪問率が最高～

- 東北地方、北関東地方、北陸地方の中で、旅行したことがある県をみると、全体で「石川県」が48.9%で最も高く、次いで「栃木県」が44.6%、「宮城県」が42.5%、「群馬県」が40.7%となり、有名な観光地や温泉のある県が上位に入っている。続いて「福島県」が38.7%となった。
- 性別・世代別にみると、各県ともに年代が上がるほど訪問率も上がる傾向がみられるが、「石川県」の旅行経験者は男女ともに60代で6割を超えている。一方、男性の20～40代で最も訪問率が高かったのは「栃木県」であった。
- 「福島県」は東北では「宮城県」に次ぐ2番目であるが、男性の40代では宮城県を上回った。

(複数回答)



東北地方、北関東地方、北陸地方の旅行経験（居住地域別）

SC3 東北地方、北関東地方、北陸地方の中から、旅行（出張・ビジネスは除く）したことがある県をすべてお選びください。
※ 帰省は含めず、修学旅行等の学校・地域の行事を含む

～「福島県」は東北地方で唯一、首都圏からの訪問率が5割を超える～

- 東北地方、北関東地方、北陸地方への旅行経験を居住地域別にみると、自分の居住地域である県およびその周辺の県への訪問率が圧倒的に高い。
- 全体で最も訪問率の高い「石川県」には、近畿が72.9%、中国が60.4%、四国が56.9%など、西日本地域から多くの観光客が訪れていることがわかる。
- 「福島県」は、東北地方では唯一、首都圏からの訪問率が5割を超えている。また、東北、北関東、首都圏からの観光が中心で、それ以外の地域との差が大きい。北関東3県についても北関東および首都圏に圧倒的な集中がみられる。

(複数回答)

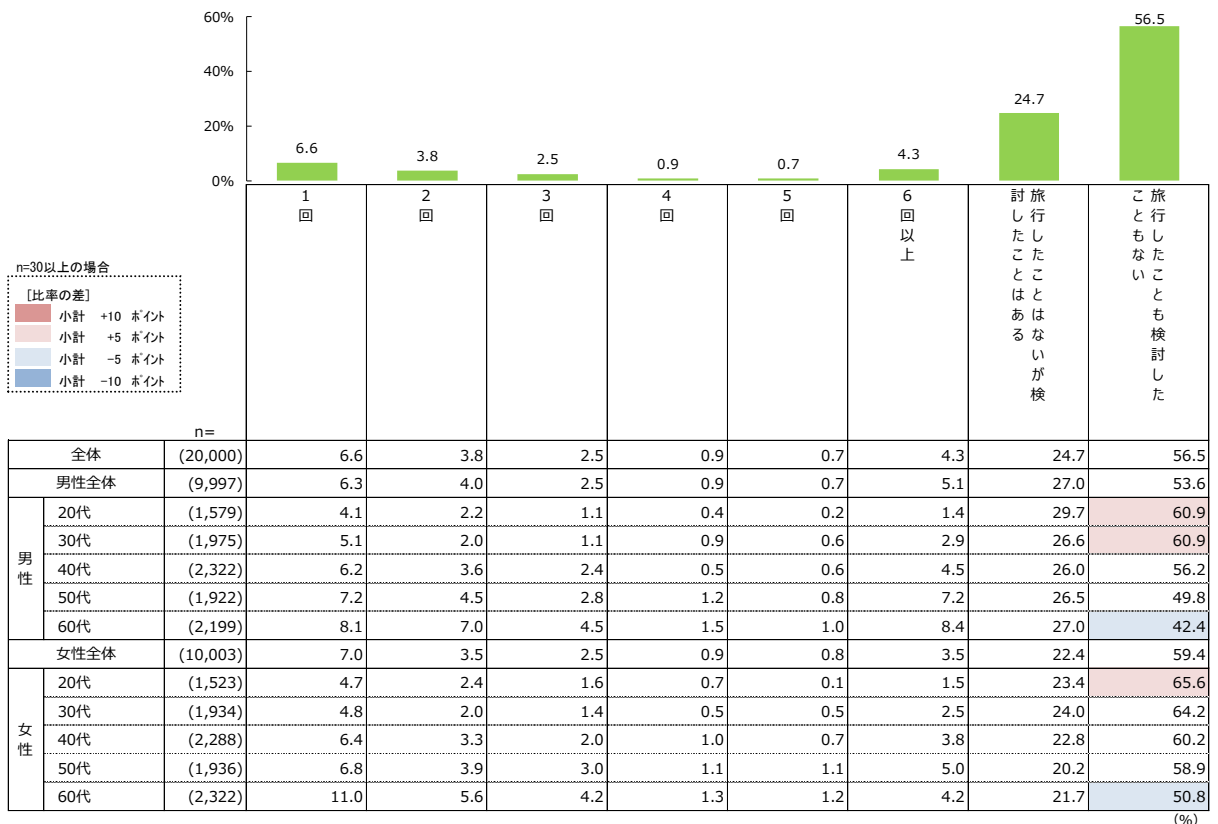


福島県への旅行経験（性別・年代別）

SC4 あなたは、福島県を何回旅行(出張・ビジネスは除く)したことがありますか。
※ 帰省は含めず、修学旅行等の学校・地域の行事を含む

～「旅行したことはないが検討したことはある」のは男性20代で約3割～

- 福島県への旅行回数をみると、全体で「1回」が6.6%、「2～5回」が7.9%、「6回以上」が4.3%で、本県への旅行経験がある人の割合は全体で18.8%となった。
- 年代別では、男女ともに年代が上がるほど旅行経験がある人の割合も高くなり、男性60代が30.6%、女性60代が27.5%となった。
- 男性は50代・60代で6回以上の割合が高いのに対し、女性の50代・60代では1回のみの割合が高く、何度も訪れるリピーターとしての傾向は男性に強く表れる結果となっている。
- 「旅行したことも検討したこともない」は、男性が20代～40代、女性がすべての世代で5割を超え、女性はすべての世代で男性を上回る結果となった。
- 一方、「旅行したことはないが検討したことはある」と回答した人の割合は、男性がすべての世代で女性を上回り、男性20代は29.7%と約3割に達している。きっかけ次第で本県への旅行を実施する可能性は十分にあるものと考えられる。



福島県への旅行経験（居住地域別）

SC4 あなたは、福島県を何回旅行(出張・ビジネスは除く)したことがありますか。
※ 帰省は含めず、修学旅行等の学校・地域の行事を含む

～「旅行したことはないが検討したことはある」のは北関東で3割超～

- 福島県への旅行経験ありの割合を居住地域別にみると、東北が41.3%、北関東が36.5%、首都圏が30.2%などと続き、東日本からの来訪者が圧倒的に多い結果となっている。
- 「旅行したことも検討したこともない」は、四国、九州、中国、北海道では7割を超えている。移動にかかる距離や時間を考慮すると想定される結果ではあるが、北海道が7割を超えている現状をみると、福島空港－札幌（新千歳）の航空路線や北海道新幹線の開業が本県へ来訪するきっかけにはつなげていないものとみられる。
- 一方、「旅行したことはないが検討したことはある」と回答した人の割合は北関東で3割を超えており、隣接県において本県への観光需要を掘り起こす余地は十分にあるものと考えられる。



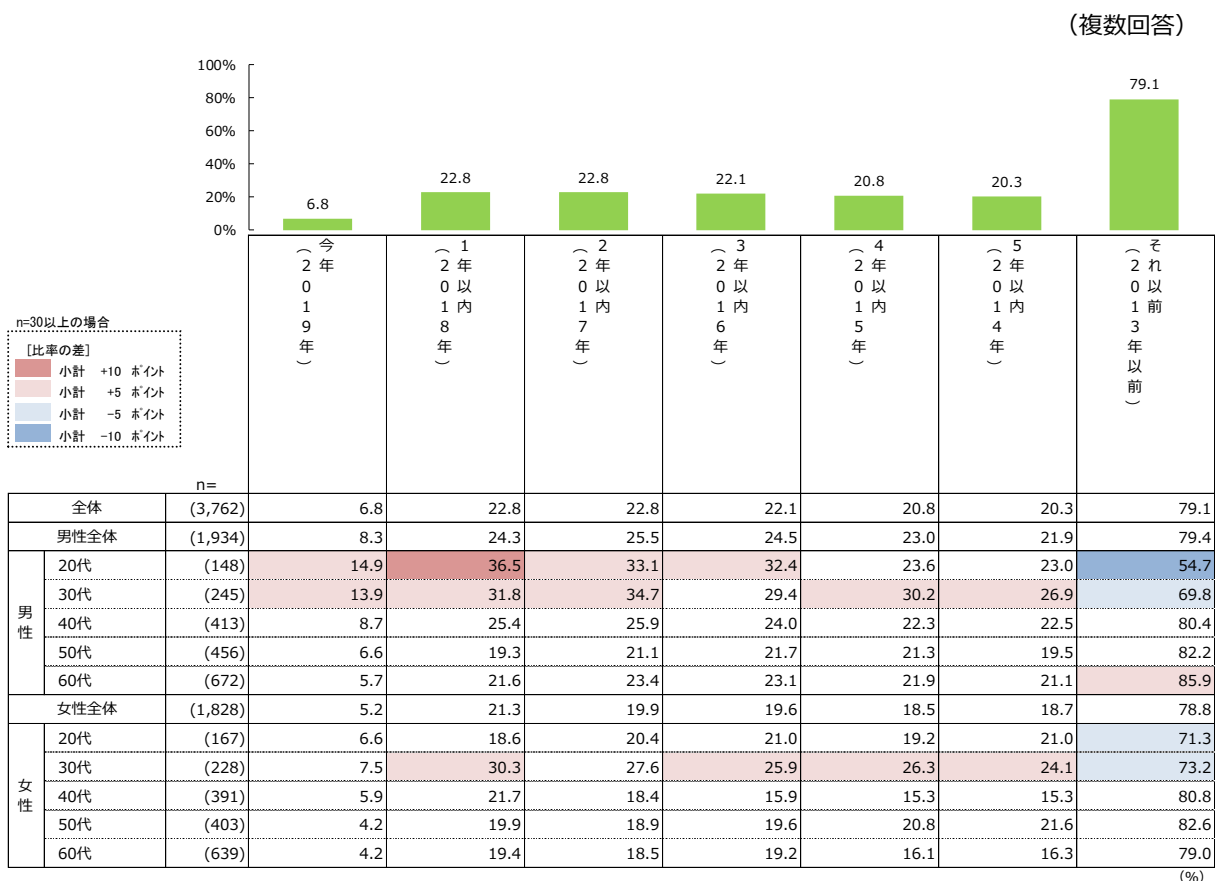
福島県旅行に行った時期（性別・年代別）

SC5 あなたは、福島県にいつ旅行(出張・ビジネスは除く)に行きましたか。

※ 帰省は含めず、修学旅行等の学校・地域の行事を含む

～近年は男性の20～30代の訪問割合が高め～

- 福島県旅行経験者のうち、全体の約8割が2013年以前に既に訪れている。それ以降は、毎年2割強で推移している。
- 性別・年代別で見ると、近年は男性の20～30代の訪問割合が高い。特に男性の20代は2014年以降年々上昇しており、「1年以内（2018年）」では36.5%に上っている。
- 一方、女性の20代は20%前後で推移しており、男女での差が顕著となっている。対象を女性20代に特化するなど、選択肢の幅を広げるプランを検討する余地があるものと考えられる。



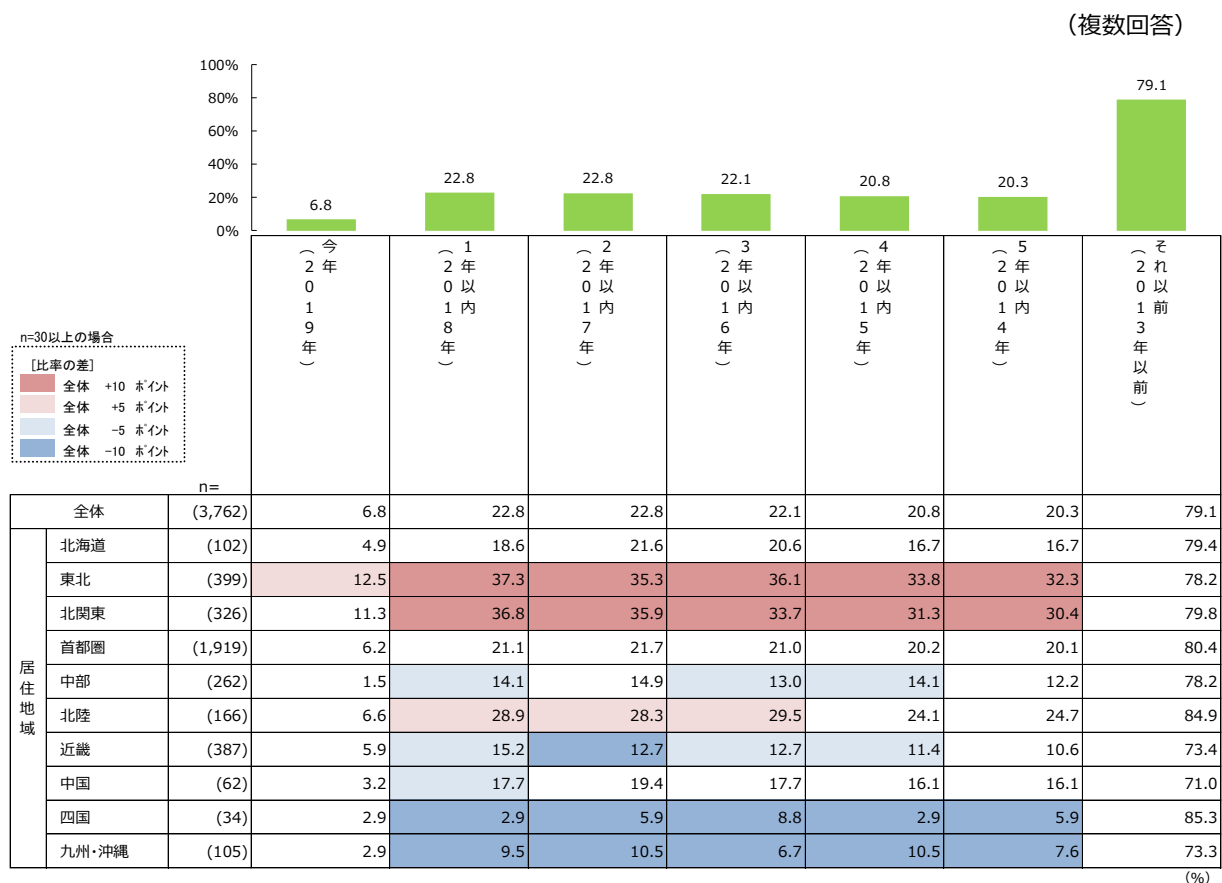
福島県旅行に行った時期（居住地域別）

SC5 あなたは、福島県にいつ旅行(出張・ビジネスは除く)に行きましたか。

※ 帰省は含めず、修学旅行等の学校・地域の行事を含む

～2013年以前の福島県への来訪はすべての地域で7割超～

- 福島県旅行の時期を居住地域別にみると、2013年以前に福島県旅行を経験した割合は、すべての地域において7割を超えている。
- 2014年以降では、東北のほか、北関東も30%台、北陸は20%台後半、首都圏は20%台前半の訪問率でそれぞれ推移している。
- 訪問時期をみると、四国を除き「1年以内（2018年）」が「5年以内（2014年）」を上回っており、大半の地域において徐々に訪問率が上がってきている。



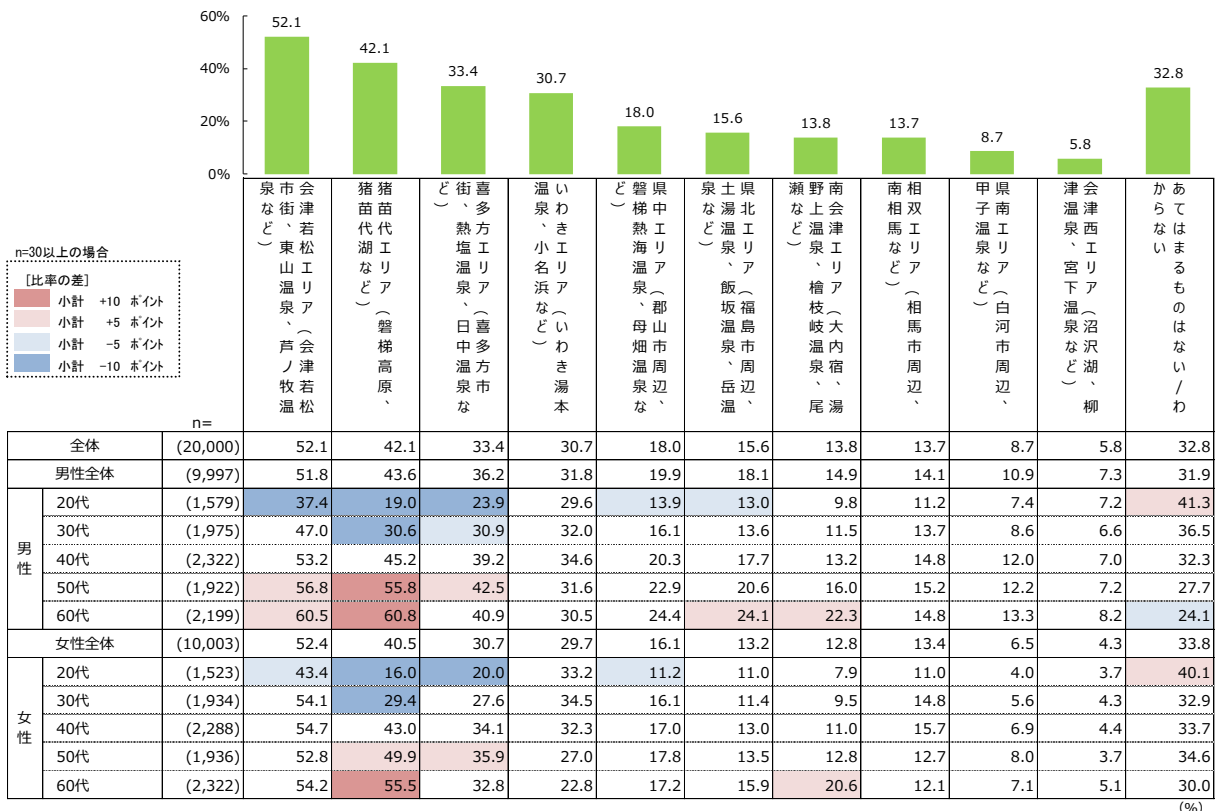
福島県で知っているエリア（性別・年代別）

SC6 次の福島県のエリアについて、知っているエリアをすべてお選びください。

～「会津若松エリア」の認知度は5割超～

- 福島県で知っているエリアについては、歴史的な背景から注目されることが多い「会津若松エリア（会津若松市街、東山温泉、芦ノ牧温泉など）」が全体で52.1%と最も高かった。
- 次いで、国内で4番目に広い猪苗代湖や指折りの自然景観を有する裏磐梯などの「猪苗代エリア（磐梯高原、猪苗代湖など）」が42.1%、日本三大ラーメンの一つ「喜多方ラーメン」で知られる「喜多方エリア（喜多方市街、熱塩温泉、日中温泉など）」が33.4%と続き、会津地域のエリアが上位を占めた。
- 性別・年代別では、男女ともに年代が上がるほど認知度も上がる傾向がみられるが、特に「猪苗代エリア（磐梯高原、猪苗代湖など）」は世代間での差が顕著であり、若者のスキー離れなども一つの要因であることが窺える。
- 一方、「あてはまるものはない/わからない」が全体で32.8%に上り、男女ともに20代では4割を超えている。

(複数回答)



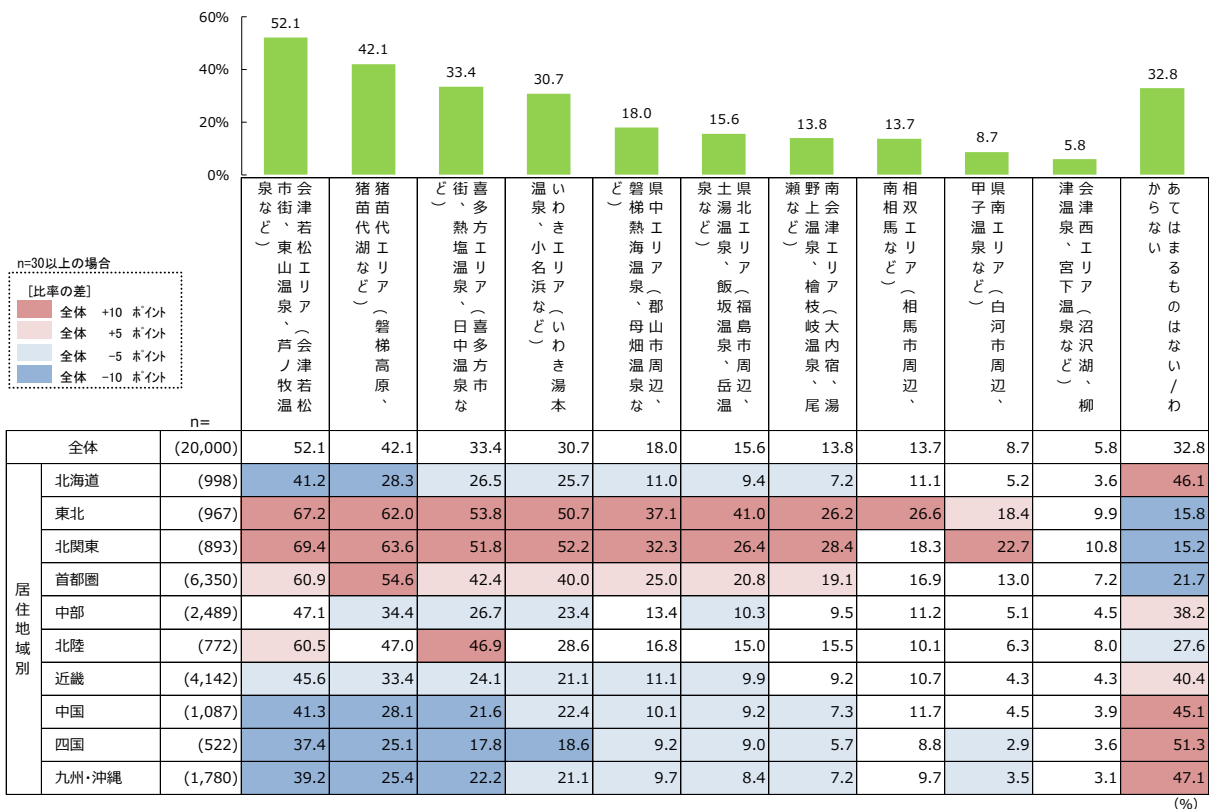
福島県で知っているエリア（居住地域別）

SC6 次の福島県のエリアについて、知っているエリアをすべてお選びください。

～福島県の認知度は東日本と西日本で大きな差～

- 福島県で知っているエリアについて居住地域別でみると、東日本・西日本で大きな差がみられる。最も認知度が高い「会津若松エリア（会津若松市街、東山温泉、芦ノ牧温泉など）」では、北関東や東北が約7割、首都圏や北陸でも6割を超えているのに対し、西日本ではいずれも5割を下回っている。
- すべてのエリアにおいて、東北での認知度が高くなっているのは想定される結果であるが、本県に隣接する北関東でも「県南エリア（白河市周辺、甲子温泉など）」など、東北を上回るエリアもみられる。
- 一方、北海道における認知度は西日本と同様に低く、最も高い「会津若松エリア（会津若松市街、東山温泉、芦ノ牧温泉など）」も41.2%にとどまる。福島空港－札幌（新千歳）の航空路線や北海道新幹線の運行はあるものの、思うように認知度の向上にはつなげていないものとみられる。

(複数回答)



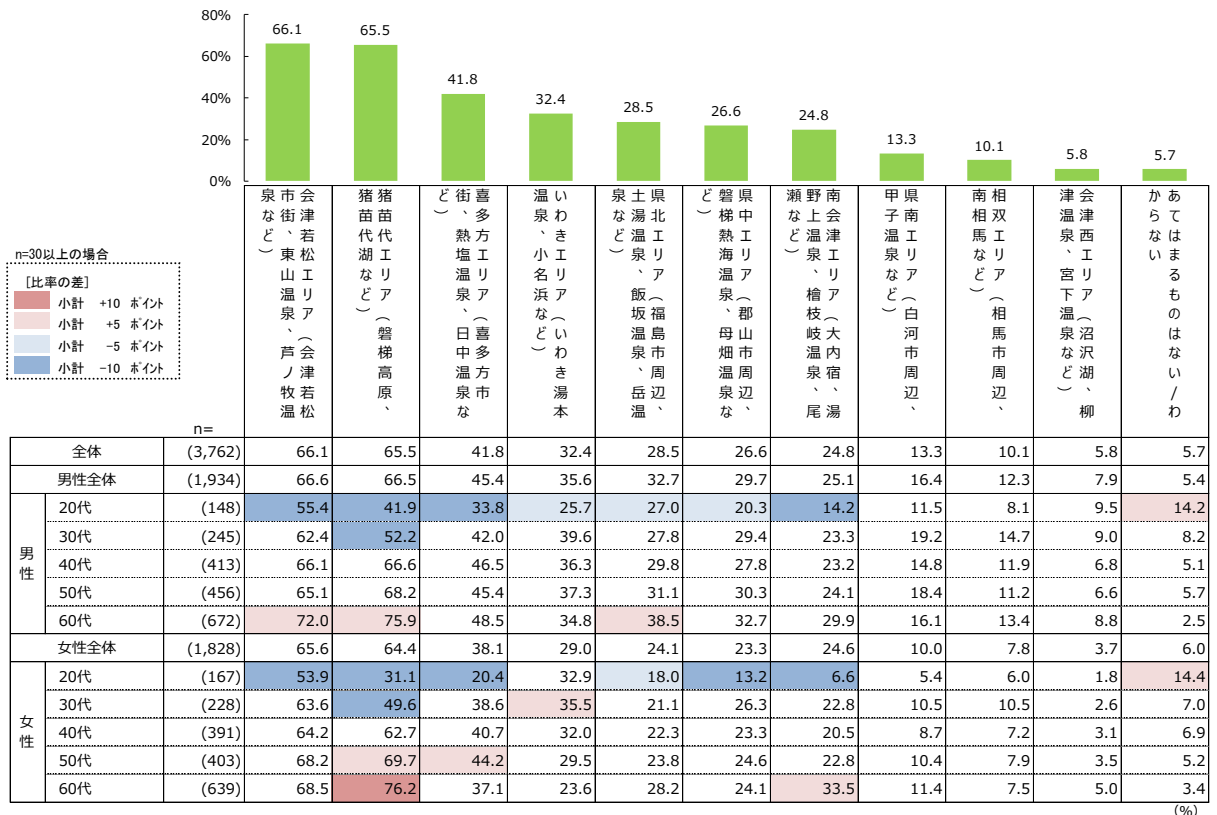
福島県で行ったことがあるエリア（性別・年代別）

SC7 次の福島県のエリアについて、行ったことがあるエリアをすべてお選びください。
※ 帰省は含めず、修学旅行等の学校・地域の行事を含む

～「いわきエリア」に行ったことがあるのは30代の割合が高い～

- 福島県旅行経験者で、行ったことがあるエリアについては、「会津若松エリア（会津若松市街、東山温泉、芦ノ牧温泉など）」が全体で66.1%と最も高かった。
- 次いで、「猪苗代エリア（磐梯高原、猪苗代湖など）」が65.5%、「喜多方エリア（喜多方市街、熱塩温泉、日中温泉など）」が41.8%と続き、知っているエリアと同様に会津地域のエリアが上位を占めた。
- 性別・年代別では、男女ともに年代が上がるほど認知度も上がる傾向がみられるが、特に「猪苗代エリア（磐梯高原、猪苗代湖など）」は世代間での差が顕著に表れている。
- 一方、「いわきエリア（いわき湯本温泉、小名浜など）」は男女ともに30代の割合が最も高いのが特徴で、スパリゾートハワイアンズやアクアマリンふくしまなど、小さな子供連れで訪れる旅行者が多いものとみられる。

(複数回答)



福島県で行ったことがあるエリア（居住地域別）

SC7 次の福島県のエリアについて、行ったことがあるエリアをすべてお選びください。
※ 帰省は含めず、修学旅行等の学校・地域の行事を含む

～「会津若松エリア」「猪苗代エリア」は、近畿や中国でも6割近くに上る～

- 福島県で行ったことがあるエリアについて居住地域別でみると、いずれのエリアにおいても、東北のほか、北関東や首都圏の居住者が全体の割合を引き上げる傾向がみられ、東日本の旅行者が中心となっている。
- 会津地域の各エリアについては、北陸の割合の高さが目立っており、磐越自動車道や磐越西線が重要な役割を果たしていることが窺える。
- 「会津若松エリア」「猪苗代エリア」は、近畿や中国でも6割近くに上っており、歴史的背景から、福島県旅行においては会津地域のイメージが強く、旅行先として選択されるケースが多いものとみられる。

(複数回答)

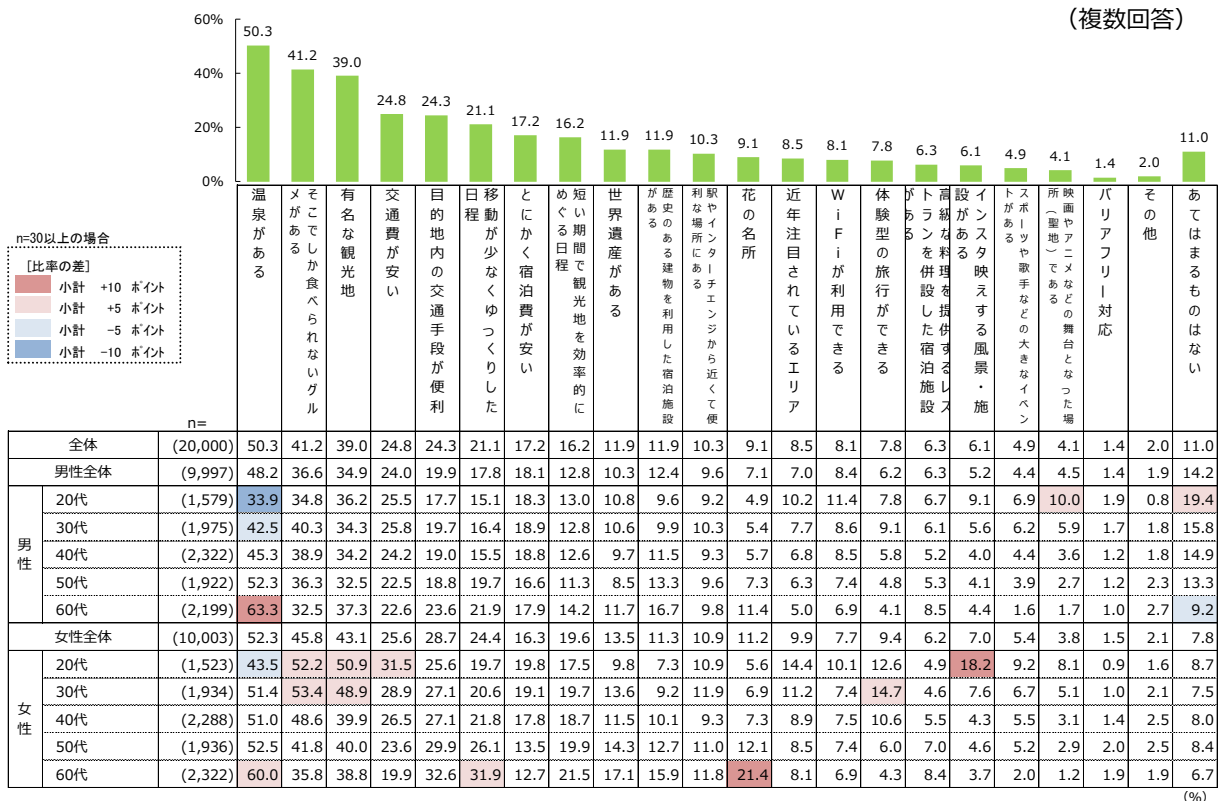


国内旅行で重視すること（性別・年代別）

SC8 あなたが、国内旅行で重視することは何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。

～「温泉がある」ことを重視する人が5割を超える～

- 国内旅行で重視することは、全体で「温泉がある」が50.3%と最も高く、次いで「そこでしか食べられないグルメがある」が41.2%、「有名な観光地」が39.0%、「交通費が安い」が24.8%と続いている。
- 性別・年代別にみると、「温泉がある」は年代が上がるほど割合が高くなる傾向にあり、「そこでしか食べられないグルメがある」は女性の20～40代で特に高い。また、女性の60代は、「目的地内の交通手段が便利」「移動が少なくゆっくりした日程」「花の名所」などにも多くの回答が寄せられた。
- 全般的に、多くの項目で男性より女性の回答割合が高い結果となったが、特に「インスタ映えする風景・施設ある」は女性の20代で18.2%と突出して高いなど、世代間での嗜好の変化もみられる。
- 男性の20代では、「Wi-Fi利用ができる」「映画やアニメなどの舞台となった場所（聖地）である」が性別・年代別で最も高い割合となった。

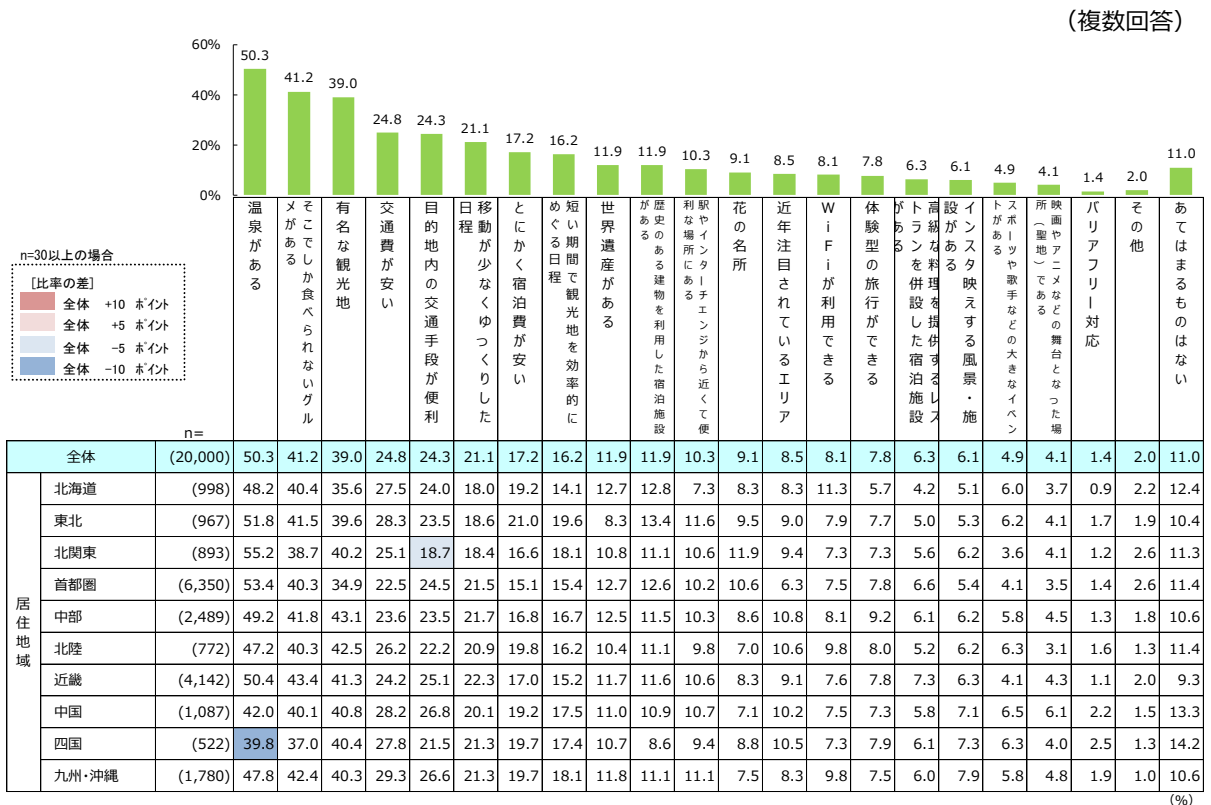


国内旅行で重視すること（居住地域別）

SC8 あなたが、国内旅行で重視することは何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。

～「温泉」「グルメ」「有名観光地」はすべての地域に共通～

- 国内旅行で重視することを居住地域別にみると、「温泉がある」は四国を除くすべての地域で最も回答率が高く、東北、北関東、首都圏、近畿では5割を超えている。四国で最も高かったのは「有名な観光地」であった。
- ただし、「温泉がある」「そこでしか食べられないグルメがある」「有名な観光地」の上位3項目の割合が他を引き離し高いという傾向はすべての地域に共通であり、地域による大きな差はみられなかった。

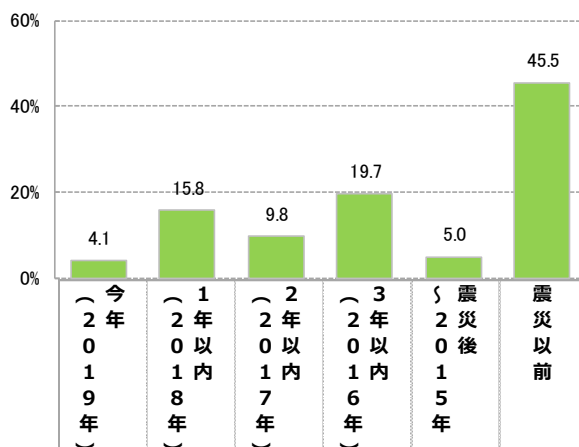


初めて福島県を旅行した時期（性別・年代別）

Q1 あなたがはじめて福島県を旅行したのはいつ頃ですか。

～「震災以前」に福島県を訪問していた割合は4割を超える～

- はじめて福島県を旅行した時期をみると、全体の45.5%が「震災以前」に既に福島県を訪れている。
- 性別・年代別にみると、「震災以前」が5割を超えたのは男性60代の55.8%、女性50代の54.7%のみで、それ以外の世代はいずれもと5割を下回った。
- 震災後～2015年の訪問割合が全体で5.0%であったのに対し、その後は一定の回復がみられる。観光復興の取り組みにより、福島県旅行についての懸念が次第に低下するとともに、これまで福島県に来る機会がなかった新たな観光客の掘り起こしにつながっていることが窺える。



【表側1】性別
【表側2】年齢

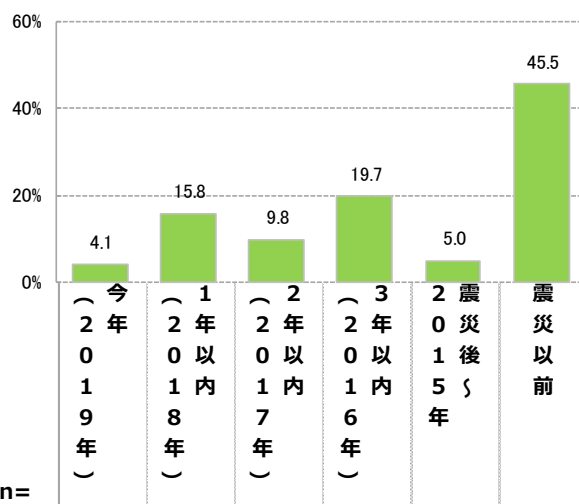
		n=	(2019年)	(2018年以内)	(2017年以内)	(2016年以内)	(2015年以後)	震災以前
全体		(1,030)	4.1	15.8	9.8	19.7	5.0	45.5
男性全体		(591)	4.7	14.7	10.5	17.6	5.4	47.0
男性	20代	(67)	4.5	14.9	14.9	37.3	4.5	23.9
	30代	(97)	6.2	14.4	9.3	18.6	7.2	44.3
	40代	(125)	4.0	16.0	12.8	16.8	3.2	47.2
	50代	(112)	3.6	12.5	10.7	17.9	7.1	48.2
	60代	(190)	5.3	15.3	7.9	10.5	5.3	55.8
女性全体		(439)	3.2	17.3	8.9	22.6	4.6	43.5
女性	20代	(51)	11.8	21.6	13.7	19.6	7.8	25.5
	30代	(68)	4.4	20.6	7.4	22.1	1.5	44.1
	40代	(80)	2.5	22.5	7.5	18.8	5.0	43.8
	50代	(86)	0.0	9.3	8.1	20.9	7.0	54.7
	60代	(154)	1.9	16.2	9.1	26.6	3.2	42.9

初めて福島県を旅行した時期（居住地域別）

Q1 あなたがはじめて福島県を旅行したのはいつ頃ですか。

～北陸では「震災以前」が6割を超える～

- はじめて福島県を旅行した時期を居住地域別にみると、「震災以前」は北陸が62.3%で最も高かった。次いで東北が61.7%、北関東が61.2%、首都圏が46.2%、北海道が41.7%となり、東日本地域では震災以前の訪問割合が高くなっている。
- 一方、西日本地域からの旅行には距離の壁があり、近畿以西では「震災以前」は20%に満たない。しかし、大半が震災以降にはじめて本県を訪れていることは、西日本地域でも震災を契機に福島県を訪れる機会が生まれているものとみられ、地域別にみても新たな観光客の発掘につながっていることが窺える。



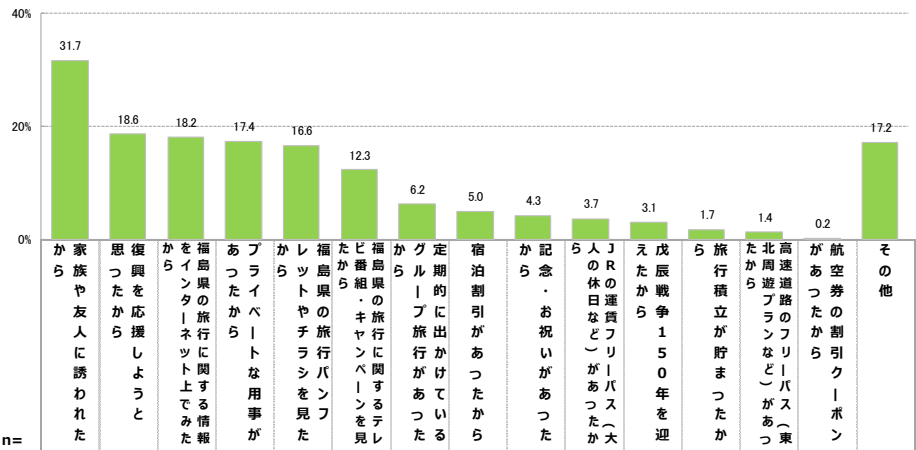
居住地域		n	2019年	2018年以内	2017年以内	2016年以内	2015年	震災以前
全体		(1,030)	4.1	15.8	9.8	19.7	5.0	45.5
居住地域	北海道	(24)	0.0	16.7	4.2	33.3	4.2	41.7
	東北	(154)	5.2	15.6	3.9	11.7	1.9	61.7
	北関東	(121)	3.3	18.2	5.0	8.3	4.1	61.2
	首都圏	(485)	3.9	14.8	10.3	19.6	5.2	46.2
	中部	(58)	1.7	22.4	15.5	32.8	5.2	22.4
	北陸	(53)	3.8	7.5	5.7	13.2	7.5	62.3
	近畿	(93)	5.4	19.4	17.2	35.5	7.5	15.1
	中国・四国	(23)	8.7	13.0	17.4	34.8	8.7	17.4
	九州・沖縄	(19)	5.3	15.8	31.6	26.3	10.5	10.5

福島県旅行に行くキッカケ（性別・年代別）

Q2 あなたが直近の福島県旅行に行くキッカケになったことは何ですか。
あてはまるものをすべてお選びください。

～女性は「家族や友人からの誘い」がすべての年代で最も高い～

- 福島県旅行に行くキッカケをみると、全体で「家族や友人に誘われたから」が31.7%と最も高く、次いで「復興を応援しようと思ったから」が18.6%、「福島県の旅行に関する情報をインターネット上で見たから」が18.2%続いている。
- 性別・年代別でみると、「家族や友人に誘われたから」は女性のすべての年代で最も高い。一方、男性で「家族や友人に誘われたから」が最も高いのは20～30代のみであり、40代以降はインターネットの情報やパンフレット・チラシなどの活用が目立っている。
- 2018年に戊辰戦争から150年を迎えたが、それがキッカケになったと回答したのは全体で3.1%であった。



【表欄1】性別
【表欄2】年齢

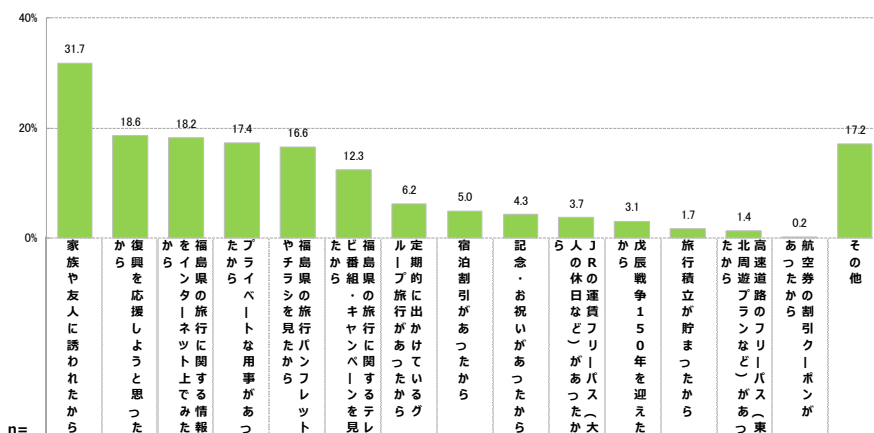
		n=	31.7	18.6	18.2	17.4	16.6	12.3	6.2	5.0	4.3	3.7	3.1	1.7	1.4	0.2	17.2
全体		(1,030)	31.7	18.6	18.2	17.4	16.6	12.3	6.2	5.0	4.3	3.7	3.1	1.7	1.4	0.2	17.2
男性全体		(591)	23.4	20.3	22.0	19.1	18.4	13.0	7.4	4.9	3.7	5.6	3.7	1.9	2.2	0.3	19.6
男性	20代	(67)	31.3	17.9	25.4	25.4	10.4	9.0	6.0	1.5	0.0	11.9	1.5	3.0	4.5	1.5	11.9
	30代	(97)	34.0	22.7	29.9	24.7	20.6	14.4	8.2	7.2	6.2	7.2	8.2	4.1	2.1	0.0	15.5
	40代	(125)	19.2	16.0	24.0	18.4	18.4	8.0	4.8	5.6	3.2	4.8	1.6	2.4	2.4	0.0	15.2
	50代	(112)	22.3	17.0	13.4	20.5	12.5	10.7	7.1	3.6	2.7	2.7	2.7	0.9	2.7	0.9	30.4
	60代	(190)	18.4	24.7	20.5	13.7	23.7	18.4	9.5	5.3	4.7	4.7	4.2	0.5	1.1	0.0	21.1
女性全体		(439)	43.1	16.4	13.0	15.0	14.1	11.4	4.6	5.0	5.0	1.1	2.3	1.6	0.2	0.0	13.9
女性	20代	(51)	52.9	11.8	11.8	19.6	9.8	5.9	3.9	5.9	5.9	0.0	3.9	2.0	0.0	0.0	13.7
	30代	(68)	42.6	11.8	13.2	14.7	10.3	5.9	2.9	1.5	5.9	1.5	0.0	2.9	0.0	0.0	19.1
	40代	(80)	45.0	10.0	17.5	22.5	11.3	10.0	1.3	5.0	5.0	1.3	3.8	0.0	0.0	0.0	10.0
	50代	(86)	44.2	24.4	10.5	11.6	16.3	8.1	4.7	4.7	4.7	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	15.1
	60代	(154)	38.3	18.8	12.3	11.7	17.5	18.2	7.1	6.5	4.5	1.9	2.6	2.6	0.6	0.0	13.0

福島県旅行に行くキッカケ（居住地域別）

Q2 あなたが直近の福島県旅行に行くキッカケになったことは何ですか。
あてはまるものをすべてお選びください。

～「復興を応援」は全国各地域に広がり～

- 福島県旅行に行くキッカケを居住地域別みると、東北では「家族や友人に誘われたから」が4割を超え最も高い。次いで「プライベートな用事があったから」となっている。
- 「復興を応援しようと思ったから」は北海道や近畿、九州・沖縄で高くなっているほか、首都圏でも2割を超え、復興支援の輪が全国に広がっていることが確認される。



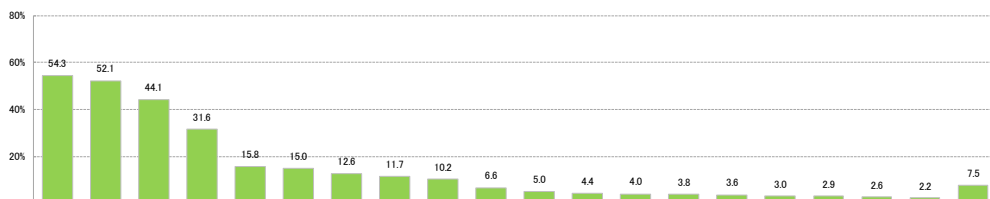
全体		(1,030)	31.7	18.6	18.2	17.4	16.6	12.3	6.2	5.0	4.3	3.7	3.1	1.7	1.4	0.2	17.2
居住地域	北海道	(24)	20.8	29.2	8.3	29.2	16.7	4.2	0.0	4.2	12.5	4.2	8.3	0.0	0.0	0.0	16.7
	東北	(154)	40.3	11.7	16.9	25.3	15.6	11.0	2.6	7.1	7.8	0.6	0.6	1.9	2.6	0.0	11.0
	北関東	(121)	33.9	13.2	12.4	14.0	14.9	9.9	5.0	5.8	4.1	2.5	4.1	3.3	0.8	0.0	23.1
	首都圏	(485)	30.7	20.6	20.6	15.9	18.1	14.6	7.2	4.9	3.7	4.7	2.9	1.2	1.4	0.2	16.7
	中部	(58)	34.5	24.1	20.7	15.5	22.4	17.2	6.9	3.4	5.2	1.7	5.2	3.4	3.4	1.7	12.1
	北陸	(53)	24.5	13.2	17.0	24.5	11.3	1.9	7.5	5.7	0.0	1.9	1.9	1.9	0.0	0.0	20.8
	近畿	(93)	29.0	23.7	17.2	11.8	12.9	12.9	8.6	3.2	0.0	4.3	6.5	0.0	0.0	0.0	19.4
	中国・四国	(23)	17.4	13.0	13.0	8.7	21.7	8.7	4.3	0.0	8.7	13.0	0.0	4.3	0.0	0.0	30.4
	九州・沖縄	(19)	31.6	26.3	21.1	21.1	5.3	5.3	10.5	0.0	5.3	5.3	0.0	5.3	0.0	0.0	21.1

福島県旅行の目的（性別・年代別）

Q3 あなたが直近の旅行で「福島県」を選んだ・訪問した目的は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。

～「温泉を楽しむ」は年代が上がるほど高くなる傾向～

- 福島県旅行の目的をみると、全体で「温泉を楽しむ」が54.3%と最も高かった。次いで「自然や風景を楽しむ」が52.1%、「おいしいものを食べ歩く」が44.1%となり、本県の美しい景観や食文化が高い評価を得ていることがわかる。「参拝・歴史・文化観光」の31.6%は、会津地域を中心に興味を惹かれているものとみられる。
- 性別・年代別では、「温泉を楽しむ」は、男女ともに年代が上がるほど割合も高くなり、「自然や風景を楽しむ」「おいしいものを食べ歩く」も幅広い世代に支持されている。
- 男性の30代は「特産品の購入（買い物）」「地酒を楽しむ」の割合が高かった。一方、女性の20代は「テーマパークや水族館」が特に高く、周遊する楽しみを加えることで相乗効果が高まることが期待される。



【表例1】性別
【表例2】年齢

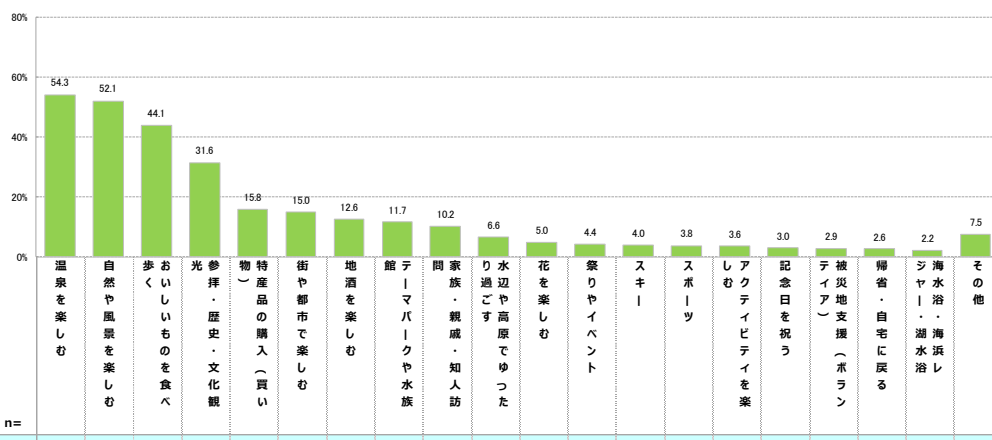
		n=	温泉を楽しむ	自然や風景を楽しむ	歩 おいしいものを食べ	光 参拝・歴史・文化観	物) 特産品の購入(買い	街や都市で楽しむ	地酒を楽しむ	館 テーマパークや水族	問 家族・親戚・知人訪	り水辺や高原でゆった	花を楽しむ	祭りやイベント	スキー	スポーツ	しむ アクティビティを楽	記念日を祝う	被災地支援(ポラン	帰省・自宅に戻る	シャワー・湯水浴	海水浴・海浜レ	その他
全体		(1,030)	54.3	52.1	44.1	31.6	15.8	15.0	12.6	11.7	10.2	6.6	5.0	4.4	4.0	3.8	3.6	3.0	2.9	2.6	2.2	2.2	7.5
男性全体		(591)	54.7	49.9	44.5	32.3	15.6	16.8	15.9	10.7	9.6	6.8	4.7	4.7	4.9	5.4	4.6	2.2	4.4	2.5	3.0	3.0	7.8
男性	20代	(67)	40.3	41.8	46.3	26.9	10.4	25.4	13.4	9.0	10.4	4.5	0.0	0.0	4.5	4.5	6.0	1.5	7.5	4.5	0.0	0.0	3.0
	30代	(97)	48.5	53.6	54.6	37.1	25.8	17.5	21.6	15.5	20.6	10.3	4.1	9.3	7.2	7.2	8.2	2.1	6.2	4.1	3.1	3.1	7.2
	40代	(125)	54.4	47.2	46.4	28.0	16.0	18.4	15.2	16.8	7.2	4.0	2.4	2.4	5.6	6.4	3.2	1.6	0.8	4.0	5.6	5.6	4.0
	50代	(112)	57.1	41.1	43.8	25.9	11.6	13.4	8.9	8.9	7.1	4.5	2.7	6.3	2.7	5.4	4.5	0.9	3.6	0.9	3.6	3.6	10.7
	60代	(190)	61.6	57.9	37.9	38.4	14.2	14.2	18.4	5.8	6.8	8.9	9.5	4.7	4.7	4.2	3.2	3.7	5.3	1.1	2.1	2.1	10.5
女性全体		(439)	53.8	55.1	43.5	30.5	16.2	12.5	8.2	13.0	10.9	6.4	5.2	3.9	2.7	1.6	2.3	4.1	0.9	2.7	1.1	1.1	7.1
女性	20代	(51)	29.4	43.1	47.1	17.6	17.6	15.7	9.8	31.4	15.7	5.9	0.0	7.8	3.9	2.0	3.9	2.0	2.0	3.9	3.9	3.9	13.7
	30代	(68)	55.9	44.1	47.1	30.9	14.7	14.7	7.4	17.6	13.2	2.9	1.5	1.5	4.4	1.5	2.9	5.9	0.0	2.9	0.0	0.0	10.3
	40代	(80)	48.8	42.5	50.0	23.8	15.0	11.3	5.0	15.0	11.3	6.3	3.8	8.8	5.0	1.3	3.8	7.5	0.0	3.8	2.5	7.5	
	50代	(86)	54.7	61.6	53.5	31.4	20.9	14.0	12.8	8.1	7.0	11.6	7.0	0.0	1.2	1.2	2.3	4.7	0.0	3.5	1.2	4.7	
	60代	(154)	63.0	66.9	31.8	37.7	14.3	10.4	7.1	6.5	10.4	5.2	8.4	3.2	1.3	1.9	0.6	1.9	1.9	1.3	0.0	0.0	4.5

福島県旅行の目的（居住地域別）

Q3 あなたが直近の旅行で「福島県」を選んだ・訪問した目的は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。

～東北・北関東は「テーマパークや水族館」が高め～

- 福島県旅行の目的を居住地域別にみると、東北は「自然や風景を楽しむ」がやや低く、「おいしいものを食べ歩く」「テーマパークや水族館」が高い。
- 地元の食文化やスパリゾートハワイアンズ、アクアマリンふくしまなど、福島県に来なければ楽しむことができない観光資源は大きな武器となっており、自家用車や電車で往復できる東北や北関東からの誘客が進んでいるものとみられる。
- 一方、「スポーツ」については全体的に支持が低めである。2020年の東京オリンピックにおける一部競技の福島県内での開催が決定し、またJヴィレッジが再開するなど、スポーツ関連での明るい話題もあり、福島県のスポーツイメージを高めることにつながる事が期待される。



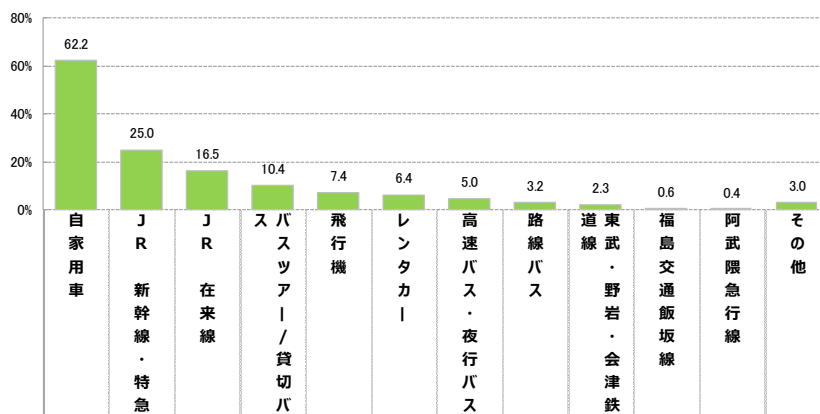
		n=	温泉を楽しむ	自然や風景を楽しむ	歩く	おいしいものを食べ	参拝・歴史・文化観	特産品の購入（買い	街や都市で楽しむ	地酒を楽しむ	テーマパークや水族	家族・親戚・知人訪	水辺や高原でゆった	花を楽しむ	祭りやイベント	スキー	スポーツ	アクティビティを楽	記念日を祝う	被災地支援（ポラン	帰省・自宅に戻る	ジャヤー・湯水浴レ	海水浴・海浜レ	その他
全体		(1,030)	54.3	52.1	44.1	31.6	15.8	15.0	12.6	11.7	10.2	6.6	5.0	4.4	4.0	3.8	3.6	3.0	2.9	2.6	2.2	2.2	7.5	
居住地域	北海道	(24)	29.2	45.8	33.3	37.5	4.2	25.0	20.8	8.3	25.0	4.2	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	4.2	0.0	0.0	4.2
	東北	(154)	49.4	41.6	53.9	30.5	20.1	11.0	9.7	17.5	13.6	8.4	4.5	4.5	2.6	3.2	3.2	5.2	0.6	3.2	1.3	2.6	1.3	2.6
	北関東	(121)	49.6	53.7	49.6	27.3	22.3	16.5	5.0	18.2	9.9	7.4	5.8	5.0	5.0	3.3	4.1	3.3	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	5.8
	首都圏	(485)	60.2	55.3	42.7	31.1	14.0	15.7	16.3	12.0	10.1	7.4	5.4	4.7	6.2	4.5	4.9	3.1	3.1	2.9	2.9	3.7	3.7	8.0
	中部	(58)	55.2	51.7	53.4	32.8	20.7	17.2	17.2	3.4	8.6	10.3	3.4	1.7	0.0	1.7	0.0	5.2	3.4	1.7	1.7	1.7	8.6	
	北陸	(53)	52.8	52.8	43.4	26.4	13.2	13.2	5.7	9.4	5.7	1.9	7.5	7.5	1.9	3.8	0.0	0.0	1.9	5.7	0.0	0.0	9.4	
	近畿	(93)	50.5	52.7	31.2	38.7	11.8	11.8	8.6	4.3	6.5	2.2	3.2	4.3	0.0	4.3	3.2	0.0	4.3	1.1	0.0	0.0	11.8	
	中国・四国	(23)	43.5	56.5	26.1	47.8	17.4	21.7	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	13.0	
	九州・沖縄	(19)	36.8	47.4	36.8	26.3	10.5	10.5	10.5	0.0	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	0.0	0.0	0.0	10.5

福島県旅行で利用した交通手段（性別・年代別）

Q4 直近の福島県旅行で、ご自宅から福島県の目的地までの利用した交通手段をすべてお選びください。

～「バスツアー/貸切バス」は60代で人気～

- 福島県旅行で利用した交通手段をみると、全体で「自家用車」が62.2%と高く、次いで「JR 新幹線・特急」が25.0%、「JR 在来線」が16.5%と続いている。
- 性別・年代別でみると、女性は30～50代で「自家用車」が7割を超えている。「バスツアー/貸切バス」は男女ともに60代で人気となっている。
- JRの利用については、男性の20～30代の利用割合が高い。



【表側1】性別
【表側2】年齢

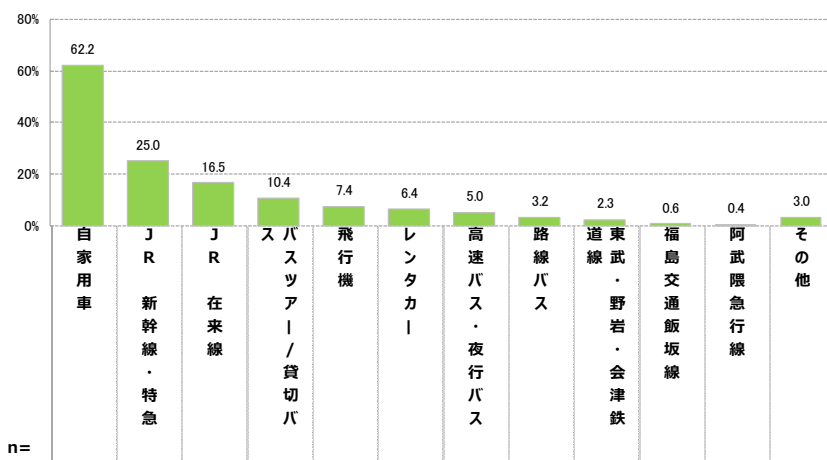
		n=	自家用車	JR 新幹線・特急	JR 在来線	バスツアー/貸切バス	飛行機	レンタカー	高速バス・夜行バス	路線バス	道東武・野岩・会津鉄	福島交通飯坂線	阿武隈急行線	その他
全体		(1,030)	62.2	25.0	16.5	10.4	7.4	6.4	5.0	3.2	2.3	0.6	0.4	3.0
男性全体		(591)	61.9	27.6	18.8	8.6	6.8	7.1	4.7	3.4	2.5	1.0	0.7	3.0
男性	20代	(67)	49.3	35.8	31.3	4.5	4.5	7.5	4.5	4.5	7.5	1.5	1.5	1.5
	30代	(97)	62.9	34.0	17.5	3.1	8.2	8.2	8.2	4.1	1.0	2.1	1.0	2.1
	40代	(125)	64.0	26.4	16.8	7.2	2.4	7.2	6.4	4.0	0.8	0.8	0.0	2.4
	50代	(112)	58.9	24.1	20.5	5.4	11.6	5.4	3.6	3.6	2.7	0.9	0.9	5.4
	60代	(190)	66.3	24.2	15.3	15.8	6.8	7.4	2.6	2.1	2.6	0.5	0.5	3.2
女性全体		(439)	62.6	21.6	13.4	12.8	8.2	5.5	5.2	3.0	2.1	0.0	0.0	3.0
女性	20代	(51)	56.9	17.6	17.6	5.9	2.0	3.9	15.7	2.0	2.0	0.0	0.0	3.9
	30代	(68)	70.6	20.6	14.7	4.4	5.9	2.9	5.9	1.5	0.0	0.0	0.0	2.9
	40代	(80)	75.0	16.3	10.0	2.5	1.3	6.3	3.8	0.0	2.5	0.0	0.0	2.5
	50代	(86)	73.3	12.8	9.3	10.5	9.3	5.8	1.2	2.3	1.2	0.0	0.0	1.2
	60代	(154)	48.7	31.2	15.6	25.3	14.3	6.5	4.5	5.8	3.2	0.0	0.0	3.9

福島県旅行で利用した交通手段（居住地域別）

Q4 直近の福島県旅行で、ご自宅から福島県の目的地までの利用した交通手段をすべてお選びください。

～東北、北関東、北陸では「自家用車」が圧倒的～

- 福島県旅行で利用した交通手段を居住地域別にみると、東北、北関東、北陸では「自家用車」の割合が圧倒的に高く、反対に「JR 新幹線・特急」「JR 在来線」が極端に低い結果となっている。
- 「自家用車」は首都圏と中部でも5割を超えJR利用を上回る。一方、「飛行機」は、遠隔地域ほど利用割合が高くなっている。
- 「その他」では、オートバイ、タクシー、ホテルの送迎のほか、フェリー（北海道居住者）などの回答があった。



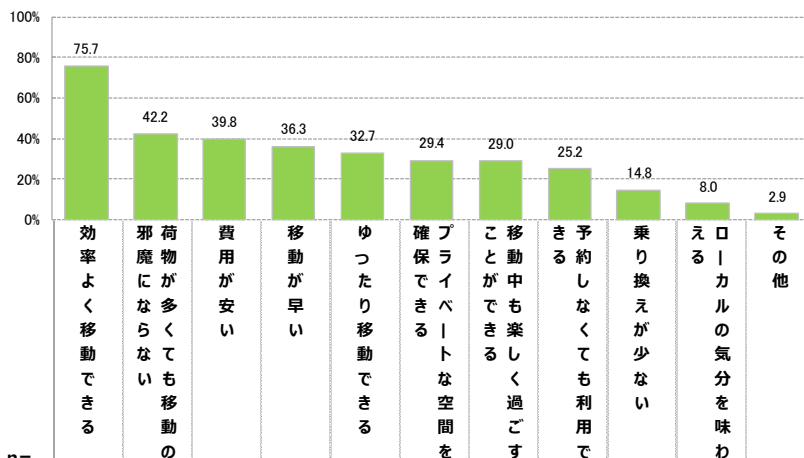
		n=	自家用車	JR 新幹線・特急	JR 在来線	バスツアー / 貸切バス	飛行機	レンタカー	高速バス・夜行バス	路線バス	道東武野岩・会津鉄	福島交通飯坂線	阿武隈急行線	その他
全体		(1,030)	62.2	25.0	16.5	10.4	7.4	6.4	5.0	3.2	2.3	0.6	0.4	3.0
居住地域	北海道	(24)	33.3	37.5	20.8	12.5	37.5	20.8	8.3	0.0	4.2	4.2	0.0	16.7
	東北	(154)	85.7	9.7	5.8	1.9	0.0	1.9	4.5	0.6	0.6	0.0	0.0	2.6
	北関東	(121)	89.3	7.4	9.1	7.4	0.0	1.7	0.0	1.7	1.7	0.8	0.8	0.8
	首都圏	(485)	56.7	31.1	20.6	13.4	0.4	5.8	6.0	3.5	3.5	0.4	0.4	2.9
	中部	(58)	58.6	34.5	19.0	15.5	8.6	12.1	3.4	5.2	3.4	1.7	1.7	1.7
	北陸	(53)	81.1	7.5	3.8	5.7	0.0	1.9	3.8	0.0	0.0	1.9	0.0	1.9
	近畿	(93)	29.0	37.6	22.6	8.6	39.8	12.9	7.5	5.4	1.1	0.0	0.0	6.5
	中国・四国	(23)	39.1	30.4	30.4	21.7	47.8	17.4	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	九州・沖縄	(19)	26.3	42.1	21.1	10.5	63.2	21.1	5.3	21.1	0.0	0.0	0.0	0.0

福島県旅行に利用した交通手段の選択理由（性別・年代別）

Q5 直近の福島県旅行に利用した交通手段をお選びになった理由について、あてはまるものをすべてお選びください。

～全体の4分の3が「効率よく移動できる」を重視～

- 福島県旅行で利用した交通手段を選んだ理由をみると、全体で「効率よく移動できる」が75.7%と最も高く、次いで「荷物が多くても移動の邪魔にならない」が42.2%、「費用が安い」が39.8%、「移動が早い」が36.3%と続いている。
- 性別・年代別でみると、「効率よく移動できる」は男女ともにすべての世代で最も高かった。
- 男女ともに30～40代では「プライベートな空間を確保できる」「移動中も楽しく過ごすことができる」の割合も高く、小さな子供連れで旅行をする機会の多い世代で重視する傾向がみられる。



【表側1】性別
【表側2】年齢

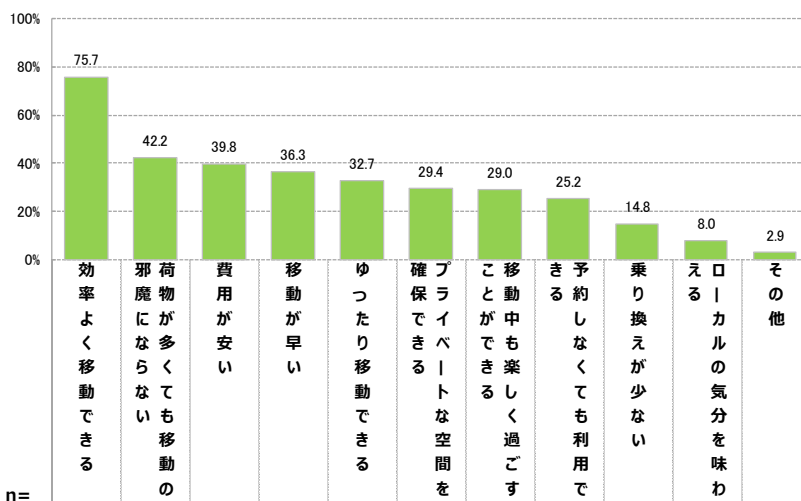
		n=	効率よく移動できる	邪魔が多くても移動の	費用が安い	移動が早い	ゆったり移動できる	プライベートな空間を確保できる	移動中も楽しく過ごすことができる	予約しなくても利用できる	乗り換えが少ない	ローカルの気分を味わえる	その他
全体		(1,030)	75.7	42.2	39.8	36.3	32.7	29.4	29.0	25.2	14.8	8.0	2.9
男性全体		(591)	76.6	39.1	40.1	39.8	31.6	28.4	25.2	27.1	14.2	9.5	1.4
男性	20代	(67)	65.7	29.9	46.3	32.8	32.8	23.9	17.9	13.4	7.5	13.4	1.5
	30代	(97)	82.5	41.2	40.2	39.2	35.1	35.1	34.0	34.0	15.5	11.3	1.0
	40代	(125)	76.0	29.6	40.0	41.6	32.0	33.6	22.4	29.6	12.8	8.8	0.0
	50代	(112)	73.2	41.1	35.7	41.1	20.5	17.0	17.9	26.8	9.8	7.1	3.6
	60代	(190)	80.0	46.3	40.5	40.5	35.8	30.0	29.5	26.8	19.5	8.9	1.1
女性全体		(439)	74.5	46.5	39.4	31.7	34.2	30.8	34.2	22.8	15.5	5.9	5.0
女性	20代	(51)	51.0	29.4	45.1	21.6	29.4	27.5	27.5	13.7	5.9	2.0	7.8
	30代	(68)	75.0	47.1	42.6	32.4	41.2	38.2	39.7	20.6	14.7	4.4	5.9
	40代	(80)	76.3	62.5	50.0	31.3	46.3	42.5	35.0	31.3	13.8	3.8	2.5
	50代	(86)	81.4	53.5	26.7	32.6	34.9	31.4	41.9	32.6	14.0	7.0	3.5
	60代	(154)	77.3	39.6	37.7	34.4	26.0	22.1	29.2	16.9	20.8	8.4	5.8

福島県旅行に利用した交通手段の選択理由（居住地域別）

Q5 直近の福島県旅行に利用した交通手段をお選びになった理由について、あてはまるものをすべてお選びください。

～「効率よく移動できる」はすべての地域で最高～

- 福島県旅行で利用した交通手段を選んだ理由を居住地域別にみると、「効率よく移動できる」はすべての地域で最も高かった。
- そもそも交通費が高くなる遠隔地域からの旅行者については、「費用が安い」の割合が低めである。費用負担を上回る満足度を求めている旅行者も一定数いるものとみられ、費用を安くするだけでなく、高級路線など、ツアー商品のバリエーションを増やすことによる効果も期待できる。



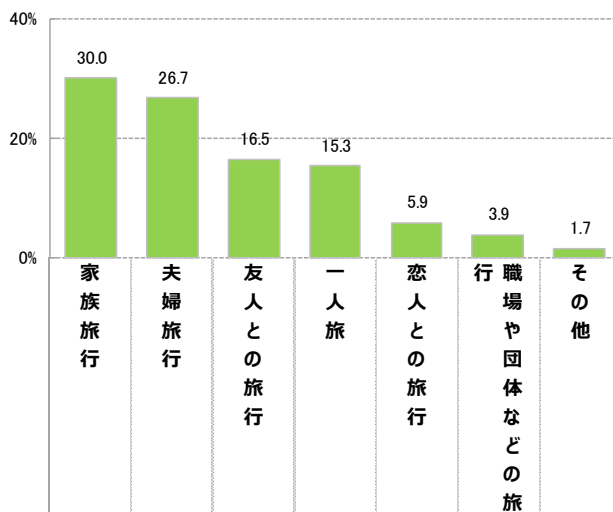
居住地域		n	効率よく移動できる	邪魔が多なくても移動の	費用が安い	移動が早い	ゆったり移動できる	確保できる	移動中も楽しく過ごす	予約しなくても利用でき	乗り換えが少ない	ローカルの気分を味わ	その他
全体		(1,030)	75.7	42.2	39.8	36.3	32.7	29.4	29.0	25.2	14.8	8.0	2.9
居住地域	北海道	(24)	58.3	8.3	25.0	41.7	33.3	20.8	29.2	16.7	4.2	4.2	8.3
	東北	(154)	82.5	49.4	51.9	32.5	37.7	39.6	39.0	35.1	13.0	7.1	1.3
	北関東	(121)	81.0	61.2	41.3	35.5	40.5	46.3	34.7	38.0	12.4	8.3	1.7
	首都圏	(485)	75.3	40.2	41.9	34.2	31.8	24.3	27.2	22.5	17.3	9.9	2.5
	中部	(58)	79.3	51.7	37.9	39.7	37.9	36.2	36.2	22.4	15.5	6.9	5.2
	北陸	(53)	67.9	49.1	39.6	50.9	37.7	41.5	28.3	30.2	13.2	3.8	3.8
	近畿	(93)	71.0	24.7	15.1	41.9	20.4	17.2	16.1	16.1	11.8	3.2	5.4
	中国・四国	(23)	65.2	30.4	30.4	39.1	17.4	8.7	8.7	8.7	8.7	4.3	4.3
	九州・沖縄	(19)	68.4	10.5	36.8	36.8	15.8	10.5	26.3	5.3	15.8	10.5	5.3

福島県旅行の同行者（性別・年代別）

Q6 直近の福島県旅行は、誰と一緒に行了きましたか。

～「一人旅」は男性が女性を大きく上回る～

- 福島県旅行の同行者をみると、全体で「家族旅行」が30.0%と最も高く、次いで「夫婦旅行」が26.7%、「友人との旅行」が16.5%と続いている。
- 性別・年代別でみると、「家族旅行」は男女とも30～40代で高く、「夫婦旅行」は60代で最も高い。
- 「一人旅」はすべての世代で男性が女性を大きく上回っている。



【表側1】性別
【表側2】年齢

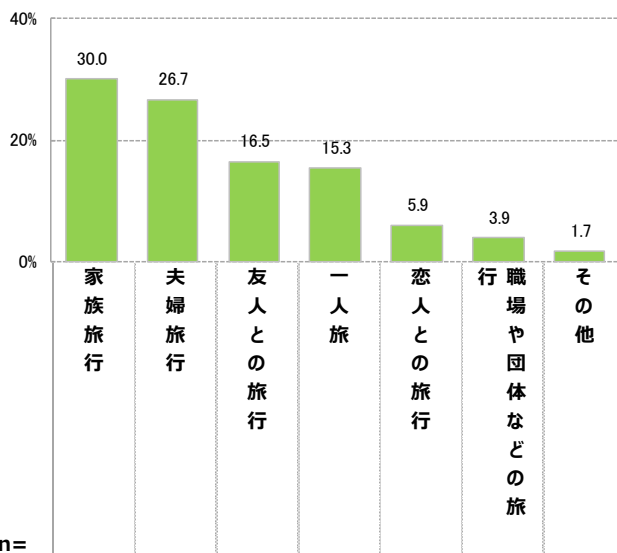
		n =	家族旅行	夫婦旅行	友人との旅行	一人旅	恋人との旅行	職場や団体などの旅行	その他
全体		(1,030)	30.0	26.7	16.5	15.3	5.9	3.9	1.7
男性全体		(591)	27.1	23.2	15.1	23.7	5.4	4.7	0.8
男性	20代	(67)	25.4	3.0	32.8	22.4	10.4	6.0	0.0
	30代	(97)	33.0	10.3	15.5	26.8	9.3	5.2	0.0
	40代	(125)	38.4	12.8	12.8	26.4	6.4	3.2	0.0
	50代	(112)	25.0	20.5	9.8	31.3	4.5	6.3	2.7
	60代	(190)	18.4	45.3	13.2	16.3	1.6	4.2	1.1
女性全体		(439)	33.9	31.4	18.5	4.1	6.6	2.7	2.7
女性	20代	(51)	17.6	9.8	33.3	3.9	25.5	7.8	2.0
	30代	(68)	51.5	19.1	14.7	4.4	8.8	0.0	1.5
	40代	(80)	46.3	16.3	18.8	6.3	10.0	0.0	2.5
	50代	(86)	41.9	43.0	10.5	1.2	1.2	2.3	0.0
	60代	(154)	20.8	45.5	19.5	4.5	0.6	3.9	5.2

福島県旅行の同行者（居住地域別）

Q6 直近の福島県旅行は、誰と一緒にきましたか。

～東北、北関東、中部は「家族旅行」「夫婦旅行」合計で6割超～

- 福島県旅行の同行者を居住地域別にみると、東北、北関東、中部では「家族旅行」「夫婦旅行」合計で6割を超えている。
- 九州・沖縄では「一人旅」が42.1%で最も高い結果となったが、サンプリング数による結果の偏りである可能性も考えられる。
- 「職場や団体などの旅行」は中国・四国を除き1割を下回り、個人旅行が圧倒的となっている。



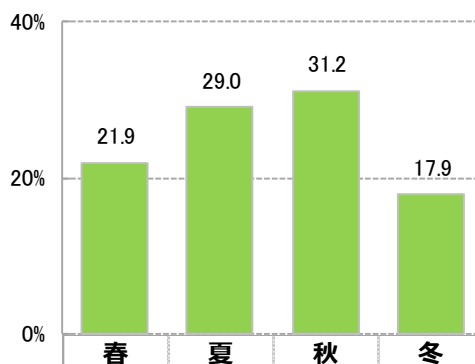
居住地域		n	家族旅行	夫婦旅行	友人との旅行	一人旅	恋人との旅行	職場や団体などの旅行	その他
全体		(1,030)	30.0	26.7	16.5	15.3	5.9	3.9	1.7
居住地域	北海道	(24)	20.8	33.3	8.3	25.0	4.2	4.2	4.2
	東北	(154)	36.4	27.9	15.6	9.1	9.1	0.6	1.3
	北関東	(121)	37.2	29.8	12.4	14.9	1.7	2.5	1.7
	首都圏	(485)	29.3	24.9	17.7	16.9	6.2	4.1	0.8
	中部	(58)	36.2	27.6	15.5	8.6	5.2	5.2	1.7
	北陸	(53)	34.0	20.8	18.9	9.4	11.3	3.8	1.9
	近畿	(93)	18.3	28.0	18.3	17.2	5.4	6.5	6.5
	中国・四国	(23)	8.7	43.5	17.4	17.4	0.0	13.0	0.0
	九州・沖縄	(19)	15.8	21.1	15.8	42.1	0.0	5.3	0.0

福島県旅行に行った季節（性別・年代別）

Q7 直近の福島県旅行に行った季節はいつ頃ですか。

～全体では「秋」が最高で年代が上がるほど高い傾向～

- 直近で福島県旅行に行った季節をみると、全体で「秋」が31.2%と最も高く、次いで「夏」が29.0%、「春」が21.9%、「冬」が17.9%となった。
- 性別・年代別でみると、最も高い「秋」は年代が上がるほど割合も高く、男性の60代、女性の50～60代が全体を引き上げる結果となっている。
- 「夏」は、男性の20代と40～50代、女性の20～40代で最も高く、夏休みやお盆休みといった時期を利用し訪れるケースが多いものとみられる。
- 「冬」は20～40代が中心となり、女性の50～60代は1割に満たない。



【表側1】性別
【表側2】年齢

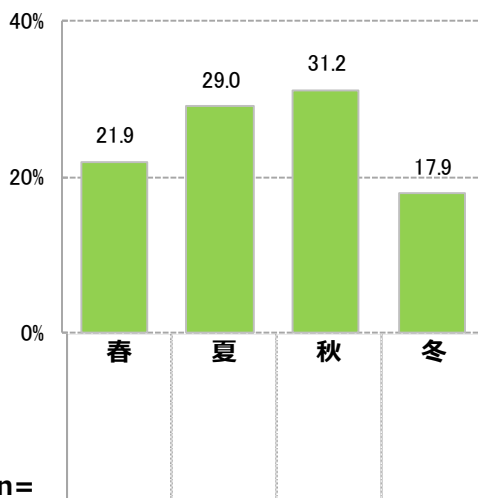
		n=	春	夏	秋	冬
全体		(1,030)	21.9	29.0	31.2	17.9
男性全体		(591)	21.3	28.1	31.3	19.3
男性	20代	(67)	19.4	29.9	20.9	29.9
	30代	(97)	17.5	25.8	33.0	23.7
	40代	(125)	20.0	32.8	24.0	23.2
	50代	(112)	22.3	33.0	29.5	15.2
	60代	(190)	24.2	22.6	40.0	13.2
女性全体		(439)	22.8	30.3	31.0	15.9
女性	20代	(51)	25.5	29.4	17.6	27.5
	30代	(68)	20.6	29.4	20.6	29.4
	40代	(80)	20.0	40.0	22.5	17.5
	50代	(86)	22.1	31.4	38.4	8.1
	60代	(154)	24.7	25.3	40.3	9.7

福島県旅行に行った季節（居住地域別）

Q7 直近の福島県旅行に行った季節はいつ頃ですか。

～近畿は「夏」に集中、首都圏は「夏」「秋」が同水準～

- 直近で福島県旅行に行った季節を居住地域別にみると、「秋」が最も高いのは東北、北関東、中部、北陸、中国、四国となっている。
- 北海道は「春」が最も高く、「冬」の回答はなかった。近畿は「夏」に集中し、首都圏は「夏」「秋」が概ね同水準となっている。



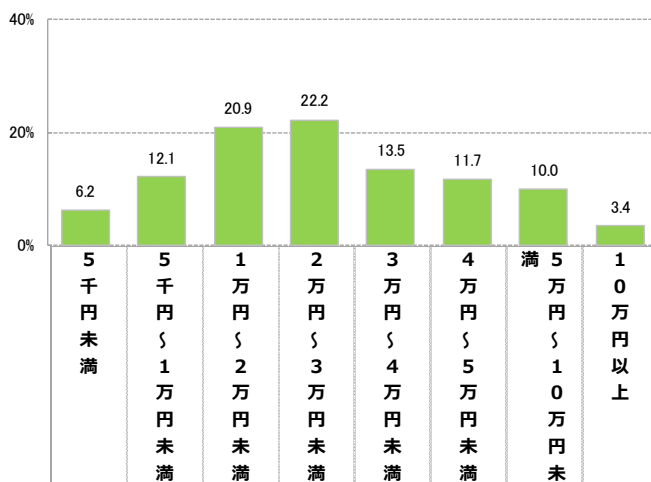
居住地域		n	春 (%)	夏 (%)	秋 (%)	冬 (%)
全体		(1,030)	21.9	29.0	31.2	17.9
居住地域	北海道	(24)	41.7	29.2	29.2	0.0
	東北	(154)	19.5	26.6	30.5	23.4
	北関東	(121)	22.3	28.1	31.4	18.2
	首都圏	(485)	22.3	29.7	28.7	19.4
	中部	(58)	24.1	29.3	34.5	12.1
	北陸	(53)	18.9	22.6	43.4	15.1
	近畿	(93)	22.6	40.9	30.1	6.5
	中国・四国	(23)	17.4	13.0	56.5	13.0
	九州・沖縄	(19)	10.5	15.8	31.6	42.1

福島県旅行の1人当たりの利用金額（性別・年代別）

Q8 直近の福島県旅行トータルでお使いになった1人当たりの金額はいくら位でしたか。

～女性の60代は予算をかけた旅行が他の世代より高め～

- 福島県旅行の1人当たりの利用金額をみると、全体で「2万円～3万円未満」が22.2%と最も高く、次いで「1万円～2万円未満」が20.9%、「3万円～4万円未満」が13.5%と続いている。
- 性別・年代別でみると、男性の20～40代では約7割が3万円未満となっている。女性では40～50代の約8割りが3万円未満となっている。
- 一方、女性の60代は、「5万円～10万円未満」が19.5%、「4万円～5万円未満」が18.2%と、相応に予算をかけた旅行が他の世代に比べ高めであり、高級志向に対応する旅行プランの展開など、選択肢の幅を広げる取り組みも必要になるものと考えられる。



【表側1】性別
【表側2】年齢

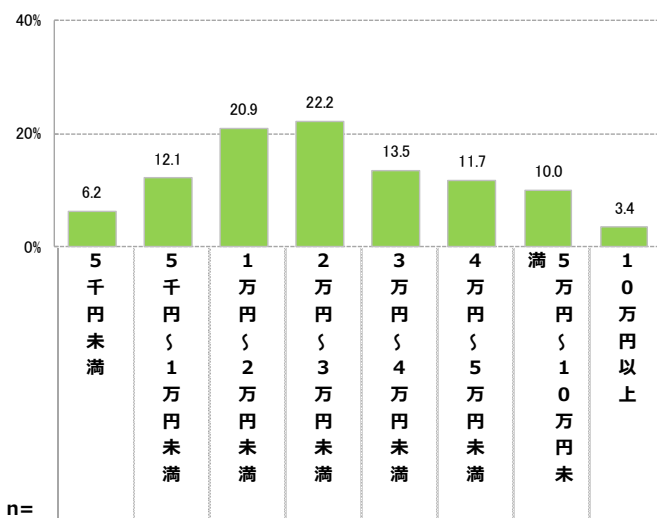
		n=	5千円未満	5千円～1万円未満	1万円～2万円未満	2万円～3万円未満	3万円～4万円未満	4万円～5万円未満	5万円～10万円未満	10万円以上
全体		(1,030)	6.2	12.1	20.9	22.2	13.5	11.7	10.0	3.4
男性全体		(591)	6.3	11.3	21.3	22.8	15.1	11.3	8.6	3.2
男性	20代	(67)	14.9	10.4	26.9	17.9	17.9	6.0	6.0	0.0
	30代	(97)	8.2	9.3	21.6	28.9	16.5	6.2	6.2	3.1
	40代	(125)	7.2	14.4	21.6	25.6	9.6	14.4	5.6	1.6
	50代	(112)	4.5	12.5	24.1	21.4	10.7	9.8	9.8	7.1
	60代	(190)	2.6	10.0	17.4	20.5	19.5	14.7	12.1	3.2
女性全体		(439)	6.2	13.2	20.3	21.4	11.4	12.1	11.8	3.6
女性	20代	(51)	3.9	23.5	25.5	25.5	11.8	7.8	2.0	0.0
	30代	(68)	8.8	19.1	27.9	23.5	8.8	7.4	4.4	0.0
	40代	(80)	10.0	15.0	25.0	23.8	12.5	6.3	7.5	0.0
	50代	(86)	9.3	11.6	17.4	22.1	7.0	12.8	14.0	5.8
	60代	(154)	1.9	7.1	14.3	17.5	14.3	18.2	19.5	7.1

福島県旅行の1人当たりの利用金額（居住地域別）

Q8 直近の福島県旅行トータルでお使いになった1人当たりの金額はいくら位でしたか。

～飛行機利用を伴う地域では「10万円以上」が1割を超える～

- 福島県旅行の1人当たりの利用金額を居住地域別みると、東北や北関東、中部、北陸では「1万円～2万円未満」が最も高い。一方、飛行機の利用が伴う北海道や近畿以西では「5万円～10万円未満」が最も高く、「10万円以上」も10～20%程度となっている。
- 近場の旅行については、なるべく費用をかけずに済ませることを優先する傾向がみられる。一方、遠隔地域からの旅行では、そもそも旅行費の負担が大きいことを前提に訪れる旅行者が多く、福島県旅行に求める内容は出発地により自ずと異なるものとみられる。



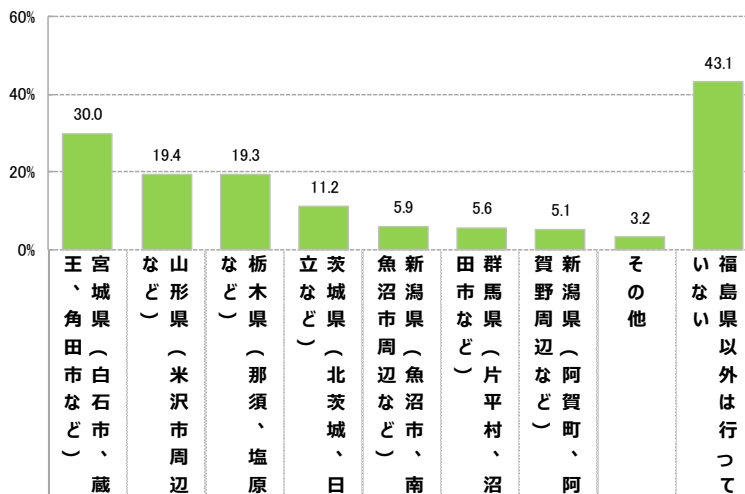
		n=	5千円未満	5千円～1万円未満	1万円～2万円未満	2万円～3万円未満	3万円～4万円未満	4万円～5万円未満	5万円～10万円未満	10万円以上
全体		(1,030)	6.2	12.1	20.9	22.2	13.5	11.7	10.0	3.4
居住地域	北海道	(24)	0.0	8.3	12.5	4.2	20.8	12.5	25.0	16.7
	東北	(154)	9.1	22.7	26.0	23.4	12.3	2.6	3.2	0.6
	北関東	(121)	12.4	24.8	23.1	21.5	12.4	4.1	1.7	0.0
	首都圏	(485)	4.9	7.8	21.9	25.6	15.1	14.6	8.5	1.6
	中部	(58)	0.0	3.4	25.9	17.2	17.2	15.5	17.2	3.4
	北陸	(53)	17.0	13.2	30.2	24.5	3.8	7.5	3.8	0.0
	近畿	(93)	1.1	7.5	1.1	9.7	14.0	23.7	30.1	12.9
	中国・四国	(23)	0.0	4.3	21.7	21.7	4.3	8.7	21.7	17.4
	九州・沖縄	(19)	5.3	15.8	5.3	26.3	5.3	0.0	21.1	21.1

福島県旅行時の福島県外への訪問有無（性別・年代別）

Q9 直近の福島県旅行で、他に訪問した隣接県をすべてお選びください。

～「福島県のみ」が4割超、「宮城県」は広い世代で高い～

- 福島県旅行時の福島県外への訪問有無をみると、全体で「福島県以外は行ってない」が43.1%で最も高かった。訪問した県では「宮城県」が30.0%と高く、次いで「山形県」が19.4%、「栃木県」が19.3%と続いている。
- 性別・年代別でみると、「福島県以外は行ってない」は男性の20代を除くすべての世代で最も高かった。訪問した県では「宮城県」が男女問わず広い世代で高くなっているが、女性の40代は「栃木県」が最も高かった。



【表側1】性別
【表側2】年齢

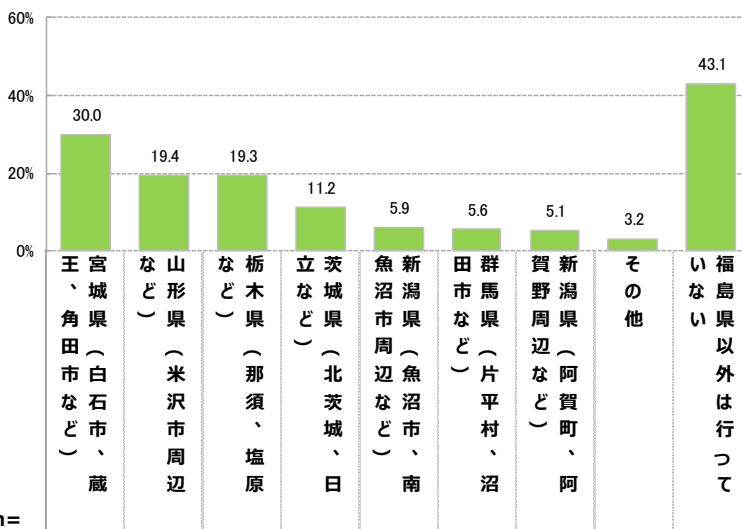
		n=	王宮城、角田 (白山市、蔵)	山形県 (米沢市周辺)	栃木県 (那須、塩原)	茨城県 (北茨城、日立など)	魚沼市、南魚沼市周辺	群馬県 (片平村、沼田市など)	新潟県 (阿賀町、阿賀野周辺)	その他	福島県以外は行ってない
全体		(1,030)	30.0	19.4	19.3	11.2	5.9	5.6	5.1	3.2	43.1
男性全体		(591)	30.5	20.5	21.3	12.9	6.6	6.1	5.8	2.7	39.9
男性	20代	(67)	44.8	23.9	20.9	10.4	9.0	4.5	10.4	1.5	38.8
	30代	(97)	35.1	24.7	21.6	14.4	5.2	5.2	3.1	0.0	39.2
	40代	(125)	27.2	13.6	17.6	12.0	5.6	4.0	6.4	2.4	44.8
	50代	(112)	25.9	22.3	20.5	13.4	4.5	7.1	1.8	4.5	39.3
	60代	(190)	27.9	20.5	24.2	13.2	8.4	7.9	7.4	3.7	37.9
女性全体		(439)	29.4	18.0	16.6	8.9	5.0	5.0	4.3	3.9	47.4
女性	20代	(51)	33.3	11.8	15.7	9.8	3.9	3.9	5.9	3.9	49.0
	30代	(68)	20.6	10.3	10.3	8.8	7.4	1.5	5.9	1.5	58.8
	40代	(80)	26.3	20.0	28.8	8.8	3.8	5.0	3.8	2.5	43.8
	50代	(86)	29.1	22.1	18.6	8.1	4.7	8.1	4.7	2.3	47.7
	60代	(154)	33.8	20.1	12.3	9.1	5.2	5.2	3.2	6.5	43.5

福島県旅行時の福島県外への訪問有無（居住地域別）

Q9 直近の福島県旅行で、他に訪問した隣接県をすべてお選びください。

～飛行機利用を伴う地域では「宮城県」「山形県」が高め～

- 福島県旅行時の福島県外への訪問有無を居住地域別にみると、東北、北関東、首都圏、北陸では「福島県以外は行ってない」が4割を超えている。
- 一方、北海道や西日本など、飛行機を利用する地域では「宮城県」「山形県」への訪問率も高く、隣接県の空港を利用していることも窺える。
- 自家用車で来訪できる範囲の旅行者は「手軽さ」を求め、頻繁に旅行をすることができない遠隔地の旅行者は、一回の旅行で複数の県を訪問する傾向がみられる。



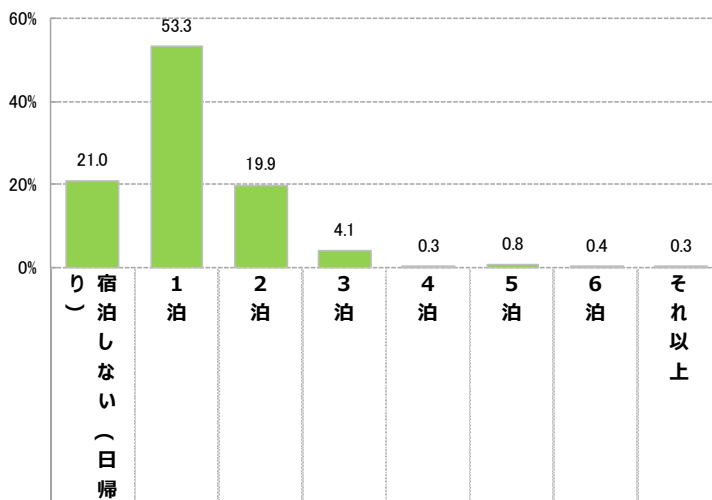
居住地域		n	宮城県	山形県	福島県	茨城県	新潟県	群馬県	長野県	その他	福島県以外は行ってない
全体		(1,030)	30.0	19.4	19.3	11.2	5.9	5.6	5.1	3.2	43.1
居住地域	北海道	(24)	58.3	20.8	20.8	12.5	4.2	8.3	4.2	12.5	12.5
	東北	(154)	36.4	26.6	13.6	3.9	0.6	1.3	1.3	0.6	47.4
	北関東	(121)	18.2	19.8	33.1	24.0	5.8	9.9	4.1	1.7	42.1
	首都圏	(485)	23.5	14.6	18.4	12.0	5.4	4.5	3.7	2.7	48.2
	中部	(58)	39.7	19.0	15.5	3.4	10.3	5.2	5.2	5.2	36.2
	北陸	(53)	26.4	18.9	17.0	3.8	11.3	9.4	20.8	1.9	49.1
	近畿	(93)	45.2	25.8	16.1	9.7	11.8	8.6	9.7	4.3	26.9
	中国・四国	(23)	52.2	30.4	26.1	8.7	4.3	13.0	13.0	13.0	26.1
	九州・沖縄	(19)	63.2	36.8	26.3	21.1	10.5	5.3	5.3	15.8	26.3

福島県旅行の宿泊日数〔福島県内〕（性別・年代別）

Q10 直近の福島県旅行では、福島県で何泊しましたか。

～全体で「1泊」が5割超、「日帰り」が2割～

- 福島県旅行の宿泊日数〔福島県内〕をみると、全体で「1泊」が53.3%と最も高く、次いで「宿泊しない（日帰り）」が21.0%、「2泊」が19.9%と続き、「1泊以内」の旅行が全体の約4分の3を占めている。
- 性別・年代別でみると、男女ともにすべての世代で「1泊」が最も高かった。「宿泊しない（日帰り）」は女性の30代で29.4%など、女性の割合が高くなっている。



【表側1】性別
【表側2】年齢

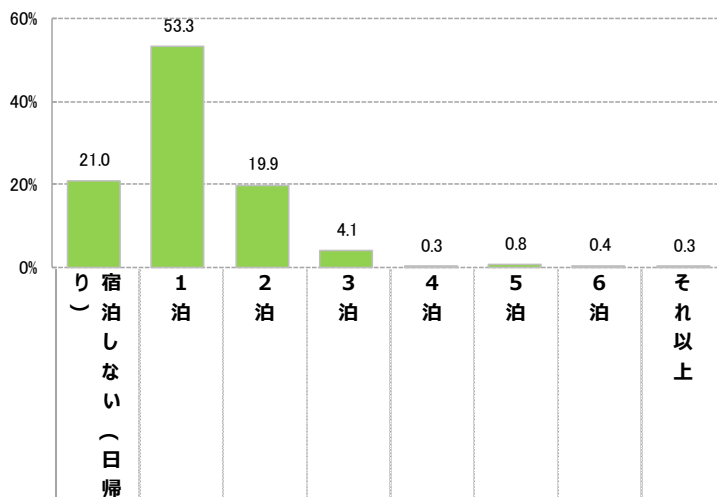
		n =	宿泊しない（日帰り）	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	それ以上
全体		(1,030)	21.0	53.3	19.9	4.1	0.3	0.8	0.4	0.3
男性全体		(591)	19.8	53.3	20.1	4.6	0.3	1.2	0.5	0.2
男性	20代	(67)	26.9	53.7	14.9	1.5	1.5	0.0	1.5	0.0
	30代	(97)	16.5	47.4	23.7	9.3	0.0	3.1	0.0	0.0
	40代	(125)	18.4	56.0	21.6	3.2	0.0	0.0	0.0	0.8
	50代	(112)	18.8	54.5	20.5	2.7	0.9	2.7	0.0	0.0
	60代	(190)	20.5	53.7	18.9	5.3	0.0	0.5	1.1	0.0
女性全体		(439)	22.6	53.3	19.6	3.4	0.2	0.2	0.2	0.5
女性	20代	(51)	13.7	66.7	7.8	7.8	0.0	0.0	2.0	2.0
	30代	(68)	29.4	52.9	13.2	2.9	0.0	1.5	0.0	0.0
	40代	(80)	26.3	45.0	23.8	3.8	0.0	0.0	0.0	1.3
	50代	(86)	27.9	51.2	16.3	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	60代	(154)	17.5	54.5	26.0	1.3	0.6	0.0	0.0	0.0

福島県旅行の宿泊日数〔福島県内〕（居住地域別）

Q10 直近の福島県旅行では、福島県で何泊しましたか。

～北関東・北陸・東北では「日帰り」が高め～

- 福島県旅行の宿泊日数〔福島県内〕を居住地域別にみると、すべての地域で「1泊」が最も高かったが、北関東、北陸、東北では「宿泊しない（日帰り）」も高い。
- 「2泊」以上は、近畿で3割となったほか、首都圏でも2割を超え、日数をかけて福島県内を観光する層も一定割合いることが確認できる。
- 遠隔地域で「宿泊しない（日帰り）」旅行者は、周辺の県に宿泊しているケースが多いものとみられる。



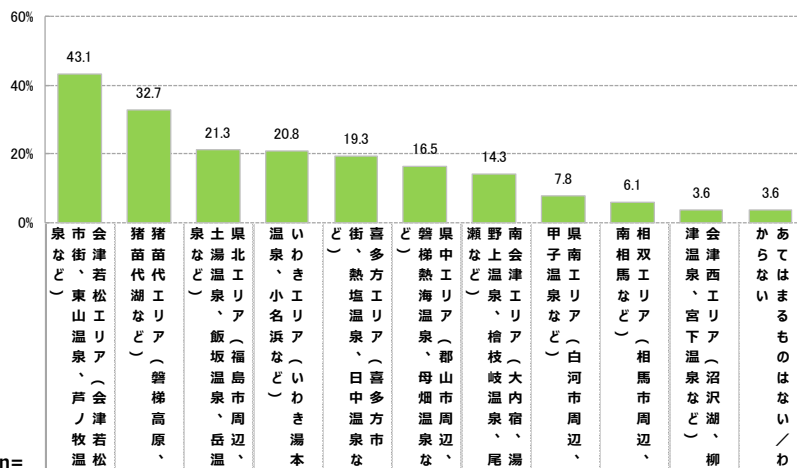
		n=	宿泊しない（日帰り）	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	それ以上
全体		(1,030)	21.0	53.3	19.9	4.1	0.3	0.8	0.4	0.3
居住地域	北海道	(24)	20.8	45.8	16.7	12.5	0.0	4.2	0.0	0.0
	東北	(154)	31.8	53.2	13.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	北関東	(121)	40.5	51.2	6.6	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	首都圏	(485)	14.4	53.4	25.6	4.5	0.2	0.6	0.6	0.6
	中部	(58)	10.3	67.2	19.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	北陸	(53)	34.0	56.6	7.5	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0
	近畿	(93)	12.9	46.2	30.1	6.5	1.1	3.2	0.0	0.0
	中国・四国	(23)	13.0	60.9	17.4	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0
	九州・沖縄	(19)	21.1	47.4	10.5	15.8	0.0	5.3	0.0	0.0

福島県旅行の訪問エリア（性別・年代別）

Q11 直近の福島県旅行で、訪問したエリアをすべてお選びください。

～「会津若松エリア」が全体で4割超、「猪苗代エリア」が3割超～

- 福島県旅行の訪問エリア（複数回答）をみると、全体で「会津若松エリア」が43.1%と最も高く、次いで「猪苗代エリア」が32.7%、「県北エリア」が21.3%と続いている。
- 性別・年代別にみると、「会津若松エリア」は男女ともにすべての世代で最も高い。「いわきエリア」は女性の20代で31.4%、男性の30代で30.9%と、小さな子ども連れが多い世代での高さが目立っている。



【表例1】性別
【表例2】年齢

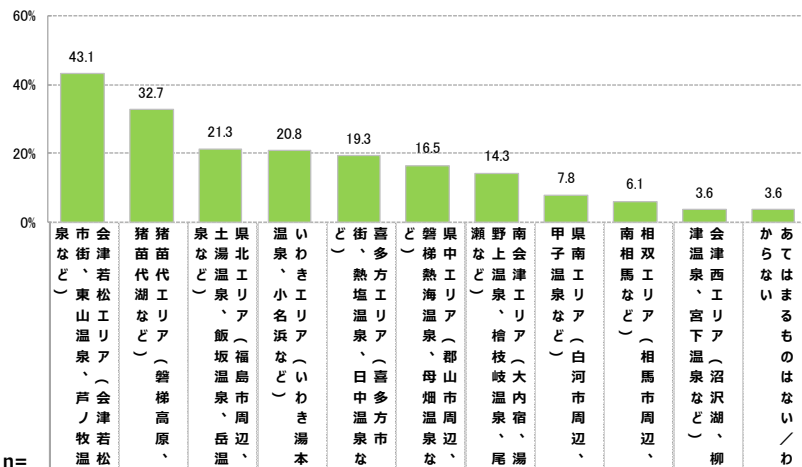
		n =	会津若松エリア	猪苗代エリア	県北エリア	いわきエリア	喜多方市街	磐梯熱海温泉	南会津エリア	甲子温泉	相馬市周辺	会津西エリア	あてはまるものはない/わからない
全体		(1,030)	43.1	32.7	21.3	20.8	19.3	16.5	14.3	7.8	6.1	3.6	3.6
男性全体		(591)	43.0	32.8	23.7	22.0	22.2	18.4	15.1	10.3	6.4	5.1	2.4
男性	20代	(67)	34.3	19.4	31.3	25.4	19.4	22.4	4.5	10.4	11.9	4.5	9.0
	30代	(97)	49.5	39.2	21.6	30.9	28.9	20.6	17.5	14.4	6.2	6.2	3.1
	40代	(125)	40.8	28.8	23.2	24.8	17.6	17.6	9.6	8.8	3.2	4.0	1.6
	50代	(112)	41.1	31.3	20.5	22.3	24.1	22.3	15.2	10.7	4.5	3.6	1.8
	60代	(190)	45.3	37.9	24.2	14.2	21.6	14.2	21.1	8.9	7.9	6.3	0.5
女性全体		(439)	43.3	32.6	18.0	19.1	15.5	13.9	13.2	4.3	5.7	1.6	5.2
女性	20代	(51)	33.3	17.6	23.5	31.4	7.8	5.9	9.8	5.9	9.8	0.0	9.8
	30代	(68)	42.6	27.9	17.6	19.1	13.2	16.2	11.8	2.9	4.4	1.5	4.4
	40代	(80)	38.8	27.5	13.8	17.5	15.0	15.0	10.0	7.5	3.8	2.5	6.3
	50代	(86)	43.0	34.9	19.8	23.3	18.6	14.0	14.0	2.3	4.7	0.0	2.3
	60代	(154)	49.4	40.9	17.5	13.6	17.5	14.9	16.2	3.9	6.5	2.6	5.2

福島県旅行の訪問エリア（居住地域別）

Q11 直近の福島県旅行で、訪問したエリアをすべてお選びください。

～「会津若松エリア」は北陸・中部が突出～

- 福島県旅行の訪問エリア（複数回答）をみると、北陸は「会津若松エリア」が62.3%と突出し、新潟県と会津地域の観光ルートのつながりがよく表れている。
- 中部は「会津若松エリア」「猪苗代エリア」「喜多方エリア」「南会津エリア」と、会津エリアの訪問率が他の地域に比べ高めとなっており、近畿では「会津若松エリア」のほか「県北エリア」の割合も高めとなっている。



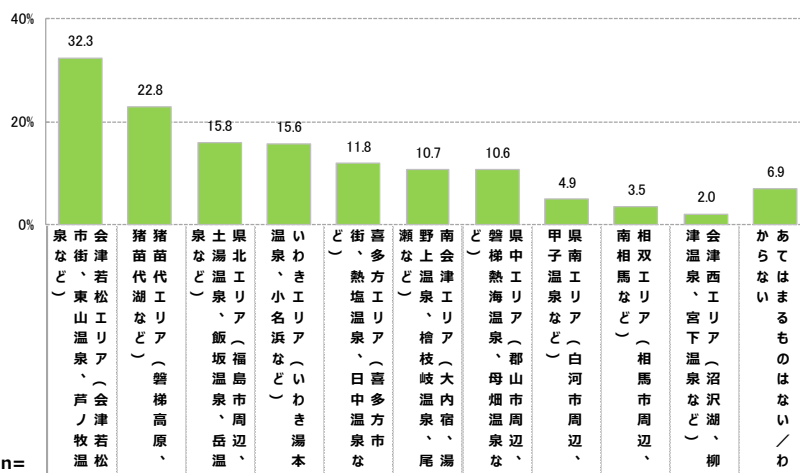
居住地域		n	会津若松	猪苗代	土湯温泉、飯坂温泉、岳温泉	県北エリア（福島市周辺、温泉、小名浜など）	いわきエリア（いわき温泉など）	喜多方エリア（喜多方市など）	熱海温泉、日中温泉	南会津エリア（大内宿、尾瀬など）	甲子温泉	相馬市周辺、南相馬市周辺	会津西エリア（沼沢湖、柳津温泉、宮下温泉など）	あてはまるものはない／わからない
全体		(1,030)	43.1	32.7	21.3	20.8	19.3	16.5	14.3	7.8	6.1	3.6	3.6	
居住地域	北海道	(24)	70.8	45.8	16.7	29.2	29.2	16.7	20.8	4.2	12.5	4.2	0.0	
	東北	(154)	35.7	29.9	31.2	18.8	21.4	11.7	10.4	3.9	8.4	3.2	3.2	
	北関東	(121)	30.6	24.0	12.4	28.9	14.9	19.0	17.4	12.4	5.8	2.5	2.5	
	首都圏	(485)	40.0	34.0	20.2	21.6	15.7	17.9	15.3	10.1	5.2	4.3	3.7	
	中部	(58)	60.3	37.9	17.2	15.5	27.6	20.7	20.7	1.7	8.6	5.2	3.4	
	北陸	(53)	62.3	32.1	17.0	13.2	30.2	18.9	7.5	1.9	3.8	1.9	3.8	
	近畿	(93)	51.6	34.4	26.9	16.1	22.6	11.8	9.7	5.4	6.5	3.2	6.5	
	中国・四国	(23)	60.9	34.8	13.0	17.4	21.7	8.7	17.4	8.7	8.7	0.0	4.3	
	九州・沖縄	(19)	57.9	36.8	36.8	15.8	36.8	15.8	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	

福島県旅行で楽しかったエリア（性別・年代別）

Q12 直近の福島県旅行で、特に楽しかったエリアをすべてお選びください。

～満足度は「会津若松エリア」「猪苗代エリア」の順に高い～

- 福島県旅行で楽しかったエリア（複数回答）をみると、「会津若松エリア」が32.3%と最も高く、次いで「猪苗代エリア」が22.8%、「県北エリア」が15.8%と続いている。訪問したエリアが前提となるため、「県中エリア」と「南会津エリア」が入れ替わった以外はQ11と同様の順位となっている。
- 性別・年代別にみると、「会津若松エリア」「猪苗代エリア」は男性30代と女性60代が最も高かった。「県北エリア」は男女ともに20代、「いわきエリア」は男性30代と女性20代が最も高く、60代は「いわきエリア」が低かった。



【表例1】性別
【表例2】年齢

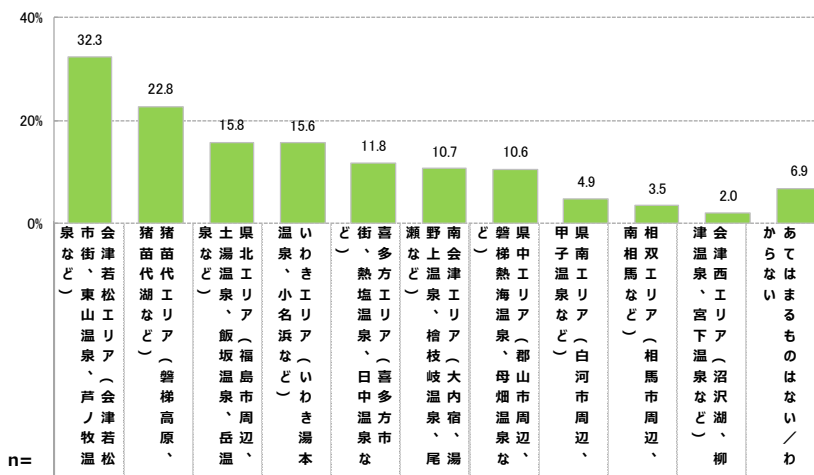
		n =	会津若松	猪苗代	県北	いわき	喜多方	野上	南会津	甲子	南相馬	津温泉	からはない
全体		(1,030)	32.3	22.8	15.8	15.6	11.8	10.7	10.6	4.9	3.5	2.0	6.9
男性全体		(591)	31.8	22.2	18.1	15.4	14.0	10.8	12.7	6.3	3.6	2.7	6.1
男性	20代	(67)	26.9	13.4	20.9	14.9	13.4	4.5	17.9	4.5	4.5	3.0	16.4
	30代	(97)	39.2	32.0	19.6	22.7	20.6	12.4	12.4	10.3	6.2	4.1	5.2
	40代	(125)	33.6	15.2	15.2	19.2	10.4	7.2	12.8	4.8	2.4	2.4	4.8
	50代	(112)	29.5	19.6	16.1	17.0	15.2	10.7	17.9	6.3	3.6	1.8	6.3
	60代	(190)	30.0	26.3	19.5	8.4	12.6	14.7	7.9	5.8	2.6	2.6	3.7
女性全体		(439)	33.0	23.7	12.8	15.9	8.9	10.5	7.7	3.0	3.4	1.1	8.0
女性	20代	(51)	25.5	13.7	19.6	31.4	7.8	9.8	2.0	3.9	7.8	0.0	9.8
	30代	(68)	32.4	16.2	13.2	19.1	8.8	8.8	7.4	2.9	2.9	1.5	5.9
	40代	(80)	31.3	21.3	12.5	15.0	7.5	8.8	12.5	7.5	2.5	1.3	6.3
	50代	(86)	30.2	22.1	8.1	18.6	10.5	9.3	8.1	1.2	3.5	0.0	8.1
	60代	(154)	38.3	32.5	13.0	8.4	9.1	13.0	7.1	1.3	2.6	1.9	9.1

福島県旅行で楽しかったエリア（居住地域別）

Q12 直近の福島県旅行で、特に楽しかったエリアをすべてお選びください。

～東北は「県北エリア」、北関東は「いわきエリア」の満足度が高い～

- 福島県旅行で楽しかったエリアを居住地域別にみると、東北・北関東を除き「会津若松エリア」が最も多く挙げられている。東北では「県北エリア」が26.6%と最も高く、国内旅行で最も重視される温泉などの満足度が高かったものと考えられる。次いで「会津若松エリア」が22.7%となっている。
- 北関東では「いわきエリア」が20.7%と最も高く、家族連れで手軽に訪問できる先として好評を博しているものとみられる。



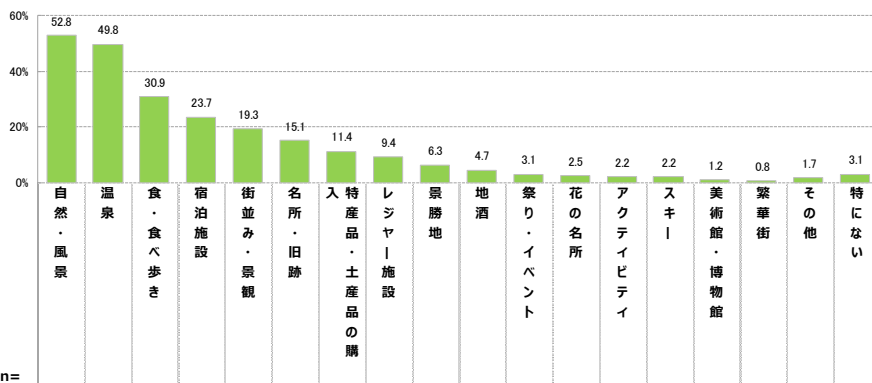
居住地域		全体	会津若松	猪苗代	県北	いわき	喜多方	野上	南会津	甲子温泉	南相馬	津温泉	からい
		(1,030)	32.3	22.8	15.8	15.6	11.8	10.7	10.6	4.9	3.5	2.0	6.9
居住地域	北海道	(24)	54.2	25.0	8.3	20.8	16.7	20.8	8.3	4.2	0.0	4.2	0.0
	東北	(154)	22.7	19.5	26.6	13.6	12.3	7.1	7.1	2.6	6.5	0.6	5.2
	北関東	(121)	19.8	17.4	8.3	20.7	10.7	13.2	15.7	5.8	3.3	0.8	9.9
	首都圏	(485)	32.6	24.5	15.5	17.7	9.5	11.3	11.5	6.6	3.3	2.9	6.2
	中部	(58)	46.6	22.4	10.3	12.1	17.2	15.5	15.5	1.7	1.7	5.2	8.6
	北陸	(53)	41.5	20.8	7.5	7.5	18.9	3.8	7.5	1.9	3.8	1.9	9.4
	近畿	(93)	41.9	25.8	21.5	9.7	11.8	8.6	5.4	3.2	3.2	0.0	8.6
	中国・四国	(23)	34.8	26.1	8.7	8.7	13.0	13.0	4.3	4.3	0.0	0.0	8.7
	九州・沖縄	(19)	36.8	26.3	15.8	10.5	31.6	5.3	10.5	0.0	0.0	0.0	5.3

福島県旅行で満足した内容（性別・年代別）

Q13 直近の福島県旅行で満足した内容について3つまでお選びください。

～「自然・風景」が5割超で「温泉」も約5割～

- 福島県旅行で満足した内容をみると、全体で「自然・風景」が52.8%と最も高く、次いで「温泉」が49.8%、「食・食べ歩き」が30.9%と続いている。
- 性別・年代別にみると、「自然・風景」「温泉」はすべての世代から高い支持を得ているが、特に60代は男女ともに回答が集中している。一方、20代は男性で「食・食べ歩き」、女性で「レジャー施設」の割合が高めとなっている。
- 「宿泊施設」は全体で23.7%であるが、Q10で「宿泊しない（日帰り）」と回答した人も含む割合であり、宿泊旅行者のみでみると29.9%で、「食・食べ歩き」と同程度の水準となっている。
- 「レジャー施設」は、テーマパークや水族館など、親子連れの若い世代からの支持が目立っている。



【表例1】性別
【表例2】年齢

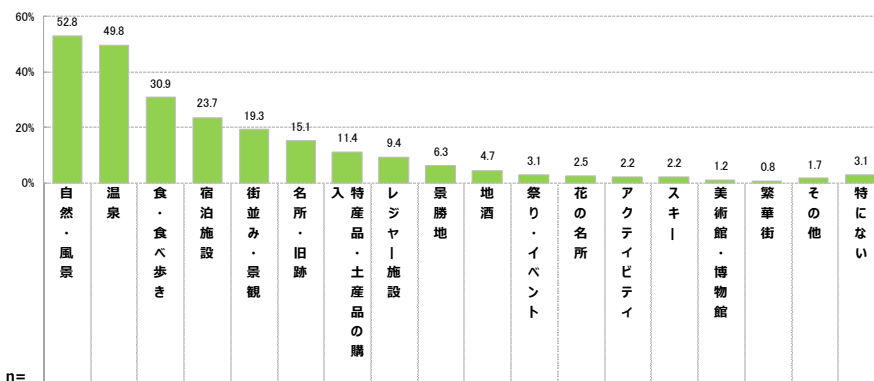
		n=	自然・風景	温泉	食・食べ歩き	宿泊施設	街並み・景観	名所・旧跡	入特産品・土産品の購	レジャー施設	景勝地	地酒	祭り・イベント	花の名所	アクティビティ	スキー	美術館・博物館	繁華街	その他	特にない
全体		(1,030)	52.8	49.8	30.9	23.7	19.3	15.1	11.4	9.4	6.3	4.7	3.1	2.5	2.2	2.2	1.2	0.8	1.7	3.1
男性全体		(591)	50.1	49.1	31.1	20.3	19.5	14.9	10.0	8.8	7.1	6.3	3.0	2.4	2.7	2.5	1.4	1.2	2.0	3.9
男性	20代	(67)	40.3	38.8	46.3	16.4	28.4	13.4	6.0	10.4	3.0	1.5	0.0	0.0	4.5	4.5	0.0	0.0	0.0	6.0
	30代	(97)	52.6	42.3	38.1	23.7	15.5	17.5	5.2	15.5	5.2	8.2	2.1	0.0	3.1	4.1	0.0	1.0	4.1	4.1
	40代	(125)	43.2	45.6	29.6	24.0	18.4	14.4	13.6	13.6	1.6	5.6	5.6	1.6	4.0	3.2	2.4	1.6	1.6	1.6
	50代	(112)	47.3	50.9	33.0	18.8	18.8	13.4	11.6	7.1	9.8	4.5	2.7	1.8	1.8	0.9	1.8	3.6	0.0	6.3
	60代	(190)	58.4	57.4	22.1	18.4	19.5	15.3	10.5	2.6	11.6	8.4	3.2	5.3	1.6	1.6	1.6	0.0	3.2	3.2
女性全体		(439)	56.5	50.8	30.5	28.2	19.1	15.5	13.2	10.3	5.2	2.5	3.2	2.7	1.6	1.8	0.9	0.2	1.4	2.1
女性	20代	(51)	51.0	43.1	35.3	33.3	17.6	5.9	9.8	21.6	0.0	0.0	3.9	2.0	5.9	2.0	0.0	2.0	5.9	3.9
	30代	(68)	41.2	45.6	35.3	27.9	20.6	16.2	8.8	16.2	2.9	4.4	1.5	0.0	2.9	5.9	1.5	0.0	2.9	2.9
	40代	(80)	48.8	40.0	38.8	25.0	12.5	16.3	20.0	15.0	2.5	0.0	7.5	0.0	0.0	2.5	1.3	0.0	0.0	1.3
	50代	(86)	55.8	50.0	41.9	25.6	22.1	15.1	15.1	7.0	3.5	2.3	1.2	4.7	0.0	0.0	1.2	0.0	1.2	2.3
	60代	(154)	69.5	61.7	16.2	29.9	20.8	18.2	11.7	3.2	10.4	3.9	2.6	4.5	1.3	0.6	0.6	0.0	0.0	1.3

福島県旅行で満足した内容（居住地域別）

Q13 直近の福島県旅行で満足した内容について3つまでお選びください。

～「食・食べ歩き」は東北や北陸で高い支持～

- 福島県旅行で満足した内容を居住地別にみると、大半の地域で「自然・風景」「温泉」に回答が集まった。「食・食べ歩き」は、東北や北陸で40%を超え、他の地域より高めとなった。
- 近畿は「自然・風景」が63.4%と、地域別で最も評価が高かった一方、「食・食べ歩き」は22.6%と最も低く、やや辛めの評価となっている。
- 首都圏、中部、北陸では「温泉」の評価が最も高くなり、温泉地数で全国第4位の福島県が「温泉県」として広く評価されていることが確認できる。



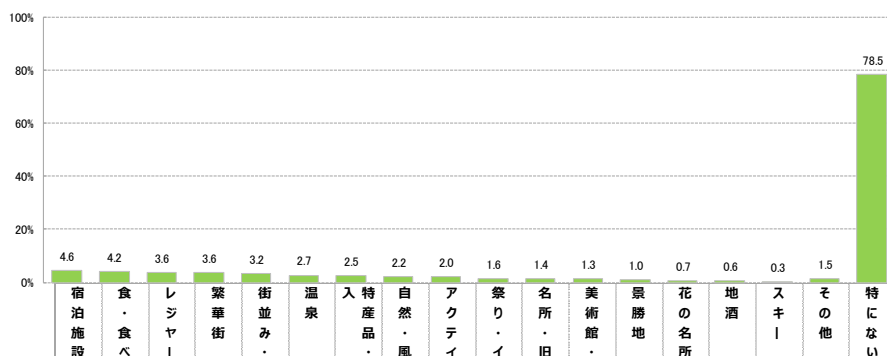
全体		(1,030)	52.8	49.8	30.9	23.7	19.3	15.1	11.4	9.4	6.3	4.7	3.1	2.5	2.2	2.2	1.2	0.8	1.7	3.1
居住地域	北海道	(24)	62.5	33.3	29.2	8.3	37.5	33.3	4.2	8.3	12.5	12.5	0.0	4.2	0.0	0.0	4.2	0.0	4.2	4.2
	東北	(154)	42.9	40.9	42.9	23.4	20.8	12.3	11.0	13.6	3.2	3.2	5.2	1.9	2.6	1.3	2.6	1.3	0.6	4.5
	北関東	(121)	55.4	41.3	29.8	23.1	17.4	13.2	13.2	8.3	0.8	2.5	3.3	1.7	2.5	1.7	0.8	0.8	3.3	2.5
	首都圏	(485)	54.6	55.7	27.6	24.3	16.9	15.3	11.5	10.3	6.6	5.2	3.3	2.5	2.9	3.5	0.2	0.6	1.6	2.9
	中部	(58)	50.0	55.2	27.6	22.4	32.8	13.8	13.8	3.4	3.4	10.3	1.7	3.4	1.7	0.0	1.7	0.0	0.0	1.7
	北陸	(53)	35.8	47.2	45.3	28.3	13.2	9.4	11.3	3.8	5.7	1.9	3.8	3.8	1.9	1.9	0.0	0.0	1.9	3.8
	近畿	(93)	63.4	52.7	22.6	26.9	16.1	19.4	8.6	3.2	7.5	5.4	2.2	2.2	1.1	0.0	2.2	1.1	2.2	3.2
	中国・四国	(23)	60.9	43.5	34.8	17.4	34.8	21.7	13.0	4.3	13.0	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0
	九州・沖縄	(19)	52.6	31.6	31.6	15.8	31.6	15.8	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	0.0	5.3

福島県旅行で不満だった内容（性別・年代別）

Q14 直近の福島県旅行で不満だった内容について、3つまでお選びください。

～不満は「特にない」が約8割～

- Q13の項目について、反対に不満だった内容について質問したところ、全体で「特にない」が78.5%を占め、不満で最も高かったのが「宿泊施設」の4.6%となった。不満が5%を超える項目はなく、実際に訪れた観光施設や景観、食などについては一定の評価を得ていることがわかる。
- 性別・年代別では、女性の50～60代は「特にない」が80%を超えている。
- このほか、男性の20代で「アクティビティ」が9.0%となった以外は、世代間での大きな差はみられなかった。



【表側1】性別
【表側2】年齢

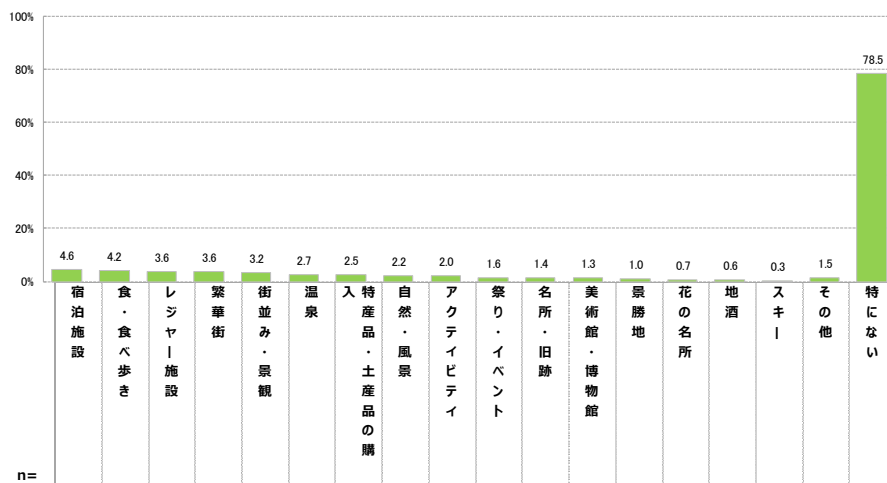
		n=	宿泊施設	食・食歩き	レジャー施設	繁華街	街並み・景観	温泉	入特産品・土産品の購入	自然・風景	アクティビティ	祭り・イベント	名所・旧跡	美術館・博物館	景勝地	花の名所	地酒	スキー	その他	特にない
全体		(1,030)	4.6	4.2	3.6	3.6	3.2	2.7	2.5	2.2	2.0	1.6	1.4	1.3	1.0	0.7	0.6	0.3	1.5	78.5
男性全体		(591)	4.2	3.2	3.6	4.2	3.7	2.9	3.0	2.0	2.5	1.7	1.2	1.7	1.4	0.7	0.8	0.3	1.5	76.6
男性	20代	(67)	6.0	0.0	4.5	3.0	3.0	0.0	1.5	0.0	9.0	6.0	1.5	1.5	0.0	0.0	1.5	0.0	1.5	74.6
	30代	(97)	4.1	0.0	6.2	7.2	4.1	1.0	5.2	0.0	4.1	3.1	2.1	3.1	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	74.2
	40代	(125)	3.2	3.2	4.8	4.0	6.4	1.6	1.6	1.6	2.4	0.0	1.6	1.6	4.0	0.8	2.4	0.8	0.0	75.2
	50代	(112)	4.5	4.5	0.0	3.6	2.7	5.4	1.8	4.5	0.0	0.9	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4	77.7
	60代	(190)	4.2	5.3	3.2	3.7	2.6	4.2	4.2	2.6	1.1	1.1	0.5	1.6	1.1	1.1	0.5	0.0	0.5	81.1
女性全体		(439)	5.0	5.5	3.6	2.7	2.5	2.5	1.8	2.5	1.4	1.4	1.6	0.7	0.5	0.7	0.2	0.2	1.4	81.1
女性	20代	(51)	3.9	5.9	3.9	5.9	3.9	3.9	0.0	3.9	0.0	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	78.4
	30代	(68)	2.9	7.4	5.9	2.9	2.9	1.5	2.9	1.5	4.4	1.5	1.5	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	2.9	77.9
	40代	(80)	7.5	7.5	6.3	3.8	3.8	2.5	5.0	2.5	2.5	2.5	2.5	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	2.5	71.3
	50代	(86)	7.0	3.5	1.2	3.5	2.3	2.3	0.0	3.5	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	1.2	0.0	1.2	0.0	83.7
	60代	(154)	3.9	4.5	2.6	0.6	0.6	2.6	1.3	1.9	0.6	1.3	1.3	1.9	0.0	1.3	0.0	0.0	0.6	87.0

福島県旅行で不満だった内容（居住地域別）

Q14 直近の福島県旅行で不満だった内容について、3つまでお選びください。

～遠隔地域からの旅行者はやや厳しい見方～

- 福島県旅行で不満だった内容を居住地別にみると、中国・四国では「宿泊施設」が13.0%、「食・食べ歩き」「レジャー施設」がともに8.7%で、九州・沖縄でも「食・食べ歩き」「街並み・景観」が10.5%と、他の地域より高めの結果となった。
- これらはサンプリング数による偏りの可能性が考えられるが、遠隔地域からの旅行者は比較的厳しい目で見ていることが窺え、満足度向上への参考としたい。



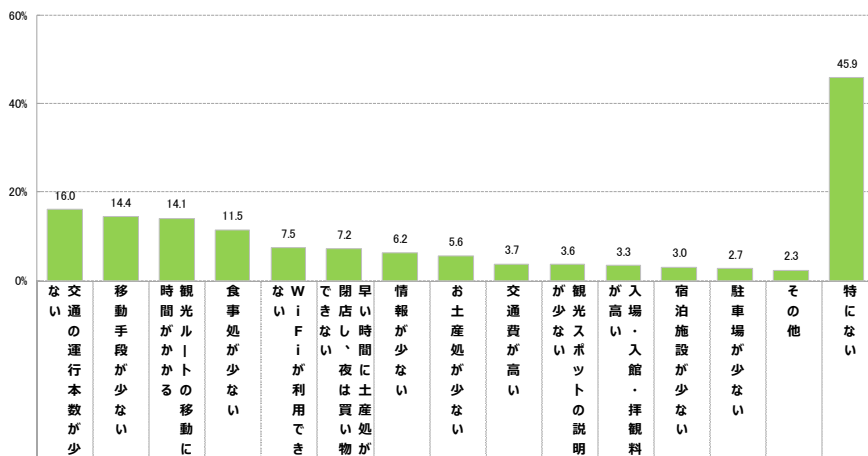
居住地域		n	宿泊施設	食・食べ歩き	レジャー施設	繁華街	街並み・景観	温泉	入特産品・土産品の購入	自然・風景	アクティビティ	祭り・イベント	名所・旧跡	美術館・博物館	景勝地	花の名所	地酒	スキー	その他	特になし
全体		(1,030)	4.6	4.2	3.6	3.6	3.2	2.7	2.5	2.2	2.0	1.6	1.4	1.3	1.0	0.7	0.6	0.3	1.5	78.5
居住地域	北海道	(24)	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	95.8
	東北	(154)	5.2	5.8	2.6	3.2	3.9	3.2	2.6	2.6	3.2	1.9	1.3	1.9	0.6	0.6	0.6	0.6	1.3	76.0
	北関東	(121)	5.0	5.0	3.3	2.5	1.7	5.8	4.1	4.1	0.0	0.0	0.0	0.8	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	82.6
	首都圏	(485)	4.9	2.9	4.1	4.1	3.3	2.3	1.4	1.9	1.6	1.6	2.1	1.2	0.6	1.0	0.4	0.4	2.3	78.4
	中部	(58)	1.7	6.9	1.7	3.4	3.4	1.7	5.2	1.7	1.7	0.0	0.0	1.7	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	79.3
	北陸	(53)	5.7	3.8	5.7	5.7	1.9	1.9	1.9	1.9	5.7	0.0	1.9	1.9	0.0	0.0	3.8	0.0	1.9	71.7
	近畿	(93)	2.2	4.3	1.1	2.2	3.2	2.2	4.3	2.2	2.2	4.3	1.1	1.1	0.0	1.1	1.1	0.0	1.1	80.6
	中国・四国	(23)	13.0	8.7	8.7	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	65.2
	九州・沖縄	(19)	0.0	10.5	5.3	5.3	10.5	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	78.9

福島県旅行で不便に感じたこと（性別・年代別）

Q15 直近の福島県旅行で、不便に感じたことをすべてお選びください。

～「交通の運行本数」「移動手段」の少なさは若い世代が目立つ～

- 福島県旅行で不便に感じたことをみると、全体で「特にない」が45.9%と最も高かった。不便を感じた項目では「交通の運行本数が少ない」が16.0%で最も高く、次いで「移動手段が少ない」が14.4%、「観光ルートへの移動にかかる時間が長い」が14.1%と続いている。
- 性別・年代別でみると、「交通の運行本数が少ない」「移動手段が少ない」は男女ともに20～30代の高さが目立つ。男性の20代はさらに「観光ルートへの移動にかかる時間も高く、若い世代ほど移動に要する時間をなるべく少なくしたいとの思いが強いものとみられる。
- 「食事処が少ない」は、男性全体の9.0%に対し女性全体では14.8%と、女性からの不満が高く、特に女性の20代では23.5%に上っている。



【表例1】性別
【表例2】年齢

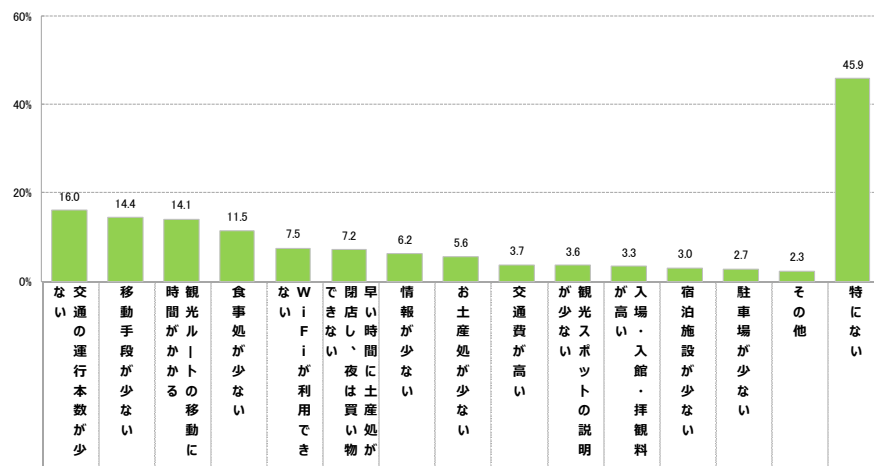
		n=	16.0	14.4	14.1	11.5	7.5	7.2	6.2	5.6	3.7	3.6	3.3	3.0	2.7	2.3	45.9		
			ない	交通の運行本数が少ない	移動手段が少ない	観光ルートへの移動にかかる時間が長い	食事処が少ない	Wi-Fiが利用できない	閉店時間や夜は買い物ができない	早い時間に土産物がない	情報が少ない	お土産処が少ない	交通費が高い	観光スポットの説明が少ない	入場料・入館料・拝観料が高い	宿泊施設が少ない	駐車場が少ない	その他	特にない
全体		(1,030)	16.0	14.4	14.1	11.5	7.5	7.2	6.2	5.6	3.7	3.6	3.3	3.0	2.7	2.3	45.9		
男性全体		(591)	17.4	14.0	14.0	9.0	9.8	7.8	7.4	5.1	4.4	4.1	3.7	2.9	2.7	1.7	45.3		
男性	20代	(67)	26.9	20.9	22.4	10.4	7.5	6.0	6.0	7.5	6.0	3.0	1.5	0.0	1.5	0.0	37.3		
	30代	(97)	18.6	19.6	13.4	14.4	14.4	11.3	12.4	8.2	4.1	7.2	7.2	7.2	4.1	2.1	32.0		
	40代	(125)	19.2	12.0	9.6	9.6	4.8	12.0	4.8	4.0	1.6	4.8	4.8	2.4	2.4	0.8	48.8		
	50代	(112)	15.2	14.3	12.5	2.7	12.5	5.4	7.1	2.7	4.5	2.7	2.7	2.7	3.6	2.7	46.4		
	60代	(190)	13.7	10.0	15.3	8.9	10.0	5.3	7.4	4.7	5.8	3.2	2.6	2.1	2.1	2.1	52.1		
女性全体		(439)	14.1	14.8	14.1	14.8	4.3	6.4	4.6	6.4	2.7	3.0	2.7	3.2	2.7	3.2	46.7		
女性	20代	(51)	27.5	21.6	13.7	23.5	5.9	9.8	5.9	9.8	0.0	5.9	0.0	2.0	0.0	3.9	29.4		
	30代	(68)	19.1	20.6	17.6	19.1	1.5	4.4	4.4	16.2	2.9	1.5	4.4	4.4	2.9	1.5	50.0		
	40代	(80)	8.8	11.3	11.3	18.8	6.3	8.8	1.3	6.3	5.0	0.0	5.0	3.8	5.0	5.0	41.3		
	50代	(86)	14.0	10.5	12.8	11.6	1.2	5.8	0.0	2.3	3.5	2.3	1.2	1.2	1.2	3.5	53.5		
	60代	(154)	10.4	14.3	14.9	9.7	5.8	5.2	8.4	3.2	1.9	4.5	2.6	3.9	3.2	2.6	50.0		

福島県旅行で不便に感じたこと（居住地域別）

Q15 直近の福島県旅行で、不便に感じたことをすべてお選びください。

～東北では「食事処が少ない」が高い～

- 福島県旅行で不便に感じたことを居住地別にみると、東北、北関東では「交通の運行本数が少ない」「移動手段が少ない」、北陸では「観光ルートへの移動にかかる時間が長い」が低めとなっている。
- 中部では「観光ルートへの移動にかかる時間が長い」が25.9%と4分の1を超えるなど、隣接地域と遠隔地域で異なる傾向がみられる。
- 東北からの旅行者は、Q13の満足した内容で「食・食べ歩き」の評価が高かった一方、「食事処が少ない」ことに不便を感じている人も多く、「食」に関するPR強化が必要と考えられる。



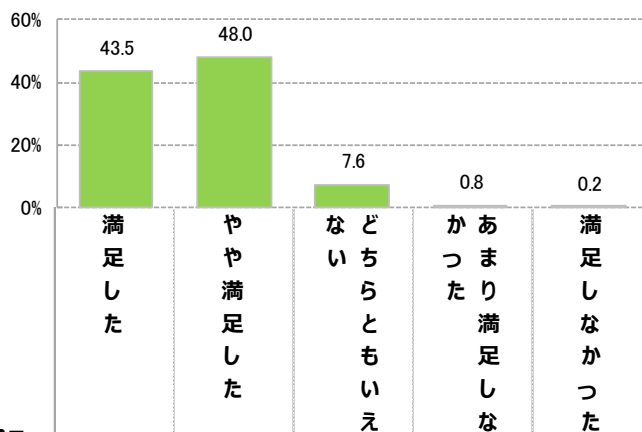
		n=	交通の運行本数が少ない	移動手段が少ない	観光ルートへの移動にかかる時間が長い	食事処が少ない	Wi-Fiが利用できない	閉店時間、夜は買い物ができない	早い時間に土産物が買えない	情報が少ない	お土産が少ない	交通費が高い	観光スポットの説明が少ない	入場・入館・拝観料が高い	宿泊施設が少ない	駐車場が少ない	その他	特になし
全体		(1,030)	16.0	14.4	14.1	11.5	7.5	7.2	6.2	5.6	3.7	3.6	3.3	3.0	2.7	2.3	45.9	
居住地域	北海道	(24)	20.8	4.2	16.7	8.3	8.3	0.0	4.2	4.2	0.0	4.2	4.2	4.2	0.0	4.2	45.8	
	東北	(154)	11.0	7.8	15.6	16.2	7.1	5.8	7.8	9.7	1.9	5.8	1.3	1.9	5.2	2.6	47.4	
	北関東	(121)	10.7	9.9	10.7	11.6	5.8	8.3	5.0	5.0	5.0	5.0	5.8	2.5	5.0	2.5	53.7	
	首都圏	(485)	18.8	17.1	12.6	11.5	8.7	8.5	6.4	4.3	3.9	3.3	2.7	2.9	1.9	2.5	43.9	
	中部	(58)	17.2	15.5	25.9	5.2	3.4	10.3	1.7	8.6	5.2	0.0	5.2	1.7	1.7	0.0	50.0	
	北陸	(53)	7.5	13.2	5.7	11.3	9.4	1.9	7.5	7.5	0.0	5.7	7.5	1.9	3.8	3.8	49.1	
	近畿	(93)	15.1	18.3	16.1	8.6	6.5	6.5	6.5	5.4	7.5	1.1	2.2	6.5	2.2	1.1	43.0	
	中国・四国	(23)	26.1	13.0	34.8	0.0	4.3	4.3	4.3	4.3	0.0	0.0	4.3	4.3	0.0	0.0	30.4	
	九州・沖縄	(19)	26.3	21.1	10.5	21.1	5.3	0.0	10.5	0.0	0.0	5.3	5.3	5.3	0.0	5.3	47.4	

福島県旅行の全体満足度（性別・年代別）

Q16 直近の福島県旅行について、全体としてあなたほどの程度満足しましたか。

～「満足」の評価は全体で9割を超える～

- 福島県旅行全体を通じた満足度をみると、全体で「満足した」が43.5%、「やや満足した」が48.0%となり、「満足」と評価したのは合わせて91.5%に上った。
- 性別・年代別でみると、「満足」の評価は男性の50代、女性の40代を除くすべての世代で90%を超えており、幅広い世代で福島県旅行について良好なイメージを持つ人が多いものとみられる。
- 「満足した」が最も高かったのは女性の20代で54.9%で、反対に最も低かったのは女性の30代で29.4%であった。



【表側1】性別
【表側2】年齢

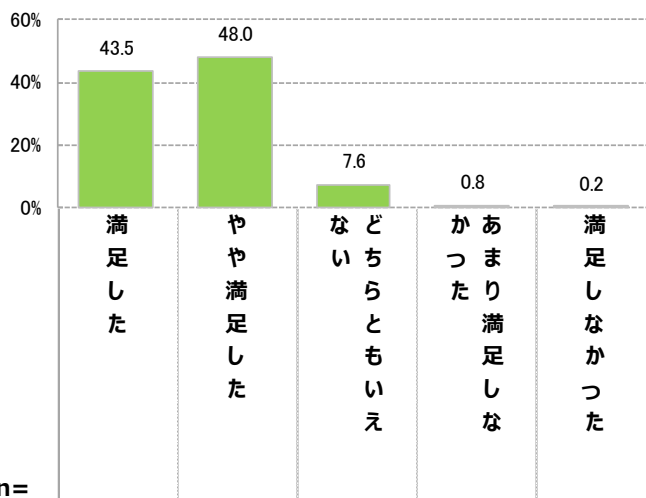
		n=	満足した	やや満足した	どちらともいえない	かったり満足しな	満足しなかった
全体		(1,030)	43.5	48.0	7.6	0.8	0.2
男性全体		(591)	43.8	47.4	7.6	0.8	0.3
男性	20代	(67)	40.3	55.2	3.0	1.5	0.0
	30代	(97)	44.3	47.4	6.2	0.0	2.1
	40代	(125)	45.6	45.6	8.0	0.8	0.0
	50代	(112)	36.6	52.7	9.8	0.9	0.0
	60代	(190)	47.9	42.6	8.4	1.1	0.0
女性全体		(439)	43.1	48.7	7.5	0.7	0.0
女性	20代	(51)	54.9	41.2	3.9	0.0	0.0
	30代	(68)	29.4	61.8	7.4	1.5	0.0
	40代	(80)	46.3	40.0	12.5	1.3	0.0
	50代	(86)	48.8	45.3	5.8	0.0	0.0
	60代	(154)	40.3	51.9	7.1	0.6	0.0

福島県旅行の全体満足度（居住地域別）

Q16 直近の福島県旅行について、全体としてあなたほどの程度満足しましたか。

～「満足した」は全体で4割超だが北陸ではやや低め～

- 福島県旅行全体を通した満足度を居住地別にみると、「満足した」は北海道の58.3%、北関東の46.3%などに対し、北陸が32.1%、中部が36.2%など、地域によりやや評価が分かれる結果となった。
- 「満足した」「やや満足した」を合わせた合計では多くの地域が90%を超える中、九州・沖縄は68.4%と、ほかの地域を大きく下回っている。



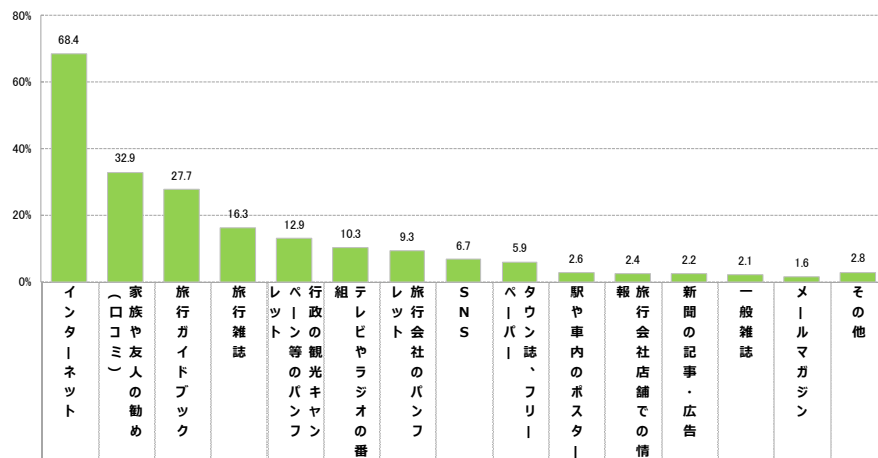
		n=	満足した	やや満足した	どちらともいえ	かった	満足しなかった
全体		(1,030)	43.5	48.0	7.6	0.8	0.2
居住地域	北海道	(24)	58.3	37.5	4.2	0.0	0.0
	東北	(154)	42.9	47.4	9.1	0.6	0.0
	北関東	(121)	46.3	45.5	8.3	0.0	0.0
	首都圏	(485)	44.7	47.6	7.4	0.0	0.2
	中部	(58)	36.2	60.3	1.7	1.7	0.0
	北陸	(53)	32.1	54.7	11.3	1.9	0.0
	近畿	(93)	44.1	46.2	7.5	2.2	0.0
	中国・四国	(23)	39.1	56.5	0.0	4.3	0.0
	九州・沖縄	(19)	36.8	31.6	15.8	10.5	5.3

福島県旅行時に役立った情報源（性別・年代別）

Q18 直近の福島県旅行の際に、役に立った情報源をすべてお選びください。

～「インターネット」は全体で約7割で男性が高め～

- 福島県旅行時に役立った情報源をみると、全体で「インターネット」が68.4%と最も高かった。次いで「家族や友人の勧め（口コミ）」が32.9%、「旅行ガイドブック」が27.7%と続いている。
- 性別・年代別でみると、「インターネット」はすべての世代で男性の回答割合が女性を上回り、女性全体で59.9%に対し男性全体では74.8%に上った。一方、「家族や友人の勧め（口コミ）」は、男性全体で26.2%に対し女性全体では41.9%に上るなど、男女による違いがみられた。特に50代以降でその傾向が顕著となっている。
- 50代以降では「行政の観光キャンペーン等のパンフレット」「テレビやラジオの番組」「旅行会社のパンフレット」などが若い世代より高めであり、メディアの活用や紙ベースのPRが一定の効果を生んでいる。



【表側1】性別
【表側2】年齢

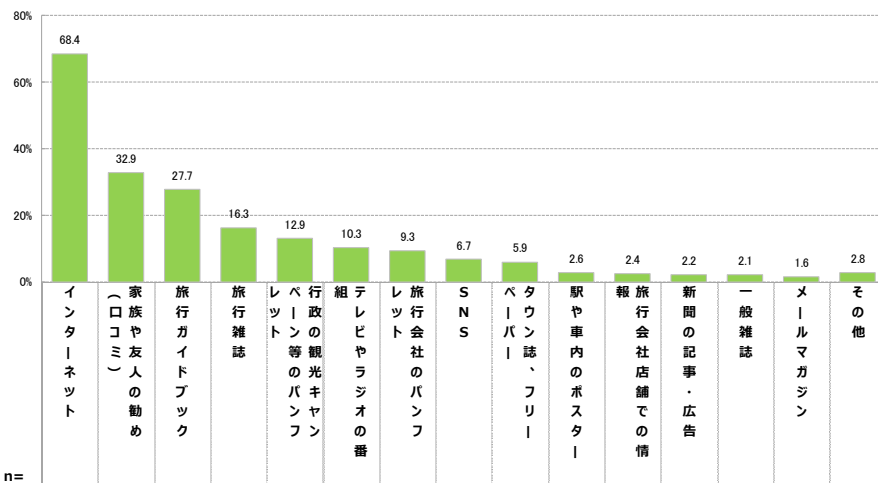
		n=	インターネット	家族や友人の勧め (口コミ)	旅行ガイドブック	旅行雑誌	レジャー等の観光パンフレット	行政の観光キャンペーン	テレビやラジオの番組	旅行会社のパンフレット	SNS	ホームページ	駅や車内のポスター	旅行会社店舗での情報	新聞の記事・広告	一般雑誌	メールマガジン	その他
全体		(1,030)	68.4	32.9	27.7	16.3	12.9	10.3	9.3	6.7	5.9	2.6	2.4	2.2	2.1	1.6	2.8	
男性全体		(591)	74.8	26.2	28.8	18.6	13.4	11.0	9.3	7.4	6.6	3.6	2.9	3.0	3.2	1.9	2.9	
男性	20代	(67)	67.2	40.3	29.9	16.4	10.4	9.0	6.0	17.9	6.0	4.5	1.5	1.5	3.0	0.0	0.0	
	30代	(97)	76.3	44.3	28.9	29.9	14.4	14.4	6.2	10.3	12.4	8.2	6.2	3.1	7.2	3.1	1.0	
	40代	(125)	78.4	27.2	31.2	19.2	11.2	6.4	7.2	8.0	4.0	2.4	2.4	2.4	3.2	1.6	1.6	
	50代	(112)	80.4	17.0	29.5	13.4	8.0	8.0	6.3	5.4	6.3	1.8	0.9	0.9	0.9	2.7	3.6	
	60代	(190)	71.1	16.8	26.3	16.3	18.4	14.7	15.3	3.2	5.8	2.6	3.2	5.3	2.6	1.6	5.3	
女性全体		(439)	59.9	41.9	26.2	13.2	12.3	9.3	9.3	5.7	5.0	1.4	1.8	1.1	0.7	1.1	2.7	
女性	20代	(51)	60.8	52.9	21.6	3.9	5.9	5.9	3.9	3.9	2.0	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	2.0	
	30代	(68)	72.1	42.6	23.5	8.8	5.9	5.9	1.5	5.9	4.4	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	
	40代	(80)	72.5	45.0	23.8	12.5	8.8	5.0	2.5	10.0	5.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	2.5	
	50代	(86)	62.8	38.4	31.4	19.8	18.6	5.8	9.3	7.0	8.1	0.0	2.3	1.2	1.2	0.0	1.2	
	60代	(154)	46.1	38.3	27.3	14.9	15.6	16.2	18.2	3.2	4.5	2.6	3.2	2.6	0.6	3.2	4.5	

福島県旅行時に役立つ情報源（居住地別別）

Q18 直近の福島県旅行の際に、役に立った情報源をすべてお選びください。

～「口コミ」は隣接地域で高めの傾向～

- 福島県旅行時に役立つ情報源を居住地別にみると、「家族や友人の勧め（口コミ）」は東北や北関東、北陸と福島県に隣接する地域で高めとなっている。これらの地域では福島県の観光情報が相応に浸透していることが窺える一方、旅行に関する雑誌やパンフレットを参考にする割合は低めとなっている。
- 「その他」では、道の駅からの情報、宿泊施設からのDM、復興事業で従事した経験などが挙げられた。



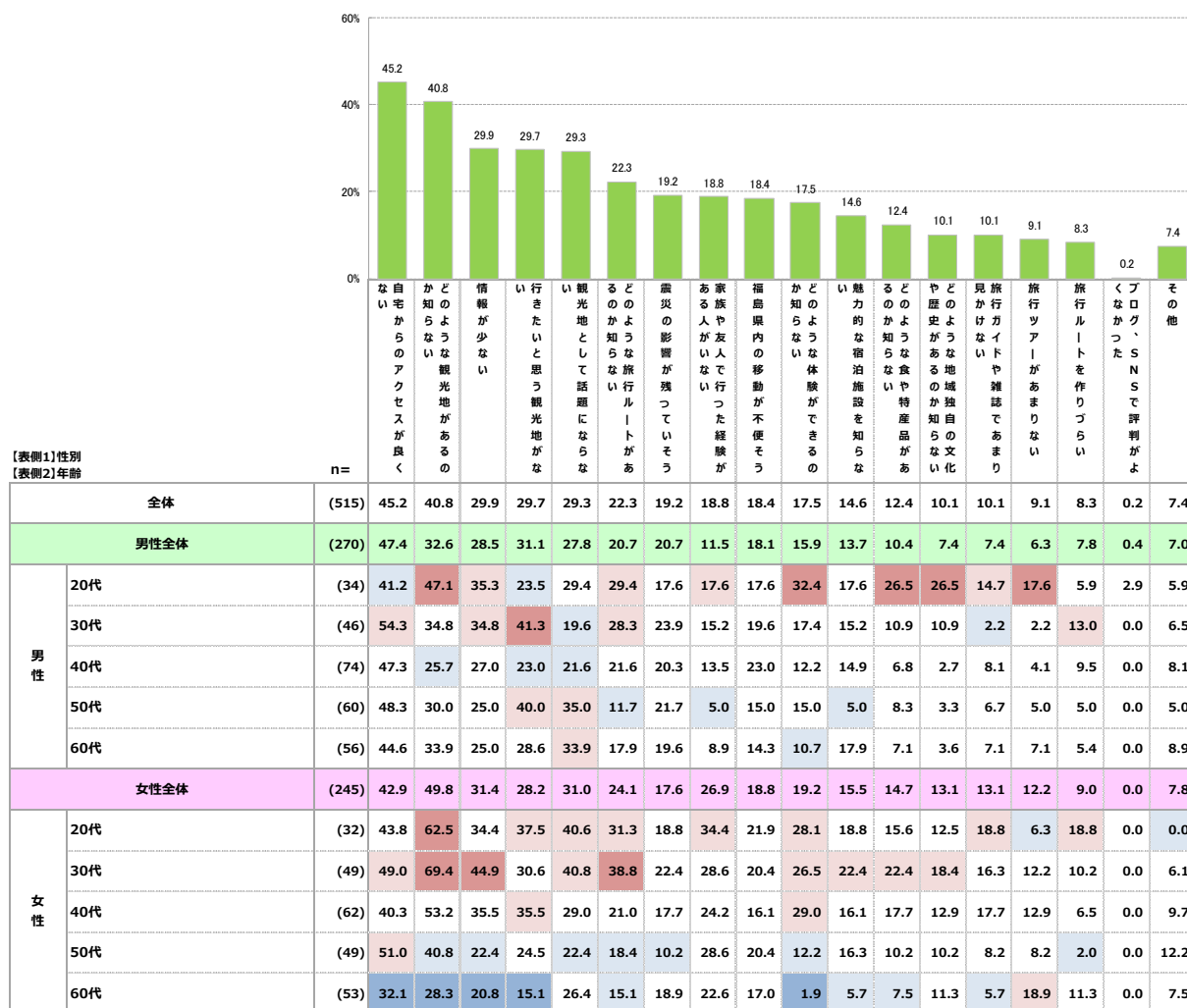
居住地		n	インターネット	家族や友人の勧め（口コミ）	旅行ガイドブック	旅行雑誌	レジャーパンフレット	行政等の観光パンフレット	テレビやラジオの番組	旅行会社のパンフレット	SNS	ホームページ	タクシー、フリーター	駅や車内のポスター	旅行会社店舗での情報	新聞の記事・広告	一般雑誌	メールマガジン	その他
全体		(1,030)	68.4	32.9	27.7	16.3	12.9	10.3	9.3	6.7	5.9	2.6	2.4	2.2	2.1	1.6	2.8		
居住地	北海道	(24)	70.8	29.2	12.5	25.0	8.3	12.5	12.5	4.2	4.2	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	8.3		
	東北	(154)	70.8	39.0	24.0	15.6	11.7	9.1	3.9	6.5	8.4	3.2	1.9	1.9	3.2	0.6	2.6		
	北関東	(121)	67.8	39.7	25.6	15.7	9.1	11.6	4.1	3.3	4.1	2.5	0.8	4.1	2.5	0.8	3.3		
	首都圏	(485)	68.0	30.5	29.7	16.9	15.5	10.3	10.7	8.2	6.6	3.1	2.9	2.7	1.9	2.5	2.3		
	中部	(58)	74.1	36.2	34.5	24.1	10.3	17.2	10.3	6.9	10.3	3.4	5.2	3.4	3.4	1.7	3.4		
	北陸	(53)	50.9	39.6	22.6	7.5	7.5	7.5	1.9	11.3	3.8	0.0	3.8	0.0	1.9	0.0	5.7		
	近畿	(93)	75.3	24.7	30.1	11.8	14.0	9.7	19.4	4.3	1.1	1.1	1.1	0.0	1.1	1.1	1.1		
	中国・四国	(23)	69.6	21.7	30.4	17.4	13.0	4.3	13.0	0.0	4.3	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	4.3		
	九州・沖縄	(19)	57.9	31.6	15.8	21.1	5.3	5.3	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3		

福島県旅行の非検討理由（性別・年代別）

Q19 あなたが、これまでに福島県を旅行先として検討しなかった理由として、あてはまるものをすべてお選びください。

～「福島県の観光地を知らない」が検討しない理由の4割～

- 福島県旅行について「旅行したことも検討したこともない」と回答した人に対しその理由を尋ねたところ、全体で「自宅からのアクセスが良くない」が45.2%と最も高く、次いで「どのような観光地があるのか知らない」が40.8%、「情報が少ない」が29.9%、「行きたいと思う観光地がない」が29.7%などと続いた。
- 性別・年代別にみると、女性全体では「どのような観光地があるのか知らない」が49.8%で最も高く、特に女性の20～30代では6割を超えている。
- 観光地や特産品、文化など、福島県に関して「どのようなものがあるのか知らない」とする回答が若い世代ほど高い。

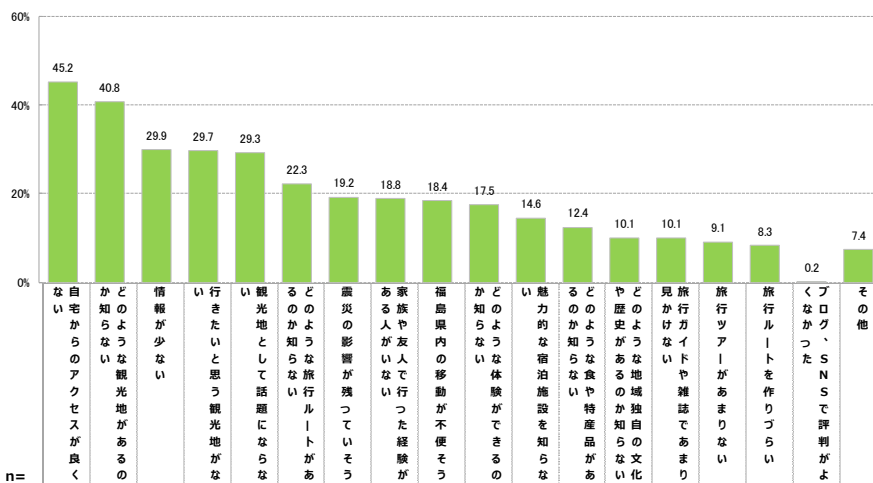


福島県旅行の非検討理由（居住地域別）

Q19 あなたが、これまでに福島県を旅行先として検討しなかった理由として、あてはまるものをすべてお選びください。

～遠隔地域ほど「福島県を知らないから」が高め～

- 福島県旅行について「旅行したことも検討したこともない」と回答した理由を居住地別にみると、全般的に遠隔地域ほど福島県に関して「どのようなものがあるのか知らない」割合が高い。
- 東北、北関東、北陸では、そもそも「検討したこともない」割合は他の地域より低く、対象者が少なくなっている。
- 「震災の影響が残っていそう」は各地域で一定割合回答があり、引き続き安心・安全のPRが必要であることを示す結果となっている。
- 「その他」では、特に理由はない（そもそも福島県に興味がない）、原発事故の影響がありそうなどが挙げられた。



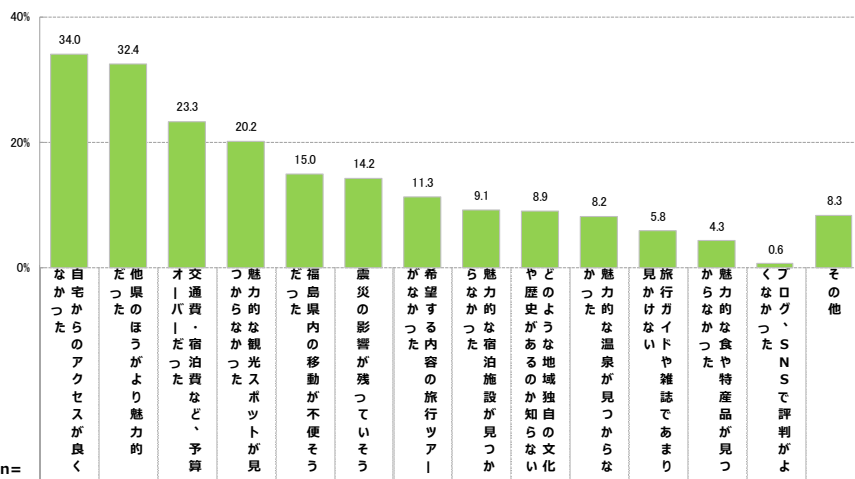
居住地		n	知らない	どのようなものがあるのか知らない	情報が少ない	行きたいと思う観光地がない	観光地として話題にならない	どのような旅行ルートがあるのか知らない	震災の影響が残っていそう	家族や友人で行った経験がある人がいない	福島県内の移動が不便そう	かのような体験ができるのか知らない	魅力的な宿泊施設を知らない	どのような食や特産品があるのか知らない	や歴史がある地域か知らない	見かけない雑誌であまり	旅行ツアーがあまりない	旅行ルートを作りづらい	くまなく調べた	その他
全体		(515)	45.2	40.8	29.9	29.7	29.3	22.3	19.2	18.8	18.4	17.5	14.6	12.4	10.1	10.1	9.1	8.3	0.2	7.4
居住地	北海道	(33)	45.5	51.5	36.4	33.3	30.3	21.2	24.2	24.2	24.2	21.2	18.2	21.2	12.1	15.2	9.1	0.0	0.0	9.1
	東北	(6)	50.0	0.0	33.3	33.3	16.7	0.0	66.7	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	北関東	(12)	16.7	33.3	16.7	58.3	41.7	8.3	33.3	0.0	0.0	25.0	16.7	8.3	8.3	8.3	0.0	16.7	0.0	0.0
	首都圏	(136)	25.0	30.1	28.7	30.9	25.7	12.5	19.1	9.6	12.5	14.0	13.2	7.4	9.6	6.6	5.1	2.9	0.0	9.6
	中部	(67)	50.7	31.3	34.3	25.4	26.9	17.9	10.4	20.9	23.9	10.4	7.5	9.0	7.5	7.5	7.5	13.4	0.0	7.5
	北陸	(13)	53.8	46.2	15.4	46.2	23.1	38.5	38.5	15.4	7.7	23.1	15.4	15.4	7.7	15.4	30.8	23.1	0.0	15.4
	近畿	(131)	51.1	48.1	25.2	29.0	35.1	27.5	19.8	22.9	21.4	19.8	16.8	15.3	8.4	9.9	8.4	7.6	0.0	5.3
	中国・四国	(59)	66.1	45.8	35.6	30.5	27.1	25.4	20.3	28.8	23.7	16.9	20.3	20.3	11.9	16.9	16.9	8.5	1.7	1.7
	九州・沖縄	(58)	55.2	53.4	34.5	20.7	27.6	32.8	13.8	22.4	19.0	24.1	10.3	12.1	10.3	12.1	8.6	12.1	0.0	12.1

福島県旅行が検討のみで終わった理由（性別・年代別）

Q20 過去に、あなたが福島県旅行を検討したとき、実行に至らなかった理由をすべてお選びください。

～20代は「他県のほうがより魅力的だった」が最も高い～

- 過去に福島県旅行を検討しながら、実行に至らなかった理由をみると、全体で「自宅からのアクセスが良くなかった」が34.0%と最も高くなった。次いで「他県のほうがより魅力的だった」が32.4%、「交通費・宿泊費など、予算オーバーだった」が23.3%などと続いている。また、「震災の影響が残っていそう」は14.2%であった。
- 性別・年代別でみると、20代では男女ともに「他県のほうがより魅力的だった」が最も高かった。「希望する内容の旅行ツアーがなかった」は女性の50～60代が高く、内容の選択肢を広げる必要性も感じられる。「その他」では、タイミングが合わなかったり、他県に行く必要性が生じたことなどが挙げられた。しかし、何かのきっかけがあれば今後も福島県旅行を検討する余地は十分にあると考えられるが、背中を押してくれる何かが必要だと感じている人が多いとも言える。



【表側1】性別
【表側2】年齢

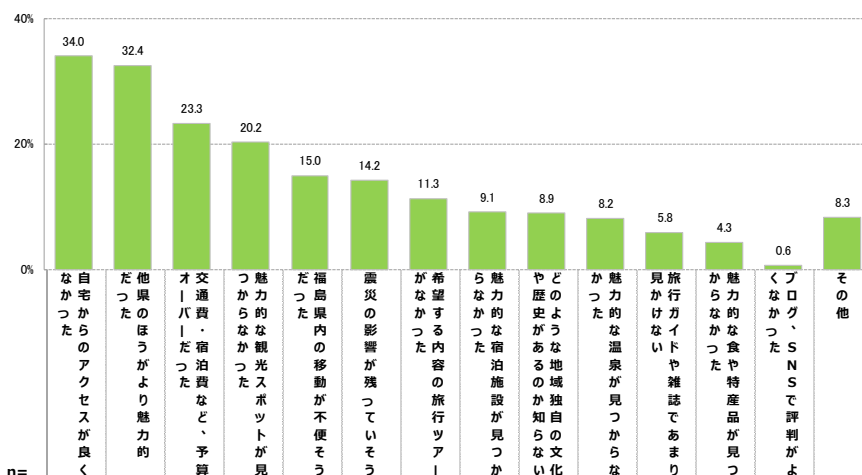
		n =	自宅からのアクセスが良く	他県のほうがより魅力的	交通費・宿泊費など、予算	魅力的な観光スポットが見	福島県内の移動が不便そう	震災の影響が残っていそう	希望する内容の旅行ツアー	魅力的な宿泊施設が見つか	どのような地域か知らない	魅力的な温泉が見つか	旅行ガイドや雑誌であまり	魅力的な食や特産品が見つ	ブログ、SNSで評判がよ	その他
全体		(515)	34.0	32.4	23.3	20.2	15.0	14.2	11.3	9.1	8.9	8.2	5.8	4.3	0.6	8.3
男性全体		(309)	35.6	31.7	24.6	19.1	13.6	16.5	9.1	9.4	7.4	9.1	6.5	4.5	0.6	8.4
男性	20代	(36)	44.4	52.8	22.2	19.4	13.9	16.7	13.9	8.3	2.8	13.9	5.6	2.8	2.8	8.3
	30代	(61)	50.8	41.0	27.9	27.9	13.1	21.3	4.9	14.8	14.8	11.5	9.8	8.2	1.6	3.3
	40代	(64)	26.6	29.7	26.6	12.5	14.1	12.5	6.3	6.3	4.7	9.4	9.4	1.6	0.0	10.9
	50代	(82)	29.3	29.3	23.2	20.7	13.4	15.9	11.0	8.5	4.9	6.1	4.9	7.3	0.0	4.9
	60代	(66)	33.3	16.7	22.7	15.2	13.6	16.7	10.6	9.1	9.1	7.6	3.0	1.5	0.0	15.2
女性全体		(206)	31.6	33.5	21.4	21.8	17.0	10.7	14.6	8.7	11.2	6.8	4.9	3.9	0.5	8.3
女性	20代	(35)	45.7	48.6	20.0	20.0	28.6	17.1	8.6	17.1	11.4	11.4	11.4	5.7	2.9	2.9
	30代	(50)	44.0	32.0	30.0	28.0	14.0	4.0	6.0	6.0	18.0	10.0	4.0	10.0	0.0	8.0
	40代	(35)	25.7	25.7	20.0	14.3	2.9	11.4	8.6	2.9	5.7	2.9	5.7	0.0	0.0	17.1
	50代	(38)	18.4	28.9	21.1	21.1	21.1	5.3	23.7	10.5	10.5	5.3	2.6	2.6	0.0	5.3
	60代	(48)	22.9	33.3	14.6	22.9	18.8	16.7	25.0	8.3	8.3	4.2	2.1	0.0	0.0	8.3

福島県旅行が検討のみで終わった理由（居住地域別）

Q20 過去に、あなたが福島県旅行を検討したとき、実行に至らなかった理由をすべてお選びください。

～「震災の影響」はすべての地域で一定割合の回答あり～

- 福島県旅行が実行に至らなかった理由を居住地別にみると、中部以西では「自宅からのアクセスが良くなかった」「交通費・宿泊費など、予算オーバーだった」「福島県内の移動が不便そうだった」などで他の地域より高めの傾向がみられ、遠隔地域からの旅行故の特徴がみられる。
- 東北では「他県のほうがより魅力的だった」「魅力的な観光スポットが見つからなかった」が高く、周辺の他県に流れているケースが多いものとみられる。
- 「震災の影響が残っていそう」は、「検討したこともない」層との比較では5ポイントほど下回っているが、いずれの地域においても一定割合回答があった。



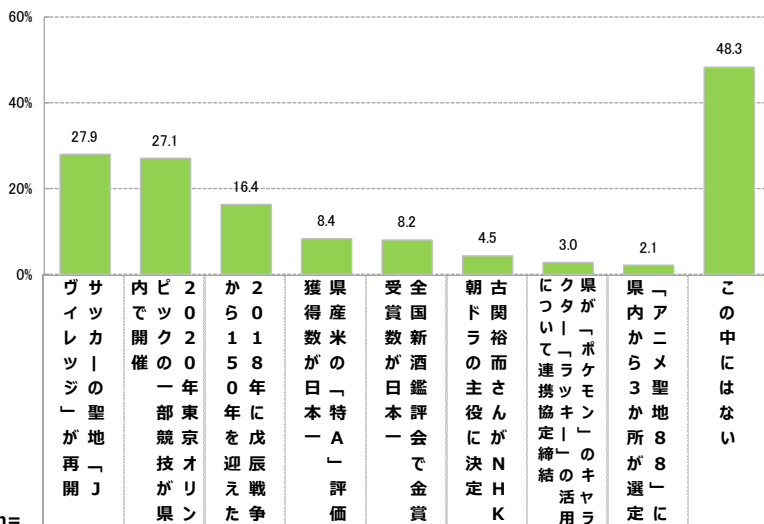
居住地域		n	自宅からのアクセスが良くなかった	他県のほうがより魅力的だった	交通費・宿泊費など、予算オーバーだった	魅力的な観光スポットが見つからなかった	福島県内の移動が不便そうだった	震災の影響が残っていそう	希望する内容の旅行ツアーがなかった	魅力的な宿泊施設が見つからなかった	や歴史があるのか知らない文化	魅力的な温泉が見つからなかった	旅行ガイドや雑誌であまり見かけない	魅力的な食や特産品が見つからなかった	ブログ、SNSで評判がよくなかった	その他
全体		(515)	34.0	32.4	23.3	20.2	15.0	14.2	11.3	9.1	8.9	8.2	5.8	4.3	0.6	8.3
居住地域	北海道	(19)	21.1	31.6	36.8	21.1	15.8	26.3	10.5	10.5	10.5	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0
	東北	(30)	26.7	43.3	13.3	33.3	6.7	10.0	0.0	13.3	10.0	6.7	0.0	0.0	0.0	10.0
	北関東	(35)	17.1	28.6	14.3	20.0	5.7	11.4	0.0	17.1	2.9	17.1	5.7	5.7	0.0	14.3
	首都圏	(180)	26.1	33.3	13.9	25.0	12.8	15.0	11.7	9.4	5.6	10.0	5.0	3.3	0.0	9.4
	中部	(61)	44.3	19.7	29.5	24.6	14.8	11.5	14.8	8.2	14.8	6.6	4.9	6.6	0.0	4.9
	北陸	(24)	25.0	50.0	25.0	16.7	8.3	12.5	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	8.3
	近畿	(100)	48.0	32.0	35.0	14.0	24.0	11.0	14.0	6.0	15.0	8.0	8.0	5.0	3.0	8.0
	中国・四国	(29)	51.7	31.0	37.9	6.9	13.8	20.7	6.9	6.9	6.9	3.4	10.3	10.3	0.0	3.4
	九州・沖縄	(37)	37.8	35.1	24.3	8.1	21.6	18.9	13.5	8.1	10.8	2.7	10.8	0.0	0.0	10.8

福島県に関する最近の出来事の認知度（性別・年代別）

Q22 福島県に関する最近の出来事で、知っているものをすべてお選びください。

～「Jヴィレッジ再開」「オリンピック一部競技開催」の認知度が約3割～

- 福島県に関する最近の出来事をいくつか抽出した中で、知っているものを尋ねたところ、全体で「この中にはない」が48.3%となった。知っているものでは「サッカーの聖地『Jヴィレッジ』が再開」が27.9%と最も高く、「2020年東京オリンピックの一部競技が県内で開催」が27.1%、「2018年に戊辰戦争から150年を迎えた」が16.4%となった。
- 性別・年代別にみると、全般的に男性が女性を上回る傾向がみられた。「サッカーの聖地『Jヴィレッジ』が再開」は、男性全体が36.2%に対し女性全体が17.0%と、男女の差が大きく表れたが、男女ともに20～30代での認知度は低めであった。
- 全国新酒鑑評会の金賞受賞数が6年連続日本一に輝く福島県の日本酒であるが、認知度は全体で8.2%にとどまり、特に男性の40～50代の低さが目立った。



【表側1】性別
【表側2】年齢

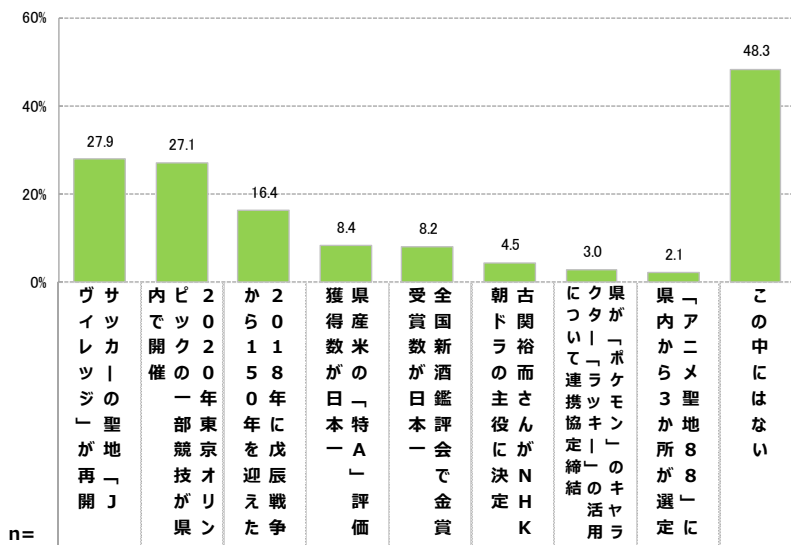
		n=	「Jヴィレッジ」の再開	2020年東京オリンピックの一部競技が県内で開催	2018年に戊辰戦争から150年を迎えた	獲得産米が「特A」評価	全国新酒鑑評会での金賞	朝閑裕而さんがNHK古閑裕而さんの主役に決定	県が「ポケモン」のキャラクタースタンプの活用について連携協定締結	県内から3か所が選定	この中にはない
全体		(2,060)	27.9	27.1	16.4	8.4	8.2	4.5	3.0	2.1	48.3
男性全体		(1,170)	36.2	30.2	19.9	9.2	10.0	5.0	3.5	2.8	41.0
男性	20代	(137)	24.8	29.9	16.1	13.9	9.5	5.1	7.3	5.8	48.9
	30代	(204)	33.8	30.4	22.1	13.7	14.2	5.9	8.8	5.9	39.7
	40代	(263)	41.1	17.9	15.6	8.0	6.1	1.9	2.3	0.4	46.0
	50代	(254)	39.4	31.1	16.1	4.7	6.3	5.1	1.2	2.8	38.2
	60代	(312)	36.2	39.7	26.9	9.0	13.8	6.7	1.3	1.6	36.5
女性全体		(890)	17.0	23.0	11.7	7.3	5.7	3.9	2.2	1.2	58.0
女性	20代	(118)	9.3	18.6	6.8	6.8	5.9	1.7	7.6	2.5	63.6
	30代	(167)	13.2	16.8	7.8	4.8	2.4	1.2	1.8	0.0	65.3
	40代	(177)	18.6	15.3	7.3	2.3	2.3	2.8	1.1	1.1	62.7
	50代	(173)	21.4	19.1	13.3	7.5	5.8	4.6	1.7	0.0	59.5
	60代	(255)	18.8	37.3	18.4	12.5	10.2	7.1	1.2	2.4	46.3

福島県に関する最近の出来事の認知度（居住地域別）

Q22 福島県に関する最近の出来事で、知っているものをすべてお選びください。

～「戊辰戦争150年」は東北・北陸で20%台～

- 福島県に関する最近の出来事で知っているものを居住地域別にみると、「サッカーの聖地『Jヴィレッジ』が再開」は東北で41.6%、北関東で36.9%と、隣接地域では認知度が高かった。
- 「2018年に戊辰戦争から150年を迎えた」は、東北・北陸で20%台であったが、中部と九州・沖縄では10%を下回り、地域による差がみられた。
- 「県産米の『特A』評価獲得数が日本一」は、首都圏が11.2%で最も高かった一方、東北が3.2%、北陸が3.3%と、米どころの地域で低い結果となった。
- 「古関裕而さんがNHK朝ドラの主役に決定」は、全体では4.5%にとどまるが、東北では10%に達した。



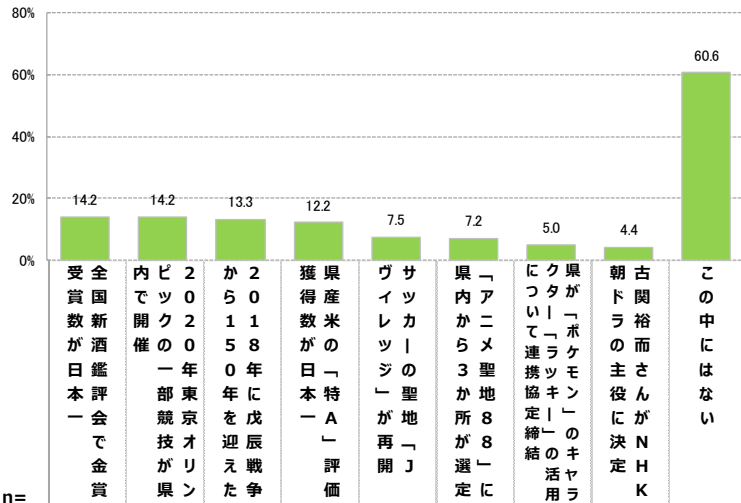
		全体	(2,060)	27.9	27.1	16.4	8.4	8.2	4.5	3.0	2.1	48.3
居住地域	北海道	(76)	26.3	23.7	15.8	6.6	6.6	3.9	1.3	0.0	53.9	
	東北	(190)	41.6	31.6	23.7	3.2	10.5	10.0	2.1	0.5	37.4	
	北関東	(168)	36.9	31.5	14.9	6.0	6.0	2.4	4.8	1.8	42.3	
	首都圏	(801)	29.8	26.0	17.7	11.2	10.5	4.1	2.7	2.5	46.3	
	中部	(186)	23.1	24.7	9.7	7.0	4.3	5.9	4.8	3.2	56.5	
	北陸	(90)	31.1	27.8	28.9	3.3	6.7	3.3	5.6	3.3	42.2	
	近畿	(324)	17.6	24.7	12.3	8.6	8.0	4.0	2.5	2.2	56.2	
	中国・四国	(111)	25.2	32.4	16.2	6.3	5.4	3.6	0.9	1.8	48.6	
	九州・沖縄	(114)	16.7	28.1	9.6	9.6	2.6	2.6	2.6	1.8	55.3	

福島県に関する最近の出来事の効果（性別・年代別）

Q23 福島県に関する最近の出来事で、福島県旅行を検討するきっかけになると思うものをすべてお選びください。

～「全国新酒鑑評会金賞」は一定の評価～

- 福島県に関する最近の出来事で、福島県旅行を検討するきっかけになると思うものを尋ねたところ、全体で「全国新酒鑑評会で金賞受賞数が日本一」「2020年東京オリンピックの一部競技が県内で開催」がともに14.2%となった。
- 性別・年代別にみると、多くの項目で男女ともに20～30代が高くなる傾向がみられた。「全国新酒鑑評会で金賞受賞数が日本一」「県産米の『特A』評価獲得数が日本一」「『アニメ聖地88』に県内から3か所が選定」は男女すべての世代でQ22の認知度を上回った。
- 「県が『ポケモン』のキャラクター『ラッキー』の活用について連携協定締結」も多くの世代で認知度を上回っており、「これまで知らなかったが、意外と面白そう」と思わせる話題の提供が、誘客効果につながるものと期待される。



【表側1】性別
【表側2】年齢

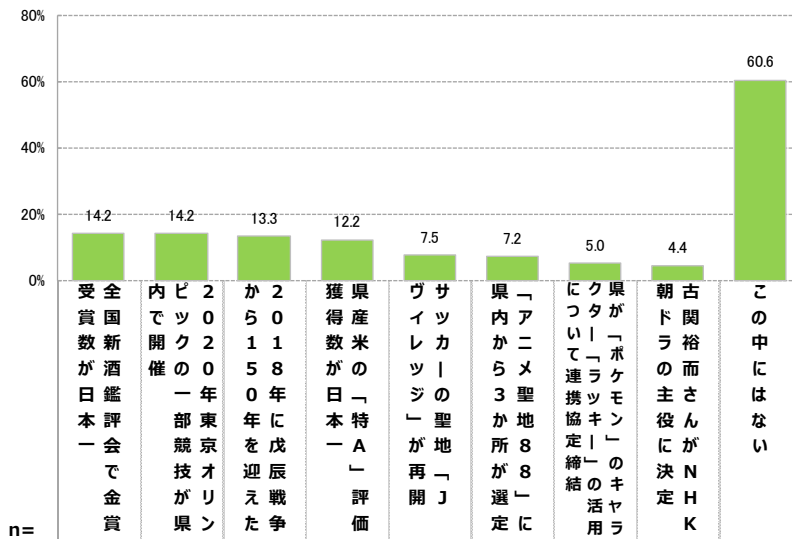
		n=	受賞数が日本一	内開催の一年間	か2011年5月8日	獲得数が日本一	ヴィンテージ再開	県内から3か所が選定	県が『ポケモン』の活用	朝ドラの主役に決定	この中ではない
全体		(2,060)	14.2	14.2	13.3	12.2	7.5	7.2	5.0	4.4	60.6
男性全体		(1,170)	14.4	13.8	14.9	11.4	10.1	7.4	4.2	4.6	59.1
男性	20代	(137)	13.9	19.7	10.2	16.8	19.7	10.9	10.9	3.6	53.3
	30代	(204)	20.6	17.2	12.7	15.7	14.2	13.7	5.9	6.9	54.4
	40代	(263)	7.6	11.4	13.3	9.1	10.3	4.9	3.4	0.8	64.6
	50代	(254)	14.2	12.6	16.1	10.2	5.5	5.9	3.9	4.3	55.9
	60代	(312)	16.3	11.9	18.6	9.0	6.7	4.8	1.0	7.1	62.5
女性全体		(890)	13.9	14.7	11.1	13.4	4.0	7.0	6.0	4.0	62.6
女性	20代	(118)	19.5	22.0	5.9	17.8	6.8	11.0	12.7	2.5	50.8
	30代	(167)	15.0	16.8	7.8	12.6	3.6	9.0	7.8	1.2	64.1
	40代	(177)	6.8	9.6	7.9	6.8	0.6	5.1	3.4	2.8	72.9
	50代	(173)	14.5	10.4	12.7	17.3	2.3	4.0	5.8	2.9	62.4
	60代	(255)	15.3	16.5	16.9	13.7	6.7	7.1	3.5	8.2	60.0

福島県に関する最近の出来事の効果（居住地域別）

Q23 福島県に関する最近の出来事で、福島県旅行を検討するキッカケになると思うものをすべてお選びください。

～「食」に関する情報はキッカケになる余地が大きい～

- 福島県旅行を検討するキッカケになると思うものについて居住地別にみると、全体比で±5ポイント以上の差がつく項目は少なく、居住地による違いは比較的小さかった。また、いずれの項目も20%に達する地域はなかった。
- 「全国新酒鑑評会で金賞受賞数が日本一」「県産米の『特A』評価獲得数が日本一」は、すべての地域でQ22の認知度を上回っており、福島県の「食」に関する情報の提供はまだ不十分で、PRする余地はまだ大きいものとみられる。
- オリンピックは日本中が注目するイベントであるが、「2020年東京オリンピックの一部競技が県内で開催」は首都圏が11.4%と最も低い。メイン会場となる首都圏からみると、福島県での一部競技開催について、知ってはいるが特別興味を惹かれる話題ではないと認識している帆とが多いとみられる。



		n=	受賞数が日本一	内ピッコロの一年部競技が県内	か2018年を戊辰戦争	獲得産米の「特A」評価	「サッレツ」の再開催	県内から3聖地が選定に	「三ッ木」の締結	県が「ポケモン」のキャラクターの活用	朝ドラの主役にNHK	この中にはない
全体		(2,060)	14.2	14.2	13.3	12.2	7.5	7.2	5.0	4.4	60.6	
居住地域	北海道	(76)	14.5	18.4	11.8	13.2	9.2	6.6	3.9	5.3	59.2	
	東北	(190)	18.9	15.8	15.8	10.0	6.3	8.9	4.2	5.3	58.9	
	北関東	(168)	8.9	16.7	11.3	7.7	7.7	7.1	4.2	4.8	63.7	
	首都圏	(801)	15.9	11.4	13.7	14.1	7.9	5.5	3.9	3.9	61.2	
	中部	(186)	10.8	17.7	11.8	11.3	8.6	11.3	7.5	5.4	62.4	
	北陸	(90)	15.6	15.6	15.6	5.6	6.7	8.9	5.6	2.2	60.0	
	近畿	(324)	11.4	15.1	11.1	10.8	6.2	6.8	7.1	6.2	61.4	
	中国・四国	(111)	13.5	14.4	18.0	13.5	8.1	9.0	5.4	1.8	54.1	
	九州・沖縄	(114)	14.9	14.9	11.4	18.4	7.0	7.9	4.4	2.6	57.0	

「ダイヤモンドルートジャパン」の認知度（性別・年代別）

Q24 福島県が茨城県・栃木県と共同で制作したインバウンド向け観光PR動画「ダイヤモンドルートジャパン」についてあてはまるものをお選びください。

～「興味を惹かれた」は若い世代でやや高め～

- 福島県では、東京を起点に、福島・茨城・栃木の4都県を結ぶ観光ルートを「ダイヤモンドルート」として、PR動画を公開しプロモーションを展開している。インバウンド誘客を目指すもので、基本的に海外向けに制作され、2018年版の再生回数計2,200万回を超えた。
- 今回、この動画について国内での認知度を調べたところ、全体で「まったく知らない」が85.5%と多数を占めた。「閲覧して興味を惹かれた」は5.1%、「閲覧したが特に興味は惹かれなかった」が2.4%と、合計で閲覧した割合は7.5%にとどまった。
- 性別・年代別で見ると、男性の20～30代、女性の20代では「閲覧して興味を惹かれた」が10%を超えた。一方、男性の20代は「閲覧したが特に興味は惹かれなかった」も10%に達している。



【表例1】性別
【表例2】年齢

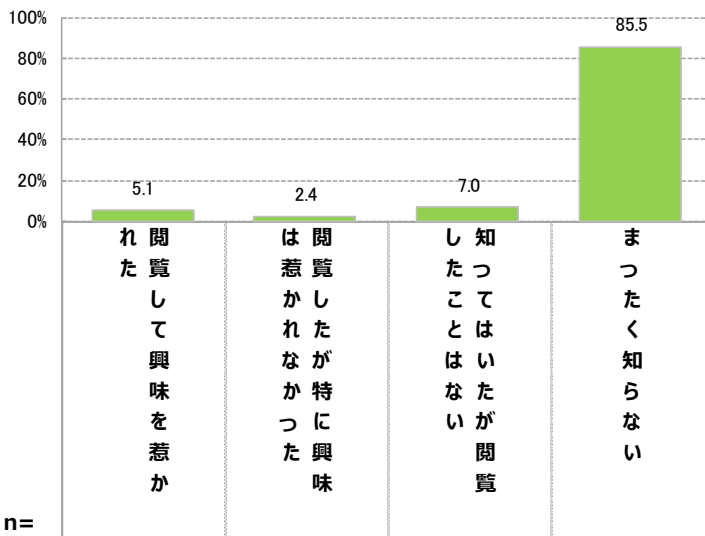
		n=	閲覧して興味を惹かれた	閲覧したが特に興味は惹かれなかった	し知たっことはいたが閲覧	まったく知らない
全体		(2,060)	5.1	2.4	7.0	85.5
男性全体		(1,170)	6.5	3.9	8.5	81.0
男性	20代	(137)	10.9	10.9	6.6	71.5
	30代	(204)	12.7	3.9	8.8	74.5
	40代	(263)	6.1	2.3	7.6	84.0
	50代	(254)	3.5	3.9	7.9	84.6
	60代	(312)	3.2	2.2	10.6	84.0
女性全体		(890)	3.4	0.3	4.9	91.3
女性	20代	(118)	10.2	0.0	5.1	84.7
	30代	(167)	0.6	0.6	6.0	92.8
	40代	(177)	1.7	1.1	2.8	94.4
	50代	(173)	2.9	0.0	2.9	94.2
	60代	(255)	3.5	0.0	7.1	89.4

「ダイヤモンドルートジャパン」の認知度（居住地域別）

Q24 福島県が茨城県・栃木県と共同で制作したインバウンド向け観光PR動画「ダイヤモンドルートジャパン」についてあてはまるものをお選びください。

～北関東でも認知度は他の地域と同様に低い～

- 「ダイヤモンドルートジャパン」の認知度を居住地別にみると、閲覧した割合は北海道と北陸で10%を超えた一方、「まったく知らない」はすべての地域で80%台となった。
- ダイヤモンドルートに含まれる北関東においても、認知度は他の地域と同様となった。



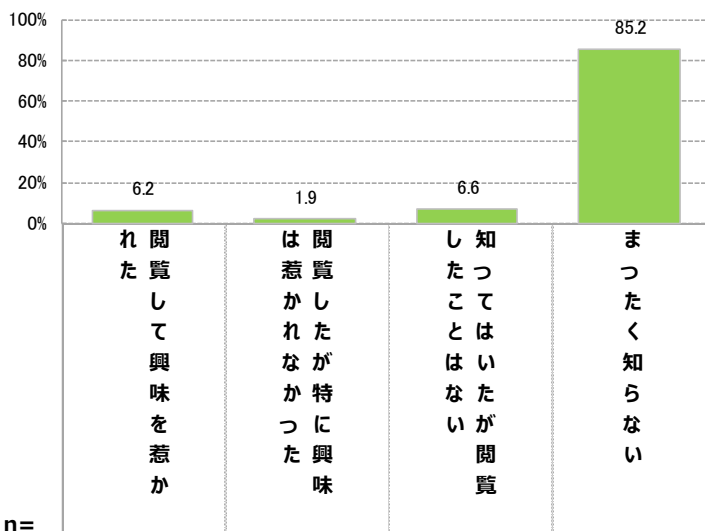
		n=	興味を惹いた	興味を惹かずに読んだ	知っているが読んでいない	まったく知らない
全体		(2,060)	5.1	2.4	7.0	85.5
居住地域別	北海道	(76)	7.9	2.6	6.6	82.9
	東北	(190)	3.2	1.1	6.3	89.5
	北関東	(168)	4.8	1.8	5.4	88.1
	首都圏	(801)	5.2	2.6	8.5	83.6
	中部	(186)	4.3	0.5	7.5	87.6
	北陸	(90)	5.6	4.4	5.6	84.4
	近畿	(324)	6.2	2.8	4.9	86.1
	中国・四国	(111)	6.3	1.8	7.2	84.7
	九州・沖縄	(114)	3.5	4.4	6.1	86.0

「ダイヤモンドルートジャパン」の認知度（福島県旅行経験別）

Q24 福島県が茨城県・栃木県と共同で制作したインバウンド向け観光PR動画「ダイヤモンドルートジャパン」についてあてはまるものをお選びください。

～今年初めて来訪した人では約3割が閲覧～

- 「ダイヤモンドルートジャパン」の認知度を、福島県への旅行経験の有無でみると、「今年（2019年）」はじめて福島県旅行を経験した層では、動画を閲覧した割合が約3割に上っている。福島県についてインターネット検索する中で、この動画にたどり着いた人が多いことが窺える。福島県についての知識がなく、調べたいと思う人にとって、この動画はその入口の役割を果たし、福島県の観光資源を網羅的に捉えることにつながっているとみられる。
- 福島県旅行を「検討したこともない」層では閲覧割合が1.6%にとどまり、「検討したことはある」層では12.3%と10%を超えた。ただし、「検討したことはある」層では「知ってはいたが閲覧したことはない」が10.7%に上っており、福島県について「見てみたい」と思わせる取り組みが今後の課題と考えられる。



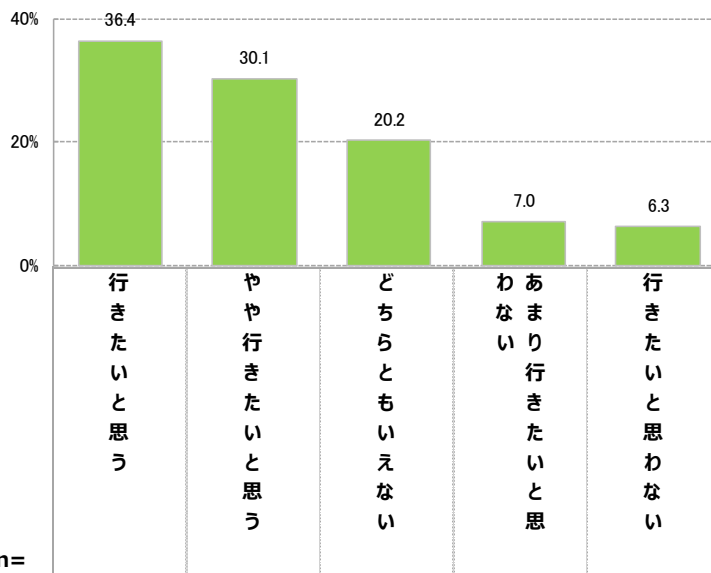
		n=	6.2	1.9	6.6	85.2
「福島県旅行経験あり」全体		(1,030)	6.2	1.9	6.6	85.2
はじめて した福島県 を旅行	今年（2019年）	(42)	19.0	9.5	7.1	64.3
	1年以内（2018年）	(163)	5.5	2.5	4.9	87.1
	2年以内（2017年）	(101)	5.0	2.0	5.0	88.1
	3年以内（2016年）	(203)	5.9	2.0	3.4	88.7
	震災後～2015年	(52)	9.6	0.0	5.8	84.6
	震災以前	(469)	5.3	1.3	9.0	84.4
「福島県旅行検討なし」全体		(515)	0.4	1.2	4.1	94.4
「福島県旅行検討のみ」全体		(515)	7.8	4.5	10.7	77.1

今後の福島県旅行の意向（性別・年代別）

Q25 今後、福島県を旅行したいと思いますか。

～全体の約3分の2が来訪意向あり～

- 今後の福島県旅行の意向をみると、全体で「行きたいと思う」が36.4%、「やや行きたいと思う」が30.1%で、行きたい意向を持つ人が約3分の2を占めた。一方、「行きたいと思わない」が6.3%、「あまり行きたいと思わない」が7.0%であった。
- 性別・年代別でみると、「行きたいと思う」は男性の60代、女性の50代で高かった。「あまり行きたいと思わない」は男性の50代で10%を超えたものの、消極的な意向では年代による差はあまりみられなかった。



【表側1】性別
【表側2】年齢

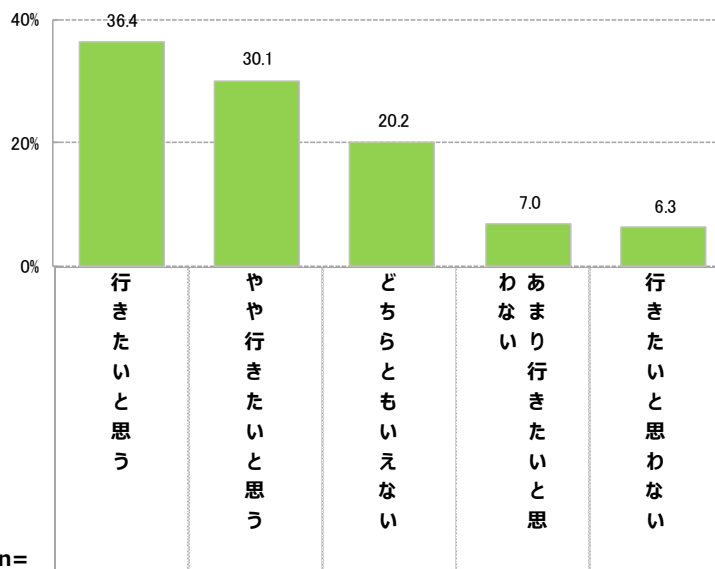
		n=	行きたいと思う	やや行きたいと思う	どちらともいえない	わあまり行きたいと思	行きたいと思わない
全体		(2,060)	36.4	30.1	20.2	7.0	6.3
男性全体		(1,170)	38.0	29.3	18.9	7.0	6.8
男性	20代	(137)	34.3	35.8	16.8	5.1	8.0
	30代	(204)	34.3	33.8	18.1	6.9	6.9
	40代	(263)	35.0	30.4	20.2	6.8	7.6
	50代	(254)	36.2	24.4	20.9	12.2	6.3
	60代	(312)	46.2	26.6	17.6	3.8	5.8
女性全体		(890)	34.2	31.2	21.9	7.0	5.7
女性	20代	(118)	38.1	34.7	14.4	7.6	5.1
	30代	(167)	23.4	41.3	19.2	9.0	7.2
	40代	(177)	33.3	26.6	26.0	8.5	5.6
	50代	(173)	40.5	23.1	24.9	4.6	6.9
	60代	(255)	35.7	31.8	22.4	5.9	4.3

今後の福島県旅行の意向（居住地域別）

Q25 今後、福島県を旅行したいと思いますか。

～「行きたいと思う」は東北・北関東で5割超～

- 今後の福島県旅行の意向を居住地別にみると、「行きたいと思う」は東北・北関東で50%を超え、「やや行きたいと思う」を合わせた訪問意向は80%以上に上った。福島県に隣接する地域からは、今後も自動車旅行を中心に多くの観光客が訪れるものと見込まれる。
- 一方、北海道や西日本は手軽に福島県旅行に行ける地域ではないこともあり、「行きたいと思う」「やや行きたいと思う」合計で50%前後にとどまり、消極的な意向が20%を超えている。
- 実効性を考慮すると、福島県旅行に「行きたいと思わない」層を誘客する施策を打つのは難しく、2割を占める「どちらともいえない」層にキッカケを与える取り組みが有効であると考えられる。



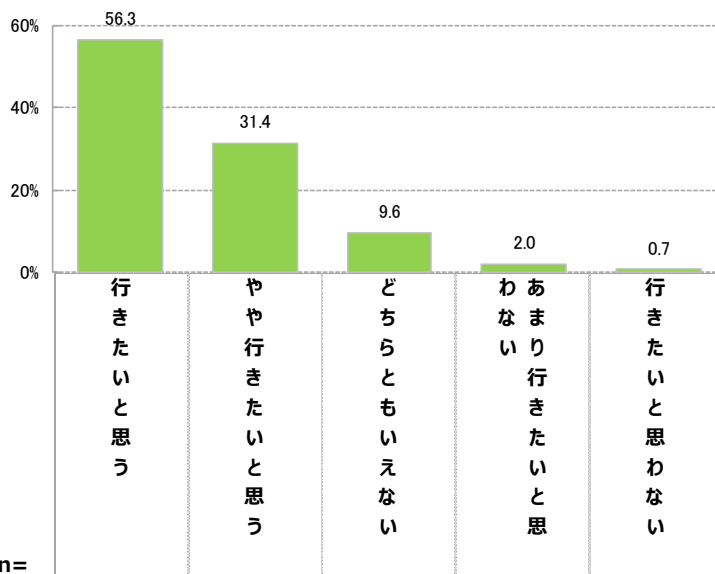
		n=	行きたいと思う	やや行きたいと思う	どちらともいえない	わあまり行きたいと思わない	行きたいと思わない
全体		(2,060)	36.4	30.1	20.2	7.0	6.3
居住地域	北海道	(76)	31.6	19.7	25.0	7.9	15.8
	東北	(190)	55.8	30.0	10.0	3.7	0.5
	北関東	(168)	51.8	29.2	15.5	1.2	2.4
	首都圏	(801)	41.6	31.7	17.1	5.4	4.2
	中部	(186)	21.5	35.5	24.2	10.8	8.1
	北陸	(90)	40.0	31.1	20.0	2.2	6.7
	近畿	(324)	23.5	27.5	27.2	12.7	9.3
	中国・四国	(111)	19.8	33.3	25.2	10.8	10.8
	九州・沖縄	(114)	21.9	22.8	31.6	9.6	14.0

今後の福島県旅行の意向（福島県旅行経験別）

Q25 今後、福島県を旅行したいと思いますか。

～「検討したことはある」人の7割は来訪意向あり～

- 今後の福島県旅行の意向を福島県への旅行経験の有無でみると、「旅行経験あり」では「行きたいと思う」が56.3%、「やや行きたいと思う」が31.4%で、再訪問の意向がある人は9割近くに上った。
- 福島県旅行を「検討したこともない」層では、今後も「行きたいと思わない」「あまり行きたいと思わない」が合計で約4割となった。
- 一方、福島県旅行を「検討したことはある」層では、訪問意向が合計7割に達している。新たな観光客層を取り込む必要があるとの前提に立てば、この層をターゲットとする観光施策に力を入れることが求められる。



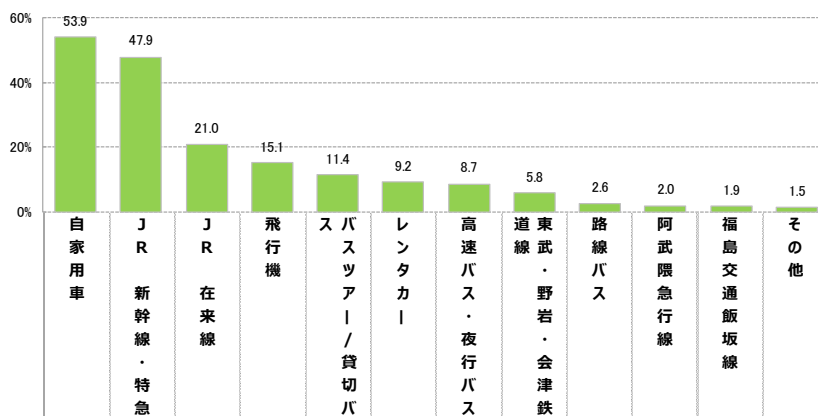
		n=	行きたいと思う	やや行きたいと思う	どちらともいえない	わああまり行きたいと思	行きたいと思わない
「福島県旅行経験あり」全体		(1,030)	56.3	31.4	9.6	2.0	0.7
はじめ 行 け た 福 島 県 を 旅	今年（2019年）	(42)	64.3	26.2	9.5	0.0	0.0
	1年以内（2018年）	(163)	52.8	31.9	12.9	1.8	0.6
	2年以内（2017年）	(101)	41.6	42.6	12.9	2.0	1.0
	3年以内（2016年）	(203)	33.0	46.8	13.8	4.9	1.5
	震災後～2015年	(52)	59.6	26.9	13.5	0.0	0.0
	震災以前	(469)	69.7	23.0	5.5	1.3	0.4
「福島県旅行検討なし」全体		(515)	3.5	16.1	41.4	18.3	20.8
「福島県旅行検討のみ」全体		(515)	29.3	41.7	20.2	5.6	3.1

今後、福島県旅行をする場合の利用交通機関（性別・年代別）

Q27 今後あなたが、福島県旅行に行くなら、ご自宅から福島県の目的地までどの交通手段で移動しようと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。

～「自家用車」が5割超、「JR 新幹線・特急」は若い世代で高め～

- 今後、福島県旅行をする場合の利用交通機関をみると、全体で「自家用車」が53.9%と5割を超え最も高かった。次いで「JR 新幹線・特急」が47.9%、「JR 在来線」が21.0%と続いた。
- 性別・年代別でみると、20代は「JR 新幹線・特急」の高さが目立った。「自家用車」については、60代で男性が高く女性が低い結果となった。
- 「バスツアー/貸切バス」については、女性が男性より高めであった。「高速バス・夜行バス」は若い世代で高めとなった。



【表側1】性別
【表側2】年齢

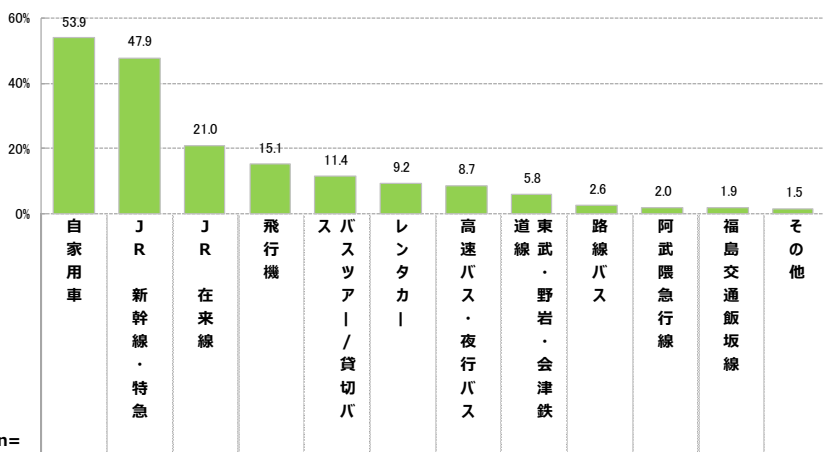
		n=	自家用車	JR 新幹線・特急	JR 在来線	飛行機	バスツアー/貸切バス	レンタカー	高速バス・夜行バス	道東武・野岩・会津鉄	路線バス	阿武隈急行線	福島交通飯坂線	その他
全体		(1,786)	53.9	47.9	21.0	15.1	11.4	9.2	8.7	5.8	2.6	2.0	1.9	1.5
男性全体		(1,009)	55.8	48.7	22.6	13.7	8.8	11.5	8.8	7.9	2.8	2.9	2.4	1.9
男性	20代	(119)	45.4	56.3	31.9	14.3	8.4	11.8	13.4	9.2	1.7	3.4	3.4	0.0
	30代	(176)	54.0	59.7	25.0	17.0	9.7	13.6	12.5	8.5	5.7	5.1	5.1	0.6
	40代	(225)	57.3	44.9	22.2	12.0	7.1	9.3	8.9	4.9	3.1	2.2	1.3	1.8
	50代	(207)	58.9	45.9	24.6	17.4	4.3	11.1	7.7	6.3	1.9	1.9	1.0	3.9
	60代	(282)	57.8	43.6	16.0	9.9	13.1	12.1	5.3	10.6	1.8	2.5	2.1	2.1
女性全体		(777)	51.5	47.0	18.9	17.0	14.8	6.3	8.6	3.1	2.3	0.9	1.3	1.0
女性	20代	(103)	46.6	58.3	22.3	20.4	12.6	5.8	20.4	1.9	2.9	0.0	1.0	1.0
	30代	(140)	60.7	47.1	15.7	21.4	7.9	4.3	12.1	2.9	0.7	1.4	1.4	0.7
	40代	(152)	58.6	41.4	17.8	13.2	7.9	8.6	5.3	1.3	1.3	0.0	0.0	2.0
	50代	(153)	54.9	43.1	21.6	13.7	18.3	5.2	6.5	5.2	4.6	2.0	2.6	0.7
	60代	(229)	41.0	48.0	18.3	17.5	22.3	7.0	4.8	3.5	2.2	0.9	1.3	0.9

今後、福島県旅行をする場合の利用交通機関（居住地域別）

Q27 今後あなたが、福島県旅行に行くなら、ご自宅から福島県の目的地までどの交通手段で移動しようと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。

～隣接地域は「自家用車」、遠隔地域は「JR 新幹線・特急」「飛行機」～

- 福島県旅行をする場合の利用交通機関を居住地域別にみると、東北や北関東、北陸などの隣接地域では「自家用車」が圧倒的に高い。一方、遠隔地域では「飛行機」が突出している。
- 但し、北海道と九州・沖縄では「レンタカー」が2割を超えており、「自家用車」以外でも自分の運転で自由に移動したいと考える旅行者が多いものとみられる。
- 「旅行経験あり」では「自家用車」が6割を超えているが、旅行経験がなく「検討したのみ」では「JR 新幹線・特急」が最も高い。



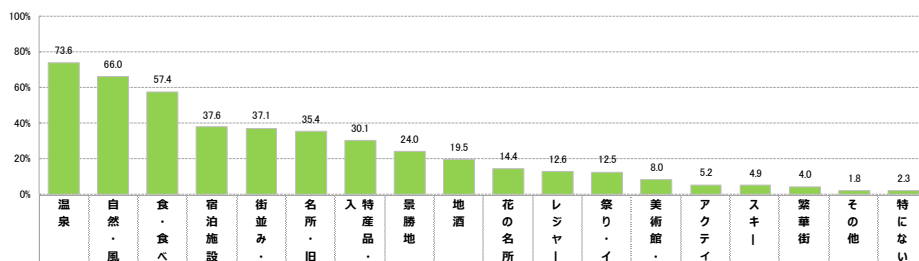
		n=	自家用車	JR 新幹線・特急	JR 在来線	飛行機	バスツアー / 貸切バス	レンタカー	高速バス・夜行バス	道東武・野岩・会津鉄	路線バス	阿武隈急行線	福島交通飯坂線	その他
全体		(1,786)	53.9	47.9	21.0	15.1	11.4	9.2	8.7	5.8	2.6	2.0	1.9	1.5
居住地域	北海道	(58)	27.6	51.7	20.7	58.6	8.6	24.1	10.3	1.7	0.0	1.7	1.7	10.3
	東北	(182)	85.2	25.3	17.0	0.0	6.6	3.3	6.6	1.1	3.8	2.2	1.1	1.6
	北関東	(162)	90.1	13.0	13.0	0.0	7.4	1.9	2.5	6.8	1.9	2.5	1.2	1.2
	首都圏	(724)	56.6	53.5	26.5	1.2	14.0	9.4	11.7	9.9	2.9	2.5	2.5	1.4
	中部	(151)	49.0	60.3	22.5	13.2	15.9	7.3	9.3	4.6	2.0	2.6	2.6	0.0
	北陸	(82)	89.0	20.7	13.4	0.0	3.7	1.2	4.9	0.0	1.2	0.0	0.0	1.2
	近畿	(253)	26.5	63.2	18.2	39.9	9.5	11.5	9.5	2.8	2.8	1.6	2.0	1.6
	中国・四国	(87)	12.6	63.2	19.5	51.7	12.6	17.2	6.9	2.3	1.1	1.1	1.1	1.1
	九州・沖縄	(87)	12.6	56.3	12.6	70.1	13.8	20.7	1.1	2.3	3.4	0.0	1.1	0.0
福島県旅行の有無	福島県旅行 経験あり	(1,002)	65.9	39.1	22.5	8.3	11.7	9.8	9.2	7.6	3.4	2.7	2.1	1.9
	福島県旅行 検討なし	(314)	30.9	62.7	19.1	29.9	8.9	6.7	7.6	1.6	1.0	1.0	1.0	1.0
	福島県旅行 検討のみ	(470)	43.8	56.8	19.1	19.8	12.6	9.8	8.5	4.9	1.9	1.3	2.1	1.1

今後、福島県旅行をする場合に期待すること（性別・年代別）

Q28 今後あなたは、福島県旅行に行くなら、どのようなことを期待しますか。あてはまるものをすべてお選びください。

～「温泉」が7割超、上位項目は女性の期待度が高め～

- 今後、福島県旅行をする場合に期待することを見ると、「温泉」が73.6%と最も高かった。次いで「自然・風景」が66.0%、「食・食べ歩き」が57.4%と続いた。
- 性別・年代別にみると、「温泉」はすべての世代で期待度が高い。一方、「宿泊施設」は若い世代で、「レジャー施設」は30代で高い傾向がみられた。また、上位項目は女性が男性を上回り、「温泉」は20代で20ポイント以上の差となった。



【表割1】性別
【表割2】年齢

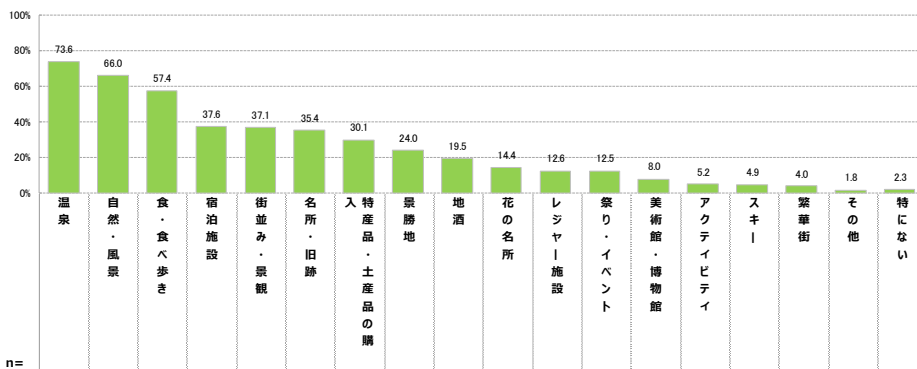
性別		年齢	n	温泉	自然・風景	食・食べ歩き	宿泊施設	街並み・景観	名所・旧跡	入	特産品・土産品の購	景勝地	地酒	花の名所	レジャー施設	祭り・イベント	美術館・博物館	アクティビティ	スキー	繁華街	その他	特にない
全体			(1,786)	73.6	66.0	57.4	37.6	37.1	35.4	30.1	24.0	19.5	14.4	12.6	12.5	8.0	5.2	4.9	4.0	1.8	2.3	
男性全体			(1,009)	70.8	63.1	53.2	35.2	34.5	35.4	24.4	25.3	20.2	11.0	11.4	11.3	7.9	4.5	5.9	4.8	1.8	3.2	
男性	20代		(119)	63.0	60.5	59.7	37.8	31.9	24.4	25.2	15.1	15.1	3.4	14.3	14.3	2.5	7.6	5.0	5.9	2.5	5.9	
	30代		(176)	69.9	64.8	58.0	46.6	39.2	28.4	30.1	20.5	23.3	8.5	23.9	14.8	9.7	8.5	10.8	8.0	1.1	2.8	
	40代		(225)	65.8	56.9	57.8	39.1	34.7	33.3	21.3	19.6	13.8	7.1	16.4	10.2	5.8	3.1	4.0	6.2	1.3	3.1	
	50代		(207)	72.5	61.4	55.1	30.0	36.2	42.0	27.1	26.6	22.2	9.2	4.3	10.1	7.7	2.9	5.3	3.4	1.9	2.4	
	60代		(282)	77.3	69.5	42.6	27.7	31.2	41.1	20.9	36.2	24.1	20.2	3.5	9.6	11.0	2.8	5.3	2.1	2.1	2.8	
女性全体			(777)	77.3	69.8	62.8	40.8	40.4	35.4	37.5	22.3	18.7	18.8	14.2	14.0	8.1	6.0	3.6	3.1	1.9	1.2	
女性	20代		(103)	86.4	68.9	75.7	49.5	37.9	21.4	39.8	5.8	21.4	15.5	18.4	15.5	6.8	9.7	1.9	6.8	1.9	0.0	
	30代		(140)	77.1	62.1	70.0	45.0	36.4	34.3	42.1	12.9	14.3	12.1	25.7	18.6	8.6	12.1	3.6	5.7	0.7	2.1	
	40代		(152)	68.4	65.8	65.1	39.5	33.6	33.6	33.6	15.8	15.8	10.5	15.8	13.8	5.9	4.6	7.2	2.0	2.0	0.7	
	50代		(153)	74.5	74.5	65.4	39.2	48.4	39.2	40.5	22.9	19.6	21.6	11.8	11.1	10.5	3.9	3.9	3.3	0.7	1.3	
	60代		(229)	81.2	74.2	49.3	36.2	43.2	41.0	34.1	39.3	21.4	27.9	5.7	12.7	8.3	3.1	1.7	0.4	3.5	1.3	

今後、福島県旅行をする場合に期待すること（居住地域別）

Q28 今後あなたは、福島県旅行に行くなら、どのようなことを期待しますか。あてはまるものをすべてお選びください。

～「食・食べ歩き」は東北と九州・沖縄で高い期待度～

- 福島県旅行をする場合に期待すること居住地域別にみると、「温泉」は幅広い地域で期待度が高い。
- 「食・食べ歩き」は東北や九州・沖縄で高めとなった。
- 「地酒」は中部や九州・沖縄で高かった一方、隣接地域ではやや低い結果となった。
- 「特産品土産品の購入」は遠隔地域でやや高めであった。



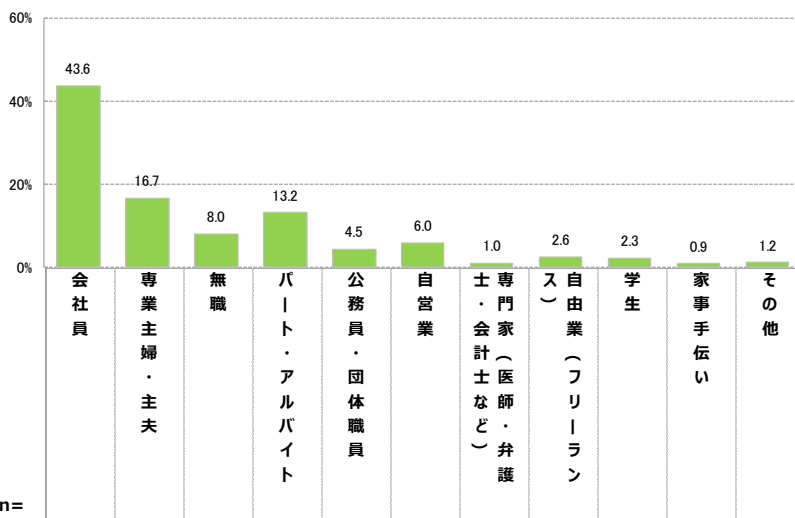
居住地域		n	温泉	自然・風景	食・食べ歩き	宿泊施設	街並み・景観	名所・旧跡	入特産品・土産品の購入	景勝地	地酒	花の名所	レジャー施設	祭り・イベント	美術館・博物館	アクティビティ	スキー	繁華街	その他	特にない
全体		(1,786)	73.6	66.0	57.4	37.6	37.1	35.4	30.1	24.0	19.5	14.4	12.6	12.5	8.0	5.2	4.9	4.0	1.8	2.3
居住地域	北海道	(58)	67.2	62.1	51.7	22.4	51.7	53.4	24.1	31.0	22.4	10.3	5.2	20.7	10.3	1.7	0.0	3.4	3.4	1.7
	東北	(182)	74.2	59.9	69.8	42.9	36.3	30.8	30.8	20.3	19.2	17.0	22.0	14.3	12.1	6.6	4.9	4.4	0.5	0.0
	北関東	(162)	67.9	69.1	56.2	33.3	28.4	30.2	27.2	22.2	13.6	16.0	14.8	13.0	7.4	6.2	6.8	3.7	2.5	3.1
	首都圏	(724)	76.7	68.2	53.6	39.9	36.3	34.3	27.5	23.1	19.5	16.2	12.4	12.2	7.3	5.7	7.3	3.2	2.2	1.5
	中部	(151)	70.9	66.2	55.0	39.7	37.1	39.1	31.1	27.2	25.2	13.2	9.9	10.6	9.3	4.6	2.0	6.6	0.0	2.0
	北陸	(82)	74.4	53.7	57.3	30.5	40.2	28.0	23.2	18.3	9.8	15.9	17.1	15.9	4.9	8.5	4.9	6.1	3.7	2.4
	近畿	(253)	73.9	66.8	57.7	37.5	37.5	37.2	36.0	28.9	19.8	11.9	10.3	10.7	7.9	4.3	2.0	4.7	2.0	5.1
	中国・四国	(87)	65.5	60.9	59.8	29.9	42.5	35.6	37.9	23.0	23.0	4.6	6.9	14.9	6.9	2.3	2.3	4.6	1.1	4.6
	九州・沖縄	(87)	73.6	71.3	70.1	36.8	41.4	47.1	39.1	24.1	25.3	11.5	8.0	8.0	6.9	1.1	1.1	2.3	1.1	2.3

職業（性別・年代別）

Q29 あなたの職業をお知らせください。

～男性は約6割が「会社員」、女性は約4割が「専業主婦」

- 職業をみると、男性はすべての世代で「会社員」が最も高く、約6割を占めた。一方、女性は全体で「専業主婦」が最も高く、60代では圧倒的であった。
- 女性で次に高かったのは40代・50代を中心とする「パート・アルバイト」であった。
- 男性の60代は「無職」が3割を超えており、退職後に旅行を楽しむ時間のできた人が多いものとみられる。



【表側1】性別
【表側2】年齢

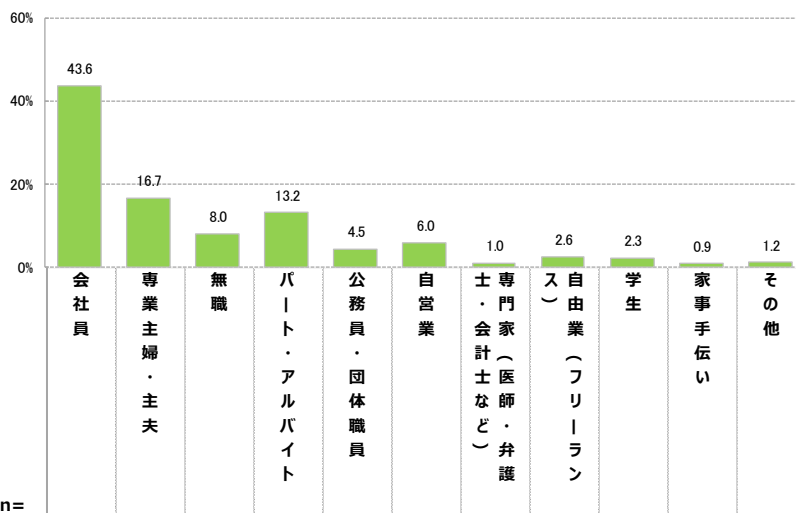
		n=	会社員	専業主婦・主夫	無職	パート・アルバイト	公務員・団体職員	自営業	士・会計士（医師・弁護士）	ス（自由業（フリーラン）	学生	家事手伝い	その他
全体		(2,060)	43.6	16.7	8.0	13.2	4.5	6.0	1.0	2.6	2.3	0.9	1.2
男性全体		(1,170)	59.8	0.6	11.1	5.1	6.4	8.3	1.2	3.2	2.5	0.4	1.3
男性	20代	(137)	57.7	0.7	5.1	6.6	3.6	2.9	0.7	2.2	19.0	0.0	1.5
	30代	(204)	75.5	1.0	2.0	6.4	6.9	1.5	1.5	3.4	1.5	0.5	0.0
	40代	(263)	72.2	0.0	4.9	2.7	7.2	6.5	1.9	3.8	0.0	0.0	0.8
	50代	(254)	68.5	0.0	2.4	2.8	8.7	13.0	1.2	3.1	0.0	0.0	0.4
	60代	(312)	33.0	1.3	32.1	7.7	4.8	12.8	0.6	3.2	0.0	1.3	3.2
女性全体		(890)	22.4	38.0	3.9	23.8	1.9	2.9	0.8	1.8	2.0	1.5	1.0
女性	20代	(118)	31.4	19.5	1.7	17.8	6.8	0.8	0.0	4.2	15.3	2.5	0.0
	30代	(167)	34.7	37.1	0.6	20.4	2.4	0.6	0.6	1.8	0.0	1.8	0.0
	40代	(177)	31.1	22.6	4.0	31.6	0.6	2.3	2.3	2.8	0.0	1.1	1.7
	50代	(173)	20.2	32.9	2.3	31.8	1.7	6.4	0.6	0.6	0.0	2.3	1.2
	60代	(255)	5.5	61.2	8.2	18.0	0.4	3.5	0.4	0.8	0.0	0.4	1.6

職業（居住地別）

Q29 あなたの職業をお知らせください。

～居住地別で職業の偏りはみられない～

- 職業を居住地別にみると、北陸で「会社員」、北海道と中国・四国で「専業主婦・主夫」がやや高かった以外に大きな偏りはみられなかった。
- 今回の居住地別による結果の差については、各地域における対象者の職業の影響はないものと考えられる。



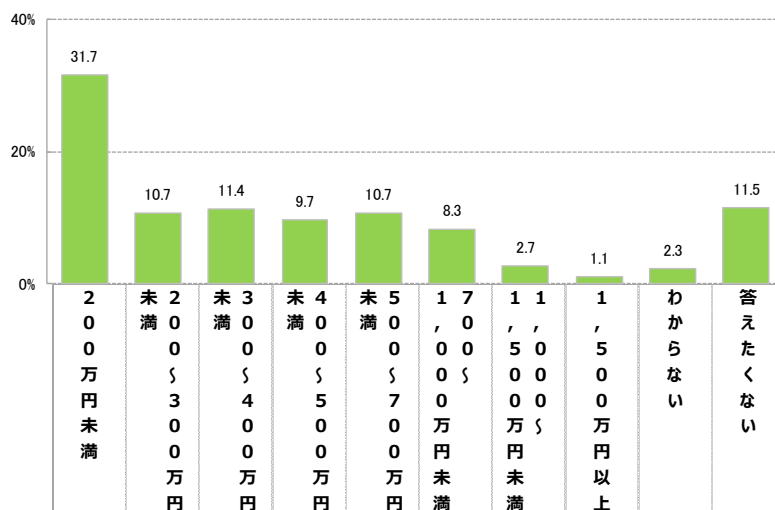
		n=	会社員	専業主婦・主夫	無職	パート・アルバイト	公務員・団体職員	自営業	士・会計士（医師・弁護士など）	ス（自由業（フリーラン）	学生	家事手伝い	その他
全体		(2,060)	43.6	16.7	8.0	13.2	4.5	6.0	1.0	2.6	2.3	0.9	1.2
居住地	北海道	(76)	35.5	22.4	6.6	14.5	3.9	9.2	0.0	2.6	1.3	0.0	3.9
	東北	(190)	40.0	17.4	5.3	16.8	7.9	6.3	1.1	1.6	2.6	0.5	0.5
	北関東	(168)	38.1	16.7	10.7	14.9	5.4	7.7	1.2	1.8	2.4	0.0	1.2
	首都圏	(801)	47.1	15.6	8.5	12.1	3.2	5.2	0.7	3.4	2.4	0.6	1.1
	中部	(186)	44.1	19.9	8.6	11.3	2.2	6.5	1.1	0.5	1.6	3.2	1.1
	北陸	(90)	48.9	15.6	5.6	7.8	8.9	4.4	0.0	3.3	2.2	1.1	2.2
	近畿	(324)	42.9	16.0	8.3	15.1	2.5	5.9	0.9	2.8	3.4	1.2	0.9
	中国・四国	(111)	37.8	22.5	8.1	9.9	9.0	8.1	2.7	0.9	0.9	0.0	0.0
	九州・沖縄	(114)	42.1	12.3	6.1	16.7	7.9	4.4	2.6	4.4	0.9	0.9	1.8

個人年収（性別・年代別）

Q30 あなたの「個人年収」及び「世帯年収」をお知らせください。

～男性は「500～700万円未満」が最も多い～

- 個人年収をみると、全体で「200万円未満」が31.7%と最も高かった。次いで「300～400万円未満」が11.4%、「500～700万円未満」10.73%と続いた。
- 性別・年代別にみると、男性は「500～700万円未満」が17.2%と最も高く、専業主婦が多い女性は「200万円未満」が約6割を占めた。
- 男性では年収700万円以上が2割に上っている。



【表側1】性別
【表側2】年齢

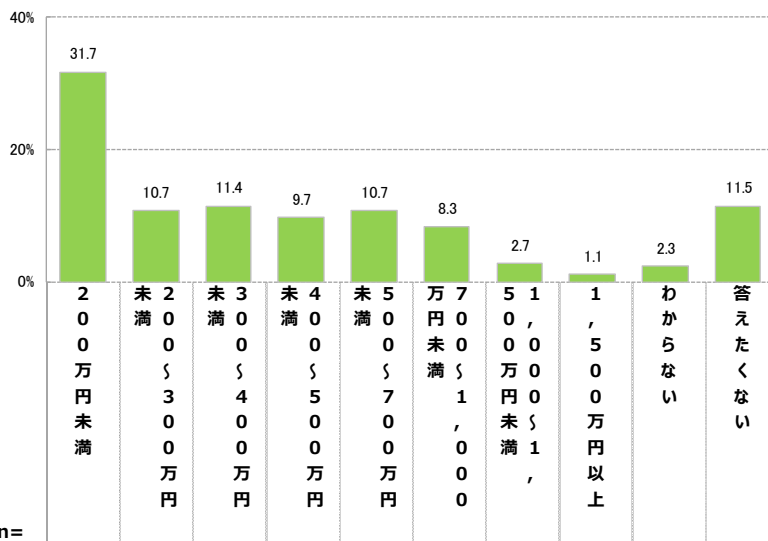
		n=	200万円未満	200万円～299万円	300万円～399万円	400万円～499万円	500万円～599万円	600万円～699万円	700万円～799万円	800万円～899万円	900万円～999万円	1000万円以上	わからない	答えたくない
全体		(2,060)	31.7	10.68	11.4	9.7	10.73	8.3	2.7	1.1	2.3	11.5		
男性全体		(1,170)	11.4	10.0	15.1	14.3	17.2	14.0	4.4	1.8	1.9	9.9		
男性	20代	(137)	24.8	10.2	23.4	14.6	10.2	2.2	1.5	0.0	3.6	9.5		
	30代	(204)	9.3	8.3	18.6	20.6	23.5	9.8	2.5	0.5	1.5	5.4		
	40代	(263)	8.0	6.5	10.3	17.5	22.8	17.9	4.2	1.5	1.1	10.3		
	50代	(254)	5.1	6.7	11.8	10.6	18.1	24.4	9.4	3.9	1.6	8.3		
	60代	(312)	14.7	16.7	16.0	10.3	10.6	10.3	3.2	1.9	2.2	14.1		
女性全体		(890)	58.3	11.6	6.5	3.6	2.2	0.8	0.4	0.2	2.8	13.5		
女性	20代	(118)	50.0	15.3	11.0	2.5	3.4	0.0	0.0	0.8	5.1	11.9		
	30代	(167)	51.5	18.0	9.6	4.8	1.8	0.6	1.2	0.0	0.6	12.0		
	40代	(177)	60.5	10.7	7.3	4.0	5.1	0.6	0.0	0.0	2.3	9.6		
	50代	(173)	58.4	10.4	2.3	4.6	1.2	1.7	0.6	0.0	3.5	17.3		
	60代	(255)	65.1	7.1	4.7	2.4	0.8	0.8	0.4	0.4	3.1	15.3		

個人年収（居住地域別）

Q30 あなたの「個人年収」及び「世帯年収」をお知らせください。

～首都圏の対象者は全体的に年収が高めの傾向～

- 個人年収を居住地域別にみると、対象者数が最も多い首都圏では「700～1000万円未満」が1割を超え、1,000万円以上の割合も高めである。首都圏からの旅行者に対しては、富裕層向けの旅行プランの提供などにより、選択肢の幅を広げることも有効になるものとみられる。



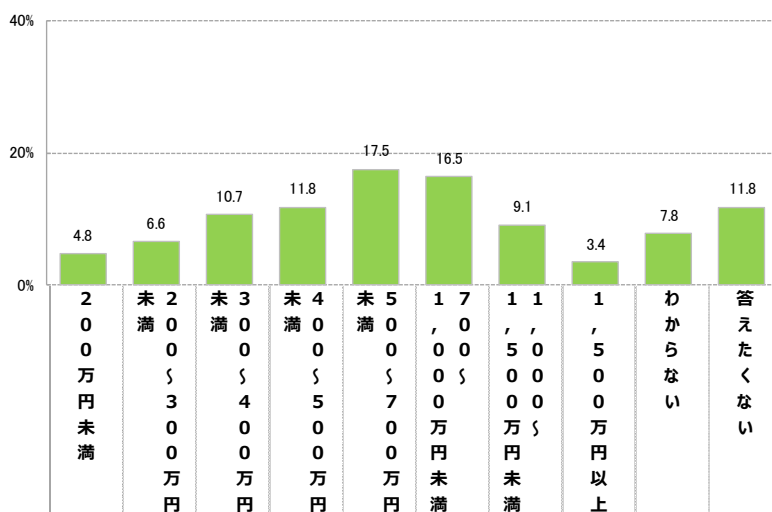
全体		(2,060)	31.7	10.7	11.4	9.7	10.7	8.3	2.7	1.1	2.3	11.5
居住地域	北海道	(76)	39.5	11.8	10.5	7.9	7.9	5.3	1.3	0.0	1.3	14.5
	東北	(190)	37.4	13.7	12.6	8.9	7.9	5.3	1.6	0.5	0.5	11.6
	北関東	(168)	32.1	8.9	9.5	10.1	8.3	9.5	1.8	1.2	3.6	14.9
	首都圏	(801)	26.3	9.6	10.5	10.0	12.9	11.6	4.4	1.2	2.1	11.4
	中部	(186)	39.2	10.2	11.3	9.1	10.8	5.4	0.5	0.5	3.2	9.7
	北陸	(90)	28.9	20.0	8.9	11.1	13.3	3.3	2.2	1.1	1.1	10.0
	近畿	(324)	34.6	11.1	11.4	9.6	9.3	6.5	2.2	1.5	3.4	10.5
	中国・四国	(111)	37.8	8.1	17.1	9.9	4.5	8.1	2.7	0.9	0.9	9.9
	九州・沖縄	(114)	28.9	9.6	15.8	8.8	14.0	4.4	0.9	1.8	2.6	13.2

世帯年収（性別・年代別）

Q30 あなたの「個人年収」及び「世帯年収」をお知らせください。

～男女での大きな差はみられない～

- 世帯年収をみると、全体で「500～700万円未満」が17.5%と最も高く、次いで「700～1000万円未満」が16.5%、「400～500万円未満」が11.8%と続いた。
- 性別・年代別にみると、20代では「わからない」への回答も高かったことを加味すれば、男女による大きな差はないものとみられる。



【表側1】性別
【表側2】年齢

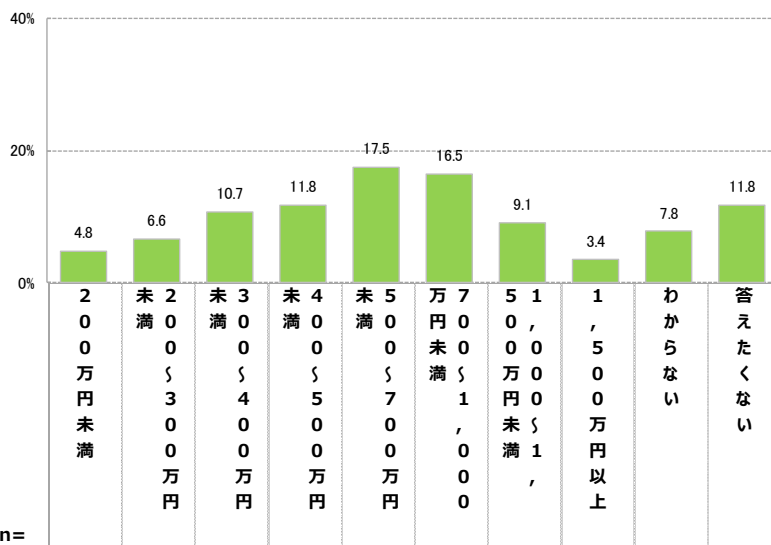
		n=	200,000円未満	200,000円～300,000円未満	300,000円～400,000円未満	400,000円～500,000円未満	500,000円～700,000円未満	700,000円～1,000,000円未満	1,000,000円～1,500,000円未満	1,500,000円以上	わからない	答えたくない
全体		(2,060)	4.8	6.6	10.7	11.8	17.5	16.5	9.1	3.4	7.8	11.8
男性全体		(1,170)	4.1	5.8	10.2	12.1	19.5	19.1	10.5	3.8	5.3	9.6
男性	20代	(137)	5.1	4.4	14.6	14.6	19.0	10.2	9.5	2.2	11.7	8.8
	30代	(204)	3.9	6.4	8.8	15.2	20.1	25.0	8.8	2.5	3.4	5.9
	40代	(263)	4.2	4.6	7.2	11.4	24.3	20.5	11.0	3.0	3.4	10.3
	50代	(254)	2.4	5.1	6.3	10.6	16.1	24.0	17.3	5.9	3.9	8.3
	60代	(312)	5.1	7.7	14.7	10.9	17.9	13.8	6.1	4.5	6.4	12.8
女性全体		(890)	5.7	7.6	11.3	11.3	14.9	13.0	7.3	2.9	11.0	14.7
女性	20代	(118)	5.9	8.5	11.0	11.0	16.9	7.6	4.2	4.2	22.0	8.5
	30代	(167)	1.8	6.0	10.8	16.2	21.0	13.2	7.8	1.2	7.2	15.0
	40代	(177)	5.1	5.6	12.4	14.1	15.8	13.6	11.3	1.1	8.5	12.4
	50代	(173)	4.6	6.4	8.1	6.4	13.9	16.8	8.7	5.2	10.4	19.7
	60代	(255)	9.4	10.6	13.3	9.8	10.2	12.5	4.7	3.1	10.6	15.7

世帯年収（居住地域別）

Q30 あなたの「個人年収」及び「世帯年収」をお知らせください。

～個人年収と同様、首都圏で高めの結果～

- 世帯年収を居住地域別にみると、北海道など、サンプリング数の少ない地域でややバラつきがみられる。
- 首都圏については、個人年収と同様、世帯年収も他の地域より高めの結果となった。



		n=	200万円未満	200万円～299万円	300万円～399万円	400万円～499万円	500万円～599万円	600万円～699万円	700万円～799万円	800万円～899万円	900万円以上	わからない	答えたくない
全体		(2,060)	4.8	6.6	10.7	11.8	17.5	16.5	9.1	3.4	7.8	11.8	
居住地域	北海道	(76)	3.9	11.8	17.1	7.9	21.1	10.5	3.9	1.3	9.2	13.2	
	東北	(190)	7.4	6.3	12.1	10.5	17.4	14.2	8.4	2.1	8.4	13.2	
	北関東	(168)	6.0	6.0	8.9	13.1	16.7	14.9	7.1	2.4	11.9	13.1	
	首都圏	(801)	4.1	6.0	8.1	10.5	18.1	19.0	11.7	4.7	6.0	11.7	
	中部	(186)	3.8	7.0	12.4	12.9	15.1	14.5	6.5	2.7	12.4	12.9	
	北陸	(90)	3.3	10.0	14.4	11.1	21.1	15.6	7.8	3.3	4.4	8.9	
	近畿	(324)	4.6	6.2	11.4	13.0	16.0	16.7	9.3	4.0	9.3	9.6	
	中国・四国	(111)	7.2	8.1	18.0	13.5	16.2	12.6	7.2	1.8	5.4	9.9	
	九州・沖縄	(114)	5.3	5.3	9.6	17.5	19.3	15.8	5.3	0.9	5.3	15.8	

3章

福島県内旅行者の消費による 経済波及効果推計

I. 経済波及効果推計の概要

1. 推計にあたり

- 観光庁「共通基準による観光入込客統計」では、都道府県別に入込客数（千人回）や観光消費額について調査結果をまとめている。
- 観光客満足度調査においては、季節ごとに県内での消費額を直接聞き取りしていることから、観光庁の消費額データと比較してみた。
- さらに、観光入込客統計の入込数データと今回の消費額データを組み合わせることにより、旅行者の消費が県内にもたらす経済波及効果を試算してみた。

2. 推計の前提

- 入込数は観光庁「共通基準による観光入込客統計」の公表データを使用する。入込数は全体で18,447千人回となっている。

(千人)

	宿泊	日帰り	計
県内客	1,511	5,319	6,831
県外客	2,912	8,704	11,616
計	4,423	14,023	18,447

- 1人当たり消費額は観光客満足度調査の結果を基に、「20歳未満」など、支出の少ない年代が一定割合いることを考慮し調整した。観光庁の公表データと比較すると日帰り客の消費額が高めであり、相応に予算をかける旅行者の存在も窺える。

満足度調査による1人当たり消費額 (円)			観光庁調査による1人当たり消費額 (円)		
	宿泊	日帰り		宿泊	日帰り
県内客	21,480	14,177	県内客	21,806	5,474
県外客	35,801	19,629	県外客	25,252	7,320

- 入込数と1人当たり消費額を掛け合わせることで求められる県内の旅行消費額は、全体で3,830億円となる。

(億円)

	宿泊	日帰り	計
県内客	325	754	1,079
県外客	1,042	1,709	2,751
計	1,367	2,463	3,830

Ⅱ. 推計結果

1. 推計方法

- 県内の旅行消費額3,830億円に基づき、「2013年福島県産業連関表」を用いて経済波及効果を推計した。

2. 推計結果

- 旅行者の消費支出が県内にもたらす経済波及効果は6,088億円と試算された。
- 観光庁の公表データと比較し、消費額が高めとなったこともあるが、旅行者の増加は県内に大きな経済波及効果をもたらすことが確認できる。
- 定住人口の減少が続く中、交流人口増加の取り組みは重要な課題であり、観光誘客の取り組みにかかる期待は大きい。

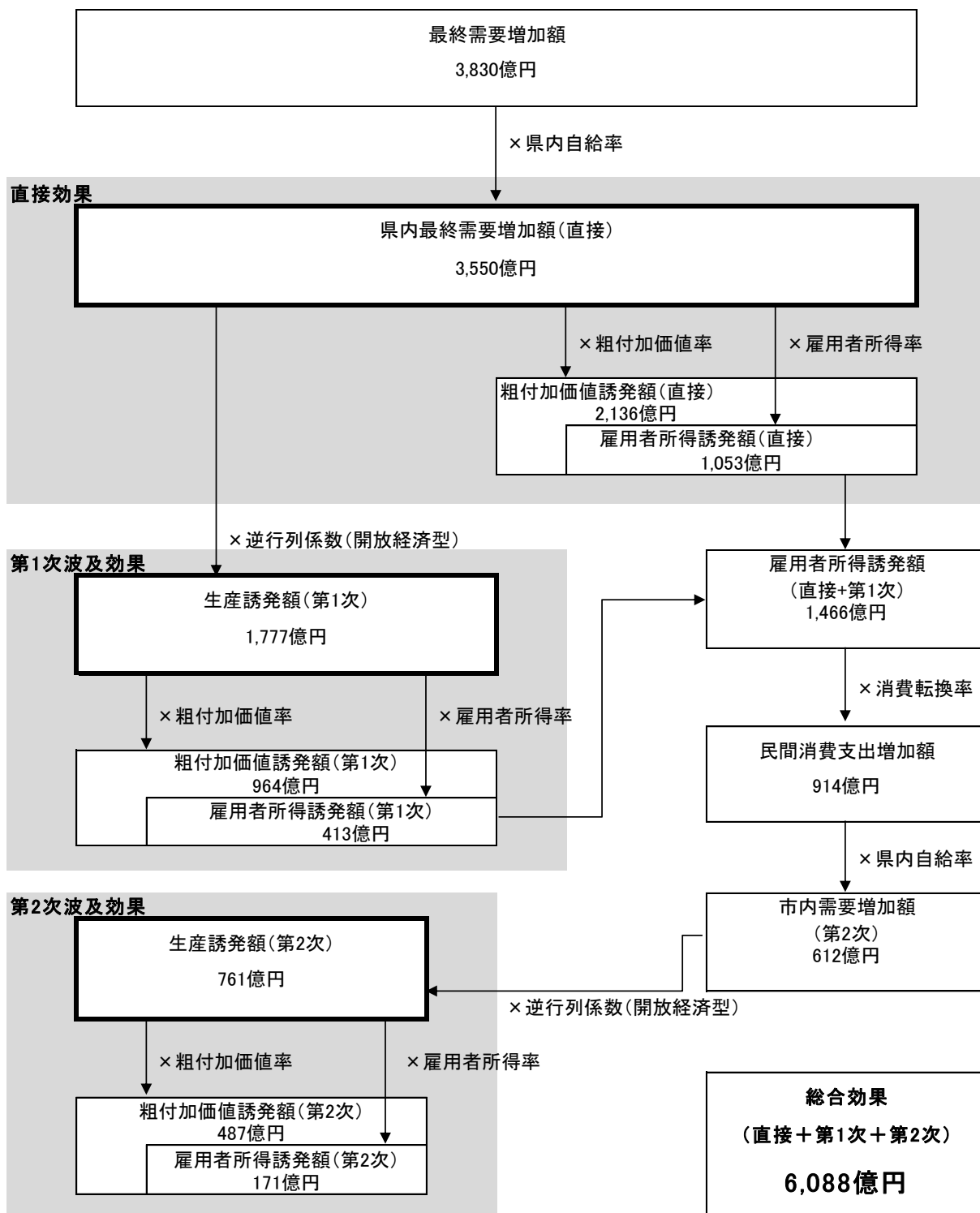
旅行者の消費支出による経済波及効果

(億円)

	生産誘発額	粗付加価値 誘発額	雇用者所得 誘発額
直接効果	3,550	2,136	1,053
第1次波及効果	1,777	964	413
第2次波及効果	761	487	171
総合効果	6,088	3,587	1,637

II. 推計結果

福島県旅行者の消費支出による経済波及効果フロー



**平成30年度 観光地域づくり総合推進事業
「福島県観光地実態調査」報告書**

平成31年3月

調査主体

福島県観光交流課

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16

TEL 024-521-7398

調査実施及び集計・分析

一般財団法人とうほう地域総合研究所

〒960-8041 福島市大町4-4

TEL 024-523-3171